

昭和六十年三月

旧宮腰町々年寄役

# 中山家文書目錄

金沢市立図書館

旧宮腰町々年寄役

中山家文書目錄

## 序

この目録は、加賀藩々主前田家の金沢入城以来、御扶持人・町年寄として宮腰(現金石町)に居住した中山家に伝存する古文書類の実態把握と、その活用を図る目的で昭和五十六年より金沢市立図書館が市中文書調査の一環として調査・整理したものであります。

中山家は、城下町金沢の外港である宮腰にあつて、町年寄・澗改など町政・港・海運に関わる役職をつとめていたことにより、近世町方に関わるものをはじめ多種多様な史料が残されており、一地域の歴史資料といふばかりでなく、広く加賀藩研究の上でも重要な史料となるものであると思われれます。

調査の結果をここに刊行することにより、本書および中山家文書が今後広く研究調査に活用されればこれに過ぎる喜びはありません。

あわりに、代々保存につとめ、現在まで伝存されてきた貴重な史料を長期に渡つてお貸し下さるなど全面的な御協力を賜りました中山家に対し、心からお礼申し上げます。

昭和六十年三月

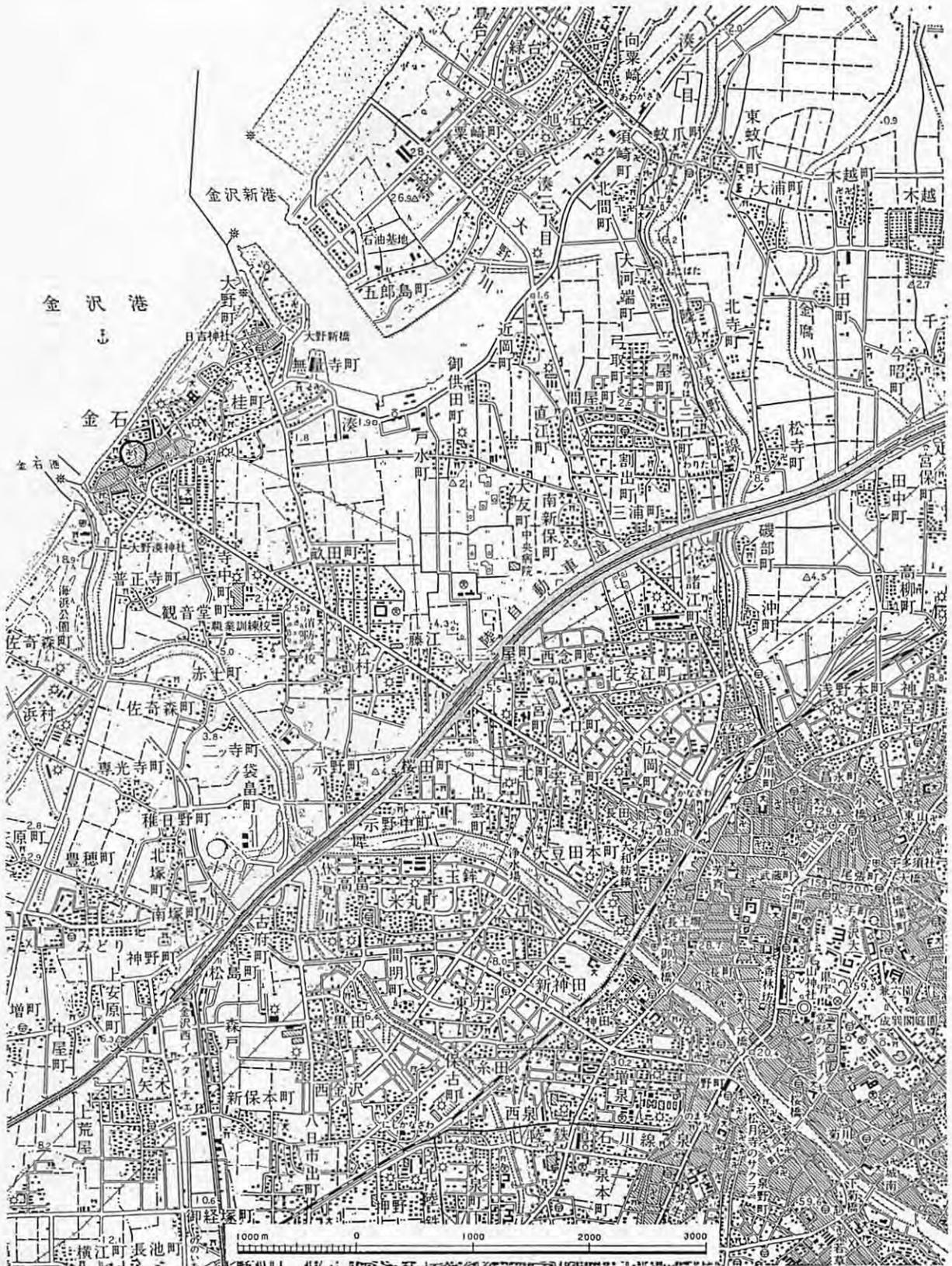
金沢市立図書館

館長

中村

豊

# 中山家位置図



中山家文書目錄 目次

一、藩主

一〇〇 藩主……………一  
 一一〇 参勤……………一  
 一二〇 出行……………二  
 一三〇 吉事……………一七  
 一四〇 病氣……………一八  
 一五〇 逝去・廟所……………一九  
 一六〇 献上物……………二〇

二、藩制

二〇〇 藩制・藩士……………二四  
 二一〇 支配・政情……………二五  
 二二〇 巡見……………二七  
 二三〇 海防・外交……………二八  
 二四〇 軍事・戦役（近代）……………三〇  
 二五〇 宮腰町奉行所……………三〇  
 二五一 町奉行召状……………三一  
 二五二 町奉行通信……………三二  
 二六〇 御扶持……………三七  
     御扶持由来・願 御扶持御印拝領・願……………三一  
 二六一 御拝領物……………四一  
 二六二 御扶持地……………四四  
 二七〇 拜礼出座……………四五  
 二七一 年頭御礼出座……………四六  
 二七二 葬儀・遠忌出座……………四八

六、藩治

六〇〇 町方達・定……………四九  
 六一〇 宮腰町方……………五一  
 六二〇 町役所……………五三  
 六三〇 町役人……………五四  
 六三一 町方諸役……………五四  
     町年寄 町肝煎・組合頭  
     諸肝煎 算用方 諸才許人……………五七  
 六三二 浦方諸役……………五七  
     浦改・澗役 浦方諸役……………五七  
 六三三 問屋……………六〇  
     諸問屋 魚問屋 塩問屋  
     材木問屋 笠問屋 人馬問屋……………六一  
 六四〇 御用留……………六一  
 六五〇 町人由緒……………七四  
 六六〇 中山家……………七五  
 六六一 経濟……………七八  
 六六二 居屋敷……………八〇  
     金沢転居一件……………八三  
 六六三 相続・遺書……………八三  
     中山三右衛門養子一件……………八五  
 六六四 吉事・婚礼……………八五  
 六六五 出産・病氣……………八七  
 六六六 葬儀・法要……………八八  
 六六七 教育……………九三

六六八 交際.....九四

往来・挨拶状 贈答 貸借

六七〇 戸口.....九九

六八〇 租税・土地.....一〇〇

租税 土地

六八一 口 銭.....一〇五

魚口銭 湊・浜借口銭 諸口銭

六九〇 治安.....一〇八

南部引渡人一件 唐仁屋一件

銭屋一件 中山甚之丞魚問屋一件

町年寄禁足一件 仇討

六九一 争論.....一三三

六九二 災害.....一一三

六九三 救恤.....一一四

七、産業

七〇〇 商・産業.....一一五

七〇一 諸取引.....一一八

七〇二 仕切・算用.....一一八

七〇三 広告(近代).....一二二

七〇四 貨幣・物価.....一二二

七〇五 奉公人・勤.....一二三

七一〇 金融・貸借.....一二三

七一一 拝借銀.....一二七

産物銀 御次銀・金山方銀

御役所銀 大聖寺三十人講銀

七一二 御貸米.....一三三

七二三 講頼母子・祠堂銀.....一三五

七二〇 運輸・交通.....一三七

七二一 陸運.....一三九

七二二 海運.....一四〇

七二三 難船.....一四二

七三〇 浦方.....一四三

七三一 入出津.....一四六

七三二 魚・猟業.....一四八

七三三 振売.....一四九

七四〇 浜揚物産.....一五〇

七四一 米.....一五一

登米・廻米 入出津

七四二 塩.....一五四

七四三 木材.....一五六

七五〇 金石運輸会社(近代).....一五八

七六〇 金石郵便局(近代).....一六〇

七七〇 普請・建築.....一六二

七七一 川除・波除仕法.....一六二

八、学問

八八〇 学芸.....一六五

八一〇 教育.....一六八

八二〇 宗教.....一六九

八二一 神社縁起・由緒.....一七一

八二二 神社 図.....一七三

八二三 祭礼・詠歌.....一七三

八二四 志金.....一七五

八二五 佐那武明神社.....一七八

八二六 天徳院.....一七九

八二七 松木神社.....一七九

八三〇 洋々殿.....一八〇

由来書・守護方 御忌 修履・資金  
 絵図・資材 貸借・展覧

八四〇	絵図・地誌	一八九
	<small>絵図 地図</small>	
八四一	里程・交通図	一九〇
八四二	名所記・名所図	一九一
八四三	道中記・紀行	一九二
八五〇	天文・易	一九三
八五一	曆・年表	一九三
八五二	占書	一九四
八五三	医薬	一九五
八六〇	名簿・名鑑	一九六
八七〇	博覧会・展覧会(近代)	一九六
八八〇	新聞・雑誌(近代)	一九八
九、文芸		
九〇〇	文芸	二〇〇
九〇一	和歌	二〇一
九〇二	俳諧	二〇四
	<small>短冊 歳旦</small>	
九〇三	詩	二一五
九〇四	戯文・風刺歌	二一六
九一〇	書画	二一七
九二〇	歌舞伎	二二〇
	<small>郷土 郷土外</small>	
九三〇	能・謡	二二九
九四〇	浄瑠璃(近代)	二三二
九五〇	歌謡・舞蹈(近代)	二三三
九六〇	茶道	二三三

九七〇	花・香道	二三四
九八〇	趣味・風俗	二三四
	<small>相撲 武術 刀剣 献立書</small>	
補遺		二三六

「加越能文庫解説目録」に準拠分類したことにより分類番号三  
 五は欠番。

中山家文書の概要	二三七
中山家文書年代分類別構成表	二三八
中山家の概要	二四〇
(資料)	
中山一衛先祖由緒帳	二四一
中山家歴代一覧	二四五
宮腰町奉行一覧	二四六
宮腰町々役名一覧	二四七
中山家文書分類・マイクロフィルム対照表	二四八

## 凡 例

- 一、本目録は金沢市金石町の旧宮腰町々年寄役中山家文書を収めるものである。
- 一、目録編成にさいし、「加越能文庫解説目録」を当館の古文書整理の基準とするの方針により、これに準拠したものとす。史料の収録範囲は近世に限定せず、同一家の連続する歴史として、近世初頭より昭和に至る史料群を同列に整理・編成した。配列については先の方針に合わせ、近世史料・近代史料とに分けず、同項目内において年代順の配列をした。
- 一、史料目録の記載は整理番号、表題、作成年月日、形態、数量、作成者・差出者および受取者の順とした。
- 一、表題は原表題を原則として採ったが、原表題のないもの、原表題のみでは不十分なものについては、補足・改変し仮題をもって表題とした。
- 一、作成年月日は、全て記載することとしたが、年代・干支共に判明するものについては干支を省略し、推定年代については（ ）を付して表示した。
- 一、史料形態は、文書・記録類においては、簿冊類には袋綴・長帳・横帳等、一紙類には一紙・切紙・続紙・折紙等を用い、形態名によって原本の大概を示すことにより寸法は絵図類以外のものについては省略した。書籍・典籍類については、大本・半紙本・中本・小本・横本等の書型の別と手写と版の別および種類を示し、印刷本については書冊として示した。
- 一、数量については、墨付・頁数に関しては「丁」・「頁」を附して示し、複数冊数の場合は単位を附さず数字のみで冊数を表わし、墨付・頁数は省略した。
- 一、作成者・差出者、受取者については、文書・記録類においては最大限採録したが、書籍・典籍類においては刊行者・著者等が複数の場合には主要者のみの採録とした。
- 一、同家史料のうち、御用留帳などに狭冊された文書が多くみられ、これらについても一点として整理し、内容にかかわらず元文書と同分類として、元文書に続けて連番を附して表示した。また、これら狭冊の文書を原状に復せるよう整理袋に何文書の何丁目にあったものであるかを表示した。
- 一、中山家文書は、金沢市立図書館においてマイクロフィルムにより閲覧利用ができる。（巻末の中山家文書分類・マイクロフィルム対照表参）

# 中山家文書目録

一藩主  
番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

## 一〇藩主

十 前田利常大阪陣之書狀 (元和元)6月27日 (続紙)

ちくせん→つほね

二 明和五年ヨリ安永二年迄治脩襲 明和5年)

封一件 闕書

三 真龍院様二御丸御引移ニ付松御 (安政元)

殿之義以後金谷御広式と唱べく 寅5月・6月8日

申渡書

齊藤与兵衛・浅香嘉門→宮腰町年寄中

四 御歴代様年譜

慶応3年霜月

横帳 5丁

中山主計

五 国公家譜歴略

六 前田家御歴代記

三松堂藏

七 前田家御歴代記

三松堂藏

八 前田家御歴代表

九 前田家御歴代表

一〇 利家公御帷子寸法書

中山家文書目録

## 十一高徳公専密文

矢部温斎書

六 前田慶寧藩知事免官一件

明治4年7月

こよ 3丁  
り綴(野紙)

## 一二参勤

一 中納言様江戸御下向ニ付湊川船

(寛永18)3月晦日

折紙

橋申付状

横(山)大膳・奥(村)河内→宮腰村主計・三右衛門

十一 小松黄門(利常)宛書狀

(寛永)8月7日

切続紙

(江戸より帰国之義ニ付書狀)

□→小松中納言

三 ちくせん様御迎之節宮腰主計献

10月10日

堅紙

上物ニ付礼状

千福宰相→谷五兵衛・鈴木権介

四 当秋御入国之節御迎御用馬賃銀

(明和)11月

切続紙

ニ付達書

。御算用揚→金岩嘉太夫。金岩嘉太夫→宮腰町年寄中

五 今般方々様從江戸表御国江罷為

文久2年9月

袋綴 26丁

入候に付御迎御用通日用人足履

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

立方一件

六 筑前守様等道中諸事聞合書 戊9月7日 切統紙

七 備後守様御発駕之義ニ付書状 3月23日 切統紙

酒屋八右衛門→三松堂

八 中納言様御帰国ニ付津幡松任に (元和) 5月23日 折紙

て御振舞の着用意申渡書

(奥村)河内栄明・(奥村)因幡庸礼・(横山)山城(長知)→主計・

三右衛門

三 出行

一 松雲院様被為入覚 寛文元(9)年 横帳 31丁

二 鷹御借被成度御意ニ付申渡書 (元和) 3月2日 折紙

(前欠)

奥村河内守(栄明)・横山(康元)大膳亮・奥村(和忠)因幡守・横  
山(長知)山城守・本多(政重)安房守→荒木六兵衛・笹田助左衛  
門

三 預舟御用ニテ宮腰御越ニ付本多 (元禄) 卯月17日 折紙

安房守書状

本(多)安房守政長→河勝三右衛門

四 宮腰町御囲屋舖并浜御屋敷御預 宝永7年6月 統紙

被下ニ付一札

中山甚八郎 (奥書) 中山伊左衛門

五 教千代様御步行御出之節金子頂 (享保12)12月 一紙

戴之覚

中山主計→高島五郎兵衛

六 御出ニ付賄所見分指遣之義申渡 (寛延)明和) 切紙

6月8日

中村久左衛門→佐藤半五右衛門

七 宮腰御出中山家御腰掛ニ付申達 (寛延)明和) 切紙

書

佐藤半五右衛門→中山弥八郎

6月8日

八 宮腰御膳所并御賄所見分人指遣 (寛延)明和) 切紙

ニ付一札

戸田与一郎→佐藤半五右衛門

6月8日

九 泰雲院御出一巻 明和6年6月 横帳 74丁

一〇 御鷹野等御出之義申達等級 (安永4年) 横帳 10丁

前田平馬→宮腰町年寄中・肝煎中

二 中将様御鷹野御出之節御休所被 (安永5年)12月 一紙

仰付度数書上

中山弥八郎→宮腰町御奉行所

三 御鷹野等御出之節御膳所申付書 (安永5年) 横帳 6丁

等級 不破和平・坂井要人→進士武平等

三 御鷹野等御出之義申達等級 (安永6年) 横帳 8丁

正月・2月

野村与三兵衛→宮腰町年寄中・肝煎中

四 御休所等かきかね取付之趣申達 (安永6)2月 切統紙2

并添状

野村与三兵衛→宮腰町年寄中山弥八郎・庄兵衛・肝煎中

五 御休所御座之間爐出来申付書并 (安永・天明) 切統紙2

添状

中村萬右衛門→野村与三兵衛

六 網引之節人足賃等御指越被下度 3月19日 切統紙

書状

野村与三兵衛→中山弥八郎

七 粟崎より相廻りの屋形舟かい指 3月20日 切統紙

之義ニ付申付状

三好儀左衛門→中山弥八郎

福嶋忠兵衛・安土三大夫→中山弥八郎

六 御舟小屋御舟着場修覆御用ニ付 (安永・天明) 3月20日 切紙  
町人足差出申渡状

五 御姫様御出之儀ニ付申伝状 (安永・天明) 3月26日 切統紙  
野村与三兵衛↓宮腰町年寄中・肝煎中

四 御出之節之献立書上 3月 切統紙  
小竹屋七郎右衛門他二名↓御役人衆中

三 御姫様宮腰等御出之節御休所等 3月 切統紙  
之義ニ付申渡書

三 宮腰浜引網之義ニ付指図書 3月 切紙

三 国姫様等御出之節引網之拜領錢 3月 切統紙  
等書上 中山弥八郎

二 御姫様御出ニ付町方役人等懸り (安永・天明) 4月15日 切統紙  
之者調書差出すべく申渡書

二 宮腰栗崎御亭出来ニ付見分到来 (安永・天明) 4月15日 切統紙  
通知状 野村与三兵衛↓宮腰町年寄中山弥八郎・庄兵衛・肝煎中

二 御姫様御出之節御用之人々書上 不 長帳 6丁

二 教千代様御出之節之被下金請取 (天明8) 12月 一紙

二 御鷹野御出ニ付申達書 (天明) 9月6日 切統紙  
中山主計↓恒川七兵衛  
。伊藤津兵衛↓

二 御鷹野御出ニ付申達書 (天明) 9月10日 切統紙  
。野村与三兵衛↓宮腰御年寄中・肝煎中・同町廻足輕中  
。伊藤津兵衛↓野村与三兵衛

二 御鷹野御出ニ付申達書 (天明) 9月10日 切統紙  
。野村与三兵衛↓町年寄・肝煎・足輕中

三 御出之節白銀被下御目錄被下置 (寛政5) 12月24日 切統紙  
ニ付召状

三 寛政十一年勝与八郎様御出迎一 寛政11年 袋綴 7丁  
件 (伊藤)権五郎↓中山主計

三 文化三年同四年兩度ニ御渡有之 (文化3) 10月10日 袋綴 8丁  
御船小屋砂除垣仕法銀拾五貫目  
根元之扣

三 殿様御姫様御出一卷 文化3年~嘉永3年 袋綴 257丁  
(中山)主計

三 勝千代様宮腰御行步御出ニ付 (文政2) 3・4月 切統紙 2  
御休所等見分罷越之義申越状  
中山主計

三 勝千代様宮腰御行步御出ニ付 (文政2) 4月12日 切統紙  
申達書  
。中村宗兵衛・裏輪知太夫↓土肥権六郎  
。土肥権六郎↓宮腰町年寄中

三 直姫様御出之節御供馬宿等勤 卯4月 一紙 3  
ニ付被下銀之請書  
。堀三郎兵衛↓土肥権六郎  
。土肥権六郎↓宮腰町年寄中

三 直姫様御出之節網之者等被下 不 切統紙  
錢寬  
本昌寺・龍源寺・導入寺↓町年寄中山弥八郎

三 文政十一年兩度勝千代様御出 (文政11) 切紙  
之節引網之者等へ被下銀目錄

三 町年寄弥八郎等銀割符之寬 不 切紙

三 文政二年直姫様御出之節被下 (文政2) 切紙  
金目錄

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

⑨ 粟ヶ崎等御行步御出ニ付下宿  
之義申渡状  
。 裴輪知大夫→土肥権六郎  
。 土肥権六郎→宮腰町年寄中  
(文化・文政) 4月20日・21日 切統紙2

⑩ 直姫様御行步御出ニ付申渡書  
。 音地清左衛門→土肥権六郎  
。 土肥権六郎→宮腰町年寄中  
(文化・文政) 8月23日 切統紙

⑪ 直姫様御行步御出ニ付御道筋  
等申渡書  
。 音地清左衛門→土肥権六郎  
。 土肥権六郎→宮腰町年寄中  
(文化・文政) 4月12日 切統紙

⑫ 直姫様御行步御出ニ付御指支  
之有無尋書  
土肥権六郎→宮腰町年寄中  
(文化・文政) 4月7日 切紙

⑬ 勝千代様御出之申達并御道筋  
書  
土肥権六郎→宮腰町年寄中  
(文化・文政) 4月20日 切統紙

⑭ 勝千代様宮腰御出ニ付夫々申  
渡書  
土肥権六郎→宮腰町年寄中  
(文化・文政) 4月22日 切統紙

⑮ 直姫様御出之節網入之者等被  
下銀請取書  
土肥権六郎→松原牛兵衛  
(文化・文政) 7月13日 切統紙

⑯ 御用ニ付召状  
高島右門→中山弥八郎  
(文政12) 4月8日 切紙

⑰ 米操院様宮腰御出之節被下銀  
請書  
高島右門→中山弥八郎  
(文政12) 4月9日 一紙

⑱ 勝千代様御出之義ニ付書状并  
申渡書  
中村重右衛門→中山主計  
4月17・20日 切統紙2

⑲ 御行步御出之義ニ付申達并御  
道書  
。 湯原平馬→御当番御近習頭中  
。 湯原平馬→中山主計  
(天保10) 7月12日 切紙 1

⑳ 御行步御出ニ付諸事不指支様  
申渡書  
奉行(湯原小馬)→宮腰町年寄中・横目肝煎中  
(天保10) 7月21日 切統紙

㉑ 御鷹御出之義ニ付申渡并添状  
湯原平馬→中山主計  
(天保11) 9月21日 切紙 2

㉒ 御鷹御出之野間御道書并申渡  
添状  
(湯原)平馬→中山主計  
(天保11) 11月朔日 切統紙2

㉓ 中山主計献上之肴呈書  
。 湯原平馬→御当番御近習頭中  
。 湯原平馬→御丸御近習  
頭中  
(天保11) 11月2日 切紙

㉔ 御鷹野御出之節町奉行出役難  
致ニ付御用之義不差支様申渡  
書  
(湯原)平馬→宮腰町年寄・横目肝煎中  
(天保11) 9月22日 切統紙

㉕ 御出之節入用品々及び人足大  
工賃并仕切書綴  
子9・10月 切紙 8丁

㉖ 金谷御広式御用役等石高并名  
書  
不 切紙 3

㉗ 真龍院様宮腰御出之節中山宅  
へ参候ニ付申達書  
里見亥三郎→中山主計  
(天保・弘化) 正月23日 切紙

㉘ 金岩様拝領之御菓子配当人々  
書上  
(安永2) 4月29日 折紙

②9 波くずれ間数等書上 酉2月 切紙

上新浜町組合頭左次兵衛・七郎右衛門

③0 宮腰御出中山主計方御休之義 (天保・弘化) 8月23日 切続紙

申渡書

井上井之助↓里見亥三郎

③1 御近習頭與取次役人等書上 不 切紙

③2 宮腰御出之節指上之大野宮腰 (弘化2) 4月16日 24×32

略絵図

③3 基五郎殿等宮腰御立寄之節献 (天保・弘化) 9月21日 切紙 2

上致ニ付金二兩被下状并添状

。野村七兵衛↓里見亥三郎。里見亥三郎↓中山主計・甚

之丞

③4 相公様等御鷹野御出ニ付野間 (天保・弘化) 9月21日 切紙 4

御道書並申達書

。杉木弥右衛門↓里見亥三郎。里見亥三郎↓中山主計

③5 御出之義御延引申達状 (天保・弘化) 9月22日 切紙

里見亥三郎↓中山主計

③6 所々御休御小休等拵方再申渡 (嘉永元) 3月 切続紙

書

成田宗左衛門↓中山主計

③7 基五郎様等宮腰御出之節町家 (嘉永2) 2月20日 切紙 2

之者御作法方等申渡書并添状

。今村清左衛門↓成田宗左衛門

③8 松之御殿女中宮腰罷越候節御 (嘉永) 9月11日 続紙

宿致ニ付礼状

。榎木左衛門↓中山主計

③9 申渡之義有之ニ付召状并返状 (嘉永) 12月22日 切紙

半田権之丞↓中山主計

④0 中山主計方御膳所相建ニ付御 (嘉永) 戊辰12月12日 切紙 2

買揚品代料書指出べく申達書

。里見亥三郎↓半田権之丞。半田権之丞↓中山主計

④1 打木浜於御覽所御三方様被召 (嘉永) 8月8日 続紙

上之物書上

④2 十月二十二日筑前守様等御出 (嘉永2) 12月 袋綴 4丁

諸入用書上帳

肝煎宗兵衛等六人↓宮腰町御奉行所

④3 豊之丞殿御行歩之節中山主計 (嘉永) 12月晦日 切紙 2

御小休所勤ニ付被下銀申渡書

并添状(紙背文書)

高木兵部↓半田強之丞

④4 打木浜調練場之図 (嘉永3年) 40×56

④5 宇津木浜調練場御用ニ付大工 (嘉永) 8月晦日 切続紙

等罷越之義書状

阿部久米助↓半田権之丞

④6 中山主計方御用ニ付諸道具書 (嘉永) 8月 切続紙

上

御膳所

④7 御殿様御出ニ付心得等申渡書 (嘉永3) 8月晦日 切続紙

半田権之丞↓宮腰町年寄中

④8 御筒等打木浜持運ニ付増船人 (嘉永) 8月晦日 切紙

足冬瓜渡往来留之義申渡書

里見亥三郎↓半田権之丞

④9 相公様御鷹野御出ニ付供前等 (嘉永) 8月晦日 切続紙

申渡書

赤井伝右衛門↓半田権之丞

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

⑤御鷹野御出ニ付準備方相談之 (嘉永) 8月晦日 切紙

旨達書  
宮川久兵衛↓宮腰町御奉行衆中

⑥御鷹之節御小休所下宿等雜貨 (嘉永3) 10月8日 切続紙2

相懸リニ付申渡書

半田権之丞↓中山主計

⑦豊之丞殿打木浜御出之節中山 (嘉永3) 11月24日 切続紙

家立寄ニ付被下銀通知

赤井伝右衛門↓半田権之丞

⑧御舟歌場周刃図 文化4年3月

役所ひかへ

(47×71  
彩色)

⑨御出御往来之節罷出方申達書 (文化・文政) 4月4日 切続紙

土肥権六郎↓中山主計

⑩勝千代様御出ニ付曳網并召舟用 (文化・文政) 4月26日 切続紙

意方申達書

。改田主馬↓土肥権六郎、土肥権六郎↓宮腰町年寄中

⑪勝千代様御行歩御出ニ付御舟并 (文政2) 閏4月5日 切続紙

引網用意方申達書

。藤田求馬↓土肥権六郎、土肥権六郎↓宮腰町年寄中

⑫直姫様宮腰御行歩之節白銀被下 (文政3) 7月 一紙

ニ付請書

中山主計↓土肥権六郎

⑬殿様御鷹野御行歩等之節中山家 文政8年 袋綴 6丁

御宿勤来ニ付御座之門等修覆之

為御貸米願

中山主計↓中川外記

⑭(直姫様)御出ニ付縮方見分之為 (文政12) 4月朔日 切続紙

御越之義請書  
町年寄中山弥八郎↓御奉行所

⑮直姫様宮腰御行歩ニ付申達書 (文政12) 4月15日 切続紙

。音地清左衛門・中村木工↓土肥権六郎

。土肥権六郎↓宮腰町年寄中

⑯直姫様宮腰等御行歩ニ付御縮見 (文政12) 4月18日 切続紙

分出立之義申達書

。松原牛兵衛・小森源左衛門↓土肥権六郎

。土肥権六郎↓宮腰町年寄中

⑰直姫様御行歩御出之義申談ニ付 (文政12) 4月19日 切紙

召状

土肥権六郎↓宮腰町年寄中

⑱直姫様宮腰御行歩御出ニ付申渡 (文政12) 4月24日 切紙

書

土肥権六郎↓宮腰町年寄中

⑲勝千代様御出ニ付申達書 (文政12) 4月26日 切続紙

。中村宗兵衛↓土肥権六郎、土肥権六郎↓宮腰町年寄中

⑳勝千代様御行歩御出ニ付申達書 (文政12) 4月27日 切紙

土肥権六郎↓宮腰町年寄中

㉑勝千代様御出之節銀被下ニ付請 (文政12) 6月 切紙

書

中山主計↓土肥権六郎

㉒打木浜御出之節御次為御用御買 亥3月 袋綴 2丁

上之品等取調書上

㉓殿様等御出方之義ニ付御宿心得 (天保) 3月2日 切続紙

内分申入書

(湯原)平馬↓中山主計

吾 栄操院様御出ニ付縮方見分之義 (天保10) 3月24日 切統紙

申達書  
。小幡左守↓湯原平馬

五 御鷹野御出ニ付召船等用意方申 (天保10) 3月24日 切統紙2

達并野間御道書  
。湯原平馬↓宮腰町年寄中・横目肝煎中  
。山森権太郎↓宮腰町御奉行衆中

三 基五郎殿等御行步御出ニ付道書 (天保10) 3月24日 切統紙

并縮方見分之義申達書  
。角屋孫兵衛・丹羽権佐↓湯原平馬  
。奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 方々様御行步御出ニ付御供人宿 (3月24日) 切統紙

等心得方申達書  
奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 粟ヶ崎御旅屋より陸通にて御出 (3月25日) 切統紙

ニ付御船御用無之旨申達書  
上坂左次馬↓宮腰町御奉行衆中

三 泉野訓練場之外打木浜等訓練御 (4月15日) 切統紙

覽差許之義并作法ニ付触書  
御横目↓

三 御鷹御出ニ付町掃除之義等ニ付 (天保10) 4月16日 切統紙

申達書  
湯原平馬↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 御出之節町附足輕等賄代并御買 (天保10) 5月 切統紙

揚物代錢渡書  
。山森九兵衛↓湯原平馬、湯原平馬↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 御鷹野御出之申渡并野間御道書 (天保10) 7月28日 切統紙2

及添書

六 相公様御出之節諸入用書上 (天保11年・嘉永元年) 切統紙

殿様御出順路及諸注意申達書 (天保・弘化) 3月13日 切統紙

六 方々様御出雨天之節中山家御立 (天保・弘化) 3月28日 切紙

寄之旨通知  
里見亥三郎↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

六 基五郎殿等御出之節中山家御立 (天保・弘化) 4月朔日 切統紙

寄之旨通知  
瀬川久右衛門↓里見亥三郎

六 真龍院様宮腰等御行步御出ニ付 (天保・弘化) 4月25日 切紙

中山主計献上之御肴送状 (天保・弘化) 4月27日 切紙

六 御幕受取差向ニ付一札 (4月27日) 切統紙

金谷留書所↓中山主計

六 真龍院様宮腰粟ヶ崎御出之御道 (天保・弘化) 4月29日 切統紙

筋書并申達  
林武右衛門↓里見亥三郎

六 茶碗等預ケ書 (不) 切紙

豊之丞殿御出之節中山家献上物 (天保・弘化) 2月26日 切紙

六 中山主計等御鷹野之節御休所勤 (天保・弘化) 切紙

献上物致ニ付白銀被下状  
永原貢↓里見亥三郎

六 御鷹野御休所相勤献上物致ニ付 (弘化元) 12月25日 切統紙

下状  
中山主計・中山甚之丞

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

里見亥三郎—中山主計・甚丞

三 御殿様御出之節御宿割書 弘化2年3月16日 切続紙

三 御鷹野之節御休所勤献上物致ス 弘化2)3月25日 切紙  
ニ付御目錄被下状

里見亥三郎—中山主計・中山甚丞

三 殿様御出之義ニ付御広式頭中へ 弘化2)4月朔日 切紙  
御尋方の旨書状

里見亥三郎—中山主計

三 御殿様中山家立寄之儀伝達書 弘化2)3月16日 一紙

栗崎村肝煎安兵衛—宮腰町御役人中

三 殿様御出ニ付申渡之儀有之肝煎 弘化2)3月12日 切紙  
召状

里見亥三郎—宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 殿様御出ニ付御小休場心得等準 弘化2) 切紙  
備方書上

三 殿様御出ニ付浜掃除等ニ付申達 弘化2) 切紙

三 殿様御出之順路御道書 弘化2) 切紙

三 筑前守様等打木浜御出之御道筋 天保・弘化) 切続紙2  
書并添状

林茂左衛門—里見亥三郎、里見亥三郎—中山主計

三 筑前守様宮腰筋御出ニ付申達書 天保・弘化) 切紙  
并添状

園田一兵衛—里見亥三郎、里見亥三郎—中山主計

里見亥三郎—宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 御殿御鷹野御出通知并宮腰町奉 天保・弘化) 切紙 2  
行申達書 10月14日

。庄田吟右衛門—宮腰町御奉行衆中  
。里見亥三郎—中山主計

三 筑前守様御出之節献上物有之ニ 弘化2年12月29日 切続紙  
付目錄下状

里見亥三郎—中山主計・中山甚之丞

三 筑前守様御休所相勤献上物致ニ 天保・弘化) 切続紙  
付被下物頂戴受書指出べく申達 12月29日

里見亥三郎—中山主計・甚丞

三 筑前守様打木浜御出ニ付往来指 弘化3) 切紙  
留及御休所等申渡書 閏5月19日

高沢平十郎・大野木外三郎—宮腰町御奉行衆中

三 女中方宮腰立寄ニ付茶代等被下 弘化4年4月4日 切紙  
書

二御丸御広式留書所—中山主計

三 御鷹野御出御道書之義等ニ付書 弘化・嘉永) 切紙  
状 5月18日

池嶋宇兵衛—中山主計

三 御鷹野御出之義紙面到来ニ付申 弘化・嘉永) 切紙  
渡書 9月22日

池嶋宇兵衛—中山主計

三 火術御覽御用ニ付旅宿之義申渡 嘉永元)7月24日 切続紙  
書

内作事奉行村上七左衛門—宮腰肝煎方

三 打木浜御出之節御仮屋御座之間 嘉永元)7月29日 切続紙  
ニ御燭台御用ニ付才覚申渡書

成田宗左衛門—中山主計

三 宇津木浜御出御用として御大工 弘化・嘉永) 切紙  
等差遣義ニ付申渡書 8月朔日

岡田隼人—成田宗左衛門

三 火術御覽御出ニ付冬瓜御召場普 嘉永元)8月朔日 切続紙

請等に付申達

成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 黒田隼人より申来之添状 (弘化・嘉永) 8月朔日 切統紙

成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 御浜御飯屋入用品々覚 (嘉永元) 8月2日 切統紙

成田宗左衛門↓中山主計

三 栄操院様相公様宮腰御出ニ付申 (嘉永元) 8月4日 切統紙

渡書

成田宗左衛門↓中山主計

三 火術御覽ニ付宮腰より松任往来 (嘉永元) 8月4日 切統紙

指留通達

。小川群吾郎・小川七郎左衛門↓山崎小右衛門

。山崎小右衛門↓成田宗左衛門

三 火術御覽に付宮腰より松任往来 (嘉永元) 8月4日 切紙

指留申渡書

成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 御鷹野等御道行之義御尋ニ付書 8月4日 切統紙

状

車屋伊兵衛↓中山主計

三 打木浜ニ而小川家火術御覽ニ付 (嘉永元) 8月5日 切統紙

条々申渡書

成田宗左衛門↓中山主計

三 火術御覽御供之節焼飯用意願等 8月5日 切統紙

ニ付書状

牧山六郎左衛門↓中(山)主計

三 御出之節入用品々書上 8月5日 切統紙

御膳所

三 御膳所御用品々用意方ニ付申渡 (嘉永元) 8月6日 切紙

書

成田宗左衛門↓中山主計

一三 栄操院様御出ニ付御長持等遣し (嘉永元) 8月7日 切紙

預置書

二 御丸御広式留書所↓宮腰中山主計

一三 往来留の義ニ付添状 (嘉永) 8月7日 切紙

池嶋宇兵衛↓中山主計

一四 申来之義ニ付添状 (嘉永元) 8月7日 切紙

成田宗左衛門↓中山主計

一五 浜御出の筋御用之義尋書并添状 (嘉永元) 8月7日 切紙 2

成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎

一六 相公様御出之節焼飯用意方等心 8月9日 切統紙

配り之義ニ付礼書状

牧山六郎左衛門↓中(山)主計

一七 食事用意方覚書 不 切統紙

一八 栄操院様御休所御櫓材木損料人 (嘉永元) 8月15日 切紙

足賃等請取之儀内々申入書

成田宗左衛門↓中山主計

一九 乗物八挺昇人指向ニ付宿之義頼 (嘉永2) 閏4月11日 切紙

状

田中平次郎・内田八郎兵衛↓中山主計

二〇 状箱等返脚状 (嘉永2) 閏4月11日 切統紙

二 御丸御広式留書所↓中山主計

二一 大葛籠等送状 (嘉永2) 閏4月13日 切紙

二 御丸御広式留書所↓宮腰中山主計

二二 葛籠、鯛等請取書書 9月朔日 切紙

金谷御殿留書所↓

二三 筑前守様打木浜御出ニ付御用中 (嘉永2) 9月2日 切統紙 2

止宿等ニ付申渡書

。小川七郎左衛門・小川友左衛門↓坂井忠左衛門・山崎小右衛門

。坂井忠左衛門↓半田権之丞

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

二四 筑前守様打木浜御出之義ニ付往 (嘉永2) 9月3日 切続紙  
来留願并添状

。小川七郎左衛門・小川友左衛門↓坂井忠左衛門・山崎小右衛門  
坂井忠左衛門↓半田権之丞

二五 筑前守様打木浜御出ニ付御仮屋 (嘉永2) 9月3・4日 切紙  
用意方申渡并添状

。岡田隼人↓半田権之丞。半田権之丞↓宮腰町年寄中。  
横目肝煎中

二六 筑前守様打木浜御出ニ付往来留 (嘉永2) 9月4日 切紙  
増舟之義等申渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

二七 筑前守様御出ニ付冬瓜渡場舟用 (嘉永2) 9月4日 切続紙  
意之旨申渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

二八 筑前守様御出ニ付宮腰より松任 (嘉永2) 9月4日 切紙  
边往来留之義申渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

二九 筑前守様御出ニ付御用人々止宿 (嘉永2) 9月5日 切紙  
之義取渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三〇 筑前守様打木浜御出ニ付御用人 (嘉永2) 9月5日 切続紙  
々止宿割覚

小川七郎左衛門・小川友左衛門↓半田権之丞

三一 打木浜御出ニ付従者宿之義申達 (嘉永) 9月6日 切紙  
書

坂井忠左衛門↓半田権之丞

三三 筑前守様打木浜御出之義紙面指 (嘉永2) 9月7日 切続紙  
越ニ付申渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中・横目肝煎中  
三三 筑前守様打木浜御出ニ付人縮御用 (嘉永2) 9月 切紙 2  
申付書并添書

。小川七郎左衛門・小川友左衛門↓半田権之丞  
半田権之丞↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三四 大薬缶等中山主計方より借用物 9月 切紙  
覚

三五 茶わん手桶等之覚 10月5日 切紙

二ノ御広式役所↓宮ノ腰中山甚之丞

三六 御幕入御長持渡方依頼状 10月7日 切紙

二ノ御広式人割所↓宮ノ腰中山甚之丞

三七 真龍院様御出之節女中ニ為持荷 10月8日 切続紙  
物覚

二御丸御広式留書↓中山甚之丞

三六 長持等指渡之義ニ付覚 (嘉永2) 10月19日 切紙

金谷御殿留書所↓中山主計

三九 御出之節鍋引盆等御仕抹方ニ付 10月20日 切続紙  
尋書

金谷留書所↓中山主計

三〇 御鷹野之振を以宮腰辺御出ニ付 (嘉永) 10月21日 切紙  
道筋等申渡書

鷹栖守人↓半田権之丞

三三 御鷹野之振ニテ御出被仰出ニ付 (嘉永) 10月21日 切続紙  
申達書

鷹栖守人↓半田権之丞

三三 打木浜御出之節御用焚炭代料ニ (嘉永2) 11月4日 切続紙  
付一札

中村十郎平↓半田権之丞

三三 筑前守様打木浜御出之節御仮屋 嘉永2年12月 一紙  
薪等御用相勤ニ付拝領金被下請

取覽

中山主計

一四 筑前守様御出野間道筋書 (嘉永2年) 切紙

一三 豊之丞様御付人等書上 不 折紙

一六 女中幸の様分道具番割書 不 切紙

一七 筑前守様御鷹野御出之節小判拜 嘉永3年2月8日 一紙

領被仰付ニ付請書

中山主計・中山甚丞↓半田権之丞

一六 御船手足輕才許役より指出川図 嘉永3年5月 40×55 (彩色)

一三 御鷹野御出ニ付申渡并野間道書 (嘉永3) 8月19日 切続紙2

(後欠)

里見亥三郎↓半田権之丞

一四 里見亥三郎より申来り之義ニ付 (嘉永3) 8月19日 切紙

申達添状

半田権之丞↓宮腰町年寄中

一四 御出御用ニ付冬瓜渡し往来留申 (嘉永3) 8月20日 切紙

渡書

里見亥三郎↓半田権之丞

一三 打木浜御出之節船用意之儀ニ付 (嘉永) 8月21日 切紙

申達状

里見亥三郎↓半田権之丞

一四 御出之義ニ付船用意等申渡書 (嘉永3) 8月22日 切紙

半田権之丞↓宮腰町年寄中

一四 宮腰相河屋佐次右衛門火矢御細 (嘉永3) 8月22日 切続紙

工所御用申付ニ付通知状

小川群吾郎・小川七郎左衛門↓半田権之丞

一五 相公様御鷹野豊之丞殿御出之義 (嘉永) 8月24日 切続紙

申伝状

赤井伝右衛門↓半田権之丞

一四 打木浜火術御覽ニ付從者宿之義 (嘉永3) 8月24日 切紙

申渡書

山崎小右衛門↓半田権之丞

一四 打木浜ニ而火術御覽御用出役之 (嘉永3) 8月24日 切続紙

人々旅宿願

。小川群吾郎・小川七郎左衛門↓山崎小右衛門・茨木主殿

一四 御出之節御供人旅宿割覚 不

渡書

。山崎小右衛門↓半田権之丞

一四 打木浜御出之儀ニ付心得方等申 (嘉永3) 8月25日 切続紙

渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中

一五 御出之節御供船用意ニ付申渡書 (嘉永3) 8月25日 切続紙

申渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中

一五 冬瓜渡舟入札之義等紙面到来ニ (嘉永3) 8月25日 切続紙

申渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中

一五 打木浜御出之節御供船用意方ニ (嘉永3) 8月26日 切続紙

申渡書

半田権之丞↓宮腰町年寄中

一五 御鷹野御出之義御延引ニ付申達 (嘉永3) 8月27日 切紙 2

書

。庄田吟右衛門↓半田権之丞。半田権之丞↓宮腰町年寄中

一五 御出之義御延引ニ付申達 (嘉永3) 8月27日 切続紙

申達

半田権之丞↓宮腰町年寄中

一五 打木浜火術御覽御延引ニ付御簡 (嘉永3) 8月28日 切紙

縮方申渡書

小川群吾郎・小川七郎左衛門↓半田権之丞

一五 打木浜御飯屋御用大工引取ニ付 (嘉永3) 8月28日 切紙

御用之品々宮腰会所預申渡書

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

里見亥三郎→半田権之丞

一五 宮腰町会所預ケ之打木浜御仮屋 (嘉永3) 8月28日 切紙

大工道具返却方可申談達書

里見亥三郎→半田権之丞

一六 打木浜御仮屋御用品預置之義ニ (嘉永3) 8月28日 切統紙

付申渡書

半田権之丞→宮腰町年寄

一七 御座所修覆方困窮ニ付難斗貸米 (嘉永3) 10月

願申上書

南森下村金右衛門→御郡所

一八 御出之節諸道具書上并心得方書 不 切統紙

一九 打木浜御出壯猶館調練御覽之達 (嘉永4) 9月5日 切統紙

井道書

二〇 打木浜御出之義ニ付申達書 (嘉永) 9月6日 切紙

中村十郎平→半田権之丞

二一 筑前守様御行歩道筋書 9月25日 切統紙

二二 筑前守様等御鷹野御出ニ付達并 (嘉永4) 10月16日 切紙 3

道書及添状

半田権之丞→中山主計

二三 殿様等御出一巻留 (嘉永4) 年→安政6年 袋綴 139丁

中山主計

二四 傘代金仕切并小竹屋等木材品 (嘉永4) 2月 折紙

書上

二五 宮腰代官金谷御殿召状并筑前 (嘉永4) 10月

守様宮腰御出之義申渡状

切紙 3  
切統紙 3

湯原平馬→半田権之丞、赤井伝右衛門→半田権之丞

半田権之丞→宮腰町年寄中

④ 下安原村伊右衛門土居拵方申 不 切紙

談書

⑤ 豊之丞殿等御出ニ付御供船之 (嘉永) 5月朔日 切統紙

義等々々申渡書

菊池常三→宮腰町年寄中

⑥ 宮腰御出之節火箸取紛持參致 (嘉永) 5月7日 切統紙

ニ付返却方書状

⑦ 豊之丞殿より御出之節御立寄 (嘉永) 7月8日 切統紙

ニ付中山主計等銀被下申渡書

馬場右近→菊池常三

⑧ 松御殿御成之節頂戴之御菓子 5月2日 折紙

配り覚

⑨ 真龍院様御出之節被下銀請書 (嘉永6) 5月21日 一紙

中山主計→齊藤与兵衛・浅香嘉門

⑩ 豊之丞殿宮腰御出中山方立寄 (安政4) 9月22日 切紙

ニ付申渡書

齊藤与兵衛・浅香嘉門→中山主計

⑪ 筑前守様御出之義ニ付申渡書 (安政) 11月15日 切統紙 2

并指支之有無御尋之添状

浅香嘉門→宮腰町年寄中、横目所→中山主計

⑫ 御用有之ニ付召状 (安政) 12月29日 切紙

浅香嘉門→中山主計

⑬ 御奥女中等宮腰罷越ニ付昼飯 3月13日 切統紙

之義願状

桃木林左衛門→中山主計

⑭ 中山主計義役所江召状 (安政) 3月8日 切紙

齊藤与兵衛・浅香嘉門↓中山主計・甚丞

⑮女中等罷越之義申進状 3月15日 切紙

松御殿御入用方↓中山主計

⑯女中共罷越ニ付座敷料賄料持進之義ニ書状 3月18日 切紙

栴木林左衛門↓中山主計

⑰筑前守様御出ニ付野間御道書 調理指越べく達書并添状 8月晦日 切紙 2

。青地采女↓齊藤与兵衛、齊藤与兵衛・浅香嘉門↓中山甚丞

⑱筑前守様御行歩行程被仰出書 9月24日 切紙

⑲御鷹野等御出之節御用相勤之度数調理差出べく申達 6月22日 切紙

古田直之丞↓中山甚丞

⑳御行歩御出之義ニ付申渡書并御道書及添状 9月3・5日 切紙 3

。庄田吟右衛門↑宮腰町御奉行衆中、浅香嘉門↓中山甚丞

㉑御出之義遣方添状 9月17日 切紙

宮腰方留書↓中山甚丞

㉒諸士住所書上 不 切紙

㉓真龍大夫人より拝領之御菓子配り覚(紙背文書) 安政3年10月6日 切紙

㉔中山家御膳所相建之義申来ニ付返書 4月8日 切紙

(丹羽)織人↓中山主計

一六 筑前守様打木浜御出之節焚炭代之義ニ付申達 4月28日 切紙

中村十郎平↓半田権之丞

一七 平野弥十郎宮腰行之義ニ付書状并添状 4月29日 切紙 2

。林源多郎↓(半田)権之丞、権之丞↓(中山)主計

一八 筑前守様、打木浜御出ニ付宮腰町家釣提灯借上之義申達 閏2月11日 切紙

恒川新左衛門↓菊池常三

一九 筑前守様調練御覽御出之節借上品々調達申達并添状 閏2月11日 切紙 2

。恒川新左衛門↓菊池常三、菊池常三↓中山主計

二〇 御附頭中より書面添状 閏2月12日 切紙

菊池常三↓宮腰町年寄中

二一 筑前守様御出ニ付道書并往来指留等申達状綴 閏2月13日 切紙 4丁

菊池常三↓宮腰町年寄中

二二 筑前守様打木浜御出ニ付冬瓜渡御召船調達方申達 閏2月14日 切紙

恒川新左衛門↓菊池常三

二三 宇津木浜御用之土工等罷越ニ付申渡書 閏2月14日 切紙

村安左衛門↓菊池常三

二四 筑前守様打木浜御出調練御覽ニ付申渡書 閏2月15日 切紙

。恒川新左衛門↓菊池常三、菊池常三↓宮腰町年寄中

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

一七五 筑前守様御鷹野振を以打木浜調  
練御覽之義申達書 (嘉永5) 閏2月15日

高木兵部→菊池常三

切統紙

一七六 筑前守様打木浜御出ニ付申達  
恒川新左衛門→菊池常三 (嘉永5) 閏2月15日

切紙

一七七 豊之丞様御同道之旨ニ付申渡書  
菊池常三→宮腰町年寄中 (嘉永5) 閏2月15日

切紙

一七八 筑前守様打木浜調練御覽ニ付御  
用品書上并御道書等 (嘉永5) 閏2月

切統紙

恒川新左衛門→菊池常三・菊池常三→中山主計

一七九 豊之丞様宮腰町より粟ヶ崎筋御  
行歩ニ付申渡書 (嘉永5) 3月15日

切紙 2

菊池常三→宮腰町年寄中

一八〇 豊之丞殿宮腰御出之節難致出役  
ニ付諸事御用不支様申渡書 (嘉永5) 3月16日

切統紙

菊池常三→宮腰町年寄中

一八一 筑前守様御行歩御出之節、御目  
録を以拝領被仰付ニ付請書 (嘉永7) 3月9日

一紙

中山主計・中山甚丞→齊藤与兵衛・浅香嘉門

一八二 中山主計方ニ而御膳所相建ニ付  
御用諸品書上綴并添状 (嘉永) 4月

こより綴  
切統紙2

庄田吟右衛門→宮腰町御奉行衆中・菊池常三→中山主計

一八三 浜ニ而入用ニ付唐油紙渡方依頼  
書 (嘉永) 2月29日

切紙

辻宗春→中山主計

一八四 提灯者張借用依頼書 (嘉永) 4月26日

切紙

奥附御横目足輕栗原源之助→

一八五 御出之節御道書 (嘉永) 4月26日

切紙

一八六 浜於御飯家御次用ニ付大薬罐等  
借用致度品々覚 (嘉永) 4月26日

切紙

一八七 土瓶等借用致度品覚 (嘉永) 4月26日

切紙

山本久徳→

一八八 中納言様御出ニ付申達并御道書  
浅香嘉門→町年寄中 (嘉永・安政) 4月28日

切統紙

浅香嘉門→町年寄中

一八九 真龍院様宮腰御出之節御入用品  
々借料等取調理申達書 (嘉永・安政) 5月6日

切紙

古屋甚兵衛→齊藤与兵衛

一九〇 筑前守様御出之義申達并野間御  
道書 (嘉永・安政) 10月27・28日

切統紙

齊藤与兵衛・浅香嘉門→宮腰町年寄中

一九一 豊之丞様宮腰ニ御出中山主計家  
立寄并御供船御用之義申渡書 (嘉永6) 9月20日

切統紙

齊藤与兵衛・浅香嘉門→宮腰町年寄中

一九二 宮腰御行歩之節之礼書状  
二之御丸友井→中山 (嘉永) 9月20日

切紙

一九三 筑前守様宮腰御出ニ付心得申渡  
書 (嘉永6) 11月15日

切紙

浅香嘉門→宮腰町年寄中

一九四 打木浜御出ニ付中山甚之丞方御  
膳所冬瓜渡御召船之義等申達 (嘉永・安政) 2月26日

切統紙

齊藤与兵衛・浅香嘉門→中山甚丞

一九五 相公様御鷹野御出ニ付申渡書并  
御道書 (嘉永・安政) 4月晦日

切紙

切統紙 2

齊藤与兵衛・浅香嘉門→中山主計

一六 相公様等御出ニ付浜御仮屋等之 (嘉永・安政) 切統紙  
義申渡書 4月晦日

齊藤又兵衛・浅香嘉門→中山主計

一七 豊之丞殿三月五日御出之節被下 (嘉永・安政) 7月 切統紙  
銀頂戴方申渡書

戸田純之助→齊藤与兵衛・浅香嘉門

一八 筑前守様打木浜御出之義ニ付申 (嘉永・安政) 8月16日 切統紙  
渡書

浅香嘉門→宮腰町年寄中

一九 筑前守様御出御延引ニ付申達書 (嘉永・安政) 8月16日 切統紙  
渡書

浅香嘉門→宮腰町年寄中

二〇 宮腰領字式枚川筋鴨付場御寄垣 (安政2) 正月24日 切紙  
取付ニ付申渡書

御鷹方→、齊藤・浅香→宮腰町年寄中、山崎忠左衛門・薄井円助→齊藤・浅香

二一 真龍院様官腰御出之節引網被仰 (安政3) 10月10日 切紙  
付買揚肴料調理書紙提出申渡書

浅香嘉門→宮腰町年寄中

二二 御出之義申渡并御道書 (安政3) 10月 切統紙

立川兵大夫→浅香嘉門、浅香嘉門→中山甚丞

二三 文政十二年、天保十年分等引網 (安政3) 切紙  
料被下高書

二四 打木浜御出ニ付達并御道書及添 (安政) 2月27日 切紙  
書 浅香嘉門→中山甚之丞 2丁

中山家文書目録

二五 筑前守様打木浜御出ニ付往来留 (安政) 8月17日 切統紙  
等申渡并御用品々書上

高沢平十郎・大野木源蔵→宮腰町御奉行衆中  
浅香嘉門・小幡主税→宮腰町年寄中

二六 筑前守様御出天氣合之義申達状 (安政) 文久) 8月23日 切紙  
小幡主税→宮腰町年寄中

二七 真龍院様粟ヶ崎御旅屋御出ニ付 (安政6) 4月12日 切統紙  
達 (丹羽)織人→中山主計

二八 真龍院様大野粟ヶ崎御出之義ニ (丹羽)織人→中山主計 4月12日 切統紙  
付書状 八右衛門→中(山)而後

二九 ①殿様等御出一巻留 (安政6年) 慶応2年 袋綴 97丁  
中山主計

②御鷹野御休所勤之被下方願之 6月27日 切紙  
義申達

丹羽鳴吉→宮腰町御奉行衆中

③御出之節入用品々覚 不 切紙

④打木浜御出ニ付御小休御膳所 8月17日 切紙  
往来指留等之義申渡書

⑤中納言様御出之道筋書 (安政・文久) 4月13日 切統紙  
(丹羽)織人→宮腰町年寄中

⑥御用達人等役職書上 不 切統紙

⑦陸姫様より拝領之御菓子配覚 万延元年 閏3月19日 一紙

⑧御広式御入来之御料理等代金 申9月 切紙  
仕切 海広屋九兵衛→中山主計 2

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

⑨ 中山主計等御用有之ニ付召状 (文久2) 4月24日 切紙

(神尾)篤治郎・(坂井)三郎兵衛→中山主計・中山而後

⑩ 小谷鍊太郎申来之義ニ付添状 (文久・慶応) 3月11日 切紙

(坂井)三郎兵衛→中山主計

⑪ 小谷鍊太郎御鷹野御出之節献 (文久・慶応) 3月11日 切紙

上物之義ニ付尋状

中山主計→坂井三郎兵衛

⑫ 筑前守様等御軍艦御覽御出ニ 3月17日 切統紙

付申渡書

笠間小源太→宮腰町奉行衆中

⑬ 筑前守様御出之節献上之品々 (文久3) 6月14日 こよ

相調書差出べく申渡書并添状

・原田又右衛門→神尾篤治郎

・(坂井)三郎兵衛→中山主計

⑭ 礼姫様御行步御出之義延引ニ (文久) 4月4日・5日 切統紙

付申渡書

・山口弥五兵衛→神田吉郎左衛門

・(坂井)三郎兵衛→中山主計・宮腰町年寄中

⑮ 中山而後より生絹等差上書并 12月29日 切紙 2

添状

石野主馬→長谷川学方老

三〇 真龍院様大野辺御行步ニ付達書 (安政) 4月12・13日 切統紙

・高田幸助→丹羽織人・小幡主税

・(丹羽)織人→宮腰町年寄中

三一 筑前守様宮腰御出之節献上物等 万延元年8月 一紙

仕ニ付白銀拝領之義請書

中山而後・中山主計→丹羽織人・小幡主税

三三 若御前様等粟ヶ崎宮腰御行步ニ (文久3) 3月23日 切統紙  
付達并道書

・田辺甚太夫→神尾篤治郎・坂井三郎兵衛  
・等治郎・三郎兵衛→宮腰町年寄中

三三 若御前様等宮腰浜御出之節御仮 文久3年2月29日 40×55  
屋絵図

三四 宰相様金石町御出ニ付達 (慶応3) 4月1日 切統紙

(岡田)雄之進→町年寄中

三五 殿様御出之節中山家御借上等願 (慶応3) 4月 切統紙

中山主計→額彦四郎・亀田純藏・中屋彦十郎・香林坊平助

三六 堀半左衛門組等調練宇津木浜ニ 4月2日 こよ 3丁

而御覽ニ付申渡書等綴

堀半左衛門・村縫殿右衛門→宮腰町御奉行衆中

三七 打木浜ニ而壮猶館大小砲打御覽 4月4日 切統紙

ニ付達并御道書

三八 紙面等中山家送状 閏4月13日 切紙

二御広式人刻所→折違橋河合屋与左衛門

三九 御膳所御用品々調理書 (紙背文書) 不 切紙

三〇 御鷹野御出之達并御道書 4月7日 切統紙

高田久兵衛→宮腰町御奉行衆中

三一 浜御仮屋御用之品書 8月7日 切紙 2

御膳所

三二 金子指進達添状 10月10日 切紙

二御丸人わり所中山達之進→中山甚之丞

三三 筑前守様御出之節綱献上之義尋 12月13日 切紙

書 金谷御殿留書所→中山主計

三四 御膳所浜御仮屋御借揚之品扣 不 長帳 2丁

三五 中山弥八郎方御鷹野等之節御休  
所被仰ニ付修覆願承届等之覚 不 切紙 2624 × × 3622 2

三六 若殿様御行歩御出ニ付諸役極書 不 切統紙 2

三七 宿割書 不 折紙 3

三八 寛文以来御殿様等中山家ニ而御  
休之覚 中山恒治 不 一紙

三九 御元祖様以来御出之節中山家御  
休之義書上 不 切紙

四〇 浜御飯屋御用品松御殿より持参  
分書上 松之御殿桑山次作↓中山主計 4月晦日 一紙

四一 宮腰御鷹野等御出之節辻々子共  
等罷出ずよう触書 8月25日 切紙

四二 教千代様宮腰御出之節献上物有  
之ニ付金子被下状 林和左衛門・成田津太夫↓町年寄弥八郎・庄兵衛 未12月 切紙

四三 引網船等借賃奉行所より請取覚 亥12月11日 切紙

四四 御姫様等御出之節警固并借用物  
等覚 不 長帳 17丁

四五 相公様御鷹野御出之申達并御道  
筋書 不 切統紙

四六 基五郎殿等宮腰御出之節献上物  
致ニ付小判被下状 不 切紙

四七 御入之義有無等ニ付書状 中山主計・中山甚之丞 4月6日 切紙

四八 御網場御幕張図 不 40 × 55

三九 打木浜御小屋周刃図 不 2624 × × 3622 2

三〇 吉 事

一 加賀守様御元服御祝儀取次之義 (承応3) 2月9日 切紙

二 前田綱利(紀)嫁娶之節宮腰町中 (万治元) 7月28日 折紙

三 中將様参議御拜任ニ付町中一統 (天保2) 12月20日 切統紙

四 江戸御屋鋪御老中方御招請之節 安永2年5月18日 袋綴 7丁

五 溶姫君様御入與御儀名御道具書 文政10年11月27日 切統紙

六 犬千代様御改名之義申渡書 (天保12) 12月 切統紙

七 多慶若様御幟土橋御門内ニ相健 (嘉永・安政) 4月 切統紙

八 筑前守様婚礼整ニ付範君様呼唱 (安政5) 4月 切統紙

九 御休息之間御床鏝并能番組献立 書

一〇 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門 停止之義申渡書

一一 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

一二 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

一三 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

一四 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

一五 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

一六 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

一七 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

一八 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

一九 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

二〇 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

二一 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

二二 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

二三 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

二四 御横目↓御馬廻頭衆中。羽田三作↓浅香嘉門

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

九 位階昇進達  
前田土佐守→羽田三作・羽田三作→浅香齋門  
(安政5)11月

二 前田齊泰六男前田桃之丞六歳之  
節之書 前田桃之丞 一枚

二 重陽之祝詞執行之義等ニ付書状 9月2日 切統紙

三 犬千代丸様へ清太夫白髪上候一  
件(前欠) 不 切統紙

三 前田家家督相統ニ付家中諸事申  
達書(前後欠) 不 切統紙

一四 病 氣

一 前田利常筑前守様御俄付之節宮  
越町惣代罷越ニ付御印物 (正保) 卯月23日 折紙

二 犬千代様疱瘡御酒湯懸并御下屋  
敷火事之儀ニ付書状 利常、取次九里寛右衛門・浅野藤左衛門→原田又右衛門 (慶安) 卯月3日 折紙

三 前田利常犬千代様御疱瘡之節宮  
腰町より飛脚指越ニ付御印物 山崎長兵衛→宮腰主計 (慶安) 3月10日 切紙

四 犬千代様御疱瘡之飛札ニ付返書  
北川八郎右衛門・福嶋清兵衛(利常印あり) (慶安) 3月10日 折紙

五 犬千代様御疱瘡之義ニ付返書  
伴八矢→宮腰主計 (慶安) 3月10日 折紙

六 犬千代様御疱瘡之義飛脚指上ニ  
山崎長兵衛→宮腰主計 (慶安3) 3月10日 切紙

付会所返書

会所→宮腰町主計(利常印あり)

七 犬千代様御疱瘡之義ニ付返書  
今枝民部(直恒)→宮腰主計 (慶安) 3月12日 折紙

八 犬千代様御疱瘡御酒湯掛御祝儀  
として飛脚被遣ニ付一札 横(山)右近守知→中山主計 (慶安) 4月2日 折紙

九 犬千代様御疱瘡被遊御酒湯御祝  
儀指上之義ニ付書状 浅野藤左衛門→宮腰主計 (慶安) 4月4日 折紙

二 犬千代様御酒湯為御懸御祝儀等  
ニ付書状 原田又右衛門(長孝)→中山主計 (慶安) 4月5日 折紙

二 犬千代様御疱瘡御見廻として飛  
脚指越義ニ付書状 青木弥三衛門→みやのこし主計 (慶安) 4月5日 切紙

三 犬千代様御疱瘡ニ付宮腰惣代御  
見廻之義ニ付書状 青木弥三衛門→みやのこし主計 (慶安) 4月5日 切紙

三 犬千代様御疱瘡之義ニ付書状  
井上市右衛門→中山主計 (慶安) 4月5日 折紙

四 犬千代様御疱瘡為見舞御印渡之  
義ニ付書状 野村儀兵衛→甚丞 (慶安) 9月朔日 折紙

五 犬千代様御疱瘡卷卷等諸紙面覚  
書帳 中山 (慶安) 袋綴 5丁

六 大応院様等痘瘡之節御召之羽織  
瘡守として伝来之由来 不 切紙

一五 逝去・廟所

一 清泰院様御逝去之義ニ付家中下々并町人百姓共江戸へ御紙上ヶ申義停止之達 (寛文6) 切紙

二 前田綱利(紀)清泰院殿御逝去ニ付宮腰町中香典持参等聞届状写 (延宝2年写) 一紙  
綱利(綱紀)↓駒井主水

三 前田綱利(綱紀)清泰院段御逝去ニ付宮腰町より香典持参飛脚之義聞届状 (明曆2)霜月3日 堅紙  
綱利(綱紀)↓駒井主水

四 御前様御逝去ニ付老中より宮腰浦方御着見世指止達書 (寛文6)4月29日 切統紙  
本多安房守・奥村因幡・横山左衛門・長九郎左衛門↓長屋平左衛門、長屋平左衛門↓宮腰主計・三右衛門・本町浜町肝煎中・松原出町少左衛門

五 御前様(綱紀正室)御逝去ニ付鼓謡等鳴物指ひかへ之申渡書 (寛文6)4月29日 切統紙  
長屋平左衛門↓宮腰主計・三右衛門他

六 中将様御逝去ニ付御触状留 天明6年6月12日 袋綴 13丁

七 高徳院様二百回御忌御法事ニ付鉄砲稽古鳴物生殺等指止達書留 寛政10年正月11日 袋綴 2丁  
奥村河内守↓小寺武兵衛、伊藤権五郎↓御年寄中

八 大憲院御葬礼御行烈并御道固御勅使次第 天保12年2月20日 長帳 13丁

九 高徳院様二百五十回御忌御法事ニ付御射手御異風稽古并御作事等指扣之旨達及添状 (嘉永元)2月14日・16日 ころ綴 2丁  
奥村助右衛門・成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

一〇 御法事御奉行御紙面御渡之義等ニ付書状 (嘉永)2月晦日 切統紙  
池(嶋)宇兵衛↓主計

二 金龍院様御廟猷燈調方等ニ付書状 (嘉永)10月8日 切統紙  
池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計

三 香隆院(前田利命)様五十回御忌御法事執行ニ付諸殺生鳴物停止之申渡書 (安政元)5月17日 切統紙  
本多周防守↓斉藤与兵衛・浅香嘉門↓中山主計

三 東御前様筑前守様等忌中鳴物等停止之申渡書 (嘉永・安政)正月23日 切統紙  
村井又兵衛↓斉藤与兵衛・浅香嘉門、斉藤与兵衛・浅香嘉門↓宮腰町年寄中

四 俊光院様御卒去ニ付普請殺生等指止之達書 (嘉永・安政)9月20日 切統紙  
村井又兵衛↓羽田三作、羽田三作↓浅香嘉門、浅香嘉門↓中山甚丞

五 前田静之助様逝去ニ付忌中之義申渡書 (安政3)2月16日 切統紙  
横山大膳↓浅香嘉門、浅香嘉門↓中山主計

六 金龍院様三十三回御忌御法事ニ付殺生鳴物等指止達并添状 (安政3)6月29日 切統紙 2  
奥村内膳↓浅香嘉門

一 藩 主—逝去 廟所・献上物

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

。浅香齋門→中山甚丞

七 東御前様御卒去ニ付忌日申渡書 (安政) 正月20日 切統紙

。村井又兵衛→浅香齋門、浅香齋門→中山甚之丞

六 万菊様御逝去之節飛脚指越ニ付 9月朔日 切紙

会所御印遣之義ニ付書状

浅野藤左衛門→宮腰町主計

五 大御前様御逝去ニ付達書 5月 切統紙

村井又兵衛→三浦八郎左衛門

四 藩主御靈屋御位牌御願并御願略 不 折本

図等控帳

三 前田齊泰送葬行例書 (天正) 明治17年1月27日 一枚

三 利家→宗辰法名忌日覚 不 一紙

三 松雲院様等忌年并中山家先祖忌 酉4月 統紙 2

年跡目之覚

中山弥八郎

二 前田家尊号録 不 (一枚) 木版

三 藩主法号忌日覚 不 横帳 2丁

六 御代々様御法会御年回調理帖 不 横帳 7丁

中山主計

七 御代々御法会御年回調理牒 不 横帳 5丁

十四世中山主計

二 献上物

一 中納言様等へ御進物之覚 (寛永)寅3月18日 一紙

宮のこし主計

二 加賀守様并中納言様御祝言之節 7月27・23日 一紙  
献上看之目錄 宮腰主計せがれ甚丞

三 前田利長年頭献上物礼状 (天正・慶長) 正月6日 一紙

ひ(利長)→長兵衛

四 前田利長年頭献上物礼状判物 (天正・慶長) 正月9日 一紙

ひ(利長)→九兵衛・左内

五 前田利長年頭礼状印物 (天正・慶長) 正月12日 一紙

肥(利長)→市川長左衛門・宮井太郎右衛門

六 前田利長年頭献上物礼状判物 (天正・慶長) 正月13日 一紙

ひ(利長)→九兵衛・左内

七 前田利長年頭礼状印物 (天正・慶長) 正月14日 一紙

ひ(利長)→市川長左衛門・宮井太郎右衛門

八 前田利長年頭献上物礼状 (天正・慶長) 正月15日 一紙

はひ(利長)→長兵衛

九 前田利長献上物礼状印物 (天正・慶長) 6月22日 一紙

利長→山田与兵衛

一〇 前田利長献上物礼状印物 (天正・慶長) 6月27日 一紙

利長→市川長左衛門・宮井太郎右衛門

一一 前田利長献上物礼状印物 (天正・慶長) 9月19日 一紙

ひ(利長)→与兵衛他

一二 前田利長献上物礼状印物 (天正・慶長) 10月26日 一紙

はひ(利長)→九兵衛・左内

一三 前田利長年暮礼状印物 (天正・慶長) 12月19日 一紙

肥(利長)→市川長左衛門・宮井太郎右衛門

一四 前田利長献上物礼状 (天正・慶長) 14日 一紙

ひりきり

二五 前田利長書状 (天正・慶長) 堅紙

はひ(利長)→大せん

二六 玉泉院年頭献上物礼状印物 (慶長・元和) 正月5日 堅紙

小大夫→鈴木権介

二七 玉泉院年頭献上物礼状印物 (慶長・元和) 正月6日 堅紙

小大夫→宮腰主計

二八 年頭献上物付高岡城奥女中書状 (慶長・元和) 正月9日 (軸装) 堅紙

小大夫→こさんかへ

二九 玉泉院年頭献上物礼状印物 (慶長・元和) 正月13日 堅紙

小大夫・千福→杉山小介・鈴木権介他

三〇 玉泉院献上物礼状印物 (慶長・元和) 2月21日 堅紙

小大夫→杉山小助・鈴木権介

三一 玉泉院年頭献上物礼状印物 (慶長・元和) 2月5日 堅紙

宰相→鈴木権介

三二 玉泉院献上物礼状印物 (慶長・元和) 已3月13日 堅紙

小大夫→すす木・(杉山)小介

三三 玉泉寺献上物礼状印物 (慶長・元和) 3月17日 堅紙

小大夫→宮のこし主計

三四 玉泉院献上物礼状印物 (慶長・元和) 3月29日 堅紙

小大夫→宮のこし主計

三五 玉泉院献上物礼状印物 (慶長・元和) 5月4日 堅紙

小大夫→鈴木権介

三六 玉泉院献上物礼状印物 (慶長・元和) 6月16日 堅紙

小大夫→鈴木権介

三七 玉泉院七夕献上物礼状印物 (慶長・元和) 7月7日 堅紙

千福・小大夫→杉山小助・鈴木権介

三八 玉泉院見舞献上物礼状印物 (慶長・元和) 7月10日 堅紙

千福・宰相→杉山小助・鈴木権介

三九 玉泉院盆献上物礼状印物 (慶長・元和) 7月14日 堅紙

小大夫→鈴木権介

四〇 玉泉院献上物礼状印物 (慶長・元和) 9月9日 堅紙

千福・小大夫→杉山小介・鈴木権介

四一 玉泉院献上品礼状印物并玉泉院様御附之者由来書 (慶長・元和) 10月20日 堅紙

さいはつ→宮腰主計

四二 玉泉院歳暮献上物礼状印物 (慶長・元和) 12月25日 堅紙

小大夫→杉山小助・鈴木権介

四三 献上物付千福礼書状 (慶長・元和) (軸装) 堅紙

せんぶく→みやのこしかすへ

四四 前田利常年頭祝義献上品礼状印物 (慶安・万治) 正月6日 堅紙

利常→駒井主水・松崎少左衛門

四五 老女小木書状 (寛永・万治) (軸装) 堅紙

小大夫→みやのこし主計

四六 前田利常献上品礼状 (寛永・万治) 正月6日 堅紙

利常→浅野藤左衛門・神戸藏人

四七 前田利常年頭献上品礼状判物 (寛永・万治) 正月14日 堅紙

利常→浅野藤左衛門・今枝与右衛門

四八 前田利光(利常)献上品礼状印物 正月16日 堅紙

筑→西村藏人

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

元 前田利常献上品礼状印物 (正保一〇万治) 正月18日 堅紙

利常一〇小川八郎右衛門・福島清兵衛

呂 微妙院様之御節供祝儀献上目録 (寛永一〇万治) 3月3日 切紙

宮腰主計一〇浅野藤左衛門・神戸藏人 (利常印あり)

四 微妙院様江献上品之目録 (利常印あり) 3月23日 切紙

宮腰主計 (利常印あり)

三 微妙院様江献上之目録 (寛永一〇万治) 3月24日 切紙

宮腰主計 (利常印あり)

三 微妙院様江献上之目録 (寛永一〇万治) 5月5日 切紙

宮腰主計一〇浅野藤左衛門・神戸藏人 (利常印あり)

四 前田利常献上品礼状判物 (寛永一〇万治) 6月6日 堅紙

利常一〇内藤清兵衛・今枝与右衛門

四 前田利常献上品礼状印物 (寛永一〇万治) 6月19日 堅紙

利常一〇浅野藤左衛門

四 微妙院様江七夕御祝義献上目録 (慶安一〇万治) 7月6日 切紙

宮腰主計一〇駒井主水 (利常印あり)

四 前田利常献上品礼状判物 (元和一〇万治) 7月12日 堅紙

利常一〇今枝与右衛門・内藤清兵衛

四 前田利常献上品礼状印物 (正保一〇万治) 7月13日 堅紙

利常一〇小川八郎右衛門・福島清兵衛

四 前田利常献上品礼状印物 (寛永一〇万治) 8月10日 堅紙

利常一〇浅野藤左衛門・神戸藏人 (蝶印)

五 御節供御祝義献上目録 (慶安一〇万治) 9月8日 切紙

宮腰主計一〇駒井主水一〇浅野藤左衛門・神戸藏人 (利常印あり)

五 越中境にて献上之目録 (利常印あり) 9月17日 切紙

宮腰主計 (利常印あり)

三 微妙院様江献上品之目録 (慶安一〇万治) 9月23日 切紙

宮腰主計一〇駒井主水 (利常印あり)

三 前田利常大姫君男子誕生の節献上品礼状 (利常印あり) 12月6日 折紙

肥前利常一〇塗師屋七兵衛

五 前田利常献上物礼状印物 (寛永一〇万治) 12月24日 堅紙

利常一〇神戸藏人・浅野藤左衛門

五 微妙院様江献上之目録 (寛永一〇万治) 3日 切紙

宮腰町主計一〇三右衛門一〇神戸藏人・浅野藤左衛門 (裏書) 前田对馬守

五 微妙院様江献上品之目録 (利常印あり) 不 切紙

宮腰主計 (利常印あり)

五 前田利次献上品礼状判物 (淡路利次一〇山岸三十郎) 3月14日 折紙

淡路利次一〇山岸三十郎

五 前田利次祝言樽代礼状判物 (淡路利次一〇宮腰主計一〇三右衛門) 3月26日 折紙

淡路利次一〇宮腰主計一〇三右衛門

五 前田利次献上物一〇付礼状印物 (前田利次一〇中山甚之丞) 12月25日 折紙

前田利次一〇中山甚之丞

六 前田利次歳暮礼状印物 (利次一〇宮腰主計) 12月26日 折紙

利次一〇宮腰主計

六 前田正甫致来物礼状印物 (大藏一〇中山甚之丞) 12月25日 折紙

大藏一〇中山甚之丞

六 前田利隆礼書状判物 (前田利隆一〇中山主計) 12月25日 折紙

前田利隆一〇中山主計

六 松前志摩守松前船肝煎并贈物之礼状判物 (松前志摩守公広一〇中山主計一〇御宿所) 8月17日 折紙

松前志摩守公広一〇中山主計一〇御宿所

四 松前氏広献上物ニ付礼書状判物 8月22日 折紙 2  
     松前弁之助氏広ノ宮ノ越主計  
 三 下国宮内少輔杉原紙被遣之礼并 8月22日 折紙 2  
     舟役免除之義等ニ付書状  
     下国宮内少輔ノ中山主計  
 二 酒井吉治大杉原紙被遣并七尾ニ 8月22日 折紙 2  
     舟困之節之礼等ニ付書状  
     酒井左兵衛吉治ノ中山主計  
 一 蛸崎主殿助義主計御舟隨身ニ付 8月23日 折紙 2  
     為御音信小杉原被下ニ付礼書状  
     異崎主殿助ノ宮ノ越主計  
 六 大蔵太輔様献上品ニ付礼状 12月25日 折紙  
     浅野五郎左衛門・奥村平馬ノ中山甚之丞  
 五 中山主計献上之着指出之節才領 (嘉永) 10月22日 切紙  
     相添可申達  
     中村十郎平・半田権之丞  
 四 松之御殿献上物持参致度段承知 (弘化・嘉永) 2月6日 切続紙  
     之義申達状  
     (成田)宗左衛門ノ(中山)主計  
 三 松ノ御殿真龍院様へ献上之節覚 不  
     不  
     (紙背文書)  
 二 西瓜為持之義ニ付一札 8月7日 切紙  
     御広式留書所ノ中山主計  
 一 献上物ニ付礼書状 12月 切続紙  
     二御丸御殿御末頭等ノ中山お宇もし  
 四 におさつ受納ニ付礼書状 不  
     幸ノ友井  
 三 中山よりゆり根受納ニ付礼之義 不  
     等書状  
     切続紙

七 津勢ノ若葉 切続紙  
     百合根芋之子献上ニ付扇子等被 不  
     下ニ付書状  
     二丸津勢ノ中山甚之丞  
 六 献上物ニ付礼書状 不  
     二之御丸御末頭等ノ中山主計  
 五 献上物ニ付礼書状 不  
     御末頭ノ中山御宇もし  
 四 献上物ニ付礼書状 不  
     二之御丸御末頭等ノ中山主計  
 三 御末頭等ノ中山主計 不  
     献上物ニ付礼書状  
 二 真龍院様へ献上物之義礼書状 不  
     二之御丸御末頭等ノ中山主計  
 一 献上物ニ付礼書状 不  
     二之御丸御末頭等ノ中山主計  
     ゆり根さつまいも献上ニ付礼書 12月28日 切紙  
     状  
     異御殿御末頭ノ  
 五 候爵一行金沢参向之節贈呈品ニ 明治39年5月28日 切紙  
     付挨拶状  
     候爵前田利為家扶羽野知頭ノ中山むか

二藩 制—藩制・藩士 支配・政情

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

二藩 制

100 藩制・藩士

光通暑氣見舞書狀

光通↓長九郎左衛門

6月26日

一紙  
(軸装)

二人持諸頭心得申達

享和3年閏正月

切統紙

三 加賀藩諸役定員役料等一覽

不

一枚

四 御礼之次第(加賀藩士役懸帳)

(安政)

横帳 23丁

三松堂

五 寄親附明組本組与力帳

(享保)

小帳 28丁

六 加賀藩士帳

(嘉永・安政)

横帳 165丁

七 金沢武鑑

(嘉永・安政)

横帳 165丁

八 巳年四月より午年七月まで御用

不

切紙

番名書上

文久2年

切統紙

九 軍制之義ニ付御親翰写

文久2年

切統紙

一〇 家中着服等御改之義申渡書

正月

切統紙

一一 職制御改之被仰出書達

辰12月15日

切統紙

↓御横目

一二 本多播磨守他御一新ニ付領分江

不

切統紙

引越被仰付人々書上

一三 藩内人事并御国制改正ケ条書

(明治2)6月

切統紙

一四 政事向変革之義ニ付申聞書

(明治3)6月朔日

こよ 2丁  
り綴

一五 藩治職制一覽

(明治初年)

一枚  
(木版)

一六 金沢藩大参事以下任命書上

(明治)

切統紙

一七 本多安房・前田佐渡叙爵書 (元禄4年) 統紙

一八 福嶋大夫殿へ御奉公仕之書 不 一紙

一九 寺嶋藏人能登嶋蟄居之事 (天保7) 切紙

二〇 松平大式遣領相統之事(下部欠) (慶応) 12月28日 切統紙

二一 元治元年加賀藩勤王派大野木源 (元治元) 切統紙

藏等御預所書上

二二 伊藤権五郎等京都変事出張之節 (慶応元)正月22日 切統紙

不埒之義有之ニ付減石申渡書

二三 渡辺弥右衛門義相糺義有之ニ付 寅2月 切紙

追込申付状

二四 宇野重藏指扣罷在候処御免被仰 12月19日 切統紙

出旨書狀

宇野重藏↓中山主計

二五 鈴木権之助子孫由緒 不 切紙

二六 年寄女中津山義奉公情ニ入相勤 4月 切紙

ニ付養子之義申渡書狀

二七 永原貢等住所書付 不 切紙

二八 土多伊織等殿中ニて刃傷一件ニ 不 切紙

付書上

二九 寺西七兵衛等交名 不 切紙

三〇 富田儀右衛門等住地書 不 切統紙

三一 本多播磨守弾劾張文写 (明治2)8月 切紙

政事堂

三二 大政御一新改革ニおよび本多從 (明治2)8月 切統紙

五位暗殺など起るニ付論書

三三 本多政均殿中にて横死ニ付遺領 (明治2) 切統紙

本多資松相統一件

三三 本多資松相統一件 (明治2) 切統紙

執政中

三 本多從五位殿中ニテ横死ニ付本 (明治2)

切続紙

多資松遺領相統一仲

三 加能越三州十村等交名書

嘉永4年正月

横本 12丁  
(未版)

三 加越能村名録

不

横帳 117丁

### 二〇 支配・政情

一 俱利迦羅村民帰住之定写

天正14年4月2日

切紙

前田利家

二 大闇秀吉公御葬送御列記

八十歳

長帳 21丁

三 権現様関ヶ原戦跡書并中山主計

不

こよ 2  
り綴

書

四 神君駿府ニ被為在候頃江戸御成

2月25日

切続紙

之還御後台徳院様之御室様江被

進候御文写

五 松平忠宗子息病中見舞等礼状

(寛永7)9月5日

折紙

松平越前守忠宗(仙台伊達忠宗)↓松倉長門(肥前松倉長門)

守勝家)

六 前田利長書状

5月2日

一紙  
(軸装)

(尾州ゆりかね等持参可致旨)

前田利長↓

七 ①前田利常自筆書状

2月8日

前田利常

一紙  
(軸装)

②利常公古筆極札

2月9日

切紙

古筆

八 前田利常書状(兵庫ふんりん之義ニ付)

5月朔日

一紙  
(軸装)

利常↓飛騨守

九 延宝元年將軍家元朝之御儀式利

享保3年2月3日

袋綴 30丁

家公御遺言等

馬淵友之進高定佐那武太宮奉納

一〇 將軍吉宗公御近習ニ被為仰聞候

不

一紙

写

二 幕府御役替留并享保三年江戸町

(享保3)

切続紙

触書

三 公事方御定書

寛保2年

袋綴 56丁

老中松平乗色等編

三 越前大野藩主交代一件

文化6年8月25日

袋綴 17丁

四 元禄年中等御支配所絵図指出之

3月5日

切続紙

義ニ付申上書

五 元禄度公边指出之御絵図披見之

(文政・天保)

切続紙

義ニ付書状

広瀬平丞↓高島右門

六 將軍宣下之参向公家衆名書并御

天保8年9月

切続紙

大札御日割書

七 鷹司前関白入道准后楽山様

天保12年2月25日

小帳 94丁

御葬送行列記

八 太上天皇様御葬送御列記

天保12年12月20日

小帳 56丁

九 天保十二年檢約之義ニ付遠山左

天保12年

こよ 3丁  
り綴

衛門尉演述書

一〇 水戸前中納言隠居之義申達書等

不

切続紙

留(前欠)

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

三 徳川殿市ヶ谷御館引越ニ付松平  
康永寓意書 弘化2年7月14日 切統紙

三 御親翰写置覚 松平越前守康永→徳川□  
(弘化3)午12月16日 切紙

三 堀田備中守上京之義御取沙汰書 成田宗左衛門→中山主計  
(嘉永4・5年) 切紙

三 御慶幸御道筋行列附 安政2年11月23日 横本  
(木版) 24丁

三 桜田門外ニ而井伊掃部殿横死一  
件風聞書 (万延) 切統紙

三 井伊掃部頭斬奸書 (万延) 長帳  
3丁

三 和宮様御発向供奉御行列附 文久元年10月20日 一枚  
(木版) 2丁

三 和宮様御離縁を被仰遣候節之歌 不 切紙  
2丁

三 老中安藤对馬守襲撃一件申越ニ 折紙  
付御達書 (文久2)正月25日

三 政事向変革ニ付年寄共申談書并 袋綴  
13丁 江戸三度棟取小原猪平・村松徳左衛門→横目肝煎衆中

三 島田左兵衛等誅殺一件 文久2年 切統紙

三 大和国行幸ニ付飛鳥井家雜掌よ 文久3)8月19日 切統紙

三 京都長州藩勳爵等ニ付申達書 上方中使所棟取浜岡屋弥兵衛→  
(文久3)8月21日 切統紙

三 薩長土三州言上并幕府正議勇士 文久3年9月 切統紙  
2丁

三 三条西中納言等七卿召捕之義等 (文久3) 切統紙  
2丁

三 生麦事件ニ対する英国側申立一 文久3年 切統紙  
一件并足利尊氏等木首晒一件

三 宮腰大野両町冥加指上金ニて出 元治元年10月 一紙  
来之歩兵銃等書上 宮腰町奉行坂井三郎兵衛→壯猶館

三 長防御征伐ニ付広島表御参集御 元治元年11月 (一枚)  
宿陣付 (木版)

三 將軍参内之節関白より被仰渡之 (慶応元) 切統紙  
義等書上 閏5月21日

三 長防之所置并兵庫開港之義ニ付 (慶応3)5月25日 切統紙  
申渡書

三 王政復古之留 (慶応3) 長帳  
5丁

三 戊辰役勃発之義致来紙面写 慶応4年4月14日 長帳  
2丁

三 朝廷之徳川慶喜討伐書并添状 (慶応4)正月29日 切統紙  
。前田土佐守→矢部順平

三 徳川幕府弾劾之三条大橋制札写 慶応4年正月 切統紙  
賊軍追討之奉書 (慶応4)正月

三 徳川慶喜恭順之義ニ付進軍可引 (慶応4)5月2日 切統紙  
取大惣督官達 鴛尾待從殿執事→

三 戊辰戦争軍之記 (慶応4) 切統紙  
東山道・大縁督・府参謀→東山道北陸奥羽官軍隊長中

三 公武一和周施之義并攘夷之被仰 不 切統紙  
出書

三 松平春嶽在京中政情書 不 切統紙

三 京之治安状況ニ付書状 2月9日 切統紙  
宛所→而後・主計

吾	上杉弾正大弼等京師警衛申渡書	不	4月	切紙	官軍征東將軍職等書上	不		切紙
三	京都守衛之義ニ付稻葉長門守殿被仰渡書	不		切統紙	越後鯨波ニおいて討死等之人々書上	(明治元) 閏4月17日		切統紙
三	禁裏御附都筑駿江守切腹之義等堀田殿御渡書并墨夷之事写	不		切統紙2	徳川旧藩之内井伊公藤堂公暗殺之風説并猪山様御帰ニ付祝義之趣等書状	(明治) 8月15日		切統紙
三	攘夷倒幕之張文写	不		切統紙	河原町主計ノ不煩居尊大人			
三	丁子屋吟三郎等天誅状等留		亥7月	袋綴 9丁	書上	明治2年6月		切統紙
三	和岳浮浪士召捕一件届書		9月8日	切統紙	鯨部寓兵			
三	上方中使所棟取浜岡屋弥兵衛							
三	幕末世上風説書		戊5月	袋綴 13丁	北陸東海御巡幸一覽表	明治11年8月30日		一枚 (銅版)
三	賊徒誅爵相濟ニ付本陣惣年寄江被仰渡書		正月10日	切統紙	東京鎗劔舍刻			
三	薩州役所				御巡幸御行列図式	明治11年		一枚 (木版)
三	討薩出陣之触等留	不		長帳 2丁	郷上招太郎刊			
三	長州征伐陣図	不		28×40 (彩色)	現内閣大臣肖像			一枚 (印刷)
三	和州浪士争戦之義等留		9月	切統紙	内務大臣板垣退助他			
三	和州浪士一揆ニ付警衛方御書写		9月	切統紙	二重橋御発聲之図	明治38年12月5日		一枚 (印刷)
三	徳川家協力之為出陣依頼書廻状	(慶応)		切統紙	日本橋上条与茂太郎刊			
三	賊徒討滅之仰出写		8月8日	切紙	国民精神作興ノ詔書	大正12年11月		一枚 (印刷)
三	佐賀藩士枝吉平左衛門等諸国遊歴之者共名書及世話方願状	不		切統紙	皇后陛下下行啓記念牌ニ就テ	不		一枚 (印刷)
三	佐和山城検分書	不		袋綴 16丁	東官殿下御慶事奉祝献品卓上電話機写真	不		一枚 (印刷)
三	彦根騒動上巳之雪	不		袋綴 52丁	小川一真製版			
三	龜山天皇御綸旨写	不		(一枚) (木版)	巡 見			
三	(文永九年十一月五日)							
三	公方様御裝束切	不		布片一枚	一 御上使御用事之帳	延宝9年6月		袋綴 36丁
三	官軍征夷將軍職等書上	不		切紙	二 御巡見上使取扱之義達書写	(宝永7)4月		統紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

西尾四郎左衛門・奥村勘左衛門→馬淵友之進

三 ①御国目付衆御越ニ付御宿拵等 (寛延)明和) 袋綴 20丁

之覚 亥3月

②御目付衆御越ニ付百姓共心得 (寛延)明和) 切紙 1

申渡書 4月23日

佐藤半五右衛門

四 宗門方改御徒横目巡回之節罷出 (寛延)明和)10月 切統紙 2

方尋書并心得方返書

。宮腰町年寄中山弥八郎・庄兵衛→宮腰町御奉行所

。佐藤半五右衛門→御横目所

五 御目付様御通之節肝煎組合頭江 宝曆5年3月 袋綴 6丁

御尋之品請答之趣奉窺帳

御郡々御扶持人→辰巳八左衛門・不破源左衛門・小西勘右衛門

六 天明八年巡見上使御廻書写 天明8年 袋綴 18丁

七 御上使ニ付御触等留帳 寛政元年4月 袋綴 32丁

菅波屋三郎兵衛

八 支配所巡見ニ付心得方達等留 文政7・11年 切統紙

天保7・9・13年

九 延宝九年巡見御上使中根左兵衛 天保8年11月 袋綴 8丁

様宮腰江御出ニ付御宿相動申候

留

錢屋市郎右衛門→宮腰町御奉行所

一〇 宰相様能州海岸等御巡見御泊付 嘉永6年3月 袋綴 22丁

并御供人数名書并役付書

十四世中山主計

二 齊泰様能登御巡見ニ付中山家由 (嘉永6)2月 切統紙

緒を以御供願之義ニ付伺書

中山主計→

三 外国御奉行浦々御見分ニ付用意 (安政5)10月16日 長帳 14丁

之品戴可申帳(錯簡)

三 海岸巡見外国奉行先触等指送状 安政5年11月15日 統紙

粟崎浦肝煎太郎兵衛・組合頭佐助・同栄作・同与四右衛門・同

治之助→宮腰町御役人中

四 海岸巡見外国奉行先触等送状 安政5年11月16日 統紙

金沢町伝馬肝煎林五郎・相役宗平→宮腰町肝煎次右衛門・同彦

三郎・同所伝馬肝煎市郎右衛門・同弥兵衛

五 外国御奉行御宿相動之義申渡書 (安政5)11月18日 切紙

(後欠)

(小幡)主税→

六 外国御奉行堀織部正様北国筋海 安政5年11月 横帳 13丁

岸渡々為御巡見御通行之節御尋

之品御答方奉窺帳

七 支配所巡見ニ付心得申渡書 (天保7)正月 切統紙

中川平膳

八 御上使宮腰御出之義ニ付書状 4月19日 切統紙

肝煎半左衛門→町年寄字兵衛・同弥八郎・肝煎武兵衛

九 巡見御上使宮腰御出之覚 不 切紙

一〇 町中御巡見道割ノ書上申帳 不 長帳 3丁

三 海防・外交

一 異国船之義ニ付船方漁民共心得 天保13年10月 こよ 2丁

申渡書 奉行 り綴

二 英吉利西船北国筋等海辺側量一 文久元年7月 袋綴 50丁

件(後欠)

三 御台場御用出役ニ付申渡書 (文久2)9月28日 切紙

(後欠)

武田喜左衛門↓欠

四 官腰一之御台場築造申渡書并添状等 (文久2) 9・10月 切紙 4

・原七郎左衛門・武田喜左衛門↓神尾篤治郎・坂井三郎兵衛  
・篤治郎・二郎兵衛↓官腰町年寄中

五 御台場築ケ所地面掘掛ニ付人夫指出之旨申渡書并添状 (文久2) 10月3日 切紙 2

・(津田善六郎)↓(神尾篤治郎)  
・篤治郎↓官腰町年寄中

六 攘夷之儀被仰出書 文久2年 切紙

七 佐渡御領海ニ異国船滞留之風説申達書 文久3年4月11日 切統紙

・御横目同心↓、・篠原勘六↓村左太夫・金谷与十郎、  
↓官腰町年寄中

八 伊予守(奥村栄通)殿等寺中村等砲台御見分之義雨天ニ付指止之通知 (文久・元治) 10月26日 切統紙

(長尾)八内↓中山主計

九 官腰御台場詮義役之義差留ニ付申渡書 (文久)慶応 切紙

武田喜左衛門↓神尾篤治郎・坂井三郎兵衛

一〇 大坂表異船入込之風説写 慶応元年9月 切統紙

二 英国測量船之義ニ付触書 (慶応3) 4月29日 切統紙

豊後・筑前・上野↓越前国他五ヶ村浦々名主・年寄・組頭

三 寺中砲台付御玉蔵見込図り書 3月 切紙

三 官腰領浜台場繩張地通行繁多ニ付取除之義一札 (嘉永) 4月26日 切紙

水島清五郎↓半田権之丞

四 官腰町川・海・道路御台場絵図 不 (彩色) 40×80 3

五 官腰沖御台場図 不 (彩色) 28.5×66

六 備立訓練之義ニ付往来人指留等縮方申伝書 (嘉永) 8月24日 切統紙

津田少左衛門↓半(田)権之丞

七 輪嶋屋与三兵衛等海防方のため 亥2月 袋綴 3丁

八 輪嶋屋与三兵衛等海防方として 亥3月 袋綴 3丁

九 輪嶋屋与三兵衛等海防方として 亥3月 袋綴 3丁

一〇 輪嶋屋与三兵衛等海防方として 亥3月 袋綴 3丁

一一 輪嶋屋与三兵衛等海防方として 亥3月 袋綴 3丁

一二 攘夷之義ニ付叡処之旨申渡書 (文久) 2月5日 切紙

町年寄中山主計・木下八右衛門↓官腰町御奉行所  
本多播磨守↓神尾篤治郎

一三 異狄打払之義ニ付京都等様子承合書 (天保・弘化) 切統紙

里見(亥三郎)

一四 東西蝦夷地御料私領并御警衛掌規 不 (一枚) (彩色)

一五 開港仮条約之義ニ付伝奏衆より堀田備中守殿へ御渡之御書写 不 切統紙

一六 阿蘭陀国条約并税則 (安政5) 袋綴 22丁

永井玄蕃頭・岡部駿河守・岩瀬肥後守

一七 魯西亜国条約并税制 (安政5年) 袋綴 25丁

永井玄蕃・井上信濃守・堀織部正・岩瀬肥後守・津田半三郎

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

六 亜墨利加国条約并税則 (安政5) 袋綴 23丁

井上信濃守・岩瀬肥後守

七 英吉利国条約并税則 (安政5) 袋綴 22丁

水野筑後守・永井文蕃頭・井上信濃守・堀織部正・岩瀬肥後守・津田半三郎

八 仏蘭西国条約并税制 (安政6) 袋綴 24丁

水野筑後守・永井文蕃頭・井上信濃守・堀織部正・岩瀬肥後守・野々山鉦藏

九 亜墨利加之舟号覚 不 切紙

十 兩國舌頭録 不 小帳 9丁

(カナカアメリカ兩國ノ通言)

二四 軍事・戦役 (近代)

一 日露交戦地図 明治37年2月23日 54.5×77.5 (印刷)

東京学海指針社著作兼発行・東京信陽堂印刷

二 旅順攻撃に関する書状并第九師 明治38年1月5日 こよ 2丁

団命令書、開城規約 (カーボ  
ン複写)

美島岩松・中山一衛

三 大札特別観艦式のしおり 昭和3年 一枚 2

四 第一航空戦隊歓迎祝賀会次第 昭和5年9月4日 こよ 4丁

(金石公会堂ニテ 金石町主催)

五 凱旋祝賀会芳名簿 昭和7年6月12日 一枚 (印刷)

(濤々園松林ニテ 金石町主催)

六 帝国国防大地図 昭和8年1月1日 一枚 (印刷)

大阪毎日新聞

七 連合艦隊呉入港記念書簡図絵 昭和10年 一枚 (印刷)

呉軍艦青葉中山一俊・金石町中山一衛、呉市役所発行

八 帝国艦隊入港記念誌・東京 昭和10年10月4日 書冊 13丁

附、東京名所交通案内図

東京市役所

九 観艦式の盛儀を機として帝国海 昭和11年10月 書冊 19丁

軍を語る

海軍省海軍軍事普及部

一〇 最近の東亜形勢図解 昭和12年1月1日 77×108 (印刷)

大阪毎日新聞社

二 くま日日 第12号 5月19日 一枚 (騰写)

三 軍艦霧島アラマンノ案内 不 一枚 (印刷)

三五 宮腰町奉行所

一 菊池大学義宮腰御奉行被仰付之 (寛永19) 9月11日 折紙

義申達状

大膳充・武部少・因幡守・出雲守・安房守・宮腰村主計・三右衛門

二 宮腰町奉行着任之節申渡状 (貞享4) 3月 続紙

高島彦太夫

三 宮腰町奉行着任之節口上申渡書 (元禄10) 11月10日 堅紙

沢野団右衛門・宮腰山中甚八郎・中山清右衛門・惣肝煎中

四 宮腰町奉行佐藤半五右衛門転役 (明和8) 10月28日 切紙

ニ付宮腰御詰木奉行町奉行兼帯

之旨通知

金岩嘉太夫・宮腰町年寄中

五 町附足輕共雨台羽代渡之義ニ付 (明和8) 12月3日 切続紙

通知

金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中

六 金岩嘉太夫儀指除ニ付御用方加 (明和9)正月21日 切紙

州御郡奉行へ引渡之義一札

金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中

七 宮腰町奉行金岩嘉太夫役儀指除 (明和9)正月22日 切続紙

ニ付木梨助三郎等兼帯之義通知

狀

木梨助三郎・奥村左京↓宮腰町年寄中山弥八郎・庄兵衛・同所

肝煎中

八 宮腰町奉行并御詰米方之義前田 (明和9)正月29日 切続紙

平馬被仰付ニ付申達書

木梨助三郎・奥村左太夫↓宮腰町年寄中・肝煎中

九 宮腰町奉行年頭御礼之日時覚 (明和) 12月 切紙

金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中山弥八郎・鶴屋庄兵衛

一〇 宮腰町奉行江年頭御礼罷出之日 (明和) 12月 切続紙

時達覚

金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中山弥八郎他

二 宮腰町奉行恒川七兵衛より申渡 (寛政2)4月 袋綴 8丁

書之留

三 宮腰町奉行就任達并召状 (享和2)9月晦日 切紙

松原安左衛門↓宮腰町年寄中

三三 直支配被仰渡義申渡書 (前欠) (天保・弘化) 12月4日 切紙

御算用場↓里見亥三郎

三四 年頭御礼錢代請取書 (弘化3)12月16日 一紙

成田宗左衛門↓中山主計・中山源四郎

三五 平左衛門加役之義申渡書添状 (弘化・嘉永) 10月晦日 切紙

(成田)宗左衛門↓(中山)主計

三六 浅香嘉門宮腰町奉行加人就任ニ (嘉永6)3月13日 切紙

付申渡書

浅香嘉門↓宮腰町年寄中

三七 諸役所仕法仕御仁政行届べく申 (嘉永7)年閏7月 切紙

渡書

三八 半田権之丞忌明罷出之義ニ付書 (嘉永) 9月3日 切続紙

池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計

三九 古田直之丞義宮腰奉行手先定役 (嘉永・安政) 正月26日 切紙

申渡状 (後欠)

小幡和平・山森鉄次郎↓齊藤与兵衛・浅香嘉門

四〇 神田吉郎左衛門宮腰町奉行被仰 (元治元)10月29日 切紙

付之義通知并同人宅迄召状

(坂井)三郎兵衛↓宮腰町年寄中

四一 宮腰町奉行歴代書上 不

四二 宮腰町奉行名列 不 横帳 6丁

四三 御奉行様御宅罷出ニ付取次方願 不 一紙 3

四四 書

四五 宮腰町奉行召状

一 御慶事ニ而申聞之義有之ニ付召 (文政5)12月14日 切紙

狀 土肥三左衛門↓中山主計

二 御召之義頭痛難義ニ付ことわり (天保8)7月13日 切紙

書 中山主計↓神尾主殿

三 中山主計出府御召ニ付一札 (天保11)5月2日 切紙

湯原平馬↓水原清五郎

四 申合有之ニ付召状 (弘化4)11月15日 切紙

成田宗左衛門↓中山主計

三五

中山主計

湯原平馬↓水原清五郎

申合有之ニ付召状

成田宗左衛門↓中山主計

弘化4

二 藩 制——官腰町奉行所 町奉行通信

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

- 五 用事有之二付召状  
成田宗左衛門→中山甚丞  
(嘉永元)2月25日 切紙
- 六 用事有之二付召状  
成田宗左衛門→中山主計  
(嘉永元)2月28日 切紙
- 七 御目ニ懸御咄致し度ニ付出府之  
節御立寄依頼書状  
池嶋宇兵衛→中山主計  
(嘉永2)后4月2日 切紙
- 八 申談之義有之二付召状  
齊藤与兵衛・浅香嘉門・中山甚丞  
(安政元)4月6日 切紙
- 九 申渡之義有之二付召状  
齊藤与兵衛・浅香嘉門→中山甚之丞  
(安政元)5月18日 切紙
- 一〇 御用之義ニ付御召状  
丹羽織人→中山主計  
(万延元)12月晦日 切紙
- 一一 御用有之二付金沢役所迄召状  
岡田雄之進→中山主計  
(慶応2)12月27日 切続紙
- 一二 被下物有之二付召状  
高島五郎兵衛→中山主計  
(享保)12月24・26日 切紙 2
- 一三 公事場奉行衆へ指出書付加印形  
之者召状  
金岩嘉太夫→宮腰町年寄中  
(明和)12月24日 切続紙
- 一四 中山主計御用有之二付召状  
恒川七兵衛→中山主計  
(天明・寛政)12月21日 切紙
- 一五 中山主計被下金相渡ニ付受取人  
指出べく通知  
河野弥次郎→恒川七兵衛  
(天明・寛政)12月27日 切続紙
- 一六 出頭方召状  
恒川七兵衛→中山主計  
(天明・寛政)12月27日 切紙

一七 官腰町奉行召状  
里見亥三郎→中山主計  
(天保・弘化)3月25日 切紙

一八 網一条之義申合度ニ付召状  
(成田)宗左衛門→(中山)主計  
(弘化・嘉永)7月18日 切紙

一九 御次銀願之義ニ付示談申度召状  
池(嶋)宇兵衛→中山主計  
(弘化・嘉永)6月21日 切紙

二〇 御内談申度ニ付召状  
(半田)權之丞→(中山)主計  
(嘉永)2月6日 主紙

二一 唐仁屋甚左衛門有方等ニ付召状  
(半田)權之丞→(中山)主計  
(嘉永)6月13日 切続紙

二二 御用之義ニ付中山主計等召状  
菊池常三→中山主計・中山甚之丞  
(嘉永)12月24日 切紙

二三 中山主計申談之義ニ付召状  
齊藤与兵衛・浅香嘉門→中山主計  
(嘉永・安政)10月6日 切続紙

二四 中山主計申談之義ニ付町役所迄  
召状  
浅香嘉門→中山主計  
(安政)6月14日 切紙

二五 御用之義ニ付召状請書  
中山主計→御奉行所  
(嘉永)4月18日 切紙

二六 御出府之節御立寄被下様願書状  
遠田良輔→伐山主計  
(嘉永)6月21日 切紙

二七 御目ニ懸り御聞合之義有之二付  
来宅方催促状  
井山要人内能村久左衛門→中山主計  
(嘉永)11月朔日 切続紙

二八 中山主計義御用ニ付添書所召状  
不  
(嘉永) 切紙

三三 町奉行通信

- 一 小松ニテ被遣候御印之義申渡ニ  
付中山宅不参旨申達書  
(慶安・万治)8月28日 切紙

- 一 駒(井)主水↓宮腰主計
- 二 御払方之義ニ付算用場より之申  
渡書(前欠) (寛文9)3月27日 一紙  
。御算用場↓長屋平左衛門  
。長屋平左衛門↓宮腰主計・三右衛門
- 三 佐藤半五右衛門方より寺社奉行  
衆宛願書等ニ付回答書 (明和) 11月晦日 切紙  
金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中
- 四 御算用場より申來書之添状 (明和) 12月7日 切紙  
金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中山弥八郎・鶴屋庄兵衛
- 五 願書付返却ニ付一札 (明和) 12月22日 切紙  
金岩嘉太夫↓
- 六 金沢町奉行衆より申來之添状 (明和) 12月 切紙  
金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中
- 七 金沢町奉行中より申越之添状 不 切紙  
金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中
- 八 津田宇兵衛申來状添書 (文政6)12月29日 切紙  
中川外記↓宮腰町年寄中
- 九 御算用場より申來候条嚴重申渡  
添状 (天保5)2月 切紙  
高島右門↓宮腰町年寄中
- 一〇 浜借書上帳等請取書 (弘化3)12月27日 切紙  
成田宗左衛門↓中山主計
- 一一 奉行所紙面披見之義ニ付申渡書 (弘化3)12月27日 切紙  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中
- 一二 上納方之義并病氣見舞書状 (弘化・嘉永) 7月19日 切紙  
(成田)宗左衛門↓(中山)主計
- 一三 湊屋佐太郎提出調書之義可調直 (嘉永元)5月14日 切紙  
申渡書
- 一四 成田宗左衛門↓中山主計
- 一五 源四郎病中御奉行所より被下方  
等留 嘉永元年5月 袋綴 5丁  
中山主計
- 一六 書類提出之旨達添状 (弘化・嘉永) 2月6日 切紙  
成田宗左衛門↓中山主計
- 一七 かふぎ之孝心配り之程申遣状 (弘化・嘉永) 4月21日 切紙  
(成田)宗左衛門↓主計
- 一八 別封送付之義ニ付書状 (弘化・嘉永) 6月6日 切紙  
成田宗左衛門内宮村瀬太夫↓中山主計
- 一九 手印取返之義与三八より申越ニ  
付申達状 (弘化・嘉永) 7月8日 切紙  
成田宗左衛門↓中山主計
- 二〇 成田宗左衛門より致來紙面之義  
ニ付書状 (嘉永) 7月15日 切紙  
池嶋宇兵衛↓中山主計
- 二一 坪内書面等ニ付申入書状 (弘化・嘉永) 7月15日 切紙  
(成田)宗左衛門↓(中山)主計
- 二二 古保川御答書指出之義ニ付書状 (弘化・嘉永) 7月18日 切紙  
成田宗左衛門↓中山主計
- 二三 別紙渡之義ニ付添状 (弘化・嘉永) 12月3日 切紙 2  
成田宗左衛門内河崎喜左衛門↓中山主計
- 二四 申越之義埒明不申義ニ付申達状 (嘉永) 12月27日 切紙  
河崎喜左衛門↓中山主計
- 二五 御勝手方上納之義ニ付書状 (嘉永) 正月18日 切紙  
池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計
- 二六 別紙兩通御渡ニ付取斗方申付状 (嘉永) 正月26日 切紙  
池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

六 御紙面之趣承知ニ付返書状 (嘉永) 2月14日 切続紙

(池島)字兵衛(中山)主計

七 貯用銀才許預銀之義ニ付書状 (嘉永) 2月20日 切続紙

(池嶋)字兵衛(中山)主計

八 宗兵衛縮方之儀御達ニ付書状 (嘉永) 2月26日 切紙

(池島)字兵衛(中山)主計

九 弥右衛門義ニ付林源太郎様と往  
来書状之義書状 (嘉永2) 后4月13日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

一〇 小川出役之義ニ付書状 (嘉永2) 閏4月19日 切続紙

(池嶋)字兵衛(中山)主計

一一 別紙致来并喜太郎小紙落掌之義  
等ニ付書状 (嘉永) 3月20日 切紙

池嶋字兵衛(中山)主計

一二 取立物会発会之義ニ付書状 (嘉永) 3月26日 切続紙  
折紙

池嶋字兵衛(中山)主計

一三 願之義有之ニ付御来駕被下度旨  
等書状 (嘉永2) 后4月2日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

一四 別紙(シ)方出来候ハ、指越旨書  
状 (嘉永) 5月5日 切紙

池嶋字兵衛(中山)主計

一五 二十四拜一件ニ付書状 (嘉永) 5月10日 切続紙

(池嶋)字兵衛(中山)主計

一六 米御附越頼之義并代金之義ニ付  
書状 (嘉永) 5月27日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

一七 町付へ申渡之趣内覽之旨書状 (嘉永) 5月27日 切紙

池嶋字兵衛(中山)主計

一八 先日御紙面之趣ニ付返書状 (嘉永) 5月28日 切紙

(池島)字兵衛(中山)主計

一九 成田宗左衛門病状等ニ付書状 (嘉永) 6月2日 切続紙

(池嶋)字兵衛(中山)主計

二〇 佐嶋屋長左衛門行衛尋方書付提  
出等之義ニ付御用有之罷出之旨  
申達書 (嘉永) 6月28日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

二一 願置候取立物之義等ニ付書状 (嘉永) 8月18日 切続紙

(池嶋)字兵衛(中山)主計

二二 内談有之ニ付罷出之義書状 (嘉永) 8月21日 切紙

池嶋字兵衛(中山)主計

二三 成田宗左衛門氣滯御尋之義等ニ  
付書状 (嘉永) 9月8日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

二四 成田宗左衛門病状悪化之義ニ付  
書状 (嘉永) 9月9日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

二五 成田宗左衛門病状御尋之義并金  
山方書付之義ニ付書状及再伸添  
書 (嘉永) 9月16日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

二六 成田宗左衛門病状并日所望之義  
等ニ付書状 (嘉永) 9月16日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

二七 成田宗左衛門容体御尋ニ付快方  
ニ相成旨書状并添状 (嘉永) 9月18日 切紙  
切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

二八 成田宗左衛門病状等ニ付書状 (嘉永) 9月24日 切続紙

池嶋字兵衛(中山)主計

池嶋宇兵衛→中山主計  
兎 唐仁屋甚左衛門家之儀被仰渡候  
趣ニ付書狀 (嘉永) 9月24日 切紙

池嶋宇兵衛→中山主計  
吾 酒田行返翰之義ニ付成田宗左衛  
門内存之趣申上度旨書狀 (嘉永) 9月25日 切紙

池嶋宇兵衛→(中山)主計  
三 狛師仕入方之義ニ付書狀 (嘉永) 9月29日 切統紙

池嶋宇兵衛→中山主計  
三 甚左衛門家一件調紙面之義ニ付  
書狀 (嘉永) 10月17日 切紙

宇兵衛→主計  
三 御普請会所向紙面借用之義等ニ  
付書狀 (嘉永) 10月6日 切統紙

池嶋宇兵衛→(中山)主計  
吾 御算用場より出来書面并酒之義  
頼ニ付書狀 (嘉永) 10月29日 切紙

池嶋宇兵衛→中山主計  
丑 貸渡米取立方等ニ付仰之趣之義  
書狀 (嘉永) 11月15日 切統紙

(池嶋)宇兵衛→主計  
癸 書面之趣承知ニ付返書 (嘉永) 12月28日 切統紙

宗左衛門へ之書面承知ニ付一札  
不 (嘉永) 10月28日 切紙

半田權之丞→中山主計  
壬 半門様今朝罷出時刻ニ付書狀 (嘉永) 切紙

半田權之丞→宮腰町年寄中  
六 ほしか場改方よりしらべ之儀有  
ニ付内々書狀 (嘉永) 3月21日 切紙

半田權之丞→(中山)主計  
三 出雲屋吉右衛門願書落手之儀等  
用々報書 (嘉永) 4月12日 主統紙

半田權之丞→(中山)主計  
三 返進状添書 (嘉永) 4月21日 切紙

半田權之丞→中山主計  
丑 承届書相渡ニ付添状 (嘉永) 5月4日 切紙

半田權之丞→(中山)主計  
丑 先刻内談之義ニ付書狀 (嘉永) 5月6日 切統紙

半田權之丞→主計  
丑 釜村屋源藏等請書添紙面ニ付内  
談仕度旨等書狀 (嘉永) 6月8日 切統紙

半田權之丞→(中山)主計  
丑 内々持参之書状之義等ニ付書狀 (嘉永) 7月5日 切統紙

半田權之丞→(中山)主計  
丑 御間より之内状詮義方之趣為御  
聞致度旨添状 (嘉永) 7月10日 切紙

半田權之丞  
丑 弥三兵衛返書并唐仁屋甚左衛門  
一件書ニ付書狀 (嘉永) 7月24日 切紙

半田權之丞  
丑 御鎮守銀并竹沢御屋敷石人足賃  
等ニ付一札 (嘉永) 7月28日 切統紙

吹屋町碓屋甚左衛門儀ニ付内談の  
趣申来書之添状 (嘉永) 8月18日 切紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

三 昨日御示合之旨并波崩見分之義  
等ニ付書狀 (半田)権之丞↓(中山)主計  
(嘉永) 9月22日 切続紙

三 甚五郎へ銀子引渡之義ニ付添狀  
(半田)権之丞↓(中山)主計 (嘉永) 10月2日 切紙

三 跡役御詮義之義等ニ付書狀  
(半田)権之丞↓(中山)主計 (嘉永) 10月21日 切続紙

三 葛籠屋助十郎印鑑落手并延弘米  
之義等ニ付申達書 (半田)権之丞↓  
(嘉永) 11月20日 切続紙

三 延弘米ニ付申越之義承知之旨等  
書狀 (半田)権之丞↓(中山)主計  
(嘉永) 12月2日 切続紙

三 延弘米之義ニ付書狀並添狀  
(半田)権之丞↓(中山)主計 (嘉永) 12月12日 切紙 2

三 田中屋弥三郎書面ニ付御算用場  
より申来之義申達書 (嘉永) 5月22日 切紙

三 古屋甚兵衛より申来狀添書  
齊藤与兵衛↓中山主計 (嘉永6) 5月6日 切紙

三 願の義承届狀(断簡)  
齊藤与兵衛・浅香嘉門 (安政4) 7月8日 切紙

三 御横目中より之廻狀添書(前欠)  
。長屋七郎右衛門↓小幡主税  
。主税↓宮腰町年寄中・大野町年寄中  
(安政5) 12月18日 切紙

三 到来書面之添狀  
。主税↓宮腰町年寄中・大野町年寄中  
。主税↓宮腰町年寄中  
(安政・文久) 3月29日 切紙

三 御算用場より之紙面添狀  
丹羽織人↓中山甚左 (安政5) 7月12日 切紙

三 中山主計願書趣之義ニ付書狀  
丹羽織人↓七左衛門 (安政・文久) 3月29日 切続紙

三 高岡より之返書之義ニ付書狀  
。凌冬↓三松堂 (安政・文久) 11月23日 切紙

三 中山主計願立之義ニ付書狀  
丹羽織人↓七左衛門 (安政・文久) 4月23日 切続紙

三 御詮義方御尋候ニ付其趣書狀  
。凌冬↓而後 (安政・文久) 12月22日 切紙

三 武田喜左衛門より申来狀之添書  
(神尾)篤治郎↓宮腰町年寄中 (文久) 9月29日 切続紙

三 中山主計願之義却下申渡書  
加藤三郎左衛門↓神尾篤治郎・坂井三郎兵衛 (文久) 正月19日 切紙

三 振札物寄通相越ニ付添狀  
奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中 (文久) 正月29日 切紙

三 御咄申度義有之ニ付御出被下度  
書狀 小川友之助↓中山主計 閏正月28日 切続紙

三 頼の品御届願狀  
西川長左衛門↓額彦四郎様御手代中 (文久) 2月5日 切紙

三 訪問不出来ニ付書狀指遣義等書  
中村和兵衛↓源左衛門 (文久) 2月12日 切紙

三 増銀願難取揚旨申渡付紙  
御算用場↓ (文久) 3月 切紙

三 証文遣之義ニ付書狀  
六郎左衛門↓中(山)主計 (文久) 3月14日 切続紙

三 御内話之一条ニ付書狀  
(文久) 閏3月朔日 切続紙

林(吉)→中(山)而(後)

〇 勘定方一件ニ付尋越之者有之義等書狀  
4月2日 切統紙

十竹→藍田

六 讓替願承届狀(断簡)  
子4月13日 切紙  
九 内狀之義承知仕処返書不参ニ付書狀  
4月28日 切紙

一〇 御算用場より申来狀之添狀  
子4月9日 切紙

吉野左衛門→宮腰町年寄中・大野町年寄中

一一 願狀承届書付紙  
4月 切紙

御算用場

一二 別紙返書之義懸合指解之旨書狀  
5月6日 切紙

一三 御次へ御達之義治定之趣等ニ付書狀  
閏4月朔日 切統紙

書狀

竹村義左衛門内大野忠次郎→中山而後

一四 甚左衛門答方紙面之義等ニ付書狀  
5月12日 切紙

狀

一五 家作除銀差遣べく旨申達書  
6月6日 切統紙

佐藤伝太夫→中山甚八郎

一六 判印鑑改ニ付申渡書  
6月21日 切紙

高島彦太夫→宮腰甚丞・与三右衛門  
(貞享→元禄)

一七 到来返書之添狀  
6月26日 切紙

一八 御倉義向之義尋ニ付返書  
6月29日 切紙

木村→中山

一九 印章無之書付返達添狀  
7月11日 切紙

沢田義門→神尾

二〇 書付并酒請取ニ付一札  
7月23日 一紙

高沢平右衛門→主計

二一 先之趣ニ付其後之模様相聞不申  
7月16日 切紙

ニ付書狀

林吉二→人山而後

二三 帳面入手方組替被仰渡之義等ニ付書狀  
10月18日 切統紙

二四 別封指上候様申付書狀  
11月13日 切紙

田中嘉右衛門→中(山)而後

二五 御尋之義口上書後書(前欠)  
11月 切紙

中山弥八郎・中山源四郎→宮腰町御奉行所

二六 内分願方之一条并酒被贈之義ニ付書狀  
12月7日 切統紙

(鶴霖)

二七 御奉行呼立之上取仕切之義当年中埒明べく被申渡ニ付申達書  
12月16日 切統紙

小立野より→而後

二八 左太郎義酒屋一件等ニ付書狀  
12月22日 切統紙

→藍田先生

二九 主計了簡方之義ニ付申上書  
不 切紙

三〇 願置之義ニ付示談之為出府依頼  
不 切統紙

狀(前・後欠)

三〇 御 扶 特

(御扶持由来・調)

一 古案三(利家等書狀留) 天正→元禄 袋綴 54丁

二 高德院様微妙院様御判印御書添 不 切紙

紙 中山主計

三 三代→五代主計御扶持頂戴之節 元和8・承応3・ 切統紙

寛文7年

覚

中山家文書目錄

三七

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
四	中山主計	扶持之義許人 有之ニ付奉公并 扶持之由緒書上	寛永13年10月18日		統紙	
	宮腰主計	山城様内欠・大膳様内毛利助左衛門				
五	中山家御扶持之義等御尋ニ付申上書		寛永14年3月		統紙	3
	宮腰主計	内藤清兵衛				
六	御扶持拝領之様子御尋ニ付申上書		寛永14年3月		統紙	2
	宮腰主計	齊藤兵部				
七	中山家御扶持之義等御尋ニ付申上書		寛永15年12月17日		統紙	4
	宮腰主計	内藤清兵衛				
八	扶持高之義御尋ニ付申上書		寛永16年7月23日		切紙	
	みやのこし主計					
九	御扶持拝領御一行物之義御尋ニ付申上書		寛永16年7月23日		切紙	
	宮腰主計					
一〇	大納言様御代御扶持拝領之義申上書		慶安3年12月20日		切紙	
	宮腰主計	福嶋清兵衛・小川八郎右衛門				
一一	中納言様御家中御一行改ニ付申上書		2月23日		切紙	
	参之旨申達状					
	長九郎左衛門内高柳右馬助他二名	宮腰主計				
一二	御知行拝領之百姓等所持之御一行書提出すべく触状		3月9日		折紙	
	長九郎左衛門	駒井主水・松崎庄左衛門	宮腰主計			
一三	百姓町人方所持之御印御判物取調ニ付達		3月21日		長帳	2丁
	左衛門					
一四	宮腰主計御印物改之義ニ付申上書		8月29日		折紙	
	長九郎左衛門	駒井主水・松崎庄左衛門				
	主計他十一名					
一五	英覽院様御判物等七通指上覚書		貞享元年7月13日		一紙	
	津田文蕃	駒井主水				
一六	大納言様より御扶持被下之御印之義御尋ニ付申上書		承応3年8月28日		一紙	
	宮腰甚丞	与三左衛門	村田弥三郎			
一七	中山主計御扶持頂戴之義御尋ニ付申上書		承応3年8月28日		一紙	
	宮腰中山主計	駒井主水				
一八	中山主計拝領扶持町步等申上書		万治元年10月10日		一紙	
	宮腰主計					
一九	中山家御扶持之義御尋ニ付申上書		延宝元年		統紙	
	宮腰甚丞	長屋平左衛門				
二〇	中山主計義大納言様能為江御入国時分御扶持頂戴之様子申上書		貞享元年7月13日		統紙	3
	中山甚丞	村田弥三郎				
二一	利家様御書等指上申覚書		貞享元年7月13日		一紙	
	甚丞	村田弥三郎				
二二	扶持拝領之義并御印之義御尋ニ付申上書		承応3年8月19日		一紙	
	宮腰中山主計	駒井主水				
二三	延享四年十一代弥八郎家督相続之節宮腰町奉行より御扶持高等御達留				袋綴	7丁
	中山					
二四	中山主計御扶持証文寺中神主証		4月21日		折紙	

文等御用指上之義ニ付書状

宮腰中山主計↓中孫右衛門

三 主計御扶持方証文并冬瓜町屋敷

拝領証文等指越へく達書

8月20日 折紙

中孫右衛門↓宮腰主計

六 各々裁許之内町人百姓扶持方并

宮腰主計御扶持方書付指越へく

(慶安3) 12月18・20日 折紙

達書

奥村因幡守・西尾隼人・横山右近・奥村玄蕃↓小川八郎右衛門・  
福嶋清兵衛

七 御扶持被下者由緒書指出被仰付

ニ付扣帳付箋

不 切紙

六 御歴代様御判印物御書等写

湯浅弦斎編

天保4年 袋綴 56丁

五 宮腰御印御判之覚

御印物御判物留

不 折紙 袋綴 48丁

三 中山家御扶持方監賜之義申上書

中山一衛↓市政局

明治3年5月 一紙

三 町人共扶持方改革ニ付申渡書

藩庁↓

(明治3)8月22日 切統紙3

三 旧藩にて百姓町人帯刀指許扶持

遣之義禁止令

(明治4)9月 切統紙

大政官↓

(御扶持御印拝領・願)

二 前田利家扶持宛行状写

↓中山主計

(天正11) 一紙 2

三 前田利常扶持宛行状写

利常↓宮腰村主計

寛永16年3月20日 一紙

五 前田利常扶持宛行状写

利常↓宮腰村主計

寛永16年3月20日 折紙 5

三 中山主計御扶持被之義申上書

宮腰中山主計↓

万治3年12月18日 一紙

六 前田綱紀扶持宛行状写

綱利↓宮腰村主計

寛文7年3月6日 一紙 3

六 中山主計病死ニ付養子甚之佑ニ

御扶持肝煎被仰付様申上書

延宝元年11月28日 続紙

四 前田綱紀扶持宛行状写

綱紀↓中山甚丞

延宝2年8月28日 一紙 3

四 先祖以来頂戴之印物等書記持参

の旨達状 村田弥三郎↓宮腰甚丞

(貞享3)5月27日 切紙

三 前田吉徳扶持宛行状写

吉徳↓中山嘉兵衛

享保11年8月13日 一紙

三 前田吉徳扶持宛行状写

吉徳↓中山甚丞

寛保元年12月25日 切紙

四 中山甚丞御扶持高等跡式之儀ニ

付願書 宮腰町人中山甚丞↓本保常右衛門

寛保3年10月 一紙

四 前田齊泰扶持宛行状写

齊泰↓中山甚丞

安政元年10月6日 一紙

四 二之御丸にて御印頂戴ニ付召状

丹羽織人↓中山甚丞

(安政5)11月17日 切統紙

四 御印物頂戴ニ付二ノ御丸罷出べ

く召状 高島右門↓中山主計

(天保2)2月26日 切紙

四 中山弥八郎扶持被下状

延享4年7月27日 切紙

兜 中山甚丞扶持被下書 延宝4年9月22日 一紙

長屋平左衛門→中山甚丞

吾 中山小八郎扶持被下状 享保11年9月4日 切紙

三 ①御先代より被下置候御判物御 享保11年 袋綴 3  
印之物写申帳

中山嘉兵衛

②中山嘉兵衛甚丞扶持安堵状写 享保11年8月13日 一紙  
寛保元年11月25日

至 中山嘉兵衛家督相続ニ付扶持被 享保12年6月4日 切紙  
下状

下状

至 中山嘉兵衛義家督相続ニ付御扶 享保12年 一紙  
持被下請書

中山嘉兵衛

酉 御扶持高村附目錄御算用場印物 (延享4)7月26日 切紙

請取状

中山弥八郎・後見人長沖屋宗兵衛→伊藤甚右衛門

丑 父嘉兵衛被下置候御扶持高被下 (寛保元)10月8日 切紙  
ニ付請書

ニ付請書

中山甚丞→宮腰町御奉行所

兵 亡父嘉兵衛ニ被下置候御扶持米 (寛保元)12月25日 一紙  
同様被仰付ニ付請書ひかへ

同様被仰付ニ付請書ひかへ

宮腰町人中山甚丞→本保常右衛門

毛 亡父中山嘉兵衛へ被下置候御扶 (寛保元)12月25日 切紙  
持高被仰付ニ付請書

持高被仰付ニ付請書

宮腰町人中山甚丞→本保常右衛門

兵 御扶持高御印物頂戴請書 (寛保2)6月24日 切紙

中山甚丞→本保常右衛門

弄 中山恒治扶持被下状 (安永8)12月25日 切紙

己 中山左太郎家督相続并扶持申付 (文化3)12月16日 切続紙

状

己 中山弥八郎扶持申付状 (文政12)7月11日 切続紙

三 二御丸ニ而御印物頂戴被仰付義 (天保2)2月26日 切紙  
ニ付請書

中山主計→高島右門

三 御印物頂戴之節音物控 天保2年2月28日 長帳 3丁  
中山主計

中山主計

三 御印物等所方請取目錄 (慶応2)9月19日 切続紙2  
町年寄源七郎→中山主計

町年寄源七郎→中山主計

三 大納言様より御扶持拝領之御印 (元和)12月17日 一紙  
取失いニ付代々御印頂戴仕度願

書

宮腰主計→奥村因幡・横山大膳・奥村河内

三 利常様御継目之御一行取失一件 不 一紙  
覚

覚

三 利家様拝領之中山家継目之一行 不 切紙  
書取失一件覚

書取失一件覚

三 御扶持拝領之大納言様御印取失 不 一紙  
ニ付御代々御印頂戴仕度願書

ニ付御代々御印頂戴仕度願書

三 二御丸ニて扶持高御印物頂戴ニ 8月27日 切紙  
付召状

付召状

佐藤甚右衛門→中山弥八郎

三 御扶持高被仰付ニ付請書 7月11日 切紙

宮腰町人中山弥八郎・後見人長沖屋宗兵衛→佐藤甚右衛門

三 中山主計せがれ甚之丞扶持申渡 (安政元)10月6日 切続紙

状

齊泰→主計せがれ中山甚之丞

三 御扶持讓替之義ニ付書状 9月4日 切続紙

恒次郎↓御祖父様

三 御印物頂戴被仰付ニ付出頭方申

11月24日 切紙

達状

市川五助↓中山甚丞

四 中山而後御扶持復原願

不 切紙

中山而後

五 中山小八郎父甚八郎代召放之扶

不 切紙

持再被下状

三 拝領物

一 銀子、綿拝領目録

寛文6年12月27日 豎紙

↓宮腰主計

二 銀子拝領目録

寛文7年3月19日 豎紙

↓宮腰主計

三 加賀守様より銀子拝領目録

延宝5年3月20日 一紙

↓中山甚丞

四 御尊像指上候刻白銀拝領目録

明和6年6月16日 一紙

五 泰雲院様時次郎様御出之節白銀

明和6年 一紙

拝領目録

↓中山弥八郎

六 小判拝領目録

明和6年 一紙

↓中山弥八郎

七 太梁院様御出之節白銀拝領目録

安永4年8月2日 一紙

八 安永五年泰雲院様より拝領銀之

(安永5) 切紙

覚

九 相公様御立寄之節白銀拝領目録

寛政11年9月22日 切紙

并通知状

↓中山主計

一〇 横山山城守様御宿之節白銀拝領

文化10年3月 豎紙

中山家文書目録

目録

二 ①高徳院様御帷子御次へ指上御

文化13年10月6日 袋綴 12丁

返の節御紋付拝領之扣

十三代目中山主計

②高徳院様御帷子見分之為持参

(文化・文政) 10月3日 切続紙

方申達書

土肥権六郎↓中山弥八郎

③中山主計義御次召出状并中山

(文化・文政) 12月20日、22日 切続紙 2

主計御次ニ而御上下頂戴ニ付

祝招待廻状

。人見吉左衛門↓土肥権三郎

。土肥権三郎↓宮腰町年寄中

。中山主計↓赤土屋次郎兵衛・錢屋五兵衛・錢屋与三八・黒田

屋八郎右衛門・粕屋又八・蔵臣又四郎

④御奉行衆名書

不 切紙

三 勝千代様御行步御出之節金拝領

文政2年4月13日 一紙

目録

三 直姫様御行步御出之節白銀拝領

文政3年7月 切紙 2

目録并覚書

四 御姫様等御行步御出之節白銀拝

領目録 文政12年4月6日 豎紙

五 御殿様、御立寄之節銀子拝領目

録 天保10・11年 豎紙

六 中山主計義御元祖様より拝領之

御紋付着用願ニ付聞届仕度内存

申達書

(天保11)2月23日 切続紙

湯原平馬↓奥村内膳

七 私先代之者共江拝領被為仰付候

天保14年5月 袋綴 4丁

御品々書上申帳

御品々書上申帳

袋綴 4丁

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

中山主計

出之節白銀拝領目録

↓中山主計・甚之丞

三 嘉永二年九月筑前守様打木浜火 嘉永2年12月 一紙

術御覽之節薪等用意ニ付金拝領  
目録

↓中山主計

三 嘉永二年筑前守様御出之節小判 嘉永3年2月8日 一紙

拝領目録

↓中山主計・甚之丞

三 相公様御出之節白銀拝領目録 嘉永3年9月朔日 一紙

↓中山主計・甚之丞

三 豐之丞様打木浜御出之節白銀拝  
領目録

↓中山主計・甚之丞

三 嘉永二年豐之丞様御出之節白銀  
拝領書替目録

↓中山主計・甚之丞

三 筑前守様御出之節小判拝領目録 嘉永4年10月18日 一紙

↓中山主計・甚之丞

三 豐之丞様御出之節白銀拝領目録 嘉永5年 一紙

中山主計・甚之丞

三 豐之丞様御出之節白銀拝領目録 嘉永5年 閏2月17日 一紙

↓中山主計・甚之丞

三 嘉永四・五年相公様御出之節白  
銀拝領目録

↓中山主計・甚之丞

三 真龍院様御出之節白銀拝領目録 嘉永6年5月2日 一紙

↓中山主計・甚之丞

三 豐之丞様御立寄之節金拝領目録 弘化元年12月25日 切紙

↓中山主計

三 相公様御立寄之節白銀拝領目録 弘化元年12月25日 切紙

↓中山主計

三 基五郎様豐之丞様御出之節小判 弘化2年3月16日 切紙

↓宮腰町年寄中山主計・甚之丞

墨付  
点数

六 豐之丞様御立寄之節金拝領目録 弘化元年12月25日 切紙

中山主計

元 相公様御立寄之節白銀拝領目録 弘化元年12月25日 切紙

三 基五郎様豐之丞様御出之節小判 弘化2年3月16日 切紙

三 相公様御出之節白銀拝領目録 弘化2年3月 一紙

三 基五郎様豐之丞様米操院様御立 弘化2年4月2日 切紙

三 寄之節銀拝領目録 弘化2年4月2日 切紙

三 基五郎様豐之丞様米操院様御出 弘化2年4月2日 切紙

三 之節金拝領目録 弘化2年4月2日 切紙

三 筑前守様御出之節白銀拝領目録 弘化2年12月 一紙

三 基五郎様豐之丞様御鷹野御出之 弘化3年10月15日 一紙

三 節小判拝領目録 弘化3年10月15日 一紙

三 相公様御鷹野御出之節白銀拝領 弘化3年10月15日 一紙

三 目録 弘化3年10月15日 一紙

三 弘化嘉永期主計等拝領金銀覚 (弘化・嘉永) 切統紙

三 宰相様打木浜御出之節金拝領目 嘉永元年8月8日 堅紙

三 録 嘉永元年8月8日 切紙

三 米操院様御立寄之節白銀拝領目 嘉永元年8月8日 切紙

三 録 嘉永元年8月8日 切紙

三 嘉永元年八月豐之丞様打木浜御 嘉永元年12月26日 一紙

三 録 嘉永元年12月26日 一紙

三 豊之丞様御出之節白銀拝領目録 嘉永6年5月2日 一紙

↓中山主計・甚之丞

三 豊之丞様御出之節白銀拝領目録 嘉永6年7月 一紙

↓中山主計・甚之丞

四 豊之丞様御出之節白銀拝領目録 嘉永6年12月14日 一紙

↓山中主計・甚之丞

四 嘉永六年筑前守様御立寄之節小判拝領書替目録 嘉永7年3月9日 一紙

判拝領書替目録

↓中山主計・甚之丞

四 嘉永六年兩度相公様御出ニ付金 安政元年12月29日 一紙

拝領目録

↓中山甚丞

四 筑前守様兩度御立寄之節白銀拝領目録 安政2年9月 一紙

領目録

↓中山甚丞・主計

四 勝千代様御行步御出之節白銀拝領目録 安政3年4月22日 一紙

領目録

四 安政二年中納言様御立寄之節白銀拝領目録 安政3年7月8日 一紙

銀拝領目録

↓中山甚丞

四 真龍院様御立寄之節白銀拝領目録 安政3年10月6日 一紙

録

↓中山主計

四 真龍院様御立寄之節白銀拝領目録 安政3年10月6日 一紙

録

↓中山甚丞

四 筑前守様御出御立寄之節金拝領目録 安政4年8月23日 一紙

目録

↓中山甚丞・主計

四 安政三年中納言様御出之節金拝領目録 安政5年7月6日 一紙

領目録

↓中山甚丞・主計

五 中納言様御出之節白銀拝領目録 安政6年5月11日 一紙

↓中山主計・而後

五 陸姫様御行步御出之節銀拝領目録 万延元年 閏3月19日 一紙

録

五 筑前守様御出之節白銀拝領目録 万延元年8月5日 一紙

↓中山而後・主計

五 筑前守様御出之節小判拝領目録 文久2年2月2日 一紙

↓中山主計・而後

五 礼姫様御行步御出之節金拝領目録 文久2年7月12日 一紙

目録

↓中山主計

五 三、四月兩度中納言様御礼之節金拝領目録 文久3年7月12日 一紙

金拝領目録

↓中山而後

五 中納言様御礼之節金拝領目録 文久3年7月 一紙

↓中山主計・恒太郎

五 筑前守様御礼之節金拝領目録 文久3年 一紙

↓中山而後

五 筑前守様御出之節小判拝領目録 文久3年 一紙

↓中山主計・恒太郎

五 稠松様御行步御出之節白銀拝領目録 元治元年4月21日 一紙

目録

↓中山主計

五 稠松様御行步御出之節金白銀拝領目録 元治元年4月21日 一紙

領目録

↓中山主計・而後

二藩 制—拝領物 御扶持地 拝礼出座

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

空 陸姫様江献上物被仰付ニ付金拝 (万延元)3月19日 一紙

空 私先代之者共拝領被為仰付候御 甲申2月 袋綴 5丁

中山主計

空 武芸稽古出精ニ付白銀被下状并 3月18日 切続紙 2  
拝領祝招待状 切紙

源左衛門主計他五名

空 若御前様拝領御菓子配り覚 3月29日 切紙

空 中山主計銀子拝領目録 堅紙

空 金拝領目録 堅紙 2

空 金拝領目録 一紙

空 銀子拝領目録 一紙

宮腰主計

空 小判拝領目録 切紙

中山弥八郎

空 小判拝領目録 切紙

空 白銀拝領目録 一紙

空 白銀拝領目録 切紙

空 白銀拝領目録 一紙

中山主計

空 白銀拝領目録 堅紙

中山弥八郎

空 白銀拝領目録 堅紙

空 白銀拝領目録 一紙

空 白銀拝領目録 一紙

四四

二 白銀拝領目録 不 一紙

中山主計

三 白銀拝領目録 不 一紙

中山主計・而後

三 御参内之節天盃等拝領之記 不 切紙

三三 御扶持地

一 ①先年ヨリ御扶持方田地作人ヨ 寛文3年( 袋綴 62丁  
り収納米覚 元禄6年 (3冊合綴)

②御扶持収納米算用書 不 切紙

③御扶持方取立之覚 不 切紙

④御扶持知行米等書出 延宝4年 11月15日 切紙

⑤島請作証文 元禄3年12月22日 切紙

權兵衛・仁左衛門中山甚丞

二 享保五年分御扶持高収納帳并由 享保5・9・10年 袋綴 33丁  
緒書 (3冊合綴)

中山甚八郎高島五郎兵衛

中山小八郎宮腰町御奉行所

三 中山故小八郎御扶持高収納帳 享保10・11年 袋綴 6丁

四 請作田地御取上之義用捨願書 寛保2年2月 続紙

百姓ていや勘兵衛・同赤土屋七郎兵衛・同安原屋長右衛門・同

小左衛門・同錢屋小右衛門・同六万屋七助中山甚丞

五 中山故甚丞御扶持高収納帳 寛保3年10月 袋綴 4丁

宮腰長沖屋宗兵衛・同所唐仁屋忠三郎本保常右衛門

六 中山家田地御定書 享和2年12月 袋綴 2丁

中山主計角屋次郎兵衛・寺井屋八郎左衛門・畝田屋弥三兵衛・

唐仁屋与左衛門・能登屋市兵衛

七 田地請作ニ付敷銀指上并定請状 享和2年12月 続紙

辻屋弥三右衛門・川尻屋吉四郎・笠屋安右衛門・孫田屋次

兵衛→中山主計

八 中山主計御扶持高收納帳

文化3年6月

袋綴 2丁

中山恒治→脇田善左衛門

九 中山主計御扶持高收納帳

文化3年6月

袋綴 2丁

宮腰町人中山恒治・代判左太郎→脇田善左衛門

一〇 扶持米役銀等收納帳

文化ノ慶応

袋綴 186丁

御扶持高之内作人書上

不

切紙

御扶持高之内御收納米算用覚

丑2月9日

切紙

古百姓→中山

御扶持高之内御收納米算用覚

辰3月

切紙

古百姓→中山

御扶持高之内御收納米算用覚

己2月

折紙

古百姓→中山

御收納米算用覚

不

切紙

御收納米算用覚

不

切紙

御收納米算用覚

申3月

切紙

角屋長次郎→中山

中山家扶持米振分渡覚

10・11月

切紙

地子銀請取書

卯5月6日

切紙

中山→新保村三郎兵衛

中山家扶持米内訳覚

辰11月20日

切紙 3

角屋次郎兵衛他→中山

中山家扶持米内訳覚

未正月

切紙

古百姓→中山

地子米算用覚

(嘉永元)12月

切紙

かとや長次郎→中山

地子米等之覚

(嘉永2)12月

切紙

惣百姓中→中山

一五 地子米等之覚

12月28日

切紙

両百姓→中山

中山家扶持所請作百姓覚

不

切紙

地子米等算用覚

(安政元)12月26日

切紙

百姓中→中山

請作地子米等上納覚

(安政3)12月

切紙

百姓中→中山

地子銀覚

12月

切紙

中山→長次郎

御扶持高御用地ニテ被下ニ付計 不

切紙

方申上書

一六 拜礼出座

一 御才許町人跡々微妙院様へ御目 (慶安元)5月28日 切紙

見仕者并御着上ケ申者何様ニ上

来候哉由来指出可申達

。里見七左衛門・長屋七郎右衛門→駒井主水

。駒井主水→主計・三右衛門他

二 大千代様御元服之義宮腰惣中御 (慶安ノ万治) 折紙

祝儀罷出ニ付添状

正月25日

駒井主水・松崎庄左衛門→奥村河内・青山将監

三 宮腰主計義加賀守様御元服之節 (慶安ノ万治) 折紙

御祝義指越之義ニ付申渡状

2月7日

今枝民部・奥村河内→駒井主水・松崎庄左衛門

四 御代々様御目見并罷出之義御尋 万治2年6月10日 続紙

ニ付申上書(下部欠)

宮腰主計→駒井主水

五 御在国御礼扣并町年寄勤方 天明2年12月 袋綴 9丁

二藩 制—拝礼出座 年頭御礼出座

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

六 三右衛門御目見願聞届ニ付申達 (寛政)正月2日 切統紙

土方勘左衛門・津田林左衛門→野村与三兵衛(等)

七 御城御造管御成就御家督并御入 文化8年2月 袋綴 22丁

伊藤(権五郎)→中山主計

御祝之御舍旁御能拜見被為仰  
付候一件

中山主計

八 若殿様(慶寧)御誕生ニ付綱紀(天保元)8月 切統紙

様御誕生之節同様御祝詞罷出被  
仰付様願書

中山主計→高島右門

九 中山主計拜礼之義先例復原願ニ(天保)6月26日 切紙

付取斗之義申上書

神尾主殿→御用番方執筆中

一〇 中山主計義病ニ付明日御礼罷出 丑正月2日 切紙

断書

中山主計→宮腰町御奉行所

一一 拝領物礼之義持病ニ付御無礼申 正月13日 切統紙

上書

規春→三松堂

一二 宮腰主計入来之義大儀之旨申達 2月8日 一紙

状

竹(田)市三郎→宮腰主計

一三 武部祐太郎等御城罷出之義ニ付 4月15日 切統紙

町会所へ相揃べく申達書

・香林坊兵助→所口水見屋午助  
・戸田左近→佐久間五左衛門

一四 御拝礼御出之義ニ付前々之覚書 4月29日 切統紙

持参之旨申達書

一五 利家役義不拘父子御目見等被仰 丙午11月 袋綴 9丁

山口正蔵→中山弥八郎

一六 寄附金預之義并年末御祝詞御礼 21月29日 切紙

等ニ付書状(前欠)

一七 御帰城祝ニ付二御丸罷出べく召 12月 切統紙

御算用場→

一八 御上御吉事の節罷出等留 不 ころり綴 3丁

御算用場→

三三 年頭御礼出座

一 年甫之嘉事として入来之義ニ付(享保)正月 切統紙

口上之覚

村(井)主膳→中山甚八郎

二 年頭礼請所之義ニ付申達書(明和9)11月28日 切統紙

金岩嘉太夫→中山弥八郎

三 宮腰町人年頭御礼罷出之者共交(明和)12月2日 切紙

名書調指出べく申達書

高島木工→金岩嘉太夫

四 宮腰町人年頭御礼罷出之義ニ付(明和)12月12日 切統紙

日限等通知状

高島木工→金岩嘉太夫

五 中山恒治義亡父扶持被仰付年頭(安永8)12月27日 切統紙

御礼罷出願聞届書

野村与三兵衛→中山恒治

六 中山左太郎義年頭御礼仰付願并(文化)12月19・22日 切紙 2

聞届書

。勝田善左衛門↓村井又兵衛・中山左太郎

七 年頭御礼之義等御尋ニ付答書 (文政7) 8月 長帳 2丁

中山主計↓中(川)山外記

八 慶長以來年頭御礼御忘御法事罷出之旧例申上書 (天保元) 6月 切統紙

中山主計↓高島右門

九 中山家年頭御礼并御法事拜礼之旧例書拔 (天保元) 6月 切統紙

中山主計↓高島右門

一〇 年頭御礼名列去年之振合ニ致度ニ付書状 (嘉永) 28日 切紙

(半田) 權之丞↓(中山) 主計

二 官腰町年寄庄右衛門義実<sup>(孫)</sup>相勤ニ付年頭御礼之義被仰付願申上書 (紙背文書) (安政元) 11月 切紙

齊藤与兵衛・浅香嘉門↓村井又兵衛

三 中山甚丞義家柄を以年頭御礼列被仰付様願書 (安政2) 正月 切統紙2

中山甚丞↓齊藤与兵衛・浅香嘉門

三 湊屋佐太郎義年頭御礼被仰付様願書 (安政5) 12月 切統紙

丹羽織人・小幡主税↓奥村河内守

四 年頭御礼御掃城伺等罷出願聞届書 (安政5) 12月 29日 切紙

奥村河内守

五 ①末家七代稀一郎年頭御目見次目相願書并中山稀一郎由緒書上帳 (文久2年11月) 袋綴 11丁

中山稀一郎↓宮腰町御奉行所(等)

②中山稀一郎義家柄之者ニ付年頭御礼仰付度御達申上書并聞届添状 (文久2) 12月 切統紙2

。神尾篤治郎・坂井三郎兵衛↓奥村内膳

。 (神尾) 篤治郎・ (坂井) 三郎兵衛↓宮腰町年寄中

六 中山主計悴十式歳ニ罷成ニ付父同様な頭御礼被仰付様願書 (文久2) 12月 切統紙

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛↓奥村内膳

七 中山稀一郎義年頭御礼被仰付様願書 (文久2) 12月 統紙切

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛↓奥村内膳

六 来年頭御礼ニ付甚丞罷可出達里見七左衛門・前田七右衛門↓長屋平左衛門 (文久) 12月 24日 切紙

付口上書

元 年甫之嘉詞として入来之義ニ付口上之覚 茨木左大夫↓中山甚八郎 正月 切紙

三 年始之嘉儀として御入来之義ニ付口上之覚 三宅市衛↓中山甚八 正月 切紙

三 御上年頭御礼之義中絶仕ニ付旧例通り仰付被下様願書 中山主計・中山弥八郎↓ 12月 切統紙

三 中山家年頭御礼等御城罷出之旧例書 中山家由緒家柄ニ付御旧例之如ク年頭御礼等奉申上度御聞届書 中山主計・中山弥八郎↓ 12月 切統紙

三 年頭御礼罷出之加越能町方役人由緒町人書上 12月晦日 切統紙

二藩 制—年頭御礼出座 葬儀・遠忌出座

六藩 治—町方達・定

四八

番号 標 題 年 代

形態 墨付  
点数

三 年頭御礼之義并法度等留

不 年 代

袋綴 4丁

六 中山主計養子恒次郎義年頭御礼

一紙

明治元年12月

等主計同様被仰付べく願書

中山主計—町御奉行所

### 三三 葬儀・遠忌出座

一 万菊様御逝去之義主計煩ニ付飛 (慶安2) 8月19日

脚上申状并同事ニ付書状 9月2日

二 万菊様御逝去の節主計方より飛 (慶安2) 8月29日

脚到来ニ付会所御印

会所—小川八郎右衛門・福嶋清兵衛

三 万菊様御逝去ニ付飛脚参着之義 (慶安2) 9月29日

一札 会所—宮腰町主計

四 清泰院様 (光高夫人) 御逝去ニ付 (明曆2) 10月2日

宮腰町中より惣代罷出之義通知

五 清泰院様御逝去ニ付飛脚上申義 明曆2年10月4日

浅野藤左衛門・神戸蔵人—駒井主水

六 清泰院様御法事ニ宮腰町中并主 (明曆2) 10月13日

計香奠持参之義通知

七 清泰院様御逝去之節香典御上之 10月16日

今枝民部・青山将監—駒井主水

八 清泰院様御逝去ニ付中山主計拝 (慶安) 万治

礼之節被下物之覚 10月20日

九 清泰院様御法事ニ付香奠之義書 (慶安) 万治

状 駒井 (主水) 10月24日

一〇 宮腰町人天徳院参詣之義ニ付申 (万治・延宝) 4月3日

渡書 長屋七郎右衛門・里見七左衛門—村瀬平右衛門

一一 高徳院様一百御回忌参詣之義ニ (元禄) 3月2日

付申遺書 沢野团右衛門—中山甚八郎・中山清右衛門

一二 陽広院様五拾年季御法事参詣願 (元禄) 4月2日

之義ニ付申渡書

一三 中山甚八郎等御法事拜礼之義ニ (元禄) 宝永 3月2日

付罷出べく申達書

一四 瑞龍院様百年御忌参拜之義ニ付 (正徳) 4月18日

申渡書 沢野团右衛門—中山甚八郎・中山清右衛門

一五 御代々御法事之節中山弥八郎拜 安永2年5月9日

礼罷出候一卷 馬淵友之進—中山甚八郎・中山清右衛門

一六 陽広院様百五十回忌御法事拜礼 (寛政) 一紙

罷出許可願 前田平馬—篠原勘左衛門・高島木工

一七 中山家御殿様御法事拜礼ニ付旧 (天保元) 6月

例之如被仰付度願書 中山主計—高島右門

切紙

六 中山主計家御代々様御法事之節 (天保4)11月6日 切続紙

階上拜礼被仰付ニ付旧例之如く  
被仰付様願申上書并中山主計先  
代之者階上拜礼之覚

高島右門↓長又三郎

一 陽広院様等御忌拜礼罷出之義御 (天保4)11月 切続紙

尋ニ付申上書

中山主計↓高島右門

二 泰雲院様五十回御忌拜礼召出之 (天保6)6月7日 切紙

義ニ付申渡書

高島右門↓中山主計

三 金龍院様御法事拜礼願御聞届ニ (天保) 7月11日 切紙

付請書

中山主計↓神尾主殿

三 中山主計義金龍院様御法事拜礼 (天保) 7月11日 切続紙

願御聞届書

沢田義門↓神尾主殿

三 金龍院様御法事之節宮腰中山主 (天保) 7月11日 切紙

計拜礼承届申渡状

奥村内膳↓神尾主殿

三 中山主計義高德院様二百五十回 (嘉永元)2月20日 切続紙

御忌御法事拜礼願御聞届状

坂井忠左衛門↓成田宗左衛門

三 中山主計等天珠院様御法事拜礼 (嘉永5)9月晦日 切続紙

願御聞届書

戸田右近↓菊地常三

六 御法事時節中山家先祖之者共御 (西5月) 一紙 2

拜礼罷出之覚并拜礼罷出願

中山弥八郎↓宮腰町御奉行所

七 御法事之義ニ付参会通知状 10月2日 切紙

香林坊兵助↓中山主計

### 六 藩 治

六〇〇 町方達・定

一 四冊御定書 (承応)寛文) 袋綴 4

中山主計

二 町会所御作事会所七尾宮腰等御 万治2)寛文2年 袋綴 36丁

定書之写

三 町会所御作事会所七尾宮腰等御 万治)延宝 袋綴 30丁

定書之写

四 宮腰町御高札写 天和2)文政8年 袋綴 2

肝煎吉左衛門・同市郎右衛門・同平右衛門・同武兵衛・同源助・町年寄中山主計・中山三右衛門↓宮腰町御奉行所

五 宮腰御高札写 天和2)天保13年 袋綴 31丁

中山主計

六 宮腰町御高札写 天和2)天保14年 袋綴 24丁

宮腰町御定書

七 宮腰町御定書 (寛文2)11月26日 袋綴 5丁

前田七郎兵衛・脇田九郎兵衛・今枝民部・奥村因幡・奥村河内・前田对馬↓山崎虎之助

八 服忌令追加 貞享5年 袋綴 20丁

村田弥三郎↓宮腰甚丞・同与三右衛門同町肝煎中

九 宮腰町奉行より宮腰町方へ申渡 (享保4)11月6日 続紙

書

一〇 御先代被仰出候御定書写 (享保17) 袋綴 82丁

高島五郎兵衛・中山源四郎・惣町肝煎・同与合頭

(内容寛文)享保) 閏5月18日

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

本保常右衛門

二 御家中儉約等之儀被仰出之趣并 享和3年9月16日 袋綴 26丁

御算用場廻状等之写

松原安左衛門—宮腰町年寄中

三 享和三年儉約等之御触写 (享和3年) 袋綴 27丁

中山氏

三 二日詠御定帳 文化2年2月 弘化5年2月 袋綴 2

四 御国義近来物入多差支ニ付檢約 (天保9) 閏4月 切袋紙

方并御動向及土風ニ付御親翰

五 かけもの勝負停止之申渡書 (天保11・12) 12月・正月 切統紙

本多播磨守—(湯原平馬)—宮腰御年寄中・横目肝煎中

六 ①衣食住之儀ニ付被仰渡之御書 天保13年6月 袋綴 48丁

立等留

中山主計

②国々在々家作、奢侈取締触書 (天保14)6月2日 袋綴 3丁

御算用場—里見亥三郎

③天保三、四年頃宮腰町御塩蔵 (嘉永元)11月 袋綴 2丁

跡錢屋五兵衛隠居所相建一件

ニ付申上書

④家作中取こわし之箇所荒増書 不 切紙 2

上

⑤家作取こわし方不行届ニ付申 不 切統紙

渡書

⑥家作取こわし不行届之義聞濟 (天保14)7月 続紙

願書

本町組合頭孫九郎・久平・惣兵衛・善兵衛・仁右衛門・文次郎

・与四右衛門・甚右衛門・六右衛門・五郎兵衛・七右衛門・孫

四郎・太兵衛・与兵衛・市兵衛・長三郎・六三郎・長次郎・地

子町組合頭藤兵衛・喜助・六右衛門・又右衛門・次左衛門・次

兵衛・与四右衛門・市兵衛・久平・与兵衛・太郎兵衛・茂兵衛

・七郎右衛門・善兵衛・茂助・八右衛門・善太郎・吉右衛門・

栄八郎・宗助・長右衛門・左衛門・冬瓜町組合頭安左衛門・与

兵衛・長次郎—宮腰町御奉行所 (天保14)7月 袋綴 2丁

⑦家作取こわし之義不行届有之 (天保14)7月

ニ付肝煎等不念紙面御取立被 仰付義用捨願

中山主計—御奉行所

七 御家中儉約方并町人風俗心得申 (天保13)6月 袋綴 4丁

渡書綴

八 駿可守様御卒去ニ付殺生普請等 (天保) 10月5日 切紙

遠慮之申渡書(後欠)

奥村内膳・湯原平馬—欠

九 在町家作節良材使制限達并諸国 (弘化) 袋綴 5丁

出銅外壳等停止触綴

御算用場—丹羽識人・小幡主税

十 衣食住儉約之義被為仰渡候ニ付 嘉永5年7月 袋綴 9丁

御請書取立申帳

本町組合頭久兵衛・仁平・文次郎・五兵衛・七右衛門・平九郎

・八郎右衛門・孫四郎・長四郎・又吉・太兵衛・与兵衛・市兵

衛・長三郎・六三郎・長次郎・六右衛門・与三郎・太四郎・小

右衛門・喜助・又四郎・惣兵衛・地子町組合頭文左衛門・久右

衛門・文右衛門・次左衛門・与四右衛門・与四右衛門・与助・

久平・与兵衛・太郎兵衛・茂兵衛・七郎右衛門・茂助・三郎右

衛門・善兵衛・吉右衛門・善八郎・米八郎・惣助・次郎吉・長右衛門・八郎右衛門・彦三郎・八左衛門・久右衛門・次兵衛・又五郎・五兵衛・惣右衛門(御咎中)・伊兵衛・藤兵衛・喜兵衛・冬瓜町組合頭与兵衛・長次郎・仁左衛門↓

三 行状儉約風俗等之義ニ付申渡書 (安政元) 4月22日 切続紙 (紙背文書)

三 備後守様(前田利義)卒去ニ付普請鳴物等之義達書 (安政2) 5月29日 切続紙

。村井又兵衛・浅香嘉門・齐藤与兵衛・浅香嘉門↓中山甚丞

三 公方様薨御御法事ニ付普請鳴物等停止之申渡書 (安政) 9月4日 切紙

二 享和三年町中二日読御定書之内拾七ヶ条を以慎方等申渡覚書 前田土佐守↓丹羽織人 文久2年10月 袋綴 2

二 朝廷より之上京命令ニ付申達書 (慶応) 正月14日 切紙 町年寄兵助・伊右衛門・八左衛門↓本町・地子町肝煎衆中 津田権五郎・中川甚之助↓町会所

二 御高札之写 不 (堅紙) (木版)

二 衣食住御儉約方書付綴 亥9月25日他 4丁 御用番・町年寄↓中山三右衛門 り綴

二 家作良材使用之義ニ付廻状申渡書 未12月3日 切紙

二 御郡方浪人躰之者徘徊ニ付取締方達書 亥5月28日 切続紙

奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

二 生活規範触書 戌申2月 続紙

二 尾張様御嫡子中将様御逝去ニ付 (天明6) 2月8日 切続紙

中山家文書目録

普請鳴物等停止之申渡書

。村井又兵衛↓久世平助 進士武平↓宮腰町足輕中・年寄中・肝煎中

三 將軍宣下之義触状(後欠) 御横目 11月 切続紙

三 勤王攘夷を本意と可致旨之御親翰 不 切続紙

二 御一新ニ付領内委曲御知せ之御趣意請書 (明治元) 3月 切紙続

六〇 宮腰町方

一 天和元(貞享三年)宮腰町諸事留 天和元(貞享三年) 折紙

二 宮腰本町組割并先規より御定書 享保5年4月18日 袋綴 10丁

高島五郎兵衛↓肝煎勤左衛門・十郎右衛門・平左衛門、(請書) 肝煎勤左衛門・十郎右衛門・平左衛門、本町組合頭小右衛門・吉兵衛・喜右衛門・六郎右衛門・八郎右衛門・新左衛門・弥三兵衛・宇兵衛・孫兵衛・佐次兵衛・三郎兵衛・甚右衛門・権兵衛・佐次兵衛・平兵衛・藤四郎・甚兵衛・惣三郎・与兵衛・仁兵衛・長三郎・次郎兵衛・嘉兵衛・伝右衛門↓宮腰町御奉行所

三 宮腰本町組割并先規より御定書 享保13年3月 袋綴 2 之帳 寛延4年正月

。本保常右衛門↓町年寄宇兵衛・助左衛門・十郎右衛門・与左衛門、佐藤半五右衛門↓年寄中・肝煎・組合頭中

四 宮腰本町組分等定帳 延享2年11月 袋綴 9丁

伊藤甚右衛門↓宮腰町年寄中、宮腰本町肝煎中・組合頭中、(請書)組合頭三郎兵衛・伊助・喜右衛門・七右衛門・与四右衛門・吉兵衛・伊右衛門↓宮腰本町肝煎中・組合頭中、組合頭三郎兵衛・六右衛門・九右衛門・七右衛門・与四右衛門・吉兵衛

二 尾張様御嫡子中将様御逝去ニ付 (天明6) 2月8日 切続紙

二 生活規範触書 戌申2月 続紙

二 衣食住御儉約方書付綴 亥9月25日他 4丁

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点敷

・伊右衛門・与兵衛・小左衛門・六郎右衛門・喜右衛門・小右衛門・六郎兵衛・庄七・甚左衛門・七兵衛・忠三郎・弥五右衛門・宗左衛門・伝右衛門・新左衛門・甚左衛門・忠兵衛・次郎兵衛—宮腰町御奉行所

五 宮腰地子町定帳 延享2年11月 袋綴 7丁

伊藤甚右衛門—宮腰町年寄中・同地子町并冬瓜町肝煎中・組合頭中

六 ①宮腰町算用向等諸留 延享—宝曆 袋綴 62丁

②宮腰藤内御預所村より盗物買 (宝曆—明和) 切紙  
丑3月16日  
請ニ付答申付状

前田式部・織田大炊・不破彦三・伴八矢—佐藤半五右衛門

七 文化元年本町諸入用決算帳 文政元年10月 袋綴 6丁

組合頭七右衛門等

八 ①宮腰町浦方年中行事書上 天保3年改 袋綴 49丁

附 竹場御地子銀取立方帳 中山主計

②御郡人高調達添状等綴 (弘化3) 4月 袋綴 3丁

横山遠江守他—里見亥三郎

③大聖寺三十人講銀上納覚 不 切紙

④一作願方人々書上 申12月 切紙

町年寄

⑤江戸京大坂より御引渡之無宿 (弘化3) 6月 袋綴 3丁

等之義ニ付申渡書等綴 御算用場—里見亥三郎等

御算用場—里見亥三郎等

⑥江戸京大坂より御引渡之無宿 (弘化・嘉永) 切紙

野非人之義ニ付申渡書 5月8日

御算用場—成田宗左衛門

⑦宮腰町女共信州善光寺等参詣 (弘化元) 3月18日 切紙  
願出ニ付許可伺書

里見亥三郎—長将之佐

⑧他国稼出願雛形 不 一紙

宮腰町組合頭—宮腰町御奉行所

⑨境関所過書雛形 不 一紙

⑩宮腰町女共信州善光寺参詣願 天保14年 袋綴 4丁

等綴

里見亥三郎—宮腰町年寄中・横目肝煎中

⑪便船切手雛形 辛亥3月 一紙

中山主計—加州宝円寺役僧

⑫長田用水筋略絵図 不 一紙 (彩色) 35×24

⑬御府内入込無宿野非人宮腰ニ 弘化2年3月 一紙

無御座ニ付御届

肝煎当分兼帯平左衛門・肝煎宗兵衛・同武右衛門・同市郎右衛門・同五郎兵衛・同孫左衛門—宮腰町御奉行所

⑭宮腰浦入津楮皮送切手 (弘化元) 12月 一紙

里見亥三郎—篠原文次郎・井口孝左衛門

⑮金山方御かね拜借并上納之義 (弘化4) 11月28日 切紙

ニ付申渡書

成田宗左衛門—宮腰町年寄中

⑯宮腰町肝煎御城御用指出之節 (弘化4) 11月10日 切紙  
御門往来方申渡書

成田宗左衛門—宮腰町年寄中・横目肝煎中

⑰人別送状 嘉永元・3年 一紙

町年寄中山主計—達磨町組合頭惣兵衛・又吉

町年寄中山主計—尾張町組合頭二口屋

⑮御城御貯用銀拝借書

亥12月

切紙

二 宮腰町役所格ニ立置候帖

享和元年仲夏12日

袋綴 23丁

広瀬屋歩兵衛一辻屋文蔵

⑯古手肝煎申付状

申3月

一紙

三 宮腰町役所格ニ可相立品書上申

文化元年11月

袋綴 2

⑰御城方御貯用銀貸渡ニ付利足

嘉永4年6月

一紙

四 宮腰町役所格ニ可相立品書上申

文化元年11月

袋綴 19丁

銀取立書上

半田権之丞一御普請会所

⑱御算用場御役人中等余荷銀書

子10月

切統紙

帳  
松原安左衛門

上

⑲御城方御貯用銀拝借証

嘉永2年8月

切紙

五 宮腰町方御役所御算用場内ニ移

(嘉永6)3月10日

切紙

御普請会所

⑳奉行所より仰付ニ付参上方一

(嘉永2)

切紙

六 宮腰町役所相建ニ付人足札之義

丑4月

切紙

札

中山主計

㉑人別送状雛形

不

切紙

町年寄一

㉒網布木綿他国出等之義ニ付申

(嘉永5)12月

こよ  
り綴

七 町会所へ扱方之義御尋ニ付申上

8月20日

切統紙

渡書

御算用場一菊池常三、菊池常三一宮腰町年寄中

㉓御浜砂引代等書上

嘉永5年

切紙

八 宮腰町役所絵図

不

40×56

九 宮腰町万覚書

不

長帳

九 町役所建物并地面之図

不

28.5×40.5

一〇 宮腰駅高人別等積書案紙

不

切統紙

一一 宮腰村高御奉行前録諸定等留帳

不

横帳

一〇 中山甚丞答書指上之義ニ付願書

卯3月26日

切統紙

中山主計

一二 明治十年度分取立金覚

(明治10)

長帳

二 今井方書物御取立方願書状

6月14日

切紙

一三 明治十・十一年分新町等算勘帳

(明治11)

長帳

三 孫左衛門紙面ニ付答書之義御勘

7月8日

切紙

考願書状

与六一(中山)主計

### 町役所

一 町会所格ニ立置候勤方之帳

安永2年正月

袋綴

60丁

三 証文調之御指図願

12月25日

切紙

篠原勘左衛門・高島木工

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

三〇 町役人

一 中山清右衛門義鶴屋与三右衛門 (元禄2)2月22日 切紙  
為代御用申付状

高島彦太夫↓宮腰中山甚丞  
二 宮腰本町諸役才許仕申品々書上 享保3年2月 袋綴 8丁  
ケ申帳  
本町肝煎藤兵衛・喜右衛門・甚左衛門、冬瓜町肝煎次兵衛↓高  
島源蔵

三 天爵起誓文等断簡 享保8年7月21日 一紙 2

中山小八郎↓高島五郎兵衛  
四 宮腰役人役付并役料等書上申帳 (明和・安永) 袋綴 13丁  
五 享和二年郡打銀之内龍源寺御供 (文化4)3月 切紙

六 蔵屋定助等役義指除申渡状 (文化9)5月 切続紙  
児玉求馬↓中山主計・横目肝煎宗兵衛

七 重役杯相望姦邪ヲ以金銀ヲ遣候 (文化9)6月 切続紙  
鉢有之ニ付殿重心得申渡書

八 役義相望候心得違之者有ニ付申 (文化9)12月 切続紙  
渡書  
孫左衛門↓宮腰年寄中・横目肝煎中

九 宮腰町役人等名列之帳 文化11年9月 横帳 19丁  
一〇 諸役人役料出方等書上申帳 天保15年7月 袋綴 7丁  
中山主計↓御奉行所

二 諸役人退役ニ而跡役人格申渡之 (弘化・嘉永) 切続紙  
義ニ付書状  
正月9日  
成田宗左衛門↓中山主計

三 中山主計病氣ニ付役義御免願聞 (嘉永6)11月 切続紙  
届状  
斎藤与兵衛・浅香嘉門↓中山主計

三 宮腰町役人書上 不 不  
こよ 2丁  
り綴

四 諸役人役料書上申帳 申5月 袋綴 6丁

五 宮腰町被仰渡之役列書上 寅12月 切続紙  
六 役所役付之者々示合之義ニ付申 (弘化・嘉永) 切続紙  
達書 7月8日

七 平木屋長次郎役儀申付之義ニ付 (成田)宗左衛門↓中山主計 4月12日 切紙  
添状

六 諸覚書 不 小帳 86丁

三一 町方諸役

(町年寄)

一 中山弥八郎宮腰町年寄本役并浦 (宝曆9)9月2日 切紙  
改役申付状

二 宮腰町年寄金沢御用之節乘用人 明和9年正月 一紙  
足使用ニ付申渡書  
佐藤半五右衛門↓中山弥八郎  
金岩加太夫↓

三 金沢町年寄勤立写 寛政6年2月 袋綴 8丁  
中山主計

四 宮腰町年寄役相勤候家柄書上申 寛政11年12月 袋綴 3丁  
帳  
町年寄中山主計・三右衛門↓玉井主馬

五 宮腰町年寄役相勤候家柄書上申 (寛政11)12月 袋綴 6丁  
帳  
中山主計↓玉井主馬

- 六 ①宮腰町年寄役相勤候家柄書上 寛政11・文政12年 袋綴 5丁  
申帳  
②町年寄並役等役柄取調理申上 (弘化3) 4月 一紙  
書 町年寄
- 七 町年寄勤方之帳 文政6年10月 袋綴 7丁  
町年寄中山弥八郎・源四郎↓宮腰町御奉行所
- 八 ①町年寄等勤方書上申帳 文政7年2月 袋綴 7丁  
町年寄加役浦改中山弥八郎・源四郎↓宮腰町御奉行所  
②諸品村方へ船積送之義ニ付尋 申7月 一紙  
書 潤役清五郎・宇右衛門↓中山弥八郎・中山源四郎
- 九 宮腰町年寄役相勤候家柄書上申 天保8年 袋綴 4丁  
帳 こより綴
- 一〇 天保八年中錢屋市郎右衛門父子 (天保8) 切紙  
町年寄役肝煎役勤之義ニ付申上
- 一一 町年寄并浦改役勤方書上申帳 天保13年10月 袋綴 6丁  
町年寄中山源四郎↓宮腰町御奉行所
- 一二 町年寄見習被仰付音物帳 天保14年5月12日 長帳 6丁  
中山甚之丞
- 一三 中山主計義不心得之趣有之年 (天保) 11月26日 切続紙  
寄役差除一件申達差願 神尾主殿↓長又三郎
- 一四 本役同勤ニ被仰付候祝儀音物帳 嘉永2年12月23日 長帳 8丁  
十四世主計せがれ町年寄見習甚丞
- 一五 宮腰町年寄相勤候家柄書上申帳 嘉永5年 袋綴 2  
中山主計・中山甚丞↓菊池常三
- 一六 町年寄之義金沢町同様之振合ニ (嘉永5) 袋綴 4丁
- 被仰付度願草案  
十四世主計
- 一七 町年寄勤方書上申帳 嘉永6年11月 袋綴 6丁  
町年寄
- 一八 町年寄役并加役勤方書上申帳 辰3月 袋綴 9丁  
町年寄中山弥八郎↓宮腰町御奉行所
- 一九 町年寄見習勤方書上申帳 不 紙綴 2丁
- 二〇 湊屋佐太郎等宮腰町年寄相勤之義書上 不 切紙
- 二一 宮腰町年寄役之義申上書下書 不 折紙  
(紙背文書)
- 二二 卯ノ午年町年寄銀覚 不 切紙
- 二三 宮腰町年寄礼米打出之義書上 卯3月 切続紙
- 二四 (中山)恒太郎義町年寄見習被仰付ニ付祝招待書 12月晦日 切続紙
- 二五 中山家由緒を以町年寄役等指除之義歎状 不 一紙
- 二六 宮腰町年寄中御用ニ付召状 12月18日 切紙
- 二七 宮腰肝煎等届書断簡 寛文5年3月10日 切紙  
御宿宮腰三右衛門他↓宮崎太左衛門
- 二八 冬瓜町組合頭推挙状 (宝曆・明和)寅8月 一紙  
肝煎源兵衛・町年寄弥八郎・庄兵衛↓宮腰町御奉行所  
(裏書) 佐藤半五右衛門
- 二九 組合頭役推挙書 (明和8)11月 一紙  
肝煎平左衛門・小右衛門・次兵衛・町年寄中山弥八郎・庄兵衛  
↓宮腰町御奉行所  
(裏書) 金岩嘉太夫

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
三	金沢本町肝煎勤方写	安永7年		袋綴	34丁	
	中山主計					
三	冬瓜町肝煎内湯舟才許役儀勤方 書上申帳	嘉永2年8月		袋綴	7丁	
	冬瓜町肝煎宗兵衛↓宮腰町御奉行所					
三	本町肝煎伝馬肝煎役儀勤方書上 申帳写	嘉永2年8月		袋綴	12丁	
	伝馬肝煎宗兵衛・市郎右衛門↓宮腰町御奉行所					
三	本町肝煎役義勤方書上申帳	嘉永6年11月		袋綴	6丁	
	肝煎宗兵衛・太兵衛・七右衛門↓宮腰町御奉行所					
三	冬瓜町肝煎役儀勤方書上申帳	嘉永6年11月		袋綴	7丁	
	冬瓜町肝煎加役内湯船才許平左衛門↓宮腰町御奉行所					
三	地子町肝煎役義勤方書上申帳	嘉永6年11月		袋綴	5丁	
	地子町肝煎五郎兵衛・権太郎↓宮腰町御奉行所					
三	宮腰町組合頭勤方申渡帳写	安政3年12月		袋綴	2	
	宮腰町奉行↓					
三	本町地子町冬瓜町肝煎並加役書 上	不		切続紙		
三	地子町肝煎等代り役被仰付ニ付 人撰御達申上書	酉7月		折紙		
	町年寄中山主計・同八右衛門↓宮腰町御奉行所					
三	組合頭勤方書上申帳	辰12月		袋綴	4丁	
	(諸 肝 煎)					
	——横目肝煎——					
三	横目肝煎申付ニ付勤方申渡書 (宝曆元)5月			切続紙		
	佐藤(半五右衛門)↓宮腰町横目肝煎与三右衛門					
三	金沢横目肝煎勤方帖	天保3年11月		袋綴	9丁	
三	横目肝煎四郎他四名↓町御奉行所					
三	横目肝煎役儀勤方書上申帳	嘉永2年9月		袋綴	5丁	
	町年寄並列横目肝煎与三八・平左衛門↓宮腰町御奉行所					
三	横目肝煎平左衛門役義書上	不		切紙		
三	横目肝煎中山源四郎等役筋不行 届ニ付指扣達書	未3月4日		切続紙		
	土肥三左衛門↓宮腰町年寄中山弥八郎					
三	横目肝煎与三八等召状	不		切紙		
	——古手肝煎——					
三	古手肝煎等勤方書上申帳	嘉永2年8月		袋綴	6丁	
	古手肝煎久兵衛↓宮腰町御奉行所					
三	古手肝煎定書	不		袋綴 (合綴)	4丁	
	——材木肝煎——					
三	根木屋次郎兵衛等材木中買肝煎 役申付状并勤方之条々	(延享2)12月2日		切紙	2	
	伊藤甚右衛門↓宮腰町附足輕中・同町年寄中・肝煎中					
三	御材木肝煎役料ニ付申渡書	(寛政2)2月24日		切続紙		
	恒川七兵衛↓宮腰町年寄中山主計・酒屋八右衛門					
三	材木方懸り役人取極ニ付材木肝 煎可取極達書	(嘉永)2月15日		切紙		
	菊池常三↓中山主計					
三	材木仲買勤向口銭之儀ニ付一札 (後欠)	不		切紙		
	——伝馬肝煎——					
三	伝馬肝煎役義勤方書上申帳	嘉永2年8月		袋綴	5丁	
	伝馬肝煎宗兵衛・市郎右衛門↓宮腰町御奉行所					

(算用方)

三 役所銀決算骨折ニ付諸算用聞出 (文政6)12月 切続紙  
役等金子被下状

四 諸算用聞上役等申付状 (安政5)正月17日 切続紙  
中川外記↓宮腰町年寄中  
小幡主税↓宮腰町年寄中

五 中山主計散算用聞申付状 (慶応3)4月12日 切紙  
三浦八郎左衛門・不破亮三郎↓青木虎之助

六 諸役所銀貸付方主付申渡状 (天保6)10月 切紙  
高島右門↓町年寄格湊屋左太郎

七 広瀬屋歩兵衛等取扱仕法講懸り (弘化3)12月2日 切続紙  
棟取役申付書

八 貯用銀才許棟取役義勤方書上申 嘉永2年10月 袋綴 5丁  
成田宗左衛門↓宮腰年寄中・横目肝煎中

九 本吉町紺屋三郎兵衛御かね才許 不 切紙  
并一代切苗字名乗申付状(後欠)

十 (諸才許人)

十一 宮腰御蔵番人堀十右衛門并宮腰 万治2年4月24日 折紙  
惣肝煎中山主計兩人才許可仰付状

十二 大坂木屋吉兵衛等才許米不足一 延宝5年5月2日 続紙  
奥村因幡・津田玄蕃・今技民部・前田對馬↓駒井主水

十三 件ニ付盗取等無之旨天罰起請文 (中欠)  
左次右衛門・市郎右衛門・吉兵衛

十四 馬借余内取立人推挙書 (明和8)11月 一紙  
宮腰町年寄中山弥兵衛・同庄兵衛↓宮腰町御奉行所

十五 中山家文書目錄

(裏書) 金岩嘉太夫

三 肝煎武右衛門等二名人別調理方 (天保14)8月20日 切紙  
主付申付書

四 人別方主付役儀勤方書上申帳 嘉永2年9月 袋綴 3丁  
里見亥三郎↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

五 人別方調筆役々儀方書上申帳 嘉永2年9月 袋綴 3丁  
人別方主附武右衛門・市郎右衛門↓宮腰町御奉行所

六 岡持裁許役儀勤方書上申帳 嘉永2年8月 袋綴 2丁  
人別方調筆役吉助・文蔵↓宮腰町御奉行所

七 御能方主付勤方書上申帳 嘉永6年11月 袋綴 3丁  
岡持裁許門右衛門↓宮腰町御奉行所

八 中山主計調筆方被仰付ニ付御尋 9月29日 切続紙  
御能方主付庄右衛門・武右衛門・与三兵衛・善太郎・市郎右衛門・五郎兵衛・權太郎・作次郎↓宮腰町御奉行所

九 有之節答方之義御指図願状 中山主計

十 留書役・大工等人数書断簡 不 切紙

十一 浦方諸役 (浦改・潤役)

一 貞享三年六代目甚丞書上申浦方 貞享3年7月2日 袋綴 2  
御用等勤方之扣

二 潤改役誓詞前書 正徳4年3月28日 続紙

三 ①浦改役仰渡候一件 天明7年2月 袋綴 4丁  
宮腰中山甚丞↓村田弥三郎

②浦改方勤方覚 不 切続紙

③中山主計浦改役申付状 未2月20日 切紙

④浦改役誓詞見届之義ニ付召状 未3月8日 切続紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付点数

野村八郎兵衛—中山主計

四 潤改人願紙面承届ニ付以来調方 (文政・天保) 2月22日 切紙

御算用場—高島右門

五 中山主計浦改役願届ニ付御尊 万延元年12月晦日 切統紙2  
像崇敬方申渡状

丹羽織人・小幡主税—中山主計

六 中山主計浦改役被仰付ニ付請書 万延元年12月晦日 一紙 2

中山主計—丹羽織人・小幡主税

七 浦改役義之義願ニ付勝手向等内 万延元年3月 袋綴 6丁  
密調理書

八 中山主計浦改願之義聞届状并永 (万延元)12月晦日 折紙  
代家祿之御趣意ニ付本紙頂戴之 (文久3)12月

義聞書

・丹羽織人・小幡主税—中山主計

・坂井三郎兵衛・長屋八内—中山主計

九 家祿浦改御書立并中山而後句

(万延元)12月 (文久3) (枚) (軸装)

(紙背文書)甲子二月浦改勤方定 (元治元年)

長屋八内他—中山主計

一〇 中山主計浦改役被仰付ニ付勤方 万延2年2月晦日 一紙  
請書

中山主計—丹羽織人・小幡主税

二 中山主計浦改仰付ニ付湊口錢之 (万延) 12月 切紙  
義潤改より可渡達書

三 中山主計浦改申付一件并御尊像 (文久元)正月4日 切統紙  
守護之義申渡ニ付申上書

丹羽織人・小幡主税—御算用場等

三 中山主計潤改上役申付ニ付湊口 文久元年2月 切統紙  
錢より潤改番所諸入用銀可相渡 達書

四 中山主計浦改被仰付ニ付役料勤 (文久元)2月 切統紙  
方之義申渡書等綴 (錯簡) り綴 3丁

五 中山主計浦改被仰付義ニ付役柄 文久2年5月 袋綴 4丁  
役所等如先規被仰付様願書

中山主計—神尾篤治郎・坂井三郎兵衛  
六 中山家再任之浦改勤向之義先規 文久2年6月 統紙  
之如ク被仰付様願書

中山主計—神尾篤治郎・坂井三郎兵衛  
七 中山主計浦改被仰付ニ付都而如 6月 切統紙  
先規被仰渡様願書

八 中山主計浦改役永代可被仰付願 (文久2)9月晦日 切統紙  
之義詮義仕度一札

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛—岡嶋左膳・大村看次郎・加藤三郎  
左衛門・山森権太郎  
九 中山主計義先規之如永代浦改役 (文久2)9月 切統紙  
被仰付様申上書

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛—岡嶋左膳・大村看次郎・加藤三郎  
門・山森権太郎  
一〇 中山主計潤改召仕方等先規之如 (文久2)9月 切統紙  
被仰付様願出ニ付申達書

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛—岡嶋左膳・大村看次郎・加藤三郎  
左衛門・山森権太郎  
一一 中山主計如先規浦改役被仰付願 (文久2) 切統紙  
聞届書 (紙背文書) り綴 2丁

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛—岡嶋左膳・大村看次郎・加藤三郎  
左衛門・山森権太郎  
一二 中山主計如先規浦改役被仰付願 (文久2) 切統紙  
聞届書 (紙背文書) り綴 2丁

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛—岡嶋左膳・大村看次郎・加藤三郎  
左衛門・山森権太郎  
一三 中山主計如先規浦改役被仰付願 (文久2) 切統紙  
聞届書 (紙背文書) り綴 2丁

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛—岡嶋左膳・大村看次郎・加藤三郎  
左衛門・山森権太郎  
一四 中山主計如先規浦改役被仰付願 (文久2) 切統紙  
聞届書 (紙背文書) り綴 2丁

神尾篤治郎・坂井三郎兵衛—岡嶋左膳・大村看次郎・加藤三郎  
左衛門・山森権太郎  
一五 中山主計如先規浦改役被仰付願 (文久2) 切統紙  
聞届書 (紙背文書) り綴 2丁

三 中山主計浦改役被仰付ニ付家禄 文久3年12月16日 切続紙

之義本紙頂戴願届状

坂井三郎兵衛・長屋八内↓中山主計

三 中山家永代浦改役仰付之義申渡 (文久3)

書 中山主計 ころ 3丁

三 浦改申付ニ付澗改上役勤方定申 (元治元)2月

渡書 切続紙

坂井三郎兵衛・長屋八内↓中山主計

三 宮腰町中山主計浦改願一件 不 袋綴 4

三 宮腰浦改主計家ニ被仰付様願書 不 袋綴 3丁

三 中山主計浦改役願書 (前欠) 不 一紙

三 中山家浦改役被仰付之義ニ付申 不 一紙

上書 (後欠)

元 中山家浦改役差除ニ付役勤由来 不 切紙

書上嘆願書 (前後欠)

三 中山主計義浦改勤方之義ニ付申 不 切続紙

上書 (後欠)

三 宮腰浦改役来歴 不 切紙

三 浦改役心得方申渡書 不 袋綴 3丁

三 浦改役誓詞前書 不 続紙

三 浦方改役勤方書 不 続紙

宮腰町御奉行所

三 宮腰浦改役之義ニ付書上 不 袋綴 3丁

宮腰町奉行

三 浦改役義ニ付書状 不 切続紙

三 中山家浦改役濫傷調理申書 不 ころ 3丁

中山主計

中山家文書目録

(浦方諸役)

三 浦方手代天罰起請文 貞享4年8月 続紙

市郎右衛門・権七・理右衛門・武右衛門・半七・源助・市平・

佐次兵衛↓中山甚之丞

三 ①御領国船才許被仰付候旧例 寛延3~文政4年 袋綴 10丁

三 ②船才許人役料等覚 不 切紙

三 中山弥八郎等船才許申付状 宝曆10年12月 切続紙

佐藤半五右衛門↓鶴屋宇兵衛・中山弥八郎

三 地舟才許人差加一件留 文化9年 ころ 3丁

児玉孫左衛門↓浅加三左衛門・前田清八

三 錢屋五兵衛領国船械役しらべ (文政~天保) 7月6日 切続紙

方御用申付状 御算用場↓高島右門

三 錢屋五兵衛義御領国械役しらへ方雜費相懸ニ付他国出津千石被下状 7月8日 切紙

錢屋五兵衛船械役調理方申渡

三 錢屋五兵衛船械役調理方申渡 (天保5)7月6日 切続紙 2

状并雜費被下状

御算用場↓高島右衛門

三 錢五義御領械役しらべ役指除申渡書 10月12日 切紙

三 錢屋五兵衛義僉儀之趣有之御領国械役しらべ役指除申渡書 10月12日 切紙

三 船才許之義先格調理書上 天保10年 袋綴 4丁

十四代中山主計

三 浦横目勤方書 不 一紙

三 金沢舟才許跡役被仰渡ニ付一札 辰12月23日 切続紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

- 宮腰町年寄字兵衛・弥八郎↓安宅舟肝煎吉右衛門・同五左衛門  
・安宅新村同清右衛門・小松同甚兵衛・浜村同五郎兵衛・湊同  
藤兵衛・本吉同藤兵衛・同伊左衛門・湖上村源五郎・白尾村理  
兵衛・高松村貞右衛門・大念寺新村舟肝煎十郎右衛門・富木同  
五左衛門・輪嶋新村同伊左衛門・宮腰同豊右衛門  
古府村等船肝煎名前通知廻文 寅10月18日 切統紙  
紙屋吉十郎↓中山主計
- 津出米才許被仰付被下様願書 9月 切統紙

三 問 屋

(諸 問 屋)

- 一 宮腰問屋中定書 (元禄2)6月25日 統紙
- 高島彦太夫↓中山甚丞・中山清右衛門・肝煎中
- 二 浦方問屋等心得方申渡書 (元禄6)正月13日 切統紙
- 高島彦太夫↓宮腰町年寄中・中山主計
- 三 宮腰問屋口錢請掛り物今般儀 明和3年3月 袋綴 8丁
- 仕書上申帳
- 宮腰町年寄中山弥八郎・同庄兵衛・同所肝煎平左衛門・同小右  
衛門・同弥兵衛・同久助・同武兵衛↓宮腰町御奉行所
- 四 問屋商売相統願 (明和8)11月 統紙
- 本人佐嶋屋吉五郎・後見人成田屋喜兵衛・次兵衛一家橋屋次郎  
兵衛↓宮腰町御奉行所(裏書)金岩嘉太夫
- 五 中山恒治問屋商売許可願書 (安永7)7月 統紙
- 町人中山恒治↓宮腰町御奉行所(奥書)肝煎武右衛門(裏書)  
野村与三兵衛
- 六 諸商売人問屋買懸代金算用之義 寶政2年2月 袋綴 11丁

申渡等恒川七兵衛殿町御奉行節  
留書

- 七 問屋方御改之義ニ付申上書 4月朔日 切紙
- 八 六三郎問屋商売指解之義等ニ付 (嘉永)6月11日 切紙
- 申渡書
- 九 大坂堺兵庫兩種物問屋共油絞草商 壬辰12月 袋綴 17丁
- 壳等ニ付仕法改革申付書
- 一〇 桜屋喜兵衛小宿商売之義ニ付願 不 一紙
- 書

(魚 問 屋)

- 二 魚問屋御定書 寛文2年5月27日 統紙 3
- 今枝民部・伊藤内膳・前田七郎兵衛・奥村因幡・奥村河内↓  
寺西新七、寺西新七↓宮腰菓子屋佐左衛門
- 三 魚問屋誓詞前書 享保12年3月 統紙
- 三 宮腰町魚問屋等誓詞前書写 安永6・寛政4年 袋綴 17丁
- (紙背文書)
- 四 宮腰魚問屋覺書 天明6、寛政4 袋綴 43丁
- 五 中山主計義魚問屋役骨折ニ付銀 (文化4)10月17日 切統紙
- 子被下申渡状
- (脇田)源左衛門↓中山主計
- 六 魚問屋中山主計産物方より仕法 (文化11)正月晦日 ころよ 2丁
- 之趣達ニ付召状(魚問屋中山主計  
魚方之義願ニ付申渡書)
- 御算用場↓兒玉孫左衛門、孫左衛門↓宮腰町中山主計、  
↓御算用場奉行
- 七 中山源四郎義病氣指重ニ付魚問 (嘉永元)5月21日 切紙
- 屋役中山甚丞申渡書

成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

六 魚問屋御定帳面等受取書 (慶応3) 5月27日 切紙

魚問屋源七郎↓中山恒太郎

元 中山甚丞酒屋八右衛門召状并魚問屋役申付状 己2月18日 切紙 2

三 魚問屋三右衛門分指引請取銀寛 2月晦日 切紙

二 宮腰魚問屋中山主計義御算用場 御收納所召状 不 切紙

(塩問屋)

三 御塩問屋等懸渡之義金沢同様現 (天保9) 10月11日 切続紙

銀二仕可申渡書

湯原平馬↓中山主計

三 御塩問屋御塩勤方書上申帳 天保14年6月 袋綴 3丁

御塩問屋平左衛門・宗兵衛・同喜助↓宮腰町御奉行所

二 御塩問屋并小売人共指止御指壳 嘉永5年8月 袋綴 11丁

捌人与名目建替候一件 (中山) 主計

三 塩座之義本町肝煎式拾人ニ申付状 11月24日 切紙

。岡田十右衛門・里見七左衛門↓。村田弥三郎↓宮腰甚丞・与三右衛門

(材木問屋)

六 材木問屋定書 不 切紙

七 材木問屋勤方書 不 袋綴 2丁

↓宮腰町御奉行所

(笠問屋)

六 宮腰湊屋左太郎等笠問屋株立願 (文政・天保) 3月12日 切紙

ニ付加州浦問屋之義尋書

御算用場↓高島右門

元 代屋六右衛門笠問屋株錢屋喜太郎へ讓替一件ニ付存寄之義申上書 辰2月 袋綴 5丁

中山主計↓御奉行所

三 宮腰問屋湊屋佐太郎等菅笠商売 株立願ニ付調書(後欠) 不 切続紙

(人馬問屋)

三 宮腰人馬問屋相建ニ付名目之義 (文化4) 11月14日 切続紙

等申渡状 松原安左衛門↓宮腰町年寄中

六〇 御用留

一 二木自分留 慶長5~天明8年 袋綴 158丁

二木助左衛門

二 ①御定書并御公用向留 寛永~延宝 袋綴 130丁

中山氏 (五冊合綴)

三 ②俵物等駄荷錢定覚 不 切紙

①旧記品々留 承応~貞享 列帖装 53丁

承応三年宮腰高之事、寛文三年二日詔等 中山氏

②御領国浦々他国他領米入不申 (貞享2) 3月5日 切続紙

様縮方申渡書 御算用場↓。村田弥三郎↓宮腰甚丞・肝煎中・与三右衛門

①左太郎自分之留帳 文化3~文政12年 袋綴 137丁

中山左太郎

②中山主計病死ニ付御扶持高仮 (文化3) 6月22日 切紙 2

所附等指出ニ付請取書并添状 切続紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

。御算用場→脇田善左衛門、脇田善左衛門→中山恒治

③御殿様中山家旧宅ニ而御宿仕 (文化) 8月18日 切統紙

候例并中山家養子仕例ニ付申

上書

脇田善左衛門→御年寄衆執筆中

④御年寄衆御家老衆等名書 不 切統紙2

⑤故主計弟左太郎御召状并家相 (文化3)12月16日 切統紙2

続御扶持願聞届状

岩田伝左衛門→宮腰町年寄

⑥中山故主計跡式并御扶持之義 (文化3)12月16日 切統紙

取捌方可被成申達書

岩田伝左衛門→脇田善左衛門

⑦九右衛門渡銭之覚 不 切紙

⑧湊屋相統人之義ニ付願状 (文化9)12月 一紙

中山左太郎→脇田善左衛門

⑨中山三右衛門家相統之義ニ付 (文化9)12月 一紙

願状

中山左太郎→脇田善左衛門

⑩中山左太郎義御用有之ニ付召 (文化) 正月10日 切紙

状

宮腰町中山左太郎→脇田善左衛門

⑪中山左太郎義町年寄役并浦改 (文化4)正月11日 切紙

役申付状及請書

中山左太郎→脇田善左衛門

⑫産物銀等拝借銀算用書 不 切紙 3

⑬太梁院様十七回御忌御法事拜 (文政) 10月晦日 切統紙

礼御聞届ニ付申渡書  
中川外記→中山主計・中山弥八郎

⑭中山左太郎義改名願聞届状并 (文化4) 切紙 4

不都合之旨申渡及再聞届状

脇田善左衛門→中山主計、脇田善左衛門→中山左太郎、脇田善左衛門→奥村左京

⑮中山左太郎義御扶持高被下ニ (文化)2月21日 切紙 3

付御蔵返米等請取可罷出申達及添状

御算用場→脇田善左衛門、脇田善左衛門→中山主計、中山主計→御奉行所

⑯中山左太郎御扶持高渡状并請 文化4年 一紙 4

取可罷出申渡状及添状

御算用場→小幡余所之助・坂井庄太郎、御算用場→脇田善左衛門、脇田善左衛門→中山主計

⑰微妙院様百五十回御忌御法事 (文化4)10月9日 切紙 2

罷出願聞届状并添状

横山山城→脇田善左衛門、脇田善左衛門→中山主計

⑱拜礼刻限等御尋ニ付返書 2月13日 切統紙

香林坊兵助→中山主計

⑲泰雲院様式拾五回御忌御法事 (文化7)5月9日 切紙 2

拜礼承届状并同添状

奥村助右衛門→脇田善左衛門、脇田善左衛門→中山主計

⑳泰雲院様御法事拜礼日限等問 (文化7) 5月11日 切紙  
い合せ状并同返書 2  
中山主計↓香林坊兵助

㉑中山主計義小松之縁者へ罷越 (文化7) 4月15日 切紙  
度ニ付御暇願  
町年寄中山主計↓脇田善左衛門

㉒中山主計義瑞龍院様式百回御 (文化10) 3・4月 折紙  
忌御法事拜礼之義被仰付様願 3  
書  
児玉孫左衛門↓奥村左京

㉓中山主計義魚問屋申付状并役 (文化9) 9・12月 切紙  
向入情ニ付金子被下状 3  
(児玉) 孫左衛門↓宮腰町年寄中

㉔太梁院様御一周忌御法事拜礼 (文化8) 11月7、8日 切紙  
願之義聞届状并拜礼日限通知 3  
状  
脇田善左衛門↓中山主計、香(林坊)兵助↓中(山)主計

㉕瑞龍院様御法事之節拜礼之覚 (文化10) 4・5月 切紙  
并拜礼仰付書及拜礼日限通知 4  
切紙  
状  
。児玉孫左衛門↓中山主計、香林坊兵助↓中山主計

㉖高德院様御帷子拜領并御代々 (文政元年) 9月 切紙  
様宮腰御出之節御出迎之由来  
書  
中山主計↓土肥権六郎

㉗白銀等頂戴書 5月22日 切紙  
中山主計↓藤江十蔵

中山家文書目録

㉘泰雲院様三十三回御忌御法事 (文化・文政) 6月2日 切紙  
拜礼願聞届状  
土肥権六郎↓中山主計

㉙中山主計義申渡有之ニ付召状 (文化11) 12月 切紙  
并指扣申渡状 2  
土肥権六郎↓中山主計

㉚御法事拜礼之義ニ付日限等通 6月4日 切紙  
知状  
香林坊兵助↓中山主計

㉛太梁院様十三回御忌御法事ニ (文政4) 11月28日 切紙  
付中山主計義拜礼可被仰付願  
書  
土肥権六郎↓村井又兵衛

㉜中山主計家御代々様御法事罷 (文化・文政) 12月2日 切紙  
出之義尋書  
土肥権六郎↓宮腰町年寄中

㉝太梁院様御法事拜礼願之義聞 (文化・文政) 12月13日 切紙  
届状  
土肥権六郎↓中山主計

㉞中山主計三男虎三義養子ニ遣 (文政) 2月 切紙  
候得共役義不埒之義有之ニ付  
引取願  
中山主計↓土肥三左衛門

㉟瑞龍院等御忌御法事覚 不 一紙

㊱中山主計義松雲院様百回御忌 (文政6) 4・5月 切紙  
御法事拜礼願并聞届状等  
。土肥三左衛門↓横山求馬、土肥三左衛門内安田兵摩↓中山  
主計、土肥三左衛門↓宮崎信次郎

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

③⑦ 御法事拜礼之義ニ付日限等通  
知状 5月6日 切続紙

香林坊兵助↓中山主計

③⑨ 中山主計三男柯三郎義南森下  
村三郎右衛門方へ引移ニ付御  
達申上書 (文政8)8月 一紙

中山主計↓中川外記

③⑨ 中山主計母病死候得共御用多  
ニ付出勤申渡書 (文政7)5月23日 切紙

中川外記↓中山主計

④⑩ 御入国御礼罷出方ニ付窺書  
中山主計↓中川外記 (文政7)5月29日 切紙

中山主計↓中川外記

④① 年頭御礼金沢町年寄と別御間  
ニ而御目見等之義先例可書出  
申達書 (文政7)8月2日 切続紙

中川外記↓中山弥八郎

④② 金龍院様御三十五日御法事拜  
礼聞届状并日限等通知状 (文政)  
8月12・13日 切紙 3

宮崎信次郎↓横山助三郎

中川外記↓中山主計・中山孫八  
郎・香林坊兵助↓中山主計

④③ 中山主計三男柯三郎義智養子  
ニ指遣度許可願書并聞届添状  
中山主計↓中山外記 (文政8)年4月26日 一紙 2

中山主計↓中山外記

④④ 中山主計せがれ弥八郎義縁組  
届願 文政8年11月 一紙

中山主計↓中川外記

④⑤ 金龍院様御一周忌御法事拜礼 (文政8)8月3日 切紙  
願聞届状

中川外記↓中山主計・中山弥八郎

④⑥ 弥八郎主計妻出自書 不 切紙

④⑦ 中山主計病身ニ而魚問屋役免 (文政8)12月13日 切紙

除願ニ付免除申付状

中川外記↓中山主計

④⑧ 金龍院様御三回忌御法事拜礼 (文政9)7月6日 切続紙

願聞届状

中川外記↓中山主計・中山弥八郎

④⑨ 中山主計剃髮願之義ニ付召状 (文政9)9月12日 切紙 3

并聞届状

中川外記↓中山主計

⑤⑩ 御元祖様御像御別殿大破ニ付 (文政10)3・8月 切続紙 2

再建銀貸渡申付書并中山主計  
再借願

中川外記↓中山主計・中山主計↓中川外記

⑤① 十三代主計梓恒治自分留 文化9)天保3年 袋綴 143丁

⑤② 中山恒治義浦改見習申付置ニ (文化11)8月朔日 切続紙

付役料指遣状

⑤③ 中山恒治義浦改見習并年寄見 (文化9)8月 切紙

習列申付状

⑤④ 中山恒治義今般仕法相改諸役 (文化11)12月 切紙

人相減ニ付浦改見習役指省申  
付状

付状

⑤⑤ 中山主計義不心得之趣有之ニ (文化12)2月 切続紙

付町年寄役并浦改役指除状

⑤⑥ 中山恒治義養父主計役義取放 (文化12)2月 切続紙

二付格別町年寄役并浦改役申  
付状

⑦ 中山恒治義改名願 (文化12) 2月朔日 一紙

中山恒治↓土肥権六郎

⑧ 中山主計義不届之義有之ニ付 (文化12) 10月 切続紙

追込申付状

⑨ 太梁院様御法事拜礼罷願并不 (文化12) 10月・11月 一紙  
聞届之返書 2

中山弥八郎↓土肥権六郎

⑩ 中山弥八郎義浦改役誓詞見届 (文政7) 3月9日 切続紙

ニ付出頭達

中川外記↓中山弥八郎

⑪ 御郡役人并遠所町人等紋付着 (未) 4月 切紙

用之義ニ付申達付札

↓御算用場奉行

⑫ 中山弥八郎召状并魚問屋当分 (文政8) 12月 切紙  
2

兼帯申付状

中川外記↓中山弥八郎

⑬ 中山源四郎等申渡之義有之ニ (文政) 4月13日 切紙

付召状

土肥三左衛門↓中山弥八郎

⑭ 中山弥八郎義浦口銭取立役当 (文政6) 9月15日 切続紙

分兼帯申付置候処差劣ニ付申渡状

土肥三左衛門↓宮腰町年寄中山源四郎

⑮ 宮腰町役人書上 (不) 切続紙

⑯ 申入之義有之ニ付召状 (文政) 2月23日 切紙

土肥三左衛門↓中山弥八郎

⑰ 町年寄中山弥八郎義御用有之 (文政7) 12月18日 切紙

ニ付召状

中川外記↓中山源四郎

⑱ 来年頭御礼罷出ニ付名書達可 (文政7) 12月19日 切紙

置申達状

中川外記↓中山弥八郎

⑲ 中山弥八郎等役所貯用銀等勘 (文政6) 正月 切続紙

定方主附免除差宥状

⑳ 中山弥八郎義脚氣療養之ため (文政8) 3月 切紙

暇願書

中山弥八郎↓御奉行所

㉑ 中山弥八郎義魚問屋誓詞見届 (文政) 12月16日 切紙

ニ付御算用場可罷出申渡書

中川外記↓中山弥八郎

㉒ 中山弥八郎義疝氣持病ニ付有 (文政10) 9月 切紙

馬入湯療養仕度暇願書

中山弥八郎↓御奉行所

㉓ 中山弥八郎義疝氣持病ニ付有 (文政10) 10月 一紙

馬入湯療養仕度暇願書

中山弥八郎↓宮腰町御奉行所 (裏書) 中川外記

㉔ 中山主計跡目願遣書 (文政11) 12月2日 一紙  
2

中山主計↓高島右門

㉕ 中山弥八郎義養父忌中ニ候得 (文政12) 正月14日 切紙

共出勤方達

高島右門↓中山弥八郎

㉖ 中山主計跡目願遣書 (文政11) 12月2日 切紙

中山主計↓高島右門

㉗ 中山主計死去ニ付御扶持高仮 (文政12) 正月16日 切続紙

村附請取并当春夫銀被下之旨

申渡書

御算用場↓高島右門、高島右門↓中山弥八郎

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
28	御貸米願書之義ニ付返書		(文政・天保)	3月2日	切紙	
	高島右門↓中山弥八郎					
29	森本一件ニ付可見合通知		(文政・天保)	9月26日	切紙	
	高島右門↓中山主計					
30	中山家御礼罷出之義等旧例之 如く被仰付度願書		(文政12)	2月	一紙	
	中山弥八郎↓高島右門					
31	土肥権六郎等名書		(文政)		切紙	
32	中山家御城被召出之義等旧例 直状を以可申越申渡書		(文政・天保)	5月26日	切紙	
	高島右門↓中山弥八郎					
33	中山家格別御取扱方之義有之 旨ニ付忠勤可有之申達書		(天保4)	6月2日	切紙	
	(高島)右門↓中山弥八郎					
34	中山弥八郎家督之義ニ付内分 通知		(文政・天保)	7月10日	切紙	
	高島右門内棚橋寛佑↓中山弥八郎					
35	中山弥八郎義御用有之ニ付召 状		(文政・天保)	7月11日	切紙	
	高島右門↓中山弥八郎					
36	中山主計遺知拜領ニ付御披露 状			7月	切紙 切統紙 2	
37	役向借用銀返納之義ニ付願書			丑8月	切紙	
	兩人↓御奉行所					
38	弥八郎改名願聞届状		(文政12)	8月6日	切統紙	
	高島右門↓中山弥八郎					
39	御扶持高当年分御蔵返米切手 并秋夫銀切手相渡ニ付召状		(文政12)	11月6日	切紙	
	高島右門↓中山主計					
40	中山主計扶持高免附帳 宮腰本町肝煎新三郎・同平左衛門・同源兵衛・同所町年寄中山 主計・中山源四郎↓高島右門		文政12年12月		袋綴 3丁	
41	酒屋八右衛門実姓院様御目通 之義等由緒書上			11月	切統紙	
	酒屋八右衛門↓					
42	大官坊看司宝池院等訴訟一件 覚				折紙	
43	拜礼日時等聞合ニ付返答状			7月9日	切紙	
	香林坊六助↓中山主計					
44	中山主計扶持方御印可下申付 書				切紙	
45	中山主計等年寄役相勤候家柄 之覚		文政12年12月26日		切統紙	
	↓高島右門					
46	森本老件落着ニ付通知状		(文政・天保)	12月30日	切統紙	
	高島右門↓中山主計					
47	寺中御能番組				切紙	
48	春夫銀相渡ニ付請書指出可通 知		(天保元)	3月24日	切紙	
	高島右門↓中山主計					
49	御出之節曳網之義ニ付内分申 遣書			4月	切紙 切統紙 2	
	高島右門↓中山主計					
50	瑞龍公富山御在城之儀高徳公 等御忌尋書并答書付箋		(文政・天保)	6月23日	切紙 3	

⑤1 金龍院様御七回忌御法事拝礼 (天保元) 7月4日 切紙  
御聞届之義申達状  
高島右門↓中山主計

⑤2 犬千代様御誕生之節御城罷出 不 切紙 2  
之義等覚

⑤3 町役人転役之義ニ付申上状 不 一紙

⑤4 犬千代丸様御誕生ニ付二御丸 (天保元) 10月 切続紙 2  
罷出之義承届状并添状  
高島右門↓中山主計

⑤5 喜多村彦左衛門金屋彦四郎名 文政11年11月 切続紙  
跡相続ニ付前々通御目見被仰  
付様願一件

付様願一件

喜多村彦左衛門↓町御奉行所、小堀八太夫・有賀兵助↓前  
田大炊、片岡孫兵衛↓町御奉行所、金屋孫兵衛↓町御奉行  
所、小堀八太夫・有賀兵助↓横山求馬

⑤6 森屋久兵衛へ酒肴代等払方之 不 切紙  
覚

⑤7 今般殿様御拜任ニ付旧例之如 (天保2) 12月 一紙  
く罷出献上物奉度願書  
中山主計↓高島右門

⑤8 中山家之義松雲院様御代より (天保3) 一紙 2  
御免駕御帰城之節罷出之義中  
絶仕ニ付先例之通仰付願并返  
書  
正月・3月 切紙  
中山主計↓高島右門

⑤9 中山三右衛門等年寄見習申付 (文政・天保) 切紙  
之義ニ付存寄之義尋書 7月8日

中山家文書目録

高島右門↓中山主計

⑥0 御勝手方ニ而御尊像之義御尋 (文政・天保) 7月 切紙  
ニ付御座之間大破之旨答置旨  
申遣状  
高島右門↓中山主計

⑥1 金山方借用銀利足指出方ニ付 (文政・天保) 切紙  
申達書 10月4日  
高島右門↓中山主計

⑥2 金山方御貯用銀拝借願承届状 (文政・天保) 切続紙  
関弥左衛門・石嶋仙太郎↓高島右門 12月21日

⑥3 御次金山方御貯銀借用証文雜 天保 一紙  
形  
宮腰町肝煎新三郎・平左衛門↓御金山方御かね肝煎棟取・久右  
衛門・肝煎茂兵衛 (奥書) 町年寄中山主計

⑥4 金山方御貯用銀拝借願承届ニ (文政・天保) 切続紙  
付手續方申達書 12月24日  
会所↓高島右門

六 ① 中山主計自分留 天保4~11年 袋綴 255丁

天保六被下出津石高書出申帳 浪華大塩平八郎反逆之一件

② 中山主計跡目願遺書 天保3年正月2日 一紙  
中山主計↓高島右門

③ 御役所御貯用銀町年寄等拝借 (天保4) 6月26日 切紙  
之分返上日延願ニ付聞届度旨 切続紙 2  
一札并会所返書  
高島右門↓会所

④ 能番組 4月15日 切紙

六七

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

⑤ 中山主計御法事拜礼罷出願ニ  
付応返書  
(高島)右門→中山主計  
10・11月  
切続紙 2

⑥ 太梁院様二十五回御忌拜礼之  
義聞届達書并拜礼方参集通知  
高島右門→中山主計・香林坊六助→中山主計  
(天保4)11月6日  
切続紙 2

⑦ 大根や風刺かぞえ歌  
不  
切続紙

⑧ 領内難波ニ付本願寺より石田  
小右衛門指向同人御改革仕法  
御仕ニ付淡路守仰出書并富山  
領内触書  
御勝手方  
天保4年11月21日  
切続紙

⑨ 主計家之義旧例ニより殿様御  
帰城之節罷出方承届申渡書  
高島右門  
(天保5)4月  
切続紙

⑩ 中山主計義用事有之ニ付召状  
高島右門→中山主計  
(文政・天保)  
4月14日  
切紙

⑪ 中山主計義町方取扱方骨折ニ  
付白銀遣状  
午4月  
切紙

⑫ 本多播磨守殿覚書申達之添状  
高島右門→中山主計  
(天保5)4月  
切紙

⑬ 御用番等廻勤之覚  
不  
切紙

⑭ 太子御尊像御表具よりぬけ出  
之事  
河長→田君  
不  
切紙

⑮ 今般御帰国御機嫌伺小松町年  
午4月  
切続紙

寄より指出之義ニ付申達書

堀→(金沢町奉行所)

⑯ 中山家殿様御帰城之節罷出方  
如先例被仰渡ニ付当地振合之  
義等申渡書  
武部十次郎→中(山)主計  
4月16日  
切続紙

⑰ 御殿様御帰城之節罷出方先例  
之如く被仰付ニ付御礼振合等  
ニ付御窺書  
4月11日  
切続紙

⑱ 泰雲院様御法事拜礼罷出願届  
状并添状  
横山山城守→高島右門・高島右門→中山主計  
(文政・天保)  
6月6・7日  
切続紙 2

⑲ 拜礼之義ニ付参集之旨書状  
香林坊六助→中山主計  
6月9日  
切紙

⑳ 中山主計近年難波ニ付御元祖  
様尊像御座所修覆手当之義申  
渡書并中山主計召状  
高島右門・高島右門→中山主計  
(天保6)12月  
切続紙 2

㉑ 産物方御貯用銀借用書  
中山主計→産物方御役所  
天保6年10月26日  
一紙

㉒ 天保通宝目形等書上図  
不  
切紙

㉓ 拜礼罷出ニ付参集方通知  
香林坊六助→中山主計  
7月18日  
切紙 2

㉔ 浦改役潤改役人選并役料之義  
ニ付申達書  
10月  
切続紙

㉕ 願ニ依り御次御貯用銀貸渡ニ  
付返上方等申渡書并再借願及  
(天保7)12月  
切続紙 3

拜借延願之義ニ付申渡書

神尾主殿→中山主計

②⑤ 大坂町図 (淀川兩岸)

不

35×36  
(木版)

②⑦ 宮腰領御船小屋歌稽古所周辺

天保7年11月

24.5×36

図

②⑧ 大阪東奉行東組大塩平八郎一不

こよ  
り綴 3丁

統処分書

②⑨ 中山主計義役筋不行届一件差

戊8月26日

切統紙

有ニ付以後心得方申渡書

→中山主計

③⑩ 中山主計義用事有之ニ付召状

(天保) 12月9日

切紙

湯原平馬→中山主計

③⑪ 中山主計義町年寄帰役申付状

(天保9) 12月10日

切紙

湯原平馬→中山主計

③⑫ 中山主計義役義入情相勤ニ付

(天保9) 12月28日

切紙

銀遣状

湯原平馬→中山主計

③⑬ 中山主計召状并浦改役申付状

(天保10) 2月5・6日

切紙 2

(湯原)平馬→中山主計

③⑭ 御次江拜借銀願之義役用とし

(天保10) 12月20日

切紙  
切統紙 2

年貸渡銀返上方申渡書

(湯原)平馬→中山主計

③⑮ 拜領物書出し帳扣等可指出添

(天保) 2月22日

切紙

状

(湯原)平馬→中山主計

③⑯ 中山主計養弟義躰養子ニ指遣

(天保11) 3月

一紙

度願書

中山主計→湯原平馬

③⑰ 金龍院様御十七回忌御法事拜

(天保11) 6月29日他

切紙 3

礼罷出方聞届状并添状及参集

方通知

(湯原)平馬→中山主計、香林坊六助→中山主計

③⑱ 御次拜借銀限月并年賦上納之

(天保14) 6月27日

切統紙 1

義申渡書

湯原平馬→中山主計

③⑲ 御勝手方仕法取極之義ニ付添

子7月2日

切統紙 2

書状

奉行→宮腰町年寄中・横目肝煎中

④⑰ 御次へ再拜借銀願聞届ニ付申

(天保11) 7月29日

切統紙

渡書

(湯原)平馬→中山主計

④⑱ 広瀬屋武右衛門拜借之大聖寺

庚子9月

切紙

銀返濟方ニ付願書

中山主計・中山源四郎→御奉行所

④⑳ 中山主計義金龍院様御法事拜

(天保) 7月11日

切紙  
切統紙 3

礼罷出之義承届状并添状

・奥村内膳→神尾主殿、神尾主殿→中山主計

④㉑ 御次拜借銀上納限月等ニ付申

子11月晦日

切統紙

渡書

(湯原)平馬→中山主計

① 十四世主計自分留

天保12) 弘化元年

袋綴 215丁

② 年頭御礼罷出人名書

丑正月朔日

長帳 2丁

龜田市次郎

③ 天保八年御次より之貨付銀返

(天保12) 7月2日

切統紙 2

上方ニ付申渡書并添状

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

。御算用場→湯原平馬、。(湯原)平馬→中山主計

④伯耆国倭文神社大宮司子息諸 天保9年7月19日 一紙

因伯两国之大守松平因幡殿氏神東照宮之神主他→諸国所々御神

職

⑤大梁院様御法事拜礼願聞届状 己11月4日 切統紙

奉行→中山主計

⑥中山主計拝借銀願ニ付御鎮守 天保12年12月24日 切統紙

銀之内より御渡之旨申渡書并

付紙

高田善右衛門→(湯原)平馬

⑦中山主計拝借銀年賦返上之義 (天保13)正月28日 切統紙

聞届状

(湯原)平馬→中山主計

⑧拝借銀返上方聞届書添状 (天保13)2月17日 切統紙

(湯原)平馬→中山主計

⑨御能番組 4月22日 切統紙

⑩小林豊後守扶持被下祝之節御 8月20日 切統紙

能番組

⑪隣地堺板塀等修覆ニ付銀子拜 (天保13)9月 切統紙

借願書并聞届状付紙

中山主計→里見亥三郎

⑫御法事拜礼願之義難聞届旨申 (弘化元)3月28日 切統組

渡書

里見亥三郎→中山主計

⑬肝煎宗兵衛金山方拝借銀願之 4月3日 切統紙

義ニ付申渡書

里見亥三郎→中山主計

⑭御かね御用金沢町人甚蔵等不 2月 切紙

埒ニ付答申付状

→町奉行

⑮湊屋左太郎等御次銀貸渡ニ付 (天保14)12月24日 切統紙

申渡書

里見亥三郎→中山主計

⑯中山主計義珠洲郡大谷村広栄 (天保14) 切統紙

寺江畳表寄附致度ニ付宮腰浦 5月20~22日

出津願聞届状并添書

。算用場→里見亥三郎、。里見亥三郎→宮腰町年寄中

⑰湊屋左太郎御次銀拝借之義ニ (天保・弘化) 切統紙

付利足銀請取渡方申達書 6月26日

里見亥三郎→中山主計

⑱中山主計召状并浦改加役申付 (天保14) 切紙

状 7月6・7日

⑲中山主計家作方ニ付外町并ニ (天保14)9月6日 切統紙

可相改申渡書

里見亥三郎→中山主計

⑳中山主計家門構之義外町同様 (天保14)9月6日 切統紙

可取払申渡書

里見亥三郎→宮腰町年寄中・横目肝煎中

㉑質素勤儉之達書 7月 切統紙

関白御殿御月番上田越後守→公御一統并地下官人共

㉒津田修理義能盈御縮方之為所 (天保14)8月19日 切統紙

口在住并同国盜賊改方仰付書

②③ 前田近江守叙爵仰付状 不 切紙

②④ 陽広院様式百回御忌御法事拝礼願可差出通知状 (弘化元) 3月18日 切紙  
里見亥三郎↓中山主計

②⑤ 陽広院様御法事拝礼願聞届状 (弘化元) 3月28日 切紙  
并添状 里見亥三郎↓中山主計

②⑥ 小松疊表珠洲郡大谷村広栄寺 天保15年4月 続紙  
江寄附仕度ニ付津出願并聞届 切紙 3  
状及添状

。中山源四郎↓宮腰町御奉行所、御算用場↓里見亥三郎、  
里見亥三郎↓中山源四郎

②⑦ 中山主計義護国院様百回御忌 (弘化元) 切紙  
御法事拝礼願之義聞届状并添 5月23・24日 切紙 3  
状

。前田美作守↓里見亥三郎、水原清五郎↓里見亥三郎、里  
見亥三郎↓中山主計

②⑧ 御法事拝礼日限等ニ付応返状 6月8日 切紙  
平野屋半助↓中山主計

②⑨ 浦方歩一御定并諸役人役料等 (天保・弘化) 切紙  
調書可差出申渡書 7月14日 切紙 3  
里見亥三郎↓中山主計

③⑩ 異国船渡来之風説確認之義ニ (天保・弘化) 切紙  
付申達書 7月28日 切紙  
里見亥三郎↓中山主計

八 ① 十四世主計悴甚丞自分留 天保14、嘉永3年 袋綴 21丁  
中山甚丞

② 中山主計義材木才許兼帯申付 甲子12月 切紙  
状

③ 中山主計月番等相勤ニ付礼銀 戊子9月 切紙  
受納仕義町方余荷として指出  
度御聞届願

中山主計↓御奉行所  
④ 甲午より丁酉年御次御貸付銀 庚子9月 横帳 3丁  
賞

中山主計  
⑤ 中山甚丞材木中買才許申付状 (弘化元) 正月16日 切紙  
里見亥三郎

⑥ 中山甚之丞御用ニ付召状 4月18日 切紙

⑦ 中山甚之丞義御用ニ付召状 2月16日 切紙

⑧ 中山主計御用有之ニ付召状 (文久、慶応) 切紙  
(坂井)三郎兵衛↓主計 7月11日

⑨ 御鎮守銀御貸付分年賦改之義 申渡状 申7月25日 切紙  
↓中山主計

⑩ 中山甚丞義御用神妙相勤ニ付 (嘉永5) 12月 切紙  
銀贈遣状

⑪ 中山甚丞義御用神妙相勤ニ付 (嘉永4) 12月 切紙  
銀贈遣状

⑫ 中山甚丞義御用多端相勤ニ付 (嘉永3) 12月 切紙  
銀贈遣状

⑬ 中山甚丞義御用相勤ニ付礼銀 (嘉永3) 9月 切紙  
受納仕分町方余荷として指出  
度御聞届願

中山甚丞↓御奉行所

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

⑭ 中山主計義浦改役願之通相聞 (万延元)12月晦日 切続紙

二付御尊像御座所大切相続心得申渡書

丹羽織人・小幡主税↓中山主計

⑮ 材木中買才許并中買共勤方流 (弘化元)4月28日 3丁  
失二付心得申付書 り綴

里見亥三郎↓材木中買才許中山甚丞

⑯ 材木着船之節中買共不正無之 (天保・弘化) 切続紙  
様申渡書 7月26日

里見亥三郎↓材木中買才許中山甚丞

⑰ 町年寄見習中山甚丞本役被仰 嘉永2年12月23日 一紙  
付二付兼役之材木仲買・仲買

才許御免除願

町年寄見習中山甚丞↓御奉行所

九 ① 中山主計自分留 嘉永4↓安政元年 袋綴 185丁

附、異国船丑正月十日渡来に付公義五書上候享 嘉永七年

② 越中五ヶ山出来塩硝御召上二 (嘉永) 5月6日 切続紙  
付薬種屋共御払之義申達書

御算用場↓半田権之丞

③ 御次拝借銀返上納方願承届之 (嘉永4)9月8日 切続紙  
義申達状

御算用場↓半田権之丞

④ 御次拝借銀返上納方願承届書 (嘉永4)9月10日 切紙  
添状

半田権之丞↓中山主計

⑤ 御次御貸付銀返納年賦延之義 (嘉永4)8月 切紙  
承届書并添状 切続紙 2

御算用場↓半田権之丞・半田権之丞↓

⑥ 中山主計疝氣療養之為有馬入 嘉永5年2月 一紙  
湯仕度ニ付暇願書

中山主計↓菊池常三 (裏書) 菊池常三

⑦ 中山主計等御帰城之節二之御 (嘉永5)3月晦日 切続紙  
丸籠出之義ニ付申渡書

戸田右近↓菊池常三

⑧ 中山主計等謙徳院様御法事拜 (嘉永5)3月晦日 切紙  
礼之義聞届ニ付申渡書

戸田右近↓菊池常三

⑨ 中山主計并せかれ謙徳院様御 (嘉永) 3月29日 切紙  
法事拜礼承届之申渡書

横山大膳↓菊池常三

⑩ 豊之丞様祝言祝能番組 不 切続紙

⑪ 御次御用積物荷物之義ニ付申 (嘉永5)5月9日 切続紙  
遺状

菊池常三↓中山主計

⑫ 昨日之御はなし之義ニ付書状 8月16日 切紙

亥之吉事堀五郎大夫↓中山主計

⑬ 町年寄役被為御付ニ付御祝招 7・8・9月 切紙 6  
待等金屋彦四郎書状

⑭ 町年寄中山三右衛門義病氣ニ 9月 切紙  
付銀贈状

⑮ 中山主計并せかれ天珠院様御 (嘉永) 9月25・26日 切紙  
法事拜礼承届之申渡状并添状 切続紙 2

村井又兵衛↓菊池常三・菊池常三↓中山主計

⑯ 町年寄中山主計義疝邪持病ニ 嘉永5年12月 一紙  
付役義免除願

中山主計↓菊池常三

⑰御加増之義案内状 11月29日 切紙

永井広之助↓中山主計

⑱丑年春之句四首 不 一紙

⑲京都出火略図 寅4月 28×39 (木版)

⑳拝借之御次別銀返上方難波ニ 切続紙3

付猶子願書

中山主計↓齊藤与兵衛・浅香嘉門

㉑アメリカより献貢物并亜墨利 不 ころ綴 4

伽国王江献貢物書上

㉒町年寄庄右衛門義年頭御礼被 切紙

仰付様仕度御達申書

齊藤与兵衛・浅香嘉門↓村井又兵衛 (奥書) 奥村助右衛門

一〇 ①十五世甚丞自分留 嘉永7〜安政4年 袋綴 178丁

②中山主計儀別間修履願ニ付加 切続紙

建修理申渡書

↓湯原平馬

③天保年中借用之御次銀返上方 切続紙

操延願

中山甚丞↓齊藤与兵衛・浅香嘉門

④御能拜見出府被仰付状并作法 切続紙3

5月24・25日

浅香嘉門↓中山甚丞

⑤左京大夫様卒去ニ付普請鳴物 切続紙

7月11日

等停止之達書

横山大膳↓羽田三作、羽田三作↓浅香嘉門、浅香嘉門↓中山甚丞

中山家文書目録

⑥御次銀御渡之達書 7月10日 切紙

高島伊三郎↓中山甚丞

⑦酒屋八右衛門等呼出状写 切紙

浅香嘉門↓町年寄中山甚丞他 8月9・10日

⑧中山主計娘婚姻ニ付人別送状 文久2年7月 切紙 2

并送先人名札

中山主計↓十間町龜宮屋平兵衛

二 ①十五世主計忤恒太郎自分留 文久2〜慶応4年 袋綴 55丁

②中山主計せがれ年頭御礼父同 切続紙2

様被仰付度願出ニ付御達申上

書并聞届之返書

。神尾篤治郎・坂井三郎兵衛↓奥村内膳、篤次郎・三郎兵衛

↓中山主計

③御掃除番心付等算用仕切 亥正月 ころ綴 3丁

肝煎長左衛門・越中屋嘉七郎↓中山

④小松村井屋新次郎等御城罷出 3月11日 切紙

ニ付集合方申渡書

音地采女↓青木虎之助

⑤瑞龍院様式百五十回御忌ニ付 文久3 4月16日 切続紙

普請鳴物等指止達

。本多播磨守↓神尾篤治郎等、篤治郎↓宮腰町年寄中

⑥中山恒太郎義御用ニ付召状并 切紙 2

町年寄見習申付状

坂井三郎兵衛・長屋八内↓中山恒太郎

⑦中山恒太郎義浦改并魚問屋当 寅5月13日 切紙

分兼帯申付状

⑧中山恒太郎義諸御用披見物等 丑8月 切紙

本役同様可相勤申渡書

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

⑨ 町年寄見習中山恒太郎へ白銀 (元治元)12月 遺状 切紙

⑩ 中山主計義町方救銀決算方骨 折二付白銀遺状 子12月28日 切紙

⑪ 中山主計義銃卒稽古方御用骨 折二付金遺状 亥12月 切紙

⑫ 小松町年寄小松屋孝左衛門等 御城罷出二付町会所集合方申 渡書 5月10日 切続紙

・篠嶋左平↓吉村源太郎、中屋彦十郎↓小松町年寄北戸屋孝左衛門・高岡由緒町人天神屋次兵衛・宮腰町人山中而後・中山主計・中山恒太郎

三 ① 浦改御用留 文久3(慶応2)年 袋綴 87丁

② 御領国食品類之内他国出不差 (文久) 正月10日 切続紙

支品并御制禁之品調理申達書  
。御算用場↓神尾篤次郎・坂井三郎兵衛、(坂井)三郎兵衛↓  
宮腰町年寄中・大野町年寄中  
③ 銀子借用証 天保3年12月 切紙

湊屋左太郎↓中山主計

④ 浦改役名湊口銭取立方等改変 文久2年6月 袋綴 4丁  
之義二付先規之如ク仰付置可  
被下嘆願書

中山主計↓神尾篤治郎・坂井三郎兵衛

三 ① 公私草稿 (第四) 慶応2年仲夏 横帳 125丁  
② 江戸表廻之御船乗組方御免願 文久3年11月17日 切紙  
状 (前欠) 宮腰町肝煎善右衛門↓御奉行所

③ 町会所地替之義二付願書 (前後欠) 慶応2年5月 切続紙

④ 取かへ銀覚断簡 肝煎善兵衛↓欠 不 切紙 2

三 町人由緒

一 御尋二付平野屋半助由緒書上 貞享3年6月6日 続紙

二 御尋二付香林坊喜兵衛由緒書上 (貞享) 平野屋半助↓里見・岡田 天明7年11月 袋綴 4丁

三 宮腰古キ家柄之者書上申帳 天明7年11月 袋綴 4丁

四 宮腰町家柄之町人書上 町年寄中山主計・八右衛門↓高島五郎兵衛 天明7年11月 袋綴 6丁

五 酒屋八右衛門湊屋左太郎由緒書 文化9・文政11年 袋綴 12丁

六 ① 湊屋左太郎由緒并一類附書上 天保8年6月 袋綴 9丁  
申帳 町年寄見習湊屋左太郎↓宮腰町御奉行所

② 宮腰町鶴屋宇兵衛同湊屋佐次 享保9年9月26日 切紙  
兵衛義町年寄役被申付度願二  
付申渡状  
。本多安房守↓高島五郎兵衛  
。高島五郎兵衛↓鶴屋宇兵衛・湊屋佐次兵衛

③ 湊屋左太郎義町年寄格申付状 文政11年9月 切紙

七 酒屋八右衛門由緒書上申帳 嘉永2年8月 袋綴 11丁

八 湊屋佐太郎由緒書上申帳 安政5年11月 袋綴 11丁

湊屋佐太郎↓宮腰町御奉行所

- 九 松任車屋伊兵衛来由書 午5月 切続紙
- 一〇 森下村三郎右衛門先祖由来書 不 袋綴 10丁
- 一一 二木家譜系図 不 袋綴 12丁
- 一二 瀬川氏六世紙屋長三郎三男義三郎之記拓影 不 一枚

六〇〇 中山家

- 一 中山家由緒并御扶持頂戴之義ニ付申上書 寬永15年12月17日 延宝元年11月 統紙
- 二 中山甚八郎由緒書 宮腰主計↓内藤清兵衛、宮腰甚丞↓長屋平左衛門 貞享元年12月28日 袋綴 2
- 三 ①中山甚丞役儀御尋ニ付書上ケ申御帳 宮腰中山甚丞↓村田弥三郎 貞享3年7月2日 袋綴 6丁
- 四 ②手代共浦改兼帯之儀申上書 不 切紙
- ①中山家永代相続仕法相立願書 貞享~慶応 袋綴 75丁
- 等諸事留 中山
- ②中山恒太郎義浦改役并魚問屋 (慶応2)6・7月 切繼紙 2
- 兼帯申付添状并同人浦改役指除申渡書 坂井三郎兵衛・神田吉郎左衛門↓中山恒太郎
- ③中山家町年寄役浦改役義之義ニ付申上書 不 一紙
- 五 中山嘉兵衛先祖由緒一類附帳 享保17年8月 袋綴 11丁
- 中山嘉兵衛↓宮腰町御奉行所
- 六 中山甚丞先祖由緒一類附之帳 寬保元年11月 袋綴 25丁
- 中山甚丞↓宮腰町御奉行所
- 七 中山甚丞先祖由緒并一類附之帳 寬保元年11月 袋綴 14丁
- 中山甚丞↓宮腰町御奉行所
- 八 中山甚丞先祖由緒并一類附之帳 寬保元年11月 袋綴 13丁
- 中山甚丞↓宮腰町御奉行所
- 九 中山弥八郎先祖由緒并一類附之帳 延享4年8月 袋綴 12丁
- 中山弥八郎↓伊藤甚右衛門
- 一〇 中山弥八郎先祖由緒之帳 寬延4年正月 袋綴 10丁
- 中山弥八郎↓佐藤半五右衛門
- 二 中山氏先祖由緒之帳 寬延4年正月 袋綴 14丁
- 中山弥八郎↓佐藤半五右衛門
- 三 中山弥八郎一類附之帳 寬延4年8月 袋綴 5丁
- 中山弥八郎↓佐藤半五右衛門
- 三 ①宮腰町奉行恒川七兵衛在役中中山家由緒御達申扣 (十一代)中山主計↓恒川七兵衛 寬政元年正月 袋綴 3
- ②中山家拝領物書上 不 一紙
- ③慶安二年御座舟御道具御改之 (慶安) 義被仰渡之覚(後欠) 切紙
- ④年寄分六兵衛罷出之義申上書 慶安4年10月6日 切紙
- (前欠)
- 四 十二代中山主計先祖由緒書上申帳 享和2年11月 袋綴 12丁
- 中山主計↓松原安左衛門
- 五 中山恒治一類附書上申帳 文化3年7月 袋綴 4丁
- 中山恒治↓脇田善左衛門
- 六 中山主計先祖由緒之帳 文化4年2月 袋綴 14丁

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数	備 考
七	中山主計先祖由緒之帳 中山主計↓土肥權六郎	文化11年11月	袋綴	15丁	④嘉永六年正月来人書上 ⑤餅等数量覚 ⑥柴たけ等注文書 宮腰中山↓山ノ小兵衛 己7月29日
六	中山主計先祖由緒之帳 中山主計↓土肥三左衛門	文政6年10月	袋綴	14丁	⑦沢庵等書上并献立書 弘化2・嘉永3年 文久元年12月 折紙
元	①旧記抜出一卷并先年ヨリ之夏 諸事留帳(延享四年十一代弥八 郎相統一件等) 中山主計	文政9年	袋綴 (合綴)	28丁	⑧餅ツキ数量覚 文久元年12月 折紙 ⑨餅之覚 戊午12月15日 折紙 ⑩洋々殿等供餅之覚 不 切統紙 ⑪御尊像等供物覚 明治3年 切紙 ⑫薬種代金并調合覚 不 切紙 3
②	三代ノ五代主計御扶持頂戴之 覚	天和8・承応3・ 寛文7年	切統紙		
③	前田姓之由来等旧記(錯簡)	不	横帳	3丁	
二	中山故主計先祖由緒一類附帳 中山弥八郎↓高島左門	文政12年2月	袋綴	17丁	中山主計先祖由緒一類附帳 天保14年 横帳 18丁
三	中山家代々家禄之役義被為仰付 候旧例(錯簡) 湯原平馬	(天保12)7月	こよ り綴	3丁	利家公御手植松之由来 嘉永2年 切統紙2 宮腰三松堂中山藍田
三	中山家代々被仰付家禄之役儀旧 例書上 中山主計↓	(天保12)8月	統紙	2	三松堂由来書 嘉永2年初夏 (切紙 木版)
三	日記 十四世中山而後	天保5ノ明治4年	袋綴	2	中山主計先祖由緒一類附帳 嘉永2年 袋綴 17丁
四	中山主計先祖由緒一類附帳 中山主計↓神尾主殿	天保8年6月	袋綴	16丁	①中山甚丞先祖由緒一類附帳 嘉永7年10月 袋綴 27丁 中山甚丞
五	①中山家今古家礼諸事扣 ②元朝御供物書上 ③献立覚	天保14年孟春写 不 文久3・慶応3・ 明治2年	長帳 切紙 こよ り綴	46丁 3丁	②中山恒太郎由緒下書 不 切紙 ③宮腰中山家来由ニ付申上書 (万延元)閏3月 切統紙 丹羽織人・小幡主税↓岡嶋左膳・大村肴次郎・加藤三郎左衛門・ 小森権太郎 中山家取締方出来可申様被仰付 慶応2年12月 袋綴 3丁 方願書 中山主計

四	在格之義歎願草稿 中山主計	慶応3年12月	袋綴	9丁	中山主計	中山家由緒旧記抜書	不	袋綴	11丁
三	中山家無類例家柄ニテ国祖尊像 崇敬無比類候得共中絶仕ニ付此 義評議願 御奉行所↓御用番	不	切続紙		中山一衛	中山家由緒旧記抜書 十四世中山主計	不	袋綴	13丁
二	中山家因窮ニ付先祖以来御用被 仰付願上由緒等申上書 中山主計	戊戌11月	袋綴	7丁	中山主計	①中山家由緒旧例等抜書	不	袋綴	12丁
一	中山主計由緒覚	不	一紙	2	中山主計	②御元祖様より拝領之帷子御覽 入之節等拝領之覚	不	切紙	
六	中山甚丞先祖由緒書上	不	袋綴	10丁	中山主計	中山家由緒等旧規抜書	不	袋綴	3
五	中山甚丞先祖由緒書	不	袋綴	7丁	中山主計	中山家系図	不	袋綴	11丁
四	三右衛門方由緒并一類付書上申 帳 中山三右衛門↓伊藤権五郎	(寛政5)5月	袋綴	12丁	中山主計	中山家系図帳	不	袋綴	8丁
三	十一代祖中山弥八郎由緒帳 中山一衛由緒簿 中山一衛	(明治)	袋綴	9丁	中山主計	中山家譜系図	不	横帳	24丁
二	中山家格御用向之義書上 中山主計↓高島五郎兵衛	(天明7)11月	袋綴	6丁	中山主計	中山家譜系図 中山主計	不	袋綴	36丁
一	中山家由緒及御先代様御印并御 書之写	不	袋綴 (合綴)	16丁	中山主計	中山氏系図(断簡) 国祖重相公御手植松之事(後欠) 宮腰三松堂主人	不	切紙	
四	元祖より代々書上	不	袋綴 (二冊合綴)	26丁	中山主計	三松堂之謂書	不	切紙	3
三	中山家先祖由緒附書	不	袋綴	4丁	中山主計	中山家三松之所以書	不	一紙	
二	中山家由緒書	不	袋綴 (罰紙)	26丁	中山主計	中山家年間行事覚	不	袋綴	13丁
一	中山家由緒書断簡	不	一枚		中山主計	中山一衛先祖由緒一類附帳 中山一衛	明治3年5月	袋綴	26丁
四	中山家由緒旧規抜書	不	袋綴	15丁	中山主計	中山一衛先祖由緒帳 中山一衛	明治3年	袋綴	24丁

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
空	家礼簿 中山一衛	明治11年より	長帳	4丁
突	中山家々礼書	不	長帳	17丁
空	①東西南北(日記)	大正3年 10月17日より	袋綴	64丁
	②通俗教育定期講演会案内 石川県教育会	大正4年4月	一枚 (印刷)	
六	東西南北 中山一衛	大正12年10月より	罫紙綴	137丁
突	中山一俊日記帳 (昭和2年刊希望社「心の日記」帳)	昭和3年	書冊	134丁
七	日記	昭和4年10月より	罫紙綴	58丁
七	日記	昭和6年1月より	罫紙綴	40丁
三	東西南北	昭和8年	罫紙綴	62丁
三	その日その日(日記帳) 三松堂	昭和9年	書冊 (罫紙)	61丁
四	鳥のあしあと(日記帳) 三松堂	昭和10年	冊子 (罫紙)	47丁
五	鳥の足迹 うらのまつかせ	昭和11・12年	書冊	73丁 2
六 二 経 済				
一	①主計借銀并払申覚 宮腰甚丞	元和8年12月4日	続紙	
	②中山主計借銀覚并払方覚 甚丞	元和8年12月4日	続紙	
二	万買物帳	文化3年6月16日	長帳	5丁
三	買物帳(後欠)	文化14年10月29日	長帳	3丁
四	買物帳(一号) 中山	9月	横帳	5丁
五	買物帳(二号) 中山	9月	横帳	5丁
六	①員通出納簿 三松堂	嘉永4年	長帳	137丁
	②長物在合不申旨書状 貫車→三松堂主人	10月	切紙	
	③金子入払算用書	不	折紙	
七	中山家金銀入払留(錯簡)	安政2年11月より	折紙	
八	①通貨出納帳 中山三松堂	安政	長帳	97丁
九	②中山甚丞等各方指有状 通宝出納帳 三松堂	万延2年 5月19日	切紙	
一〇	軸并屏風扣(紙背文書) 三松堂	慶応2年	横帳	26丁
二	通宝出入帖 三松堂	慶応3年4月 吉祥日	長帳	77丁
三	諸代渡帳 中山	(明治元)8月	横帳	3丁
三	諸払方之覚	不	こよ	
四	掛売覚帳	不	り綴	
五	通用金銭出納扣	明治2年8月より	長帳	44丁
六	金銭入払帳 中山一衛	明治4年8月吉祥	横帳	74丁
			長帳	130丁

七	金錢出納帳	中山一衛	明治7年1月 吉良日	長帳	65丁	三	現金出納帳	中山一衛	明治40年	袋綴 (帳簿)	75丁
六	金錢出納帳	中山一衛	明治9年1月吉祥	長帳	94丁	三	現金出納帳	中山一衛	明治41年	袋綴 (帳簿)	75丁
元	金錢出納帳	中山一衛	明治10年1月吉祥	長帳	71丁	三	現金出納帳	中山一衛	明治42年	袋綴 (帳簿)	81丁
二	通貨出納帳	中山一衛	明治13年1月吉日	長帳	62丁	三	現金出納帳	中山一衛	明治43年	袋綴 (帳簿)	77丁
三	金錢出納帳	中山有吉	明治17年1月 大吉祥	長帳	89丁	三	現金出納帳	中山	明治44年	袋綴 (帳簿)	75丁
三	金錢出納帳	中山有吉	明治23年1月 大吉祥	長帳	125丁	三	現金出納帳	中山一衛	明治45年1月 大正元年12月	袋綴 (帳簿)	59丁
三	金錢出納帳	中山有吉	明治24年1月 大吉日	長帳	144丁	三	現金出納帳	中山一衛	大正2年	袋綴 (帳簿)	57丁
四	金錢出納帳	中山有吉	明治25年7月 27年12月	袋綴	99丁	元	現金出納帳	中山一衛	大正3年	袋綴 (帳簿)	52丁
五	金錢出納帳 (明治28・1・33・12)	中山一衛	明治28年1月吉祥	長帳	203丁	四	現金出納帳	中山一衛	大正4年	袋綴 (帳簿)	50丁
六	金錢出納帳	中山	明治34年1月 36年9月	長帳	150丁	四	現金受領証印簿	中山一衛	大正5年4月	袋綴 (野紙)	12丁
七	二期小払帳	中山	明治36年2月	横帳	46丁	三	現金出納帳	中山一衛	大正5年	袋綴 (帳簿)	52丁
六	現金出納帳	中山一衛	明治36年10月 12月	袋綴 (帳簿)	41丁	三	現金出納帳	中山	大正6年	袋綴 (帳簿)	51丁
元	現金出納帳	中山一衛	明治37年	袋綴 (帳簿)	65丁	四	現金出納帳	中山	大正7年	袋綴 (帳簿)	26丁
三	現金出納帳	中山一衛	明治38年	袋綴 (帳簿)	63丁	三	現金出納帳	中山一衛	大正8・12年	袋綴 (帳簿)	133丁
三	現金出納帳	中山一衛	明治39年	袋綴 (帳簿)	75丁	四	現金出納帳	中山一衛	大正13年	袋綴 (帳簿)	32丁



(中山家金沢転居一件)

三 中山主計義当町居住被仰付段申 (慶応3)正月13日 切続紙

渡書

岡田雄之進↓不破亮三郎

六 ①金沢居住被仰付一卷等留 慶応3年正月 袋綴 162丁

②中山家屋敷図 不 24.5 × 33

③中山主計元家地子米代銀請取 卯12月24日 一紙

書

肝煎理三郎↓金石町御奉行所

④金石役所銀借用分上納方逼迫 慶応3年7月 続紙

二付返納方願書

中山主計↓町御奉行所 (奥書) 額彦四郎

⑤中山主計元家地子米代銀相渡 卯12月24日 切紙

二付申達書

奥村善右衛門・津田香太郎↓三浦八郎左衛門

⑥中山一衛義金沢御貸屋居住之 明治2年11月 一紙

処御引揚被仰渡ニ付金石帰参

之義再願書

中山一衛↓市政局

⑦新春之賀状 不 折紙

⑧地面貸渡券状 不 切紙

中山一衛・請人湊佐太郎↓本町御組合中・惣代赤土次平

⑨請作地子地步数覚 不 切紙

⑩米価等覚 不 切紙 2

⑪百官之官名称する者改名達 (明治) 10月 切紙

↓庶務局主事

⑫中山稀一郎家取立ニ付銀子貸付 乙丑5月 切紙

書并貸金ニ付断獄懸より尋書 未6月 切続紙 2

坂井三郎兵衛↓中山主計

⑬地面貸渡券状之事 明治6年10月 一紙

↓本町御組合中・副戸長赤土次平

⑭中山一衛養子恒次郎義年頭御 2月晦日・3月朔日 切紙 3

目見許可申渡一件

藤懸家令↓市政局

⑮新規醬油御鑑札願之事等 不 切紙 2

⑯中山一衛本町上組々入請合証 明治4年4月 切紙 2

文

中山一衛↓本町上組御組合衆中

⑰金沢居住被仰渡ニ付拝領御扶持 慶応3年2月 一紙

高之義願書

中山主計↓奉町御行所

⑱中山主計金沢表引越被仰付之義 慶応3年4月 一紙

御尊像守護之為中山而後金石居住願

中山主計父中山而後↓町御奉行所

⑲中山家金沢表居住被仰付ニ付御 慶応3年5月 一紙

尊像安置之洋々殿之義願書

中山主計↓町御奉行所

⑳中山主計金沢引越ニ付金石居屋 (慶応3)11月 切続紙

敷地子米等金沢町奉行へ取立被

遣様願状

肝煎次右衛門↓金石町御奉行所。奥村善右衛門・津田香太

郎↓不破亮三郎

㉑中山主計金沢居住被仰付一件 慶応3年 袋綴 57丁

等ニ付諸願留(紙背文書)

㉒中山主計不埒之義箇条書 不 切紙

㉓十五代主計金沢町転居ニ付御扶 慶応3年 切続紙

持高引直申渡状

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
三	中山家金沢移住ニ付洋々殿再立 迄御尊像奉遷猶予願 ↓町奉行 中山主計↓町御奉行所	慶応3年	こよ り綴 2丁	
四	金沢移住之義ニ付御尊像奉遷猶 予并家成立方願書 中山主計↓町御奉行所	慶応3年	続紙	
五	中山家金沢転居被仰ニ付町地子 銀用捨之義等願書 当町隠居中山而後・一衛梓中山恒次郎↓	(慶応)	切続紙	
六	金沢町転居ニ付中山家人別之義 人数帳ニ調申度届書 散算用聞中山主計↓額彦四郎・中屋彦十郎・香林坊兵助・長瀬 成太郎	(慶応4)11月	続紙	
七	中山主計家転居不信服之義一札 御尊像遷座猶予願ニ付御尊像拜 領之由来書	不	切紙	
八	中山主計金沢町移住之義御尊像 守護出来兼ニ付猶予願	不	切続紙	
九	中山主計金沢居住被仰付ニ付御 貸屋之義願書(後欠)	不	切紙	
十	中山主計金沢居住ニ付御手植松 生育方等申渡書写 ↓金石町奉行	不	切続紙	
十一	中山而後金沢居住ニ付せがれ御 扶持頂戴之義願書 中山而後	不	切続紙	
十二	中山主計義金沢移住ニ付洋々殿 御正遷之義歎願草稿	不	袋綴 9丁	
十三	中山主計金沢居住被仰付金石旧 地諸役被仰付之義ニ付歎願申上 書	不	こよ り綴 3丁	
十四	家引移音物帖 中山有吉	不	長帳 5丁	
十五	①中山主計義金沢居住被仰付ニ 付元家地子米役銀一件留 ②中山主計家地子米代払書 中山主計↓町御奉行所	慶応3~明治2年 卯12月	袋綴 一紙	14丁
十六	中山主計金沢引越之義ニ付金石 居屋敷売払申上書 外御用金子等太郎・津田香太郎↓三浦八郎左衛門・不破亮三郎	(明治元)9月2日	切続紙	
十七	中山主計転居被仰付金石町持家 引払之義猶予願 中山主計↓町御奉行所	(明治元)10月	切続紙	
十八	中山主計住居金沢より金石へ帰 参願 中山主計↓市政局	明治2年7月	一紙	
十九	中山一衛金沢より金石帰参之義 再願書 中山一衛↓民政局	明治3年正月	続紙	
二十	他支配之持家処分之義猶予願書 中山主計↓	(明治3)7月	切紙	
二十一	金石帰参之義願書 中山	(明治3)9月	切続紙	
二十二	御元祖様御尊像并中山一衛義金 沢より金石へ帰参許可願書	明治3年12月	切続紙	

本町・地子町・冬瓜町肝煎↓

五 中山主計金沢居住ニ付御尊像御 不 袋綴 12丁

正遷之義歎願草稿

六 金沢居住之義御扶持減少被仰付 明治4月正月22日 一紙

會計之道立不申ニ付金石婦參願

十間町中山一衛↓市長

六三 相続・遺書

一 主計病死後家財等母并親類取申 元和8年12月4日 続紙

ニ付召上願書

宮腰甚丞↓

二 中山主計死去ニ付母并親類共手 元和8年 続紙

前ニ取申され候銀子同諸道具之

覚 みやのこし甚丞↓

三 宮腰主計死後財産出入之義ニ付 寛永2年7月20日 続紙

申上書 宮腰村法泉↓御公儀様

四 宮腰主計死後財産出入之義ニ付 寛永2年7月26日 続紙

申上書 甚丞

五 中山主計書物等ニ付書置状 寛永4年7月15日 一紙

中山主計↓甚丞・伊左衛門・平兵衛

六 中山主計一門心得方ニ付申置書 寛文4年極月11日 一紙

主計↓甚丞・伊左衛門・平兵衛

七 中山主計(四世)遺言状 寛文5年極月11日 続紙

主計↓甚丞・伊左衛門・平兵衛

八 主計年被寄行歩不自由ニ付隠居 寛文7年 一紙

願書 長屋平左衛門↓前田对馬・奥村因幡・奥村河内 閏3月29日

(奥書) 奥村因幡

九 了法様(四世主計)御死去ニ付遺 寛文8年 続紙

物分之覚

一〇 中山平兵衛財産分与遺言状 寛文11年霜月10日 堅紙

平兵衛↓酒屋伊兵衛・あね・伊左衛門・主計

二 中山主計刀劍類贈与之遺言状 寛文13年正月9日 一紙

中山主計↓甚丞・三平・伊左衛門・伊兵衛

三 中山主計財産分与等ニ付書置 寛文13年正月9日 続紙

中山主計↓伊左衛門・甚六・三平・伊兵衛

三 中山主計銀子配分方等ニ付遺言 寛文13年10月朔日 続紙

主計↓伊右衛門・伊左衛門・甚之丞・三平 (奥書) 甚丞

四 主計病死仕跡式之儀申置趣申上 寛文13年10月12日 一紙

書

宮腰酒屋伊兵衛・中山屋伊左衛門↓長屋平左衛門

一五 中山甚丞(六代)遺言状 元禄5年正月 続紙

中山甚丞↓中山伊左衛門・酒屋伊兵衛・香村喜兵衛・平野半助・中山長左衛門

一六 中山甚丞(六世)銀子諸品贈与 元禄5年正月 続紙

之義遺言状

中山甚丞↓中山甚六

一七 中山甚丞(六世)財産贈与之遺 元禄5年正月 続紙

言状

中山甚丞↓中山甚八

一八 中山三右衛門義病氣ニ而余命無 (文化3)12月10日 切継紙

之ニ付末期御礼申度御達申上書

町年寄孫兵衛・同並又吉↓宮腰町御奉行所

一九 中山三右衛門末期御礼之義申上 (文化3)12月10日 一紙

書并申渡書

町年寄並又吉↓宮腰御奉行所・脇田善左衛門↓宮腰町年寄

- | 番号 | 標 | 題  | 年          | 代 | 形態               | 墨付<br>点数 |
|----|---|--|------------|---|------------------|----------|
| 三  | 中 | 末期御礼振合等之覚  | 不          |   | 横帳<br>長帳<br>(合綴) | 34丁<br>2 |
| 三  |   | 木村信伊撰所私家秘用末期御礼<br>跡目相統之巻                                 | 不          |   | 袋綴               | 4丁       |
| 三  |   | 三右衛門遺書ニ付家財相統一件<br>覚書                                     | 不          |   | 長帳               | 2丁       |
| 三  |   | 家督相統諸事扣  | 安政6年       |   | 袋綴               | 7丁       |
| 三  |   | 中山家相統取斗願ニ付先祖以来<br>御用書上                                   |            |   | 袋綴               | 5丁       |
| 三  |   | 末家三右衛門忤稀一郎名跡相統<br>方願一件                                   | 万延元年7月     |   | 袋綴               | 5丁       |
| 三  |   | 故小八郎遺書之義ニ付案内状  | 5月13日      |   | 切統紙              | 一紙<br>2  |
| 三  |   | 中山伊左衛門・酒屋平左衛門・中山喜兵衛・酒屋六兵衛↓金屋<br>彦四郎・香林坊喜兵衛・中屋長左衛門・中屋藤右衛門 | 極月17日      |   | 切統紙              | 3丁       |
| 三  |   | 相統之義祝口上  |            |   | 切紙               | 4        |
| 三  |   | 相統祝品覚  | 不          |   | 長帳               | 5丁       |
| 三  |   | 相統祝儀帳  | 寅12月16日    |   | 切統紙              |          |
| 三  |   | 町年寄役指除願  | (寛政4)12月   |   | 切統紙              |          |
| 三  |   | 町年寄八右衛門義養父より之不<br>縁願聞届ニ付役義指除申渡書                          | (寛政5)2月13日 |   | 切紙               |          |
| 三  |   | 石川郡十村押野村次郎左衛門弟<br>酒屋道久方養子不縁ニ付賞請度<br>願書                   | (寛政5)2月    |   | 切統紙              |          |
| 三  |   | 町年寄中山主計↓伊藤権五郎  |            |   | 切紙               |          |
| 三  |   | 酒屋道久方養子八右衛門義中山<br>故三右衛門養子ニ致度願聞届書                         | (安政5)3月朔日  |   | 切紙               |          |
| 三  |   | 中山主計義中山故三右衛門養子<br>源左衛門ニ申度之義有ニ付召状                         | (寛政5)3月朔日  |   | 切紙               |          |
| 三  |   | 酒屋道久方不縁立退之八右衛門<br>義中山故三右衛門養子となり町<br>年寄帰役之義等廻状            | (寛政)3月3日   |   | 切統紙              |          |
| 三  |   | 押野村源左衛門義中山三右衛門<br>家名跡相統ニ付代継定証文                           | 寛政5年3月     |   | 切紙               |          |
| 三  |   | 酒屋道久養子八右衛門役義ニ付<br>願書(前欠)                                 | 寛政5年3月     |   | 袋綴               | 3丁       |
| 三  |   | 酒屋養子此度中山故三右衛門養<br>子被成町年寄帰役之義触状                           |            |   | 切紙               |          |
| 三  |   | 中山家同苗三右衛門家相統方ニ<br>付申上書                                   |            |   | 切紙               |          |

- 四 中山主計末家三右衛門家取立之 (天保10)11月 一紙
- 義ニ付礼状
- 中山主計↓里見亥三郎
- 三 中山家同苗三右衛門家途絶之義 (天保10) 一紙
- 御取立ニあずかり礼状

六 吉事・婚礼

- 一 盛物手伝扣井諸事扣 文化14年10月29日 長帳 3丁
- 二 音物帳 文化14年10月 長帳 6丁
- 三 名中山生説 享和元年3月 一紙
- 河瀬光↓中山
- 四 杉平前髮取ニ付音物帖 天保2年弥生7日 長帳 10丁
- 五 吉事諸入用扣 天保14年4月 長帳 5丁
- 六 養子婚礼音物帖 天保14年初夏23日 長帳 6丁
- 七 養子婚礼一卷 天保14年初夏 長帳 3丁
- 八 ①齊家牒 天保14年より 長帳 37丁
- ②材木代金算用書并受取書 甲子8月9日 切紙 2
- 柏屋五兵衛↓中山而後
- ③金子借用証文 安政6年2月 切紙
- ④馱馬余荷銀等御償金項目書上 午正月15日 切続紙 2
- ⑤貸借金子覚 文久2年 文久2年 2丁
- ⑥残銀促進状 霜月7日 切続紙
- 山崎屋長兵衛↓中山
- ⑦会合之節渡銀之義等書状 (紙 背文書) 5月3日 切続紙
- 中山而後↓蓮福寺
- ⑧金山方借銀利銀等算用書 嘉永4年12月他 切紙 3

中山家文書目録

- ⑨貸金覚付札 7月3日 切紙
- 沢田内寺嶋政之丞↓中山主計

- 九 祝儀音物帳 元治2年4月 長帳 9丁
- 一〇 恒太郎元服一件 慶応元年6月15日 長帳 3丁
- 三 平吉改名書 慶応元年 折紙
- 而後↓平吉
- 三 寄附物等覚 明治元年10月 横帳 4丁
- 三 おさき縁付一件 明治20年1月 横帳 4丁
- 四 結婚祝酒送状 (明治32)5月19日 切続紙
- 松任本誓寺佐々木弥太郎↓中山有吉
- 五 中山一衛婚礼招待回状 (明治32)5月20・21日 折紙 2
- 六 ①御婚礼御祝宴代請取書等級 明治32年5月 横帳 25丁
- 松葉楼他
- ②大鯛代金仕切書 6月 切続紙
- 松葉楼↓中山
- 七 歴代十七世一衛婚礼祝儀一卷 明治32年5月 長帳 48丁
- 八 婚礼祝宴献立書 5月吉日 切続紙
- 松葉楼↓中山
- 元 料理品書 5月 切続紙
- 松葉楼↓中山
- 三 結婚祝状 6月4日 切紙
- 湊佐太郎・湊四郎↓中山一衛
- 三 海軍内婚姻届之義ニ付書状 9月18日 野紙 4
- 湊朝助↓中山一衛
- 三 婚姻関係書類ニ付書状 18日 切紙 6
- 中山一俊↓中山一衛

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
三	菓子酒代等請取書綴 森八他	明治32年9月	こよ り綴	5丁
四	婚礼出席人等書上	明治32年	切統紙3	
五	婚礼欠席状 金沢宮野直道→中山一衛	明治32年	葉書	
六	親戚名書	不	一紙	
七	木具代請取書 大長兵衛→中山	(明治33)8月19日	切紙	
八	竹葉等目錄	(明治33)	折紙	
九	餅米小豆代仕切 安宅→	(明治42)	切紙	
一〇	代金請取簿	大正3~5年	罫紙綴	11丁
一一	音物贈到歴	大正12年10月より	袋綴 (罫紙)	67丁
一二	目錄	昭和3年3月	折紙	2丁
一三	自動車代領収書	昭和3年9月30日	折紙	4
一四	金沢遊廓入口畑自動車商会他→中山			
一五	十七世一衛長男一俊婚礼一件	昭和3年10月20日	長帳	33丁
一六	結婚祝電 ネムロ シンヤ→中山一俊	昭和3年10月20日	一枚	2
一七	戸籍謄本并小学校基本財産寄附 領収書	昭和3年10月20日	用紙	2
一八	金石町収入役鶴山庄松→中山一衛			
一九	婚礼祝宴献立書 五宝楼→上	昭和3年10月20日	切統紙	
二〇	献立書 五宝楼→上	昭和3年10月21日	切統紙	
二一	清酒等受納目錄			
二二	菓子酒代等請取書 須田太喜男→中山一衛	昭和3年10月吉日	長帳	2丁
二三	料理代等仕切并請取書 瀧々園→中山	昭和3年10月	切紙	9
二四	画帖代等請取書 五宝楼→中山	昭和3年10月	切紙	5
二五	中山一俊婚姻願並婚姻届 寿美田扇錦他→中山	昭和3年	切紙	5
二六	礼書状 石町長親田長次郎	昭和3年	葉書	3
二七	御菓子等受納目錄 松任金谷与平他→中山一衛	不	折紙	
二八	御菓子等目錄	不	折紙	
二九	金子目錄	不	折紙	
三〇	酒等送目錄	不	折紙	
三一	婚礼披露出席之礼状 湊守三(根室)・寺尾貞応・西島太郎・湊桂吉・白崎秀明・吉田喜九郎→中山一衛	10月	長帳	2丁
三二	菓子代等仕切 金石錢屋与十郎他→中山	昭和4・5年	用紙	3
三三	自動車代請取書 達田自動車→中山	9月27日	用紙	
三四	酒代等領収書	昭和5年9月12日	切紙	3
三五	若葉婚儀祝状 西島太郎→中山一衛	(昭和5)11月15日	罫紙	

五	布代等仕切	昭和5年11月	切紙	9	堀越左源治↓中山主計	
五	金沢高橋与右衛門他↓中山					
五	十七世一衛三女若葉縁付一件	昭和5年12月10日	長帳	17丁	中山甚丞并主計改名之義承届書	不
五	写真代領収書	昭和12年10月9日	用紙		嗣昌名書(字佳胤)	不
五	瀧々園写真部↓中山					
五	写真代領収書	12年10月17日	用紙		六五 出産・病氣	
五	金石ノムラ写真館↓中山					
六	目録	昭和35年4月12日	折紙	5	一 中山嘉兵衛病死一卷留并中山甚丞御扶持高被下一卷	寛保元年
六	返礼帳	丑11月6日	長帳	11丁	二 安産見舞扣(母魂、子千賀)	天保15年9月5日
六	祝儀人来帳	卯正月11日	長帳	5丁	三 安産音物等万記(母魂、子木々)	弘化3年10月12日
六	婚礼音物帳	酉12月	長帳	7丁	四 安産見舞并音物扣(母魂、子恒太郎)	嘉永4年11月10日
六	結納手物扣并此身一家出入等申遣留	酉12月	長帳	8丁	五 安産見舞并音物扣(母魂、子平)	嘉永6年10月6日
六	目録		折紙		六 安産見舞音物帳(母魂、子捨)	安政6年11月7日
六	蓮福寺				十五世主計	
六	白銀等渡覚		切紙		七 多々良宗右衛門妻木々帯祝并平産万留(慶応二年正月十二日正太郎誕生)	慶応元年7月晦日
六	目録		長帳	2丁		長帳
六	目録		折紙			11丁
六	目録之覚		折紙			
六	肝煎吉左衛門等					
七	献立書		切統紙		八 病氣見舞音物帳	慶応4月2月
七	(紙背文書)加州米等相場書				九 恒次郎妻平帯祝等留(明治四年二月晦日女子誕生)	明治3年 閏10月朔日
七	池田屋吉右衛門等年始書状				一〇 平安産見舞音物扣(有吉誕生)	明治6年9月16日
七	投惠物書上		長帳	2丁	一一 中山一衛病氣見舞留	明治16年5月
七	もち代等仕切		切紙	2	中山有吉	横帳
七	金石町安宅兩三郎↓中山					6丁
七	音物覚(錯簡)		長帳	2丁	一二 歴代十七世一衛長男(一俊)安産一件	明治33年8月14日
七	中山家養子縁組整ニ付祝書状	5月16日	縦紙			長帳
七	中山家文書目録					5丁

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
三	十七代一衛長女(邦子) 出生一卷	明治36年11月7日	長帳	6丁
四	一衛長女(邦子) 名付書	(明治36)	切紙	
五	十五代弥咲病氣見舞控	明治37年2月25日	長帳	7丁
中山家				
六	十七代一衛二女(君代) 名付書	(明治39)	切紙	
七	十七代一衛二女(君代) 出世一卷	明治39年1月24日	長帳	2
八	出産見舞状	7月23日	一紙	
美島→中山一衛				
九	十七代一衛三女(若葉) 出世一件	明治42年5月16日	長帳	6丁
一〇	中山一衛三女(若葉) 出生届扣	明治42年5月21日	罫紙	
中山一衛→金石町戸籍吏中崎与四右衛門				
二	出産見舞状	明治42年5月	葉書	
松任町佐々木ゆき→中山一衛				
三	竹松医除請求書并受取書	7月	切紙	2
竹松医院→中山				
四	一衛三女(若葉) 名付書	(明治42)	折紙	
五	十七代一衛次男(弘人) 出生一卷	明治45年7月20日	長帳	5丁
中山				
六	出産見舞状	9月13日	切続紙	
湊幸吉→中山一衛				
七	十七代一衛次男(弘人) 名付書	(明治45)	切紙	
八	十七代一衛三男(主千代) 出生一卷	大正4年6月25日	長帳	5丁
卷 中山				
九	一衛三男(主千代) 名付書	(大正4)	折紙	
一〇	十七代一衛四男(公基) 出生一件	大正6年9月12日	長帳	4丁
一一	出産見舞状	不	切続紙	
小竹芳朗→中山一衛				
三	十七代一衛孫(周比古) 出生一件	昭和4年10月28日	長帳	6丁
四	中山一俊長男(周比古) 出生届扣	昭和4年11月5日	一紙	
中山一俊→金石町長観田次郎吉				
五	男子出生之電報	昭和8年7月15日	用紙	
ワカナイ(中山一俊)→ナカヤマカヅエ				
六	十七代一衛孫(穆) 出生一件	昭和8年7月15日	長帳	4丁
中山				
七	中山穆出生届扣	昭和8年7月22日	罫紙	
中山一俊→金石町長観田次郎吉				
八	穆出生ニ付書状	(昭和8年)	切続紙	
宗谷電信所中山一俊→父上				
九	中山梅入院諸経費諸請求書綴	昭和9年12月1日~10日	り綴	15丁
彦三病院他				
一〇	十七代一衛妻病氣一件	昭和9年12月	長帳	6丁
一一	中山梅快癒内祝送先書綴	昭和10年3月7日	り綴	33丁
森八支店				
一二	森八懸壺堂菓子代領収書	昭和10年3月11日	一枚	
(病氣快癒内祝品)				
森八懸壺堂支店→中山				
一三	中山梅病氣快癒ニ付挨拶状	昭和10年3月	一紙(印刷)	
一四	疱瘡見舞	不	長帳	6丁
六六 葬儀・法要				
一	弥八郎葬義行列付	(安政7年4月)	折紙	
二	弥八郎葬式焼香之次第	(安永7年4月)	折紙	
三	中山弥八郎收骨志受納書	(安永7)4月10日	切紙	
大谷月番法順坊→甚之丞				

四	現瑞信土音物帳	文化3年6月16日	長帳	10丁	東本願寺金沢末寺役所↓中山主計
五	十二代中山主計葬式諸事留帳 (法名 現瑞)	文化3年6月16日 より	袋綴	8丁	中山三松堂
六	葬式入用之品々并ニ行列人足ひ かへ	文化3年6月16日	長帳	5丁	十四世主計孫俗名千賀積尼智芳 葬式一卷
七	妙鏡信尼葬式一卷	文政2年12月27日	長帳	14丁	二 先祖代々年回調留
八	妙鏡信尼三十五日茶湯料理献立 書	文政3年2月2日	続紙		三 積尼智芳積尼妙珠祥月志祠堂銀 として受納書
九	寿法信尼葬式一卷	文政7年4月28日	長帳	21丁	慶寛寺↓中山主計
一〇	十四代目弥八郎五十回忌上法事 覚(法名 法潤信士)	文政10年4月	切続紙		三 積尼妙鏡祥月志銀寄附ニ付受 納書 慶寛寺↓中山主計
二	十三代主計積毫普葬式老卷	文政12年正月6日	長帳	26丁	四 積法泉月牌支証 高野山天徳院↓中山主計
三	中山家元祖法名染筆願ニ付超発 院書状并染筆願法名書 朗(超発院)↓達悟(本竜寺)	(文政13) 閏3月8日	切続紙 2		五 十一世内室積尼寿法法会之節入 用品々帳
三	①歴代等法会執行簿	天保元~慶応3	長帳	242丁	六 中山家先祖祥月記
	中山三松堂				七 十四世而後娘積尼妙鑑葬式一卷
	②万頭等注文寸法書	不	一紙		八 十五世主計五番目娘俗名捨積妙 雲童女葬式一卷
	③中山三右衛門等法名忌日覚	不	切紙		九 内仏差定 而後↓子々孫々
	④改曆之祝辞状(前後欠)	不	切続紙		三 歴代忌日年廻調理帳 三松堂
四	毎月経祥月経歴代年回等営候分 書拔帳	天保元年より	長帳	14丁	三 天保元年以後法事年回調理帳 中山三松堂
五	俗名宋助積証遊葬式老卷	天保7年10月11日	長帳	16丁	三 十四世而後妻積尼妙喜葬式一卷 (慶応4)
六	積証遊祥月志銀受納書并改名書 東本願寺金沢末寺役所↓中山主計	天保7年11月6日	堅紙	2	三 中山而後妻葬儀一件
七	積諦順(平兵衛)葬式老卷	天保12年4月29日	長帳	20丁	
八	積諦順祥月志銀受納書	天保12年5月12日	堅紙		



三松堂

輪島町中山久平他↓中山一衛

四	十六世一衛(釈了流信士)葬式一卷	中山有吉	明治16年10月4日	長帳	17丁	四	返礼帳	不	長帳	4丁	
三	報恩講并釈証遊居士五十回忌等	中山有吉	明治18年10月3日	長帳	5丁	三	返礼帳	不	長帳	15丁	
二	覚					二	買物帳	不	横帳	11丁	
一	仕切書綴	小森又五郎他↓中山有吉	明治18年	こよ り綴	4丁	一	支払寛等綴	中山一衛	明治37年3月	こよ り綴	37丁
五	十七代一衛妻釈妙香葬式一卷	中山	明治36年12月25日	長帳	7丁	五	一衛二女葬式一卷		大正2年8月20日	長帳	14丁
四	釈妙香音物帳		明治36年12月25日	長帳	3丁	四	釈尼妙喜四十九回忌入校諸品代		(大正) 9月	こよ り綴	7丁
三	くに子死去ニ付吊状	小竹↓中山	(明治36)12月27日	切続書		三	金受取書綴	慶覚寺勘定所他↓中山主計			
二	十七世一衛祖父弥咲(釈法鑑信士)葬式一卷		明治37年3月22日	長帳	23丁	二	十七世一衛母(釈尼妙有)葬儀一卷		昭和2年7月29日	長帳	14丁
一	葬儀一卷調表			不	野紙綴39丁	一	中山一衛母病死ニ付吊状		昭和2年8月2日	野紙	2丁
五	寺御参詣帳		明治37年3月24日	長帳	6丁	五	十七世一衛(釈慧若羊)葬儀一卷		昭和12年9月23日	長帳	7丁
四	御参詣帳			不	長帳	四	夜逐人名簿		不	長帳	4丁
三	葬式行列書			不	卷子	三	夜伽帳	(昭和)12年9月	不	長帳	3丁
二	中山弥咲葬儀会葬者名刺等		明治37年3月	名刺	11	二	御参詣帳		昭和12年10月29日	長帳	4丁
一	内焼香順序書			不	折紙	一	一衛病死ニ付吊詞状	石川貯蓄銀行員一同↓中山		野紙	
二	寺焼香順序書			不	折紙	二	吊電綴		昭和12年9月23日	こよ り綴	25丁
三	焼香順序書	旭川 奏↓中山一衛	明治37年3月	用紙		三	御悔帳	↓中山弘人		長帳	4丁
四	中山一衛祖父弥咲病死ニ付吊電		明治37年3月	切紙	20	四	御悔帳		不	長帳	5丁
三	中山一衛祖父弥咲病死ニ付悔状	金沢教務所他↓中山一衛	明治37年3月	葉書	10	三	音物帳		不	長帳	16丁
二	中山一衛祖父弥咲病死ニ付悔状					二	音物帳		12年9月	長帳	9丁
一	中山一衛祖父弥咲病死ニ付悔状					一	音物帳		不	長帳	6丁

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数	卷	昭 和	形 態	丁
四	会葬礼状 中山一俊・親戚一同↓	昭和12年9月27日	葉書		九 积尼明慧梅一周忌法養記録 一〇 十七世一衛三男(积主誠)葬儀一 卷	昭和21年11月13日 昭和21年12月12日	横帳 長帳	3丁 3丁
五	会葬礼状 中山一俊・親戚一同↓	昭和12年9月27日	葉書		一〇 十七世一衛三男(积主誠)葬儀一 卷	昭和21年11月13日 昭和21年12月12日	横帳 長帳	3丁 3丁
六	返礼帳 中山一俊・親戚一同↓	不	長帳	4丁	一一 悔状 金沢 岩松↓中山一衛	26年12月	葉書	
七	霊柩車使用料等諸費領収書綴 金石町収入役辻文次郎他↓中山	昭和12年	こよ り綴	34丁	一二 中山家先祖忌日書(前後欠) 一三 中山家歴代等忌日調理帳 三松堂		切続紙 横張	16丁
八	報恩講并一衛老周忌覚 (昭和)13年9月24日	昭和13年9月	折紙		一四 中山家歴代忌日板 一五 中山家法名過去帳 中山而後		木板 折本	30
九	中山一衛死去ニ付悔状 大阪工業試験所他↓中山公基	昭和13年9月	切続紙	3	一六 歴代親族祥月忌日 宜晴軒		横帳	17丁
一〇	中山一衛死去ニ付悔状 神戸近田菊↓中山梅子	昭和13年9月	罫紙		一七 积法泉等忌日書		切続紙	
一一	中山一衛死去ニ付悔状 西嶋商店他↓中山一俊	昭和13年9月	切続紙	7	一八 中山有吉等周忌書		切紙	3
一二	中山一衛死去ニ付悔状 大阪友誼会他↓中山公基	昭和13年9月	切続紙	5	一九 中山十四世主計妻法名書		切紙	
一三	中山一衛病死ニ付悔状 神戸柴田儀三郎他↓中山一俊	昭和13年9月	罫紙 切続紙	14	二〇 中山捨生没年書 二一 法名書 二三 女子逝去ニ付悔状 松任町佐々木富太郎↓中山一衛		切紙 切紙 葉書	3
一四	献立書	不	切続紙	5	二四 勝手御悔帳 東山大谷↓中山主計	戊辰8月12日	長帳	6丁
一五	献立書	不	切続紙	4	二五 积主誠俗名主千代香奠帳 8月2日		長帳	3丁
一六	十七世一衛二男(积相徳)葬儀一 卷并死亡診断書 金沢市聖霊病院茶谷康雄↓	昭和14年5月10日	長帳 用紙	2	二六 御母公病死ニ付弔状(後欠) 慶覚寺内称念寺↓宮こし中山弥八郎		切紙	
一七	報恩講并十六世妻妙有十三回忌 等覚	昭和14年9月23日	こよ り綴 切紙	2	二七 中山一兵衛十三回忌覚		切紙	
一八	十七世一衛妻(积尼明慧)葬儀一	昭和19年11月13日	長帳	5丁			切紙	

二六 各商店支払扣	不			横帳	6丁
二五 十七回忌費用控	不			こよ り綴	3丁
二四 酒香典等持参人覚	不			折紙	
二三 永代毎月并祥月書上	不			切続紙3	
二三 一周忌菓子配り覚	不			折紙	
二三 花茶代覚	不			切紙	
二二 献立覚	不			切続紙	
二一 法事品々覚	不			長帳 折紙	3丁
二〇 法会出席者書	不			切紙	
一九 しいたけ等入用品書上	不			切続紙3	
一八 御年忌参詣欠席ニ付書状		10月3日		切紙	
一七 葬儀入用品々小桶代等請取書		11・12月		切紙	
一六 葬儀入用品々代金請取書綴		丑11月		こよ り綴	19丁
一五 御内所様病死ニ付悔状		11月10日		切続紙	
一四 半格行例附	不			一枚	
<b>六七 教 育 (近代)</b>					
一 息子恒太郎稽古方申論之義等ニ付書状 (前欠)		卯月8日		切紙	
二 中山一俊通知簿		明治40年4月より		一冊	8丁
三 中山君代通知簿		明治45年		一冊	4丁
四 上金石尋常高等小学校		金沢市堅町青々堂印刷			
五 中山一俊通知簿		大正2年より		一冊	10丁
六 石川県立金沢第一中学校				こよ り綴	13丁
七 中山一俊第一中学校入学費用留		大正2年4月8日			
八 中山一俊中学在校費用書上		不		一紙	
九 中山若葉通知簿		大正5・7・10年		一枚	5
一〇 上金石尋常高等小学校		大正8・13年		一枚	6
一一 中山弘人通知簿		大正10・13年		一枚	2
一二 中山弘人皆勤褒牌状		大正11・13年		一冊	3
一三 中山若葉通知簿		大正11・13年			
一四 金城高等女学校					
一五 中山若葉高等小学校		大正11・13年			
一六 中山若葉金城女学校在校費用書上		大正11・昭和2		罫紙綴	7丁
一七 中山主千代第一学年通知簿		大正12年		一枚	
一八 中山主千代成續通知表		大正13・15年		一枚	
一九 金沢第三中学校入学料領収書		大正15年3月3日		一枚	
二〇 金沢第三中学校書記松原政之↓中山一衛		大正15年4月		一枚	
二一 中山主千代百米競走賞状		昭和2年10月1日		一枚	
二二 中山主千代百米競走賞状		昭和2年10月1日		一枚	
二三 金石尋常高等小学校運動會長村井又三郎↓中山主千代					

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

六 中山主千代成績通知表 昭和2・3年 一枚

五 中山弘人生徒実習費納入伝票 昭和4年 一枚

四 劍道寒稽古精勤賞状 昭和4・5年 一枚

三 中山主千代精勤賞状 昭和5年3月20日 一枚

三 中山主千代通知簿 昭和 一冊

三 中山主千代学年成績通知表 不 一枚

三 中山主千代通知簿 昭和 一冊

七 板屋之模様御知らせ之義ニ付書状 (中山)而後(中山)主計 2月3日 切紙

八 茶碗見立等之義ニ付書状 勃々庵(藍田)先生 2月8日 切紙

九 土師之ぼん遣願書状 堀越左源次(中山)主計 2月11日 切紙

一〇 瓢五紙面一件書状 し吉(三松堂) 2月18日 切紙

一一 在勤中世話方札等書状 松田(中山) 2月29日 切紙

一二 宿泊方依頼書状 早栖(栗公・榎窓・文庫) 3月7日 切紙

一三 短尺調之義ニ付高橋富兄書状 高橋富兄(中山)一衛 3月17日 切紙

一四 母娘世話方等ニ付札書状 福井(湊幸吉)中山一衛 4月3日 切紙

一五 材木不足分注文并取立会懸金之義等ニ付書状 翠嵐(而後) 4月15日 切紙

一六 略覚書之義ニ付返書 三頂(確亭) 4月26日 切紙

一七 召抱之義相成ニ付札書状 池嶋宇兵衛(中山)主計 (嘉永) 4月27日 切紙

一八 塗涌等指上之書状 加藤甚作(中山)主計 5月3日 切紙

一九 御子息引移之義ニ付祝状 宣之(藍田) 5月28日 切紙

二〇 大勢罷出馳走ニ預義ニ付札状 5月28日 切紙

六 交 際

一 留主見舞并音物之覚(十四世主計 并妻上京) 安政5年3月10日 長帳 10丁

二 夫婦上京土産配 三松堂 安政5年3月10日 長帳 7丁

三 京土産配りおほへ 十五世主計 安政6年8月25日 長帳 11丁

四 湊さき出産見舞 (明治) 22年2月18日 長帳 3丁

五 牛肉御用之義ニ付承知之旨返書状 (德田)寬所(而後) 正月15日 切紙

六 例之分集次第指上可旨書状 其融(三松堂) 閏正月17日 切紙

- |                     |   |  |       |            |   |                                    |        |     |
|---------------------|---|--|-------|------------|---|------------------------------------|--------|-----|
| 湯浅弥左衛門↓中(山)主計       | 三 | 湊幸吉むすめ養育御世話等願書<br>状(前欠)                        | 7月6日  | 切続紙        | 三 | 由來書并趣意書御送り被下度旨<br>書状<br>蓮福寺↓而後     | 10月11日 | 切続紙 |
| 湊幸吉↓中山御老人他二名        | 三 | 難題相願候義ニ付礼状                                     | 7月12日 | 切紙         | 三 | 大根入用ニ付持届願之義等書状<br>(前・後欠)           | 10月14日 | 切続紙 |
| 宇野重蔵↓中山主計           | 三 | 金沢へ御印受取遣之義ニ付書状                                 | 7月19日 | 切続紙        | 三 | 書面請取之旨書状<br>凌冬↓而後                  | 11月10日 | 切紙  |
| 巨泉↓藍田               | 三 | 指上物之義ニ付書状                                      | 7月21日 | 切続紙        | 三 | 男子誕生之義等ニ付書状                        | 12月24日 | 切続紙 |
| 福岡清摩↓中山主計           | 三 | ばば様体弱リニ付御越依頼状                                  | 8月2日  | 切紙         | 三 | 噂之義あしからず様承リニ付一<br>札<br>喜左衛門↓(中山)主計 | 12月27日 | 切紙  |
| 恒太郎↓おあね様            | 三 | 大はく御渡願   | 8月6日  | 切紙         | 三 | 在京中湊様より御馳走ニ相成礼<br>状出度ニ付住所尋書状       | 9日     | 切続紙 |
| 能沢モト↓中山             | 三 | 檣(帆柱)并鯉御世話方ニ付願書<br>状<br>猪山↓中山                  | 8月6日  | 切紙         | 三 | 出府之義祝状<br>徳松斉↓三松堂                  | 11日夜   | 切続紙 |
|                     | 三 | 昨日大変之義ニ付見舞状<br>主計↓不煩居尊大人                       | 8月8日  | 切続紙        | 三 | 煙草盆落手ニ付書状<br>石島久実↓中山主計             | 閏月16日  | 切紙  |
|                     | 三 | 昨日申含之義ニ付様子方報状<br>貫車↓三松堂                        | 8月19日 | 切紙         | 三 | 団隊旅行券受取ニ付送付状<br>(マツ)               | 20日    | 切紙  |
|                     | 三 | 家作成就之義ニ付書状等<br>(紙背文書)                          | 8月28日 | 切続紙        | 三 | 未寺前之義ニ付願状<br>恒貞↓中山                 | 27日    | 切紙  |
| 佐久間武兵衛内森清左衛門↓宮腰中山主計 | 三 | 先日御越之礼等ニ付書状<br>宇朴↓藍田                           | 10月6日 | 切紙         | 三 | 日時治定ニ付雪帛庵へ被申遣度<br>通知状(前欠)          | 29日    | 切紙  |
|                     | 三 | 能州より参り候志野等陶器買入<br>之義ニ付書状<br>勃々菴(堀越左源太)↓みなとや佐太郎 | 10月9日 | 切続紙2<br>切紙 | 三 | 御覽希望之品貸出中ニ付ことわ<br>り状<br>(小原)恒貞↓中山  | 31日    | 切続紙 |

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
四		京旅行ニ付恒太郎等宛書置	不		切紙	2
		(而後)↓恒太郎・喜多松・可吉				
四		徳田寛所屏風書画等幹施金額ニ	(明治)		切続紙	
		付書状				
		寛勉↓中山梅堂				
四		昨夕指出之廻章御返被下度旨書	不		切紙	
		状				
		確翁↓淇梅得兄				
四		菓子屋弥兵衛出立ニ付一書	不		切紙	
		(後欠)				
四		好キ便リニ付返書状	不		切紙	
		梧山↓				
四		竹書状	不		切紙	
		竹↓ともし				
三		尊書拝見御礼方ニ付書状		10月22日	豎紙	
		(往来・挨拶状)				
三		平素世話方御礼并音信書状		天保2年12月19日	切続紙	
		梅農改有擬(寺西一右衛門)↓藍田				
三		眉山年甫状		正月3日	一紙 (軸装)	
		中山眉山↓寿眉				
三		新年之挨拶状		正月6日	切続紙	
		□↓主計				
三		木屋藤右衛門年甫祝詞書状		正月吉日	切紙	
		木屋藤兵衛↓中山主計				
三		訪問之義眼病難儀ニ付ことわり		2月3日	切続紙	
		状				
		佐久間森江↓中山主計				
五		年賀書状		2月11日	折紙	
		鈴木清之丞久基↓中山主計・中山甚丞				
五		年始祝詞状		2月13日	折紙	
		山口藤兵衛茂友↓中(山)主計・同甚丞				
五		御接席御立寄頼状		卯月19日	切続紙	
		宇野重蔵↓中山主計				
五		来行方ニ付書状		閏4月3日	切紙	
		鹿苑寺↓三宅又太郎				
五		衝建御目ニ懸度旨書状		5月29日	切続紙	
		松門↓藍田				
五		御目ニ懸御嘶仕度ニ付都合窺書		6月2日	切続紙	
		状				
		う(宇野)閑乎↓三松堂				
五		御目ニ懸度義ニ付書状		7月9日	切紙	
		源多郎↓(中山)而後				
五		中元御祝詞礼并取立物会ニ付書		7月14日	切続紙	
		状				
		堀越左源次↓中山甚之丞				
五		酒席招待状		中秋(8月)19日	切紙	
		(小原)恒貞↓中山				
五		御嘶申度ニ付御越方頼状		後10月8日	切続紙	
		句空庵(雪帯)↓中山梅奴				
五		出会之義病ニテ歩行仕難ニ付不		霜月(11月)14日	切続紙	
		出会之旨等書状				
		雪帯↓梅奴他				
五		頂戴物礼等書状		11月14日	切続紙	
		凌冬↓三松先生				
五		御目懸度ニ付御出被下様書状		11月14日	切紙	
		長御内田中嘉右衛門↓中(山)而後				

㉔	来宅被下ニ付挨拶状 雪袋・梅奴他	冬至		切紙					
㉓	贈答品礼等書状 如海・而後		12月12日	切続紙					
㉒	錢屋江御出之義ニ付窺書状 其融・藍田		12月	切紙					
㉑	御相伴之義ニ付当日之予定連絡状 恒貞・中山		3日	切紙					
㉐	十六夜会招待状 小原・野岡・中山		5日	切紙					
㉏	一瓢会開催ニ付都合問合状 (小原)恒貞・中山		17日	切紙					
㉍	酒席招待状 小原恒貞・中山		23日	切紙					
㉌	示談之義風邪ニ付日延願書状 其融・藍田		27日	切紙					
㉋	桃山参拝同道之誘い状 小原・中山		28日	切紙					
㉊	御出方依頼書状(前欠) 大五郎右衛門・而後		晦日	切紙					
㉉	鹿嶋氏御庭拜見之義ニ付書状 田中宮門・中山主計			切続紙					
㉈	今夕参上之義御免被下度旨書状 規春・三松堂			切続紙					
㉇	南画鑑賞会勧誘状 小室貞次郎(翠雲)			切紙 (木版) 2					
㉆	母罷出候節等之礼書状(後欠) (贈 答)			切紙					
㉅	拜領物ニ付礼状 (玉井)主馬・藍田								(寛政・享和) 4月6日 切続紙
㉄	小鳥贈進書状 土肥権六郎内小竹吉左衛門・中山主計								(文化・文政) 9月27日 切紙
㉃	蟹被贈ニ付挨拶状 高島右門内棚橋意佑・中山主計								(文政・天保) 正月晦日 切続紙
㉂	雲笈みかん被送ニ付礼状(後欠) 湯原平馬内勝見教左衛門・中山而後								(天保) 11月26日 切紙
㉁	あわび被贈ニ付挨拶状 成田内宮村瀬大夫・中山主計								(弘化・嘉永) 7月6日 切続紙
㉀	鯛拝受ニ付礼書状 (成田)宗左衛門								(弘化・嘉永) 21日 切紙
㉀	十一屋荷御贈之義ニ付書状 池嶋宇兵衛・中山主計								(嘉永) 4月25日 切続紙
㉀	蟹被贈ニ付挨拶状 高田善右衛門内野口新左衛門・中山主計								正月晦日 切紙
㉀	肴致来ニ付書状 白卿・藍田								後正月12日 切紙
㉀	珍肴贈被下等ニ付礼状 醉斎・三松主人								2月6日 切続紙
㉀	玉子献上仕旨書状 (御遣山)・三松堂								如月19日 切紙
㉀	カニ被送之礼并千鰯等持参方願状 小友・三松公								2月20日 切続紙
㉀	鱧被下候義ニ付礼状 堀越(左源次)・中山								3月10日 切紙
㉀	被下物ニ付礼書状								春満15日 切続紙
㉀	見事之生魚被贈ニ付礼書状								閏3月11日 切紙

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
九	凌冬↓而後	菓子贈之義書狀(後欠)	4月23日	切統紙	二三年魚贈狀 霞堤↓三松堂	仲秋19日 切紙
一〇〇	高田善右衛門内矢田徳左衛門↓中山主計	鯛被送ニ付礼書狀	4月26日	切紙	二四 粟茸城端より致来ニ付贈狀 十竹↓藍田	8月 切統紙
一〇一	高田善右衛門内岡崎乙一郎↓中山主計	名所之鯛被下ニ付書狀	5月2日	切紙	二五 鮮魚送被下ニ付御礼口上書 竹村茂助↓中山主計	9月3日 切統紙
一〇二	八之丞↓藍田	名産之鯛被送ニ付挨拶狀	5月15日	切紙	二六 魚・ミカン被贈ニ付礼狀等 (紙背文書)	11月16日 切統紙
一〇三	半六↓中(山)主計	鯛被下ニ付礼等書狀	5月15日	切紙	二七 肴受取等之義ニ付礼書狀 喜助↓中山	12月8日 切統紙
一〇四	湯浅弥五郎↓中山主計	見事之肴頂戴ニ付礼書狀	5月16日	切統紙	二八 御見舞として鮮魚頂戴ニ付礼狀 霞冷↓三松堂	朔日 切紙
一〇五	雀山↓羽亭君	嘉例之梅指上等ニ付書上	6月朔日	切統紙	二九 馳走之礼并飛脚之件ニ付書狀 (後欠) 島田↓	20日 切統紙
一〇六	兵次郎↓主計	過日之礼として菓子贈狀	6月7日	切統紙	三〇 馳走之礼狀 蓮福寺↓而後	29日 切紙
一〇七	凌冬↓三松堂	生魚御贈御礼之義ニ付書狀	7月12日	切統紙	三一 御肴被贈之礼等ニ付書狀 敷□↓中山	28日 切統紙
一〇八	堀越左源次↓宮腰御社中	中元御祝詞拝受ニ付礼狀	7月14日	切統紙	三二 かに為持被下ニ付挨拶狀等 (後欠・紙背文書)	切統紙
一〇九	(前欠)	見事なる魚被贈ニ付礼書狀	7月24日	切紙	三三 答品頂戴ニ付礼狀 中川平膳内林壮左衛門↓中山主計	不 葉書
一一〇	丙↓中山有吉	柴舟等送狀	7月25日	切紙	三四 落雁等送呈之義ニ付書狀(後欠) 荒木謙造↓中山一衛	不 切統紙
一一一	ささ木↓中山	南瓜進上之書狀	8月12日	切紙	三五 金子入用ニ付当座御算用可被下 於慮↓三松堂	2月3日 切紙
一一二		礼物進上ニ付書狀	8月13日	切統紙		

旨書状

貫車↓三松堂

一六 金沢下り人有之ニ付無心書状

□↓車や又右衛門

一七 金子借用頼状(後欠)

一八 金子御持被下ニ付返書礼状

季山↓三松堂

一九 借財等行つまりニ付御助力方願

書状

閑乎↓三松堂

二〇 致方無御座故御助力方願書状

閑乎↓三松堂

二一 御世話方御礼并再依頼状

閑乎↓三松堂

二二 銀子為持被ニ付受取書并礼状

宇野閑乎↓藍田

二三 願一件ニ付御世話方之義礼状

定吉↓而後

二四 加州絵図御返被下度旨等ニ付書

状

起龍↓藍田

二五 中山家助成之義ニ付書状

鶴霜↓中山

二六 願置之銀子礼金落手之義等ニ付

書状

守左衛門↓而後

二七 金子借用依頼状

貫車↓三松堂

二八 過刻参上之節御貸願之分請取ニ

参旨答書

中山家文書目録

貫車↓三松堂

二九 銀子御願方之義ニ付書状

鶴見小十郎↓中山甚丞

12月29日 切続紙

三〇 炭持参之旨頼ニ付雪俗書状

雪俗↓梅奴

5日 切紙

三一 たつき之恵み願状

不 切紙

三二 さかな被下并入用金子借渡被下

ニ付礼状

不 折紙 2

住江↓あけまき

三三 銀子用立方之礼并姫君様御迎之不

義ニ付書状

幾枝↓総角

切紙

寄戸口

一 中山甚之丞并同人悴改名願

宮腰中山甚之丞↓村田弥三郎

貞享3年5月28日 一紙

二 忠心孝心之者御尋之扣(後欠)

永原将監↓伊藤権五郎

(寛政) 2月18日 切紙

三 人別方調理之義ニ付申達書

湯原平馬

(天保9) 9月6日 袋綴 3丁

四 町方人別改方仕法帳等相渡ニ付

取調べ提出之旨達書

(天保14) 8月20日 切続紙

里見亥三郎↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

五 人別方調理方嚴重申渡之義ニ付

人別調理帳面可指出達書

(天保14) 10月28日 切紙

里見亥三郎↓中山主計・中山源四郎

六 人別改方仕法帖并人別帳ヒナ形

里見亥三郎↓

天保14年8月 袋綴 7丁

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
七	人別改方仕法帳并人別帳ヒナ形	天保14年		袋綴	7丁	
八	当町人別方法則ケ条書 岡田隼人・荒木津太夫↓	安政3年8月		袋綴	7丁	
九	人別送り状取遣作法書	安政3年		袋綴	13丁	
一〇	人別送り状取遣案文書	安政3年		袋綴	51丁	
二	本町宗判帳ヒナ形	慶応2年		袋綴	3丁	
三	宮腰町家数届 本町・地子町・冬爪町肝煎↓宮腰町御奉行所 (奥書)町年寄	辰2月		切紙		
三	宮腰町中惣人高等調理方申渡書	不		折紙		
四	宮腰町人名書上(前欠)	不		切続紙		
五	下越前町等人名書	不		切紙		
六	人別送り状裏書願状(後欠) 肝煎次右衛門↓欠	亥9月28日		切紙		
七	人別送り状雛形	不		一紙		
八	錢屋五兵衛孫長蔵送状一件ニ付 書状 (池島)宇兵衛↓(中山)主計	(嘉永)正月22日		切続紙		
九	親嘉兵衛病死ニ付届書 中山甚丞↓宮腰町御奉行所	酉9月24日		切紙		
一〇	中山甚丞妹田鶴婚姻之義ニ付願 書 尾張町組合頭二口屋九右衛門↓肝煎新七	辰11月		切紙		
一一	中山甚丞養妹田鶴義医師徳田久 謙妻ニ賞請度願書并添書	辰11月		こよ り綴	2丁	
一二	尾張町組合頭問屋九右衛門↓肝煎新七					
一三	中山主計妻病死ニ付忌引届并中 山弥八郎母病死ニ付忌引届書 (文化・文政) 12月27日			切紙		
一	御領國中浦々間役銀之義申渡状 奥村因幡・前田対馬	戌7月18日		一紙		
二	前田利家年貢礼錢銀請取書状 利家↓権兵衛	10月8日		折紙	3	
三	前田利家年貢税代到来ニ付書状 写 (利家)↓(山崎)種善坊	(文禄・慶長) 10月8日		折紙		
四	前田利長慶長五年分みやのこし あみ錢請取書 はひ↓いわみ殿	慶長5年卯月9日		豎紙	2	
五	慶長六年石川河北浜方地子赦免 状等宮腰町諸御定留	慶長↘寛文		袋綴	34丁	
六	前田利光加州國中へ毎年申付舟 役之事 筑前守利光↓加州國中在々肝煎惣百姓中	慶長18年9月2日		豎紙		
七	新御菜役赦免并走人召返之達書 満印(利常)横山山城守長知・本多安房守政重↓加州石川郡浦方 百姓中	元和元年12月9日		折紙	2	
六〇	租税・土地					
三	中山家人別書上申帳 。中山主計↓土肥権六郎、中山弥八郎↓御奉行所	明治元年11月		こよ り綴	3丁	
四	戸籍謄本代領收証 金石町収入役鶴山庄松他↓中山一衛	大正15・昭和3年		一枚	2	
五	角永仕平・中野与右衛門家戸籍 野々市町役場↓中山一衛	昭和5年8月20日		罫紙綴	2	

八 寛永拾六年分三ヶ国小成物方米 (寛永17) 6月29日 折紙  
分直段之事

小成物御算用場↓宮腰町下代岡野彦左衛門・同所肝煎三右衛門・  
主計

九 越中中郡新明神村百姓共舟割符 寛永18年5月18日 折紙  
之儀ニ付申付状写

安房守・山城守↓宮腰村主計・三右衛門

一〇 宮腰主計分出銀請取状 慶安4年正月26日 一紙

青木善右衛門・林次右衛門・佐垣九右衛門↓小川八郎右衛門・  
福嶋清兵衛 (裏書) 西尾隼人・奥村因幡守・奥村玄蕃・横山  
右近

二 宮腰主計分出銀請取状 慶安4年9月28日 切紙

青木善右衛門・林次右衛門・佐垣九右衛門↓松崎少左衛門・駒  
井主水 (裏書) 西尾隼人・横山右近・奥村玄蕃・奥村因幡

三 宮腰主計分出銀請取状 慶安5年2月10日 一紙

青木善右衛門・林次右衛門・佐垣九右衛門↓駒井主水・松崎庄  
左衛門 (裏書) 西尾隼人・奥村玄蕃・横山右近・奥村因幡

三 前田光高獵船十艘之諸役及町並 慶安5年9月3日 折紙  
諸役免除之再状写

犬千代(光高)↓銀座彦四郎(犬千代就在江戸利常御判)

四 宮腰年々御取納米等書付可置旨 (慶安・万治) 切続紙  
等申達書 午8月27日

駒井主水↓宮腰町主計

五 当秋打銀促催状 (慶安・万治) 折紙 2  
9月11日

横山右近・西尾隼人↓駒井主水

六 承応三年分宮腰町豆腐役等ニ付 承応3年 折紙  
申渡状

津田二郎左衛門・小寺甚右衛門↓宮腰町菓子や佐左衛門

七 当秋打銀請取書 明曆元年10月14日 一紙

中山家文書目錄

小塚藤右衛門・西尾隼人↓駒井主水

八 明曆元年より文化十四年町夫御 (明曆元〜文化14) 切続紙  
定書等御判物目錄

九 春打銀請取銀子之事 明曆2年3月12日 一紙  
西尾隼人・小塚藤右衛門↓駒井主水

一〇 宮腰町夫方御用向ニ付申渡状写 明曆2年9月5日 堅紙  
津田玄蕃・奥村因幡・前田对馬・本多安房守↓駒井主水

一一 秋打銀請取出銀之事 明曆2年10月12日 一紙  
小塚藤右衛門・西尾隼人↓駒井主水

一二 加州石川郡宮腰町村御印写 寛文10年9月7日 続紙  
(綱紀)↓宮腰町百姓中

一三 御物成御印写等 寛文10・延宝2年 袋綴 5丁  
宮腰

一四 公儀御前銀滞納之義ニ付猶予願 (元禄3) 5・7月 続紙  
中山甚丞・鶴屋与三右衛門↓越前町喜右衛門

一五 宝永八〜拾一年分上納銀子切手 宝永14年7月29日 一紙  
請取書

宮腰三右衛門・同主計・本町与左衛門・十右衛門・藤兵衛↓内  
藤清右兵衛 (裏書) 藤兵衛・与左衛門・十右衛門↓主計(宝  
永十六年十二月三日)

一六 享保三年分小物成割増之帳 享保4年4月5日 袋綴 2丁  
宮腰本町肝煎勘左衛門・十郎右衛門・平左衛門・八左衛門↓高  
島源藏

一七 宮腰高持之帳 享保5年2月 袋綴 39丁  
勘左衛門・十郎右衛門・平左衛門↓御奉行所

一八 前田吉徳獵船十艘諸役并町並諸 享保9年8月朔日 堅紙  
役免除状写 (吉徳)↓金屋彦四郎

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
元	宮腰本町地子町諸懸り物分担等 ニ付詮義申渡書 本保常右衛門→宮腰町年寄中・肝煎中	(元文5)11月16日	袋綴	4丁
三	寛保元年分御收納詰米之内払方 之事 御算用場→長井源太左衛門 三 宮腰地方より四拾五石堂形入之 義申渡 成田十郎左衛門・千秋喜藏→野村次郎兵衛	寛保2年2月 (奥書) 本保常右衛門 (天明6)9月朔日	一紙 切続紙	一紙
三	宮腰村御印六通等之写	明和9年6月	袋綴	13丁
三	中山恒治義享保年中より被仰付 之地子米御役銀等今年御用捨願 町人中山恒治→宮腰町御奉行所	(安永7)9月	続紙	
三	安永八年御收納詰米之内払方之 事 御算用場→進士武平	安永9年3月	一紙	
三	中山主計先規之通町役免許状并 同写 伊藤権五郎→中山主計	(寛政4)12月	切続紙2	
三	宮腰町御定町夫仕方之義所切ニ 仕可申達書 (伊藤)権五郎→宮腰町年寄中・横目肝煎中・肝煎中	(寛政10)3月19日	切続紙	
三	宮腰川間数并引網役書上	享保元年	切紙	
三	宮腰水戸口より大野水戸口まで 間数并引網数覚	不	切紙	
元	文化十年より国役金取立帳 宮腰御田地手上高被仰渡之義ニ 付請書	(文化11) 文化14年11月	袋綴 続紙	3丁
四	本町組合頭七右衛門・与四右衛門・次右衛門・権右衛門・宗兵衛・与三右衛門・次郎兵衛・長三郎・清右衛門・孫九郎・文次郎・長右衛門・勘七・宗左衛門・弥三右衛門・弥三兵衛・甚左衛門・長兵衛・次右衛門・喜右衛門・長次郎・善右衛門・六右衛門・久兵衛→宮腰町御奉行所 (奥書) 本町肝煎吉左衛門・同市郎右衛門・同新三郎・地方肝煎宗兵衛	中川外記→宮腰町年寄中 (文政6)12月10日	切紙	
四	延弘米願之義聞届申渡状 網獵等仕入札役銀半減願之義等 一作承届申渡書 御算用場→中川外記	(文政8)12月6日	切紙	
四	岡山森江閉門被仰付ニ付閉門中 諸上納之義一類一統割符之処町 醫師山本潮南不指出義ニ付申渡方願 津田小兵衛→中川外記	(文政) 12月28日	切紙	
四	原篠金右衛門御收納預米藏縮証 文 藏宿堀松酒屋喜兵衛→宮腰町御役所	文政12年12月	一紙	
四	大坂江御用金被仰付候御演述書 現銀払米之義御算用場より之紙 面添状 成田宗左衛門→宮腰町年寄中・横目肝煎中	天保14年7月 (嘉永元)12月6日	袋綴 切紙	3丁
四	延弘米切手并御算用場印渡之義 達書 成田宗左衛門→宮腰町年寄中・横目肝煎中	(嘉永元)12月14日	切紙	
四	嘉永元→三年分寺社方外作事方 等御召上御用金書上	(嘉永)	長帳	3丁
四	散小物成銀取立役并加役七木極 印主附勤方書上申帳 散小物成銀取立役助十郎→宮腰町御奉行所	嘉永2年8月	袋綴	3丁

- 吾 宮腰町批并料理商売人御役銀御 嘉永4年3月 袋綴 4丁  
 指解願書  
 肝煎宗兵衛↓宮腰町御奉行所  
 三 中山故三右衛門上納銀等相調理 嘉永6年2月 長帳 7丁  
 書上申帖  
 三 寺中屋返上納猶予願詮義ニ付書 (嘉永) 2月23日 切統紙  
 狀 (半田)權之丞  
 三 延弘米之義埒明仕義等ニ付申達 (嘉永) 12月16日 切統紙  
 狀 (半田)權之丞↓(中山)主計  
 三 澗改料取立之義詮儀有之ニ付申 (慶応元)12月12日 切統紙  
 渡書 (坂井)三郎兵衛・(神田)吉郎左衛門↓中山主計  
 三 居屋舖地子米役銀半役指除願書 (慶応2)10月 一紙  
 中山弥八郎↓佐藤半五右衛門  
 三 家諸懸り之義御取立方猶予願書 慶応3年12月 統紙  
 中山主計↓町御奉行所  
 三 中山家旧前之如く町御役銀無役 申2月 一紙  
 ニ被仰付様願書  
 中山加兵衛↓御奉行所  
 三 御公役金町方軒割を以上納申渡 癸丑5月 切統紙  
 書  
 三 中山恒治難波ニ付地子米御役銀 戌8月 統紙  
 御用捨願  
 町人中山恒治↓宮腰町御奉行所  
 三 中山主計義御用ニ付御算用場御 9月28日 切紙  
 収納所召状  
 三 宮腰村御印寺中社領御印持参之 9月29日 切紙  
 旨書状
- 田井五兵衛・にした間兵衛・ふち上三郎兵衛↓主計・三右衛門・  
 藤兵衛・八左衛門・与三右衛門  
 三 御蔵御收納之節外者罷出等百姓 辰11月 統紙  
 費ニ成儀取締方請書  
 町年寄中山弥八郎・同庄兵衛・肝煎平左衛門・同小右衛門・同  
 次兵衛・同武兵衛・同平右衛門・同源兵衛↓宮腰町御奉行所  
 三 御領国御用銀割符覚(小松・宮腰 不 切紙  
 等)  
 三 割符銀覚 不 折紙 2  
 三 擢役等狛師より取立銀覚 巳12月 折紙  
 三 狛師共より取立銀之覚 巳12月 切統紙  
 三 狛船割付米高覚 不 折紙  
 三 人足役算用書(前・後欠) 不 切統紙  
 三 国内旧領惣高図面指出等之義ニ (明治元)3月 切統紙  
 付請書  
 (土 地)  
 三 寛永式十老年御検地図帳等高覚 (寛永21) 切紙  
 書  
 三 加賀石川郡宮腰村御検地図帳 慶安元年12月朔日 統紙  
 之事写  
 青地四郎左衛門・田七兵衛・稻垣三十左衛門・小幡吉四郎・脇  
 部五右衛門・藤村太郎右衛門↓百姓中  
 三 御検地乞申御帳 貞享3年10月 袋綴 3丁  
 与合頭二十四人・肝煎七左衛門・五郎兵衛・権兵衛  
 三 宮腰惣高廻野帳等御算用場指上 貞享3年11月2日 切紙  
 通知  
 宮腰基丞・与三右衛門↓田辺半右衛門・安見頼兵衛  
 三 鴻統無量寺村領等フケ原より宮 天保10年7月 56×65  
 腰水戸口迄絵図(後欠) (彩色) 2

番号 標 題 年 代 形態 墨付 点数

五 安原川願一件 天保13年7月 袋綴 69丁 (9冊合綴)

六 肝煎源兵衛↓宮腰町御奉行所

七 犀川々筋上安原村新開ニより安 (天保13)5月 袋綴 5丁

八 原川水堀川筋へ切替之儀再考并 犀川水戸口普請願

九 肝煎源兵衛等六人↓宮腰町御奉行所

十 ①下安原村專光寺村專光寺新村 天保14年9月 統紙

十一 領浜新開所新用水ニ付取極書

十二 石川郡下安原村組合頭庄右衛門・同仁兵衛・同安兵衛・同忠兵衛・專光寺新村肝煎与兵衛・組合頭弥左衛門・同五郎右衛門・專光寺村肝煎右衛門・組合頭太右衛門・同八兵衛↓宮腰町御役人中 (奥書) 増泉村喜左衛門・朽木兵左衛門 (裏書) 改作奉行

十三 ②安原村新開地取極書之義ニ付 (天保14)10月朔日 切統紙

十四 申渡書 里見亥三郎↓煎町年寄中・横目肝煎中

十五 ③專光寺新村領浜新開所新用水 (天保14)9月晦日 切紙

十六 取極書添状 御算用場↓里見亥三郎

十七 安原村等浜新開所水通シ一件取 天保14年10月朔日 一紙

十八 極書受取ニ付仕抹方請書 町年寄中山主計・同中山弥八郎↓宮腰町御奉行所

十九 無量寺村領新開切高証文 嘉永2年12月 袋綴 5丁

二十 無量寺村肝煎甚兵衛・組合頭次郎右衛門・同伊兵衛・同三郎兵衛・百姓仁兵衛・同次兵衛・同善六・同長次郎・同清三郎・同善右衛門・同藤兵衛・同次助・同利兵衛・同久右衛門・同宇兵衛・同幸次郎・同八右衛門↓寺中村要蔵

二十一 ①無量寺村領新開場所取懸一件 嘉永3年4月 袋綴 3丁

二十二 ②無量寺村領新開場所半分町役 所持ニ仕段御達申上書 町年寄↓ (嘉永3)4月 (嘉永4)2月 切統紙 2

二十三 当所字村木場御助小屋辺浜地之 万延2年2月 袋綴 7丁

二十四 内千歩余畑新開諸雜用書上申帳 肝煎次右衛門・平左衛門・長左衛門・彦三郎・善次郎・久次郎 ↓宮腰町御奉行所

二十五 無量寺村新開之義ニ付出役之旨 (嘉永) 5月22日 切紙 銭

二十六 書状 池(嶋)宇兵衛↓主計

二十七 銭屋五兵衛無量寺村土地代銀之 義ニ付書状 龜巢(銭屋五兵衛)↓中(山)主計 7月5日 切統紙

二十八 銭屋五兵衛無量寺村地買請之義ニ付書状 不 切統紙

二十九 大納言様御代拝領之御扶持高歩 数并田地絵図 不 統紙 3

三十 宮腰御検地ニ付町年寄へ申渡覚 (貞享3)10月29日 統紙

三十一 田辺半右衛門・安見瀬兵衛 (請書)宮腰甚丞・与三右衛門

三十二 惣地面方位検地ノ次第 不 長帳 2丁

三十三 宮腰島地步帳 不 袋綴 112丁

三十四 前田美作守等御田地步数并地子 銀書上(後欠) 不 切統紙

三十五 冬瓜町より長沖屋安右衛門等ニ 渡田地歩数覚 卯3月 切紙

三十六 安宅屋又吉等島地之義義ニ付内 (嘉永) 9月2日 切紙

談之為出府申付狀

池嶋宇兵衛↓中(山)主計

三 地所売渡之事等ニ付書狀

ゆき↓中山一衛

11月4日 切統紙

三 安宅屋又吉等畠地一件ニ付内談  
仕度旨書狀

池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計

(嘉永) 11月10日 切統紙

四 地子米等願書指出之義ニ付申上  
書(後欠)

主計↓

12月15日 切紙

五 地券証(明治十八年中山有吉所有)

石川県石川郡長安達敬之

明治15年12月20日 一枚

六 地券証(宅地)(明治十九年中山有  
吉所有)

石川県石川郡長安達敬之

明治15年12月20日 一枚

七 地券証(畑・宅地)(明治二十二年  
中山有吉所有)

石川県石川郡長安達敬之↓中山一衛

明治15年 一枚 3

八 地所并建物売券証

金石下本町上田善六↓中山有吉

明治18年3月31日 袋綴 3丁  
(郵紙)

九 赤土屋地所書入登記之字番号控

回覽願狀

22日 切統紙

□井↓中山

六 口 錢

(魚口錢)

一 魚口錢之義申渡狀

山崎虎助↓菓子屋佐左衛門

(寛文3)3月20日 堅紙

二 宮腰諸魚売買口錢之内下被銀之

義窺狀并算用場答書

寛文5年8月晦日 続紙  
9月2日

中山家文書目錄

宮腰菓子屋佐左衛門↓御算用場

三 宮腰魚口錢取立申御定書 寛文13年2月26日 袋綴 4丁

宮腰菓子屋佐左衛門↓御算用場

四 宮腰魚口錢上納之義平均相場ニ 享保11年正月25日 続紙

テ可被仰付願書并聞届書

。菓子屋平右衛門↓宮腰町御奉行所。高島五郎兵衛↓御算用

場。御算用場↓高島五郎兵衛。高島五郎兵衛↓宮腰町菓子

屋平右衛門

五 宮腰諸魚口錢取立申御定書 元文5年8月 袋綴 5丁

宮腰菓子屋平右衛門↓御算用場

六 天明五年分魚口錢上納高書上 (天明6)正月 切紙

魚問屋二右衛門↓宮腰町御奉行所

七 宮腰諸魚口錢取立申御定書 文化元年6月 袋綴 5丁

宮腰蔵屋又吉↓御算用場

八 文化八年分魚問屋口錢取立書 文化9年9月12日 続紙

御算用場↓宮腰魚問屋兼帶中山主計

九 文化九年分魚問屋口錢取立書 文化10年7月20日 続紙

御算用場↓宮腰魚問屋兼帶中山主計

一〇 文化十年分魚問屋口錢取立書 文化11年8月 続紙

御算用場↓宮腰魚問屋兼帶中山主計

二 宮腰魚口錢取立御定并文化十年 文化11年 袋綴 5丁

御仕法通被仰付候覚

中山主計↓御算用場

三 文化十一年分宮腰魚問屋口錢取 文化12年8月28日 続紙

立書 御算用場↓魚問屋中山主計

三 普照寺村より平賀村迄之魚口錢 文化13年4月 切統紙

取立之義縮方不行届ニ付下役置

売買方御達願

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数	備考
四	中山↓小西屋御役所	鯛御口銭之義ニ付願書	文化13年5月		切続紙		石川郡村方地払魚口銭仕法改ニ付直上納申渡状 御算用場↓土肥三左衛門
五	中山主計↓小物成御役所	文化十二年分宮腰魚問屋口銭取立書	文化13年9月		一紙		魚口銭上納方ニ付御算用場より之紙面添状 (文政6)11月20日 土肥三左衛門↓宮腰魚問屋中山主計
六	御算用場↓魚問屋中山主計	松任町魚商人魚御口銭取立方縮之為下役召置之義等願書(後欠)	文化13年		切続紙		文政六年分宮腰魚問屋口銭取立書 御算用場↓魚問屋中山主計
七	御算用場↓魚問屋中山主計	文化十三年分宮腰魚問屋口銭取立書	文化14年9月		一紙		文政七年分宮腰魚問屋口銭取立書 御算用場↓魚問屋中山主計
八	御算用場↓魚問屋中山主計	文化十四年分宮腰魚問屋口銭取立書	文政元年8月		一紙		宮腰魚口銭取立御定書 中山弥八郎↓御算用場
九	御算用場↓魚問屋中山主計	文政元年分宮腰魚問屋口銭取立書	文政3年8月		続紙		文政八年分宮腰魚問屋口銭取立書 御算用場↓魚問屋中山弥八郎
十	御算用場↓魚問屋中山主計	文政二年分宮腰魚問屋口銭取立書	文政3年9月		一紙		文政九年分宮腰魚問屋口銭取立書 御算用場↓魚問屋中山主計
十一	御算用場↓魚問屋中山主計	文政三年分宮腰魚問屋口銭取立書	文政4年9月		一紙		文政十年分宮腰魚問屋口銭取立書 御算用場↓魚問屋中山主計
十二	御算用場↓魚問屋中山主計	文政四年分宮腰魚問屋口銭取立書	文政5年9月		続紙		文政十一年分宮腰魚問屋口銭取立書 御算用場↓中山主計
十三	御算用場↓魚問屋中山主計	文政五年分宮腰魚問屋口銭取立書	文政6年9月		続紙		文政十二年分宮腰魚問屋口銭取立書 御算用場↓中山主計
十四	御算用場↓魚問屋中山主計	文政五年分宮腰魚問屋口銭取立書	文政6年9月		続紙		天保元年分宮腰魚問屋口銭取立書 御算用場↓中山主計

- 御算用場↓中山主計  
 加越能諸浦取揚諸魚等口錢取立 天保2年12月28日 切続紙  
 方申渡書(後欠)  
 (御算用場)↓
- 御算用場↓中山主計  
 天保二年分宮腰魚問屋口錢取立 天保3年8月 一紙
- 御算用場↓中山主計  
 天保三年分宮腰魚問屋口錢取立 天保4年8月 一紙
- 御算用場↓中山主計  
 天保四年分宮腰魚問屋口錢取立 天保5年8月 一紙
- 御算用場↓中山主計  
 天保五年分宮腰魚問屋口錢取立 天保6年8月 一紙
- 御算用場↓中山主計  
 天保六年分宮腰魚問屋口錢取立 天保7年8月 一紙
- 御算用場↓中山主計  
 天保八年分宮腰魚問屋口錢取立 天保9年9月 一紙
- 御算用場↓魚問屋平左衛門  
 天保九年分宮腰魚問屋口錢取立 天保10年9月 一紙
- 御算用場↓魚問屋平左衛門  
 天保十年分宮腰魚問屋口錢取立 天保11年12月 一紙
- 御算用場↓魚問屋平左衛門  
 天保十一年分宮腰魚問屋口錢取立 天保12年8月 切続紙
- 御算用場↓魚問屋平左衛門  
 天保十二年分宮腰魚問屋口錢取立 天保13年8月 一紙
- 御算用場↓魚問屋平左衛門  
 天保十三年分宮腰魚問屋口錢取立 天保14年9月 一紙
- 御算用場↓魚問屋平左衛門  
 宮腰魚問屋口錢取立帳(明和元年十二月御口錢八歩六歩之留共)  
 嘉永5年 袋綴 24丁
- 御算用場↓魚問屋平左衛門  
 魚口錢等取立覚(紙背文書)・(後欠) 甲寅4月 切続紙
- 魚口錢浦口錢等算用書 不 切続紙
- 千鯛日仕切商内口錢相調方申渡(天保5)2月 切続紙
- 高島右門↓宮腰町年寄中  
 (湊・浜借口錢)  
 嘉永六年丑年より万延元年申年 嘉永6~万延元年 袋綴 19丁
- 迄湊口錢取立高書上申帳 2月26日 切続紙
- 出入湊口錢御渡付ニ出勤召状 2月26日 切続紙
- 嶋田又五郎・市川直助↓中山主計  
 出入荷物湊口錢取立高澗役より 酉2月28日 切紙
- 請取覚 中山主計
- 湊口錢澗改人より指出ニ付一札(文久3)8月28日 切続紙
- (坂井)三郎兵衛・(長屋)八内↓中山主計  
 寅八月分地他国等之品浜借御口 慶応2年9月 袋綴 3丁
- 錢取立帳 金石町澗役文右衛門・見習小三郎↓中山主計  
 寅九月分地他国之品浜借御口錢 慶応2年10月 袋綴 3丁

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

金石本町澗役文右衛門・見習小三郎↓中山主計  
寅十月分地他国之品浜借御口錢 慶応2年11月 袋綴 3丁

取立帳 金石本町澗役文右衛門・見習小三郎↓中山主計

寅七月分地他国之品浜借御口錢 慶応2年 袋綴 3丁

取立帳 金石本町澗役文右衛門・見習小三郎↓中山主計

(諸口錢)

近年馬借困窮に付万材木諸荷物 (宝曆元)5月 切統紙  
口錢取立之定

佐藤半五右衛門↓宮腰町年寄中・肝煎中

材木口錢取立人申付ニ付勸方申 (宝曆元)5月 切統紙

渡書 佐藤半五右衛門↓材木口錢取立人代や新助

馬借余荷材木口錢御改取立人被 (宝曆元)5月 一紙

仰付并余荷銀減少被仰付之義請

書 宇兵衛・八右衛門・彦左衛門・武右衛門・市郎右衛門・弥八郎・

藤右衛門・豊右衛門↓宮腰町御奉行所

馬借余荷取立定帳 寛延4年5月 袋綴 5丁

佐藤半五右衛門↓宮腰町年寄・肝煎

宮腰浦積出之等荷改錢取立ニ付 (文政3)2月 切紙

申渡 土肥権六郎↓宮腰町年寄中

四十物商人口錢取立之義ニ付申 (天保2)5月12日 切統紙

渡状 御算用場↓宮腰魚問屋中山主計

宮腰町より御郡方引取之尿物馬 (天保11)5月 袋綴 8丁

借口錢一件留

新川郡産物口錢卷月切取立之義 (慶応2)4月26日 切紙  
廻状 5月4日

寺嶋陳太郎・上月教之助・村佐大夫↓坂井三郎兵衛

馬借上前口錢定書 不 切紙

六 治 安

白山禪頂諸堂杣取之義ニ付論旨 天文13年6月5日 一紙

并替文写 天文14年9月20日

左中弁↓白山惣長吏證辰法印御房

白山惣長吏證辰法印と結城七郎 天文14年6月24日 統紙

四郎宗俊相論加州白山禪頂社造

立杣取事写

左衛門盛就他十名

宮腰本町肝煎五郎兵衛斬罪達書 (元禄13)6月7日 切統紙

伊藤平右衛門・奥村市右衛門・半田惣兵衛・竹田五郎左衛門

↓沢野团右衛門・沢野团右衛門↓宮腰中山甚八郎・中山清右

衛門・本町肝煎権兵衛・同七右衛門・地子町肝煎武兵衛・同四

郎兵衛・冬瓜町肝煎喜兵衛

出入濟まで何方へも罷出不申義 宝永20年2月20日 統紙

ニ付起書文 森田二郎左衛門・三弥↓中山主計・中山甚煎

飴屋善兵衛忰所払一件覚書 宝曆5年3月 切統紙

片町大浦屋幸右衛門方族人致病 明和7年・8年 袋綴 41丁

死候一卷 旅 (3冊合綴)

- 七 宮腰町越前次右衛門軒下縊死人 (明和8)12月22日 切続紙  
一件差函書  
奥野代馬↓金岩嘉太夫
- 八 越前屋沢右衛門方軒下にて乞食 (明和8)12月23日 切続紙  
縊死一件等詮義報告書  
金岩嘉太夫↓奥野主馬
- 九 宮腰縊死人一件調替違書 (明和) 12月24日 切続紙  
奥野主馬↓金岩嘉太夫
- 一〇 赤土屋小右衛門義勝手仕抹方等 (文化11)11月14日 切続紙  
閑心得不行狀ニ付心得申聞べく  
申渡書  
(土肥)権六郎↓
- 一一 検使一卷 文政7年 閏8月10日 袋綴 68丁
- 一二 芝居一件ニ付役者之義等書狀 (文政) 4月23日 切続紙  
土肥三左衛門↓中山弥八郎
- 一三 火之元心得方申渡書 天保3年10月20日 切続紙  
高島右門↓宮腰町年寄中
- 一四 御用不行届者徘徊止之義等ニ付 (弘代・嘉永) 5月16日 切続紙  
書狀  
池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計
- 一五 組合頭小右衛門等咎方添狀 (弘代・嘉永) 7月27日 切紙  
成田宗左衛門↓中山主計
- 一六 火事御貸米之義宿役勤之者差別 (嘉永元)6月10日 切続紙  
有之義尋ニ付召狀  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中
- 一七 夜中徘徊并無堤灯之者取締申渡 嘉永6年8月14日 切紙  
書  
齊藤与兵衛・浅香嘉門↓宮腰町年寄中
- 一八 公義より御尋者人相書相越ニ付 (万延元)3月 切続紙

- 申渡書  
奥村河内守・横山遠江守↓丹羽織人・小幡主税  
(小幡)主税↓宮腰町年寄中
  - 元 北村屋仁兵衛方張文之写 慶応元年6月10日 切続紙
  - 三 冬瓜町石見屋仁右衛門縁類之者 酉2月13日 一紙 2  
着類盗難等宮腰町異変沙汰口上  
書
  - 三 宮腰町異変等沙汰承義口上書 酉正月22日 一紙  
中山甚丞↓筈間彦太夫・堀茂右衛門
  - 三 備前祐光之脇刺貸置之処質流し 卯6月 切紙  
一件
  - 三 去方へ貸置候脇刺質流一件御詮 卯6月 切紙  
義願
  - 三 貸置候脇刺質入一件 卯8月 切紙
  - 三 宮腰ニ有之軽わざ小屋取毀違書 5月22日 切続紙  
↓町付詰足軽中
  - 三 芝居興行約定一件ニ付札明願 申正月 袋綴 25丁  
小木屋孫三郎↓宮腰御奉行所
  - 三 宮腰定役山田保左衛門殿湊屋佐 不  
太郎方御帳面御調理之義ニ付願  
書(後欠)
  - 三 町年寄椿八等御咎之義御免許願 未3月7日 切続紙  
ニ付被仰出之義納得ニ付願書返  
却願
- 地子町組合頭長右衛門・同五左衛門・同又右衛門・同門右衛門  
・同権左衛門・同文助・同久右衛門・同文右衛門・同次右衛門  
・同与三兵衛・同藤兵衛・同八右衛門・同久次郎・同権七・同  
与三右衛門・同喜助・同久左衛門・同彦兵衛・同弥平・同庄右  
衛門・同宗兵衛・同三郎兵衛・同九兵衛・同与兵衛・松前町組  
合頭又右衛門・上浜町組合頭権七↓町年寄中山弥八郎

番号 標 題 年 代 形態 墨付点数

元 寺中屋与吉掃宅ニ付呼立詮義仕 (嘉永) 4月3日 切統紙

旨書状 池嶋宇兵衛—中山主計

三 紺屋弥右衛門義組合御引渡置詮 不 切紙

義ニ付御用番呼出達書

三 山岸鎮次郎方門ニ張文一件尋書 10月13日 切紙 3

并添状

三 放生津新町水主伝吉等御仕置仰 午2月 切統紙

渡書

三 検使人并足輕名書 不 切紙

三 徘徊留等諸刑書上 不 切統紙

三 湊屋一件相濟等之義ニ付書状 (後欠) 不 切紙

御指除被遊候者之義ニ付申上書 (前欠) 子10月 切紙

三 額事件集会欠席通知并花束覚 不 (明治24)9月28日 切紙 2

中山—二孫

(南部引渡人一件)

元 南部川内三太郎等町預ニ付見張 (明和9)5月 一紙

方請書

町年寄中山弥八郎・庄兵衛—宮腰町御奉行所

完 奥州南部船頭妹便船切手不持乗 辰5月 統紙

船一件御尋ニ付口上書

。南部川内直船頭仙台屋三太郎—宮腰浦改役中山弥八郎・同鶴屋庄兵衛・同妹のふ—宮腰浦改役中山弥八郎・同鶴屋庄兵衛 (奥書) 宮腰浦改役中山弥八郎・同鶴屋庄兵衛

四 ①南部御役人当着ニ付御用留 (明和9)7月24日 袋綴 9丁

四 ②南部御役人致着ニ付引渡人伝 (明和9)7月26日 切統紙

馬等申状 中山弥八郎—横田左衛門

四 南部大膳大夫様より川内船頭等 明和9年8月 袋綴 12丁

請取人罷越諸事御入用帳 主付町年寄中山弥八郎・主付肝煎次兵衛・主付肝煎武兵衛・同平右衛門—宮腰町御奉行所

三 南部藩河内船頭三太郎等召連人 明和9年9月 袋綴 7丁

罷越候ニ付賄方入用払帳 宮腰町年寄中山弥八郎・肝煎次兵衛・同武兵衛・平右衛門—林左平太・大場源次郎—宮腰町御奉行所

三 南部森岡領川内等人名書上 不 袋綴 3丁

(唐人屋一件) 唐人屋仁左衛門御次上納一件ニ (嘉永元)12月 袋綴 3丁

四 唐人屋仁左衛門御次上納一件ニ (嘉永元)12月 袋綴 3丁

付申渡書 成田宗左衛門—宮腰町年寄中・横目肝煎中

四 唐人屋甚左衛門家落札ニ付代銀 (嘉永2)10月17日 切紙

取立申渡書 (前欠) 半田権之丞—宮腰町年寄・横目肝煎中

四 唐人屋一件ニ付主計平野弥一郎 (嘉永) 4月28日 切紙 2

面会之義ニ付書状并添状 林源多郎—(半田)権之丞

四 唐人屋甚左衛門一条之義内談ニ (嘉永) 6月4日 切紙

付召状 (半田)権之丞—(中山)主計

四 唐仁屋一件書状御渡之義ニ付書 (嘉永) 12月18日 切紙

状

林源多郎→半田權之丞

兎 唐仁屋甚左衛門手代算用方委曲 (嘉永3)11月 袋綴 9丁  
之義吟味願

唐仁屋甚左衛門→御改方御役人中

吾 宮腰町唐仁屋甚左衛門同所湊屋 (嘉永4)6月 袋綴 9丁

佐吉郎指引合方一件留

五 唐仁屋甚左衛門組預之義ニ付申 6月4日 切統紙

渡書

三 唐仁屋甚左衛門一件ニ付示談い (嘉永) 6月18日 切紙  
たし度御出依頼書狀

池嶋宇兵衛→中山主計

三 唐仁屋甚左衛門家勘定合不申一 (嘉永) 10月11日 切紙

件等ニ付書狀

(池嶋)宇兵衛→主計

(錢屋一件)

吾 錢屋喜太郎家財欠所之内持船所 嘉永6年4月12日 切統紙  
方へ被下并持家取毀之義等申渡 7月20日  
7月24日

御算用場→齊藤与兵衛・浅香嘉門、齊藤与兵衛・浅香嘉門  
→八右衛門・庄右衛門、浅香嘉門→町年寄中

盃 錢屋喜太郎義外海船權役等入牢 (嘉永) 12月18日 切統紙

中取立方指支ニ付取立方達書

御算用場→菊地常三

兵 錢屋喜太郎義入牢中地子米取立 (嘉永) 12月20日 切統紙

指支之義所方にて可相弁達書

御算用場→菊地常三

毛 錢屋喜太郎持船所方へ被下ニ付 (安政元) 切統紙

壳捌之上代銀町中一統へ配当之 閏7月20日

中山家文書目錄

申渡書

齊藤与兵衛・浅香嘉門→宮腰町年寄中

兵 錢屋喜太郎持船所方被下ニ付配 (安政元)閏7月 折紙

当方等申上書

中山主計

五 錢屋喜太郎持船壳払銀用途ニ付 (安政元)閏7月 切統紙 2  
意見書并喜太郎一件ニ付組合之  
者骨折之義調理方具申書

中山主計→齊藤与兵衛・浅香嘉門

空 錢屋喜太郎家財御払直段等之帳 安政3年9月 袋綴 4  
長帳 小帳

六 宮腰町錢屋喜太郎養子佐八郎并 (安政5)9月 切統紙

下人喜助義永牢御免之申渡書

三 錢屋喜太郎義家財欠所ニ付持舟 (安政) 4月12日 切紙

所方へ被下旨申渡書

御算用場→齊藤与兵衛・浅香嘉門

空 錢屋喜太郎持舟所方へ被下ニ付 (安政) 7月20日 切統紙

壳捌銀子用途方演述書

齊藤与兵衛・浅香嘉門→中山主計

空 宮腰錢屋喜太郎家財欠所ニ付持 (安政)4月・7月 切統紙

船所方被下書并船壳捌銀子用途  
ニ付存寄之趣可差出申渡書

御算用場→齊藤与兵衛・浅香嘉門、齊藤与兵衛・浅香嘉門  
→八右衛門他、浅香嘉門→町年寄

空 錢屋喜太郎家財欠所ニ付持船所 (安政) 7月14日・20日 切統紙

方へ被下之達并同船壳払銀子ニ

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

付所方仕法可指出申渡書

。御算用場↓齊藤与兵衛・浅香嘉門、  
齊藤与兵衛・浅香嘉門

↓八右衛門・庄右衛門、  
浅香嘉門↓町年寄中

六 錢屋喜太郎兵庫一件落着ニ付大 午正月 切統紙

坂表御用被仰付船之義申上書

錢屋喜太郎↓肝煎宗兵衛

六 錢屋要藏兵庫一件大坂表ニて落 午正月 切統紙

着ニ付登坂船之義届書

錢屋要藏↓肝煎市郎右衛門

六 材木問屋錢屋喜太郎義寺中村要 不 折紙

藏一件ニ而咎被申付ニ付御国用

材木津入之義等仕法替一件(錯簡)

六 錢屋喜太郎壳松之材木代銀年賦 (安政3)6月5日 切統紙

之義ニ付尋書

宮腰出役市川直助・古田直之丞↓中山甚丞

六 材木仲買錢屋喜太郎惡敷世評有 不 折紙

之ニ付仲買人指替申渡書

(中山甚丞魚問屋一件)

七 中山甚之丞義魚問屋役中不埒之 (嘉永6)11月 切統紙

義有之ニ付町年寄見習役共指除

状 齊藤与兵衛・浅香嘉門↓中山甚之丞

七 中山甚丞義魚問屋役申付置候処 (嘉永6)11月 切紙

不埒之趣有之ニ付心得方可立直

申渡書

齊藤与兵衛・浅香嘉門↓中山甚丞

三 中山甚丞義魚問屋役在役中御口 (嘉永6)11月 折紙

錢取立不足一件留 (安政元)4月

四 問屋共魚口錢等上不足有之ニ付 (嘉永・安政) 4月6日 切統紙2

縮方達状 御算用場↓齊藤与左衛門・浅香嘉門

五 中山甚丞義魚問屋在役中御口錢 (安政元)4月7日 切紙

取立不足之段ニ付申渡書

六 中山甚之丞義魚問屋在役中御口 (安政元)4月7日 切紙

錢取立不足之義不届ニ付咎方追

込申渡状

七 中山甚之丞咎方指有状 不 切紙

(中山主計禁足一件)

六 中山主計隠居之上金沢禁足申渡 (安政元)10月6日 切紙

書

六 中山主計隠居之上金沢禁足申渡 (安政元)寅10月 切統紙

書并中山甚丞御扶持被下申渡書

六 中山主計指扣之義指有申渡書 (安政2)6月14日 切統紙

六 中山主計隠居被仰付金沢禁足之 (安政5)12月6日 切統紙

義差免ニ付年頭御礼罷出等先例

之通被仰付様願書

丹羽織人・小幡主税↓奥村河内守

三 ①中山主計金沢禁足一件等留 安政?文久 袋綴 13丁

②中山而後金沢禁足有免違等 (安政5)12月 切紙 3

丹羽織人↓中山主計

③中山甚丞主計兩名改名許可一 (安政5)12月17日 切紙 2

件

(丹羽)織人

④ 中山而後隱居并禁足後之年頭 (安政5) 12月 御礼罷出之義等ニ付願一件 切紙 3

丹羽織人・小幡主税↓奥村河内守

⑤ 中山而後髮剃落平生無袴徘徊 文久3年11月 之義許可願書 一紙 2

中山而後↓坂井三郎兵衛・長屋八内

(仇 討)

③ 文政十年讃州阿野郡羽鹿村敵討 文政10年7月23日 一件 切続紙

② 酒井雅楽守家来敵付一件 天保5年7月14日 切続紙 2

① 江戸表ニ而敵打一件由来写 一紙

① 岡崎之仇討刷物 大正4年4月7日 (一枚 木版)

六二 争 論

一 ① 享保三年御郡方と争論之節役 享保5年5月12日 袋綴 7丁

義被召放御扶持高も御取上其 後ニ頂戴仕候事 中山甚八郎↓宮腰町御奉行所

② 中山家御扶持召放ニ付利常様 享保5年4月 一紙

等御一行之物返上覚

二 犀川神明宮社頭修覆材木代ニ付 (明和) 11月29日 切続紙

宮腰材木屋申分一件下濟ニ可取

斗申達書

寺西彈正↓金岩嘉太夫

三 宮腰大野湊出入一件 (錯簡) 文化13・14年 こより綴 21丁

四 松平伯耆守様御領分丹後宮津騒 文政5年 袋綴 4丁

動記

中山家文書目録

若狹某写

五 若州小浜百姓騒動見聞書 天保4年 切続紙

六 隣村一件等林方へ答之義ニ付書 (嘉永) 9月20日 切続紙

状 (半田)権之丞↓(中山)主計

七 大野新川水戸口浜変死人打寄取 文久2年 こより綴 15丁

捌ニ付宮腰大野出入一件留

八 御奉行所詮義并株札持共参集一件口上書 7月4日 切続紙

主計↓弥左衛門

六三 災 害

一 宮腰火事ニて焼失并有材木中勘 元禄4年2月26日 一紙

書上 宮腰宿酒屋伊兵衛↓高島彦太夫

二 宮腰町出火々元人町内居住相払 (天明7) 2月10日 切紙

申渡書 (後欠)

三 天明七年宮腰寺町普照寺放火等 (天明7) 切続紙

野村次郎兵衛↓宮腰町年寄中・横目役中・肝煎中

四 中山主計宅出火打消之義申達書 (文政6) 11月23日 一紙

中山主計↓土肥三左衛門

五 中山主計宅火事沙汰之義御尋ニ (文政6) 11月 続紙

付申上書 中山主計↓土肥三左衛門

六 富士山雪崩震動ニ付駿州・甲州 天保5年 切続紙

村々被害申上書 水野出羽守・柴田善之丞

七 天保凶年之巻 天保8年 切続紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

八 官腰下新浜町出火一件紙面承知 (嘉永元)6月2日 切紙

ニ付申達書 武田九郎兵衛↓成田宗左衛門

九 關東大江戸并諸国大地震出火方 安政2年10月2日 こより綴 7丁

角附

乾坤亭萬歳案

一〇 江戸大地震出火場明細記 安政2年10月 長帳 8丁

四海堂梓

一一 江戸大地震ニ付諸侯本国帰国之 被仰出等江戸より之紙面抜書 (安政2) 切統紙

安政大地震ニ付江戸より之紙面

一二 江戸出火情况書 2月8日 切統紙

一三 ゆるがぬ御代要之石寿栄 (江戸 (安政) 一枚)

安政地震風刺)

一四 安政五年道頓堀角之芝居より出 火一件 (安政5) 切紙

京都大火之図

一五 京都大火之図 元治元年7月 35×50 (木版)

一六 京都大火一件申達状 寅4月 切紙

一七 上方中使棟取浜岡屋弥兵衛

一八 下新浜町出ニ付注進書 5月晦日 切紙

中山主計↓御奉行所

一九 下越前町等類焼家数書上 不 長帳 4丁

二〇 下越前町々人拾貳軒書上 (後欠) 不 切統紙

二一 焼失家数等書上 (断簡) 不 切紙 2

二二 御新屋敷類火之儀等ニ付書状 5月5日 切統紙

青権右衛門↓宮腰主計

三 川々洪水ニ付御奉行罷越御覽之 5月29日 切統紙

義書状

山下只右衛門・上田法左衛門↓宮腰町附足輕衆中・年寄衆中・肝煎衆中

三 救 恤

一 類焼之者共御貸銀之御帳 元禄4年4月 袋綴 35丁

組合頭弥右衛門・同弥兵衛・同甚右衛門・同藤左衛門・同次郎

右衛門・同佐兵衛・同吉左衛門・同九左衛門・同次郎助・同十

三郎・同助右衛門・同五兵衛・同助右衛門・同次郎左衛門・同

三郎右衛門↓高島彦太夫

二 元禄四年浜町類焼者共より取立 元禄4年9月3日 切統紙

之銀貸渡算用目錄 中山甚丞・中山清右衛門↓高島彦太夫

三 町中飢人助成之為借用申銀子証 元禄9年3月15日 統紙

文

中山甚八郎・中山清右衛門・肝煎権兵衛・同五郎兵衛・同七右

衛門・同地子町四郎兵衛・同武兵衛・冬瓜町与左衛門↓各々

(奥書) 高島彦太夫

四 砂込潰家等ニ付御貸付米金之覚 明和5・天明3年 切統紙

五 御城下町在ニ余米被下ニ付軒数 (明和8)12月 切統紙

調等之義申渡書

御算用場↓金岩嘉太夫・金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中山弥八

郎・鍋屋庄五

六 被下米配当ニ付申渡書 (明和8)12月 切統紙

御算用場↓金岩嘉太夫

七 被下米之儀ニ付支配所家数員数 (明和)12月 切統紙

調可指出申達書 御算用場↓金岩嘉太夫・金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中

八 被下米被仰渡ニ付申渡状 (安永元) 2月 切続紙

前田平馬↓宮腰町年寄中・肝煎中

九 下米頂戴ニ付一統奉恐悦様申渡 (安永元) 11月 切続紙

前田平馬↓宮腰町年寄中・肝煎中

一〇 宮腰町極難渋人銀配当ニ付申渡 (安永2) 12月15日 切続紙

書 前田平馬↓中山弥八郎・鶴屋庄兵衛

二 救荒本草拔萃全 文政11年正月 書冊 (木版) 30丁

加州小松社倉

三 被下金渡ニ付受取指出可通知 (天保・弘化) 正月10日 切紙

里見亥三郎↓中山主計

三 火事所米指出之義申渡書 (前欠) (嘉永元) 6月朔日 切紙

成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

四 宮腰町火災救方願承届状 (後欠) (嘉永元) 7月6日 切紙

成田宗左衛門↓宮腰町年寄中

五 紺屋弥右衛門等浜辺ニテ能興行 揚金類焼之小前ニ配当之義ニ付 申渡書 (嘉永元) 7月18日 切続紙

成田宗左衛門↓宮腰町年寄・横目肝煎中

六 今度出火ニ付類焼人へ御貸米指 出申付書 (嘉永) 6月3日 切紙

池嶋宇兵衛↓中山主計

七 被下米引足方之義ニ付書状 (嘉永) 8月13日 切続紙

(半田)権之丞↓(中山)主計

八 極難渋人調理帳 (錯簡) 安政6年正月 長帳 14丁

町方困窮人江為御救粥被下候ニ 付人数調理書上申帳 (錯簡) 安政6年12月 長帳 19丁

町年寄中山主計

三 当所字村木場御助小屋諸入用書 万延2年2月 袋綴 6丁

上申帳 肝煎次右衛門等六人↓宮腰町御奉行所

三 冬瓜町極難渋人書上并貸米貸付 己12月 長帳 3丁

覚 三 冬瓜町難渋人御貸付米覚 不 長帳 2丁

三 被下米御引足之義ニ付尋書 8月15日 切続紙

(後欠)

四 今般御城下町人江米銀被下ニ付 遠所町奉行支配所者共へも被下 旨通知 (明和8) 12月 切紙

中山主計↓上

五 御救方之義聞届之付紙 申7月6日 切紙

御算用場↓

六 焼失家御貸米覚 不 切紙

七 衣類等寄贈謝状 明和6・8年 一枚 2

小野慈善院↓中山一衛

八 火災保険之義ニ付書状 (前後欠) 6月25日 切続紙

小嶋↓中山

九 小野君慈善錄 明治23年8月6日 書冊 (印刷) 31丁

和田文次郎輯・共潤会発行

### 七 産 業

#### 100 商・産 業

一 破損船壳払之義口上書 (後欠) 元禄16年9月 一紙

塩飽牛嶋長木や権兵衛沖船頭平三郎↓宮腰町年寄中山甚八郎・

中山清右衛門・肝煎中

番号 標 題 年 代 形態 墨付 点数

(奥書) 宮腰中山甚八郎・中山清右衛門・肝煎權兵衛 以下欠

二 錢屋次兵衛願書并酒造米高之義 (明和) 11月20日 切統紙  
二付申渡書

金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中

三 御普請会所御用之芋綱ない立人 (明和) 14月26日 切統紙  
募集状

古屋孫市↓金岩嘉太夫

四 芋綱見本御普請会所へ相返ニ付 (明和) 12月11日 切統紙  
人夫指遣之義一札

金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中山弥八郎

五 外作事方造所諸職人手間料等宝 (明和) 12月13日 切統紙  
曆九年以前之分調可指出申渡書

嶋田權兵衛↓金岩嘉太夫・金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中

六 湊屋佐太郎他馬数覚 (明和) 切紙

↓金岩嘉太夫

七 商方極書 寛政10年2月 袋綴 8丁

仲河嶋屋善右衛門・同安宅屋次右衛門・同赤土屋与四右衛門・

同錢屋又五郎・同唐仁屋与三兵衛・同油屋文右衛門・仲長沖屋

与兵衛・同小松屋門右衛門・同嶋屋三郎右衛門・同赤土屋伊左

衛門・同辻屋文左衛門・同赤土屋平兵衛・同木呂屋清右衛門・

同長沖屋清兵衛・同倉部屋久右衛門・同広瀬屋嘉兵衛・同赤土

屋次右衛門・同七尾屋弥兵衛・同柏屋武助↓宮腰町御奉行所

(奥書) 米方等亮質主附与三八・町年寄中山主計・同中山三右

衛門

八 宮腰近年不景況ニ付商物引請取 (文化2年) 14月9日 切統紙  
扱等之義申渡書

脇田善左衛門↓

九 会津蠟燭徳用ニ付入方之義願書 文政8年9月 統紙

宮腰町錢屋五兵衛↓宮腰町御奉行所

一〇 ①産物御益可相成品等願置扣 文政8~10年 袋綴 7丁  
中山弥八郎

②宮腰浦出来干鯛他国津出願承 (文政10) 5月3日 切紙

届状 中川外記↓中山弥八郎

二 文政十二年町御奉行榊原主計頭 文政12年9月 袋綴 13丁  
様御役所江当ニ相成居候鑄錢仕

法御上納仕訳帳写

本所中ノ御尾町吉兵衛店文左衛門

三 絹布并木綿判押方丈尺改方等改 天保5年正月 袋綴 7丁  
而申渡候覚

御算用場↓絹布木綿判押人

三 錢屋五兵衛酒造株酒造道具并家 天保8年11月 統紙  
蔵借用仕酒造商売仕ニ付証文一

札

錢屋五兵衛・請人錢屋与右衛門↓酒屋八左衛門

四 近年不作ニ付酒造高三ノ一造ニ (天保9) 10月11日 切統紙  
可致旨等申渡書

湯原平馬↓中山主計

五 質商売人株調替并宮腰町諸商売 (天保9) 10月 袋綴 13丁  
役銀調理書上帳 (天保10) 3月 (2冊合綴)

六 文政十二年酒醬油等商売候者新 (嘉永元) 正月19日 切統紙  
樽焼印申渡之義尋度ニ付召状

・半田權之丞↓御算用場・肝煎源兵衛等六人↓宮腰町御奉行所

成田宗左衛門↓中山主計

七 清酒樽売御指留并御縮方被仰渡 嘉永元年正月 袋綴 10丁

- 一件 成田宗左衛門↓宮腰町年寄中
  - 一 宮腰町酒屋醬油屋等以來縮方達書(嘉永元)2月 成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中 嘉永3年8月 袋綴 9丁
  - 二 鑄造免狀等写 鑄座棟梁名越弥右衛門↓加州金沢野町老丁目鍋屋仲兵衛 御家中所持之駒所持替之節届方 (安政元)7月 切統紙
  - 三 等二付触書 原頼母↓斎藤与兵衛・浅香嘉門 武田喜左衛門申来状并吹炭詮義 (文久2)9月28日 切紙
  - 二 二付申渡書 (神尾)篤治郎↓宮腰町年寄中 鑄造用吹炭詮義尋書(前欠) (文久) 切紙
  - 三 ↓神尾篤治郎・坂井三郎兵衛 宮腰四十物商売人へ申渡書并請 午6月11日 袋綴 6丁
  - 三 宮腰四十物商売人大手屋又兵衛他・松揚屋六兵衛・歎屋伝右衛門・米屋長兵衛・中松屋五兵衛↓宮腰町御奉行所 (奥書)肝煎十郎右衛門・次兵衛 蠟燭仕法書 酉9月 袋綴 4丁
  - 三 松前赤尾布代銀之義等ニ付奥村 (文政・天保) 折紙 10月晦日
  - 三 平馬書状 奥村平馬↓中山甚之丞 不
  - 三 酢商内仕法覚 不
  - 三 酒造株并道具等貸借之義約定通 亥8月 統紙
  - 三 被仰渡様願書 錢屋五郎兵衛 切紙
  - 三 宮腰酒林株并石河郡之内酒林往來之義等願書 5月 切統紙
  - 三 酒造道具一作貸渡之義御聞届願 戌10月 切紙
- 
- 三 酒商売許可願書 酒屋(忠)助↓御奉行所 子4月 一紙
  - 三 酒屋八兵衛↓宮腰町御奉行所 酒株買入商売仕度願書 不
  - 三 新規株立御指解ニ付冥加銀株等指解品々書上 半田左門・佐藤丈四郎↓山田良助 戌3月 一紙
  - 三 無指之生蠟壳渡一件申上書 不
  - 三 (後欠) 湊屋佐太郎米小豆壳買一件ニ付代金返納之義尋書 10月 袋綴 3丁
  - 三 宮腰町肝煎宗兵衛・武右衛門・市郎右衛門↓羽笈酒田町御役人中 八百屋物等入用種(紙背文書) 不
  - 三 日仕切月延商内仕法之事 己11月 切統紙
  - 三 鈴小屋平左衛門↓宮腰町御奉行所 湊屋仕法書 不
  - 三 錢屋五兵衛家代算用書 丑12月 切紙
  - 三 錢屋五兵衛↓錢屋次兵衛 鳥もち御世話いただき落手等ニ付書状 不
  - 三 御守殿御用酒送状 亥7月3日 統紙
  - 三 木屋市郎兵衛↓加賀大野若狭屋藤右衛門・浅黄屋伴右衛門 仲買肝煎より之商内方小紙ニ付 不
  - 三 切紙
  - 三 覚 売仲人次助仕切金取立之義ニ付 不
  - 三 願状(前欠) 切統紙
  - 三 買請道具壳捌方世話料請取書等 明治17年2月3日 切紙
  - 三 綴 3丁

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

四 諸商品狂歌問答 松榮八左衛門他→湊佐太郎・中山有吉  
明治27年3月23日 一枚 (木版)

田中滑稽子著 京都田中松之助発行、笑楽堂板

五 諸 取 引

一 下地油送書 天保4年 2丁  
こより綴

大聖寺油屋清助→相河新村六兵衛・同清右衛門・□右衛門

二 御頼有之釣瓶之義代料品柄等ニ (嘉永) 11月2日 切続紙  
付書状 (池嶋) 宇兵衛→(中山) 主計

三 布染代金ニ付書状 (明治) 3年4月29日 野紙  
長谷田染物店→中山一衛

四 買附証 明治16年12月14日 切紙  
伊達文右衛門他→中山有吉代理湊佐太郎

五 綿直段問合せ書状 正月29日 切紙  
木村平公→中山主計

六 万頭代受取書并納品違佗状 4月2日 切紙  
新田清次→中山

七 つるが石灰預証 酉4月17日 切紙  
相川新屋庄助→湊屋佐太郎

八 敦賀石灰預分請取状 申4月17日 切紙  
宮腰湊屋左太郎→相川新肝煎彦四郎

九 式升釜取寄願状 4月 切続紙  
(西川) 濟蔵→中山主計

一〇 木海月等注文書 申5月23日 切続紙  
中山→山ノ小兵衛

二 嶋崎砂糖請取方之義等ニ付一札 5月17日 切紙  
中山主計

三 金花糖等注文書 7月21日 切紙  
中山→杉山

三 鮮百本斗御求被下度ニ付書状 7月晦日 切紙  
猪山弥左衛門→中山主計

四 石炭代料滞之義ニ付書状 菊月8日 切続紙

五 作等延引ニ相成義ニ付書状 10月6日 切紙  
十竹→三松堂御主人

六 代銀取ニ御出下被様書状 11月12日 切紙  
竹村茂助→中山主計

七 御注文之品・品切ニ付代物指上 11月18日 切紙  
之旨書状 砂糖漬物所金沢区上南町板尾店→中山

六 能登炭注文書 12月9日 切紙  
弥太郎→一衛

元 米屋長兵衛壳米覚 12月29日 切紙  
肝煎源兵衛

三 綢等数量書上 切続紙

二 宿料払之義等内意書状 切続紙

三 菓子類備付并仕様 横帳 36丁  
三松堂

五 仕 切 · 算 用

一 下駄緒代等仕切 己2月 切紙  
車弥一郎→中山有吉

二 布類等代金仕切 不 切紙 6  
安原他→中山

三 羽織代等仕切

橋左↓中山

不 切紙

四 布類代金請取綴

みづの他↓中山

不 不 綴

五 わた代仕切

水野

不 不

六 千歳醉仕切書

吉口屋↓中山

正月12日 切紙

七 酒代金受取書

能沢↑上様

明治16年1月 切紙

八 酒代仕切

松尾楼↑上様

1月28日 切紙

九 酒代金領収書

↓妙覚寺

丑11月 切紙

一〇 醬油代金受取書

辻七↓妙覚寺

(明治)丑11月 切紙

一一 種油代等仕切

函店↓中山省吾

(明治) 切紙

一二 焼豆腐代等仕切(後欠)

一三 えび代等仕切

大崎や↓中山勇吉

不 2月 切紙

一四 ぶり代等仕切

大崎や↓中山勇吉

2月 切紙

一五 蓬根等代金請取(後欠)

南町坂尾↓中山

(明治) 7月12日 切紙

一六 蓮根代等仕切

山ノ小兵衛↓中山

7月19日 切紙

一七 大鯛代金等請取書

(明治) 12月27日 切紙

中山家文書目録

小竹与吉↓中山

一六 五郎嶋芽代金受取書

信用屋藤兵衛↓中山主計

午12月 切紙

一七 たい代金等覚(錯簡)

三 金花糖等代金仕切書(前欠)

杉山頼茂↓中山有吉

不 1月3日 折紙

三 金五円受取書

金沢杉山頼茂↓中山有吉

1月5日 切紙

三 金花糖等代金仕切書

杉山頼茂↓中山有吉

正月11日 切紙

三 とうふ代仕切書

杉山頼茂↓中山有吉

2月2日 切紙

三 杉山頼茂仕切書

杉山頼茂↓中山

6月19日 切紙

三 しばふね代仕切書

杉山↓中山

7月14日 切紙

三 柴舟等菓子代金仕切書

杉山頼茂↓中山有吉

7月21日 切紙

三 御所万頭等仕切書

石黒↓中山

8月7日 切紙

三 菓子代金仕切書

博勞町石黒定富↓

(明治) 23年8月30日 切紙

三 石黒店蒸代金請取書

石黒店↓中山

9月7日 切紙

三 菓子代請取書

菓子や太四郎↓中山一衛

明治10年1月 切紙

三 中白砂糖代受取書

東屋宗右衛門↓中山

未5月25日 切紙

三 白砂糖代金請取書(後欠)

己6月6日 切紙

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
三	金沢笠市示野太兵衛	焼万頭等仕切	辰8・10月	8月5日	切紙紙	
四	森下屋八左衛門	生菓子代等請取書綴	辰8・10月	辰8・10月	こより綴	5丁
五	相河屋五兵衛	菓子舖七日堂仕切書	12月18日	12月18日	切紙	
六	金沢尾張町七日堂	菓子代仕切書	12月	12月	切紙	
七	慶賀堂	菓子箱直段書	(明治)		切紙	
八	中山	生菓子代仕切書(後欠)	辰2月	辰2月	切紙	
九	雙翠楼	料理代金請取状(前欠)	辰2月	辰2月	切紙	
一〇	信濃国上田原町菱屋清兵衛	料理代等仕切并請取書綴	年不	年不	こより綴	5丁
一一	遠州浜松真誠講松栄講取締花屋惣三	茶代請取書	4月18日	4月18日	一枚(木版)	
一二	大垣倭町安田	茶料領収書	5月3日	5月3日	一枚(木版)	
一三	名古屋本町真誠講定宿錢屋所治右衛門	茶料請取書	5月5日	5月5日	一枚(木版)	
一四	宿泊等請取書	茶代請取書	(明治)午12月	(明治)午12月	一枚(木版)	
一五	金沢区田嶋茂平次	宿泊料等請取書	(明治)午12月31日	(明治)午12月31日	切紙	
一六	金沢区田嶋茂平次	硝子代仕切	明治13年11月30日	明治13年11月30日	切紙	
一七	下尾張町和洋小間物遠藤喜平	履物等代金仕切	卯2月9日	卯2月9日	切紙	
一八	のたや与兵衛	炭代等算用書	2月朔日	2月朔日	切紙	2
一九	間亥斎	湊屋孫八仕切書	酉4月	酉4月	切紙	
二〇	みなとや孫八	長ざる代等受取書	午12月	午12月	切紙	
二一	湊屋仕切	唐草牡丹敷物等仕切	12月5日	12月5日	切紙	
二二	桶代等仕切	桶代等仕切	寅8月	寅8月	切紙	
二三	国谷喜右衛門	風呂桶代等受取書	12月	12月	切紙	
二四	かしまや次兵衛	風呂桶代等仕切	11月15日	11月15日	切紙	
二五	玉屋里助	手水鉢代請取書	11月18日	11月18日	切紙	
二六	玉屋里助	かわらけ・火皿代請取書	11月18日	11月18日	切紙	
二七	玉屋里助	木材代金書上	未正月27日	未正月27日	切紙	
二八	なわ代人足賃等算用書	なわ代人足賃等算用書	未5月	未5月	切紙	

六	なわ代等受取書	未7月	切続紙	五	残金渡状	2月12日	切紙
	若松屋新助↓中山				与□↓中(山)主計		
三	人足木竹代仕切	己6月	切紙	四	島村覚太郎仕切書	2月16日	切紙
	森田作蔵↓中山通吉				島村覚太郎↓中山一衛		
三	杉小羽代受取書	午12月	切紙	三	壳渡代銀請取書	亥3月21日	切紙
	平木屋作次郎↓中山主計				石浦町清八↓中山		
四	批代銀等二付書状	12月	切紙	二	代金受取書	4月2日	切紙
	坪九□↓而後				平松亥三郎↓欠		
五	銀紙代請取書	未5月	切紙	一	代金請取書	(明治) 16年5月20日	切紙
	勝嶋屋文次郎↓中山				片町大浦屋幸右衛門↓湊屋		
六	小帳代等仕切	子8月	切紙	〇	四十万屋清右衛門仕切	5月	切続紙
	酒井米二郎↓中山有吉				四十万屋清右衛門↓中山		
七	御珠数代金等請取書	(明治) 9月7日	切紙	〇	白井清之丞仕切書	未5月	切紙
	米谷由兵衛↓中山				白井清之丞↓中山		
六	薬代仕切	(明治) 申9月	切紙	〇	代金請取書	未8月	切紙
	毛利↓中山有吉				別子七↓中山		
六	薬代金請取書	(明治) 10月2日	切紙	〇	行長仕切書	12月23日	切紙
	藤尾↓中山				行長↓中山		
七	大直紙等代金請取書	子11月	切紙	〇	若杉伊三郎仕切書	12月	切続紙
	浅五□↓中山				若杉伊三郎↓明寛寺		
三	御花代金請取書	丑12月8日	切紙	〇	中山家宛諸仕切書等	不	切続紙
	室石栄次郎↓妙覚寺				一木孫四郎他↓中山		
三	香代仕切	不	切紙	〇	ヲルト大善分金利用書	不	切紙
	京都鳩居堂↓上				仕切書綴		
三	かきたて代等算用書	不	切紙	〇	仕切書	2月1日・10月	切続紙2
	↓中山主計				仕切綴		
五	駕籠人足賃請取書	辰10月11日	一紙	〇	津山様分等金子算用覚	不	切紙
	酒屋与兵衛↓中山甚丞						

番号 標 題 年 代 形 態 墨付  
 点 数  
 折 紙

三三 告 (近代)

- 一 証 券 印 紙 売 捌 所 開 所 告 告  
 金 石 本 町 赤 土 吉  
 明治 13 年 9 月
- ニ ラ ン ジ ャ 酒 広 告 附 北 陸 線 時 間 表  
 福 井 県 青 木 蘭 齋 堂  
 明治 24 年 9 月
- 三 金 沢 田 守 呉 服 店 商 品 案 内  
 武 蔵 ケ 辻 田 守 呉 服 店  
 昭 和 3 〓 6 年
- 四 森 八 商 品 案 内 菜  
 不
- 五 金 沢 つ ば た や 正 札 店 新 年 換 拶 状  
 附 天 明 元 年 ヨ リ 米 価 一 覽 表 等  
 つ ば た や 正 札 店 津 田 猪 平 〓 中 山 一 衛  
 不
- 六 永 平 寺 大 遠 忌 ニ 付 福 井 市 宿 屋 組  
 合 割 引 告 告  
 福 井 市 宿 屋 組 合  
 不
- 七 福 井 駅 前 だ る ま 屋 広 告  
 だ る ま 屋  
 不
- 八 京 郎 鳩 居 堂 商 品 案 内 等  
 京 都 熊 谷 鳩 居 堂  
 不
- 九 宇 治 茶 の 葉  
 京 都 宇 治 林 屋 製 茶 合 名 會 社  
 不
- 〇 大 阪 赤 玉 金 沢 支 店 案 内  
 不
- 二 日 支 公 司 商 品 目 録  
 不

(一枚) 13  
 (小綴) 2  
 (一枚) 2  
 (一枚) 10  
 (一枚) 2  
 (一枚) 11丁

上海日支公司  
 三 森 永 進 物 ニ ュ ー ス  
 不

書 冊  
 (印 刷) 16 P

三四 貨 幣・物 価

- 一 正 德 五 年 領 内 物 価 ニ 関 し 年 寄 中  
 正 德 5 年 10 月  
 袋 綴 6 丁  
 より 被 仰 渡 趣  
 馬 淵 友 之 進 〓 中 山 甚 八 郎 〓 清 右 衛 門 〓 惣 肝 煎 中
- 二 諸 色 高 直 ニ 付 諸 物 下 直 売 買 并 高  
 寬 政 元 年 2 月  
 切 続 紙  
 利 買 し め 禁 令 申 渡 書  
 〓 算 用 場 奉 行
- 三 古 金 引 替 方 之 義 ニ 付 申 渡 書  
 (天 保 11) 12 月 25 日 切 続 紙  
 〓 横 山 山 城 守 〓 奥 村 丹 後 守 〓 湯 原 平 馬 〓 奉 行 〓 宮 腰 町 年 寄 中 〓  
 横 目 肝 煎 中
- 四 幕 府 藏 充 軍 資 鑄 造 金 之 図  
 天 保 13 年
- 五 古 金 銀 引 替 并 蛮 語 国 訳 之 義 ニ 付  
 (嘉 永 6) 12 月 7 日 切 続 紙  
 公 義 よ り 之 達  
 前 田 美 作 守 〓 遠 山 遠 江 守 〓 浅 香 嘉 門
- 六 老 朱 銀 等 吹 立 并 通 用 方 伝 達 ニ 付  
 (安 政 元) 2 月 6 日 切 続 紙  
 達 書 (後 欠)  
 横 山 遠 江 守 〓 浅 香 嘉 門
- 七 米 金 等 相 場 書 上  
 已 5 月 11 日 一 紙  
 宮 腰 町 肝 煎 武 右 衛 門 〓 平 右 衛 門
- 八 水 桶 米 直 段 搦 賃 勘 定 并 売 上 高 届  
 午 7 月 続 紙  
 批 仲 間 一 統 〓 批 肝 煎 助 重 郎 〓 文 藏
- 九 筑 前 米 等 大 坂 相 場 書  
 不  
 堂 嶋 大 〓

切 紙  
 (木 版)

- 二〇 領國中通用銀引替之義ニ付町奉 (明治元)5月 切続紙  
行へ之達并政府金札通用之申渡
- 二 ①諸色おほへ (明治)29年1月 長帳 4丁  
②小鉢・椀等代金書上 不 切紙
- 三 天明元年ヨリ百五十年間米価一 昭和3年元旦 一枚  
覧表 (印刷)  
笠間製本所

七五 奉公人・勤

- 一 奉公之義ニ付天罰靈社起請文前 貞享4年8月 続紙  
書 源助・市郎右衛門・権七・理右衛門・武右衛門・半七・市平・  
佐次兵衛↓中山甚丞
- 二 乳母御請合証文 文政5年8月 続紙  
吹矢町越中屋弥助・片請人宮腰屋弥左衛門↓蓮福寺御役僧衆中
- 三 男女奉公人縮方之儀今般於公事 文政8年 袋綴 30丁  
場相極候触状等覚 成瀬主税・遠田誠摩・奥野主馬佐・前田式部↓宮崎藏人↓成田  
此母等三十三人
- 四 宮腰町奉公人座定書 享和元年12月 袋綴 3丁
- 五 宮腰町方男女奉公人并渡海船之 天保6年3月 袋綴 13丁  
頭水主猟船乗組水主等縮方之義  
今般仕法相改御願申上候帳 肝煎新三郎・同平左衛門・同源兵衛・同喜平・同久兵衛・同宗  
兵衛↓宮腰町御奉行所
- 六 奉公人縮方等之覚 天保10年12月 袋綴 4丁  
増野彦九郎等五人↓湯原平馬
- 七 奉公人置定縮方書上申帳 天保12年 袋綴 14丁

中山家文書目録

七〇 金融・貸借

- 一 寬永十七年〜二十年甚丞より取 (寬永) 続紙  
かへ銀之覚
- 二 在銀指改申帳 元禄5年正月吉日 袋綴 8丁
- 三 御家作御除御上銀算用書 元禄11年12月23日 切続紙  
吉右衛門↓中山甚八郎
- 四 中山甚丞宮腰後用銀借用証文 元文4年12月 一紙  
中山甚丞↓欠、(奥書)肝煎勘左衛門
- 五 土蔵修復ニ付宮腰後用銀拝借願 寬保2年9月 一紙  
中山甚丞↓宮腰町御奉行所
- 六 家作借請人請合証文 明和元年12月 一紙  
請人音渡屋善右衛門・本人和泉屋重右衛門↓中山弥八郎
- 七 富突仕方書之扣 明和6年12月 袋綴 7丁  
兩神主↓寺社御奉行所 大野湊神社神和泉守留
- 八 御家中人々江取替銀壳懸銀仕分 (明和8)12月10日 切続紙  
書上可申渡書 村井又兵衛↓金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中山弥八郎・鶴屋庄兵衛
- 九 先年書上銀十歩一渡り残元銀直 安永元年 袋綴 17丁  
割符安永元年より書上銀割符之帳
- 二〇 銀子為替手形 文化4年10月29日 切紙  
宮腰湊屋佐太郎↓江羽北町屋塚本和兵衛

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数	備 考
二	新古拝借銀返済方之義ニ付願書 中山主計↓中川外記	(文政6)12月	袋綴	6丁	借用銀願之義返答申来ニ付申遣 (天保) 6月24日 切紙 神尾主殿↓中山主計
三	新古拝借銀返済方之義ニ付願書 中山主計↓中川外記	(文政7)2月	袋綴	4丁	借用銀願之義貸渡之旨申来ニ付 (天保) 6月28日 切紙 申達書 (神尾) 主殿↓(中山) 主計
三	御預所一作貸付之義ニ付申遣書 高島右門↓中山主計	(文政・天保) 7月18日	切紙		拝借証文并返上納銀持参可致申達 (天保・弘化) 7月9日 切紙 書 里見亥三郎↓中山主計
四	一作調達銀貸付方主付申渡状 高島右門↓中山主計	天保5年12月20日	切紙		撫育方御仕法銀官位昇進等入用 弘化2年正月 一紙 ニ付借用証 河崎相模守↓町年寄衆御役所
五	宮腰町近年困窮ニ付調達銀返弁 方等之儀ニ付願書	(天保7)5月	こよ り綴	3丁	町年寄於役所永代撫育仕法銀等 (弘化4)6・7月 切紙 借付分元銀見消申渡状并添状 成田宗左衛門↓中山主計・成田宗左衛門↓勘定方役人中 切紙 3
六	舟商仕入銀借証 湊屋左太郎↓中山主計	天保8年正月	切紙		
七	天保八年改御内用銀覚	(天保8年)	袋綴	7丁	
八	金子貸渡ニ付申達書 湯原平馬↓	(天保9)9月27日	切紙		狛船退転ニ付御仕入銀借用証文 弘化4年11月 切紙 出村屋次郎兵衛・橋場屋伝吉・和布浦屋源七・達摩屋権兵衛・大崎屋与助・吉崎屋平兵衛・越前屋又次郎↓宮腰町御奉行所 (奥書) 肝煎長右衛門
九	貸渡銀返済之義ニ付申渡書 (湯原) 平馬↓中山主計	(天保10)7月24日	切紙	11	
三	借用銀返納日限猶予申渡書 (湯原) 平馬↓	(天保11)6月晦日	切紙		御貸付銀返上方物入有之ニ付猶 (嘉永元) 切紙 予願并聞届方 中山主計↓成田宗左衛門 2月20日・24日
三	御預所限上納方一件并御預所銀 貸付方取調理書出申帳(後欠) (中山) 主計	天保11・12年	袋綴 (合綴)	19丁	紺屋弥右衛門指出之救銀之義時 (嘉永元)7月18日 切紙 用銀才許棟取与三八より可請取 申文 成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中
三	岸本宗三郎仕法銀并唐仁屋甚左 衛門加入銀算用帳	天保13~弘化4年	こよ り綴	4丁	
三	天保十三年より借銀残高利足之 覚	(天保13~)	切紙		御貸米切手可請取申達書 (嘉永) 7月18日 切紙 成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

- 三 借用願之銀子請取并礼状 (嘉永元) 11月晦日 切続紙  
池嶋宇兵衛↓中山主計
- 四 拝借銀ニ付礼并請取状 (嘉永元) 12月29日 切続紙  
池嶋宇兵衛↓中山主計
- 五 拝借銀願之義聞届ニ付申渡添状 (嘉永2) 正月22日 切続紙  
成田宗左衛門↓中山主計
- 六 拝借銀諸上納相調理申帳 嘉永2年12月 袋綴 5丁  
中山主計
- 七 元利銀返済状 (嘉永4) 7月15日 切続紙  
中川内岡崎順作↓中山主計
- 八 預銀手形新印出来ニ付引替方申渡書 (嘉永6) 11月24日 切続紙  
長大隅守↓浅香嘉門、浅香嘉門↓宮腰町年寄中
- 九 拝借銀之義答書 嘉永6年12月 ころよ 4丁  
唐仁屋甚左衛門↓宮腰町御奉行所
- 十 出雲屋右衛門借用之御普銀上納方讓替願文ニ付書状并添状 (嘉永) 4月10日 切続紙 2  
池嶋宇兵衛↓(中山)主計
- 十一 借用金子返上方書状 (嘉永) 10月7日 切続紙  
池嶋宇兵衛↓(中山)主計
- 十二 金子拝借之願書状 (嘉永) 11月27日 切続紙 2  
池嶋宇兵衛↓(中山)主計
- 十三 広瀬屋卯助拝借願聞届ニ付申達書 (嘉永) 12月29日 切続紙  
池嶋宇兵衛↓中山主計
- 十四 五拾ヶ年賦上納方達書 (安政2) 11月28日 切続紙  
御算用場↓齊藤与兵衛・浅香嘉門、齊藤与兵衛・浅香嘉門  
↓中山甚丞
- 十五 借用分返済方之義ニ付指越之書 (安政4) 10月24日 切紙  
付返達状 (前欠)
- 十六 金子借用証文 安政5年11月 一紙  
荒木津太夫↓浅香嘉門・小幡主税
- 十七 御厨子相求ニ付銀子借用仮証文 安政6年5月 一紙  
小鍛冶屋勘六↓中山甚之丞
- 十八 酒屋八右衛門銀子拝借之件ニ付宮腰町年寄由来等合せ申上書 (文久元) 11月 ころよ 5丁  
中山主計↓神尾篤次郎・坂井三郎衛門
- 十九 借用銀子返済方收納遠所米を以配当頼書 亥正月17日 切続紙  
佐藤十五右衛門↓中山弥八郎・代屋源兵衛
- 二十 別銀取立覚 癸丑正月 折紙 3丁
- 二十一 借用銀覚帳 亥正月 袋綴 5丁
- 二十二 一作御貸附銀請取書 酉2月7日 切紙  
勘定方役所
- 二十三 肝煎宗兵衛より渡金子之覚 3月3日 切紙
- 二十四 家作限銀借用分相済ニ付古証文 3月28日 切紙  
御返願
- 二十五 広瀬屋歩兵衛不在ニ付御城方上納銀等滞難波ニ付御貸付銀願書 寅3月 切続紙  
中山主計↓
- 二十六 借用銀返済方願聞届状付紙 子4月9日 切紙
- 二十七 御預銀子御返済申渡旨書状 (後欠) 5月4日 切続紙  
金屋五右衛門↓(中山)而後
- 二十八 質入品々等之義ニ付願書状并返書 (前欠) 5月27日 切続紙

七産 業—金融・貸借 拝借銀

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数	貸渡願書状(前欠)	借入	借出	備考
五	難波ニ付拝借銀願書	中山主計→宮腰町御奉行所	丑6月	代	切紙		借入 借用銀返済延引願書 七左衛門→中山而後	借出 借用銀之内利銀指上書 西嶋屋八郎兵衛→沢野団右衛門	12月7日	切続紙
六	借用金子返済書并金子借用願状	矢部服平内西川濟藏→中山而後	亥7月4日	代	切続紙		借入 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後	借出 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	卯12月15日	切紙
六	出銀高算用覚	津山	亥7月5日	代	切紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後	極月21日	切紙
三	内々銀子御渡之義ニ付書状	中山清右衛門→中山甚丞	7月5日	代	切紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後	辰12月	切続紙
三	御貸渡物ニ付一札并札状	増野藤九郎→中(山)主計	7月12日	代	切続紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後	己12月	長帳 3丁
四	難波ニ付醬油仕込商売仕度銀子 拝借願	中山主計→宮腰町御奉行所	子7月	代	続紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後	戊12月	切紙 2
五	保銀預手形	湊屋佐太郎→御奉行所	乙巳7月	代	こよ り綴	5	借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後	辛亥12月	こよ り綴 3丁
六	元利銀等返済状	田中嘉右衛門→中山而後	亥7月	代	切紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後		切続紙
六	借用之風呂敷返納書状	二御(丸)広式留書所→中山主計	8月9日	代	切紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後		こよ り綴 8丁
六	送金方等願書状	(奏)佐太郎→(中山)一衛	8月30日	代	切紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後		切続紙
六	惣寄銀算用覚	孫左衛門→	未9月21日	代	切紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後		切紙
七	新御内用銀拝借之処返納差つ かえニ付元銀再借願	小浜屋七郎兵衛→宮腰町御奉行所	寅11月	代	続紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後		切続紙
七	当年物入打統指支候ニ付銀子御	(奥書)肝煎喜平	12月6日	代	切続紙		借入 御算用場相渡り之書上割符銀配 当方等ニ付申達書 ↓宮腰町年寄中山弥八郎等	借出 借用銀利足等ニ付蓮福寺口述書 蓮福寺→中山而後		切紙

- 松本善左衛門→木三場
- 六 平木屋作次郎等六十八名割符銀  
不 切続紙 3
- 七 狩師共江御貸付方割符帳  
不 長帳 5丁
- 八 大野町江錢屋喜太郎より売渡之  
不 切紙
- 九 年賦紙面等三通月番へ送渡覚  
不 折紙
- 一〇 施入金預り証文雛形  
不 一紙
- 一一 御仕入銀拝借願書  
不 切紙
- 一二 銀子借用願狀  
不 切紙
- 一三 銀子借用願覚  
不 一紙
- 一四 貸付利銀算用書  
不 切紙
- 一五 借高利子等算用書  
不 切紙
- 一六 元利金算用覚  
不 切紙
- 一七 貸付利銀算用書  
不 切紙
- 一八 借金算用書  
不 切紙
- 一九 七月～十二月分算用覚  
不 切紙
- 二〇 産業振興之為金札貸渡之義達書  
不 切紙
- (前欠) 閏4月22日
- 二〇 中山家取統之為御貸渡金歎願書  
明治11年9月 野紙 2
- 中山一衛・中山弥咲→前田様御用弁方
- 二一 金貸簿  
明治12年 長帳 76丁
- 中山一衛
- 二二 当座預り及ヒ貸金通  
明治15年3月7日 横帳 2丁
- 金石社→中山有吉
- 二三 金子遺覚  
(明治) 19年1月5日 切紙
- 湊庄→中山有吉
- 二四 共同社備用金之義ニ付書狀  
(明治) 8月23日 切続紙
- 源治→湊幸吉
- 二五 元利算用書  
(明治) 2月12日 切紙
- 二六 債巻金送付ニ付取斗願  
券 津口→中山
- 二七 金子預書  
大分丸船長→中山 12月7日 切紙
- 二八 借金返納等ニ付書狀  
恒貞→中山 8日 切紙
- 二九 銀行口座算用書  
不 切続紙
- 七二 拝借銀  
(産物銀)
- 一 産物銀借用致シ貯用銀として運  
用之定 實政元年8月 続紙  
恒川七兵衛→御算用場
- 二 産物御銀借用証文  
文化2年6月 一紙  
中山主計→宮腰町御奉行所
- 三 産物銀拝借ニ付返上方之義申上  
文化2年7月 切紙  
書 中山主計→御奉行所
- 四 産物御銀借用証文  
文化2年11月 一紙  
中山主計→宮腰町御奉行所
- 五 産物御銀拝借願并被御聞届ニ付  
文化3年6・7月 切紙 2  
請書 中山主計→宮腰町御奉行所
- 六 中山主計産物貯用銀拝借之義返  
(文化6)7月 切続紙  
上方ニ付願書 中山主計→脇田善左衛門
- 七 松任町若狭屋仁右衛門へ貸渡銀  
文政4年8月18日 切紙  
子本証文可指出達書

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

より取立返済方願

肝煎七右衛門↓宮腰町御奉行所

一紙 宮腰御師共借用之産物御銀返上 不

ニ付極難之者之義用捨願(後欠)

(御次銀・金山方銀)

六 御次金山方御銀貸付方取調理書 天保11年7日 袋綴 6丁

上申帳扣

宮腰町肝煎源兵衛・久兵衛・宗兵衛・武右衛門・他三郎・伊兵衛

衛↓宮腰町御奉行所 (奥書) 湯原平馬↓金山方御役所

五 御次金山方御銀貸付方取調理書 天保11年7日 袋綴 8丁

出申帳扣

湯原平馬↓金山方御役所

四 御次金山方御銀貸付方取調理書 天保11年7日 袋綴 5丁

申帳(後欠)

湯原平馬

三 御次金山方拝借銀年賦返上之覚 天保11年12月 一紙 4丁

等(錯簡)

肝煎源兵衛・久兵衛・武右衛門・他三郎↓金山方御役所

三 御次御貯用銀商売方仕入として 天保14年12月 一紙

借用証文

本人酒屋八右衛門・請人赤土屋次左衛門↓宮腰町御奉行所

三 御次御貯用銀商売方為御仕入問 天保14年12月 一紙

屋株御引当貸付金借用証

湊屋左太郎↓宮腰町御奉行所

三 御次別銀再借請取書 天保15年7月 一紙

湊屋左太郎↓宮腰町御奉行所

三 御次御貯用銀再借請取狀 天保15年7月 一紙

酒屋八右衛門↓御奉行所

産物方↓中山主計

八 越後より菅笠仕入ニ付産物御貯 文政7年7月 一紙

用銀拝借証文

宮腰湊屋左太郎・請人善次郎・同勘助↓御算用場

九 相河屋長次郎等産物御銀拝借証 文政10年2月 統紙

文

相河屋長次郎・吉崎屋平兵衛・寺中屋長四郎・示野屋長三郎・

吉崎屋八兵衛・出村屋次郎兵衛↓中山弥八郎 (奥書) 肝煎源

兵衛・久兵衛

二 産物銀相渡ニ付可指越通知 (天保2)8月6日 切紙

高島右門↓中山主計

二 産物銀取立方当座扣 天保11年12月 袋綴 11丁

三 中山主計貯用銀之内より借用之 嘉永6年12月 切紙

銀子返上見消通知状

齊藤与兵衛・浅香嘉門↓中山主計

三 菅笠問屋商売仕入相嵩ニ付産物 申4月 統紙

御銀拝借書

湊屋佐太郎↓宮腰町御奉行所

二 米中買才許湊屋佐次兵衛義上荷 亥6月 一紙

物年々減少難渋ニ付産物御貯銀

御貸下願

町年寄中山主計・同酒屋八左衛門↓宮腰町御奉行所

三 酒屋八右衛門湊御口錢御貯用銀 辛酉10月 切統紙

之内より銀子拝借願

町年寄酒屋八右衛門↓宮腰町御奉行所

六 広瀬屋歩兵衛御城方御貯用銀拜 丑12月 一紙

借銀替上納致候ニ付広瀬屋一類

- 六 御次別銀再借被仰付ニ付請取狀 天保15年12月 一紙  
湊屋左太郎↓宮腰町御奉行所
- 七 御次別銀再借請取狀 天保15年12月 一紙  
酒屋八右衛門↓宮腰町御奉行所
- 八 御普請鍛冶金山方返納銀之義ニ (天保・弘化) 8月28日 切紙  
付申達書 (前欠) 里見亥三郎↓中山主計
- 九 御次別銀借用之内口々年賦当り 弘化3年12月 袋綴 5丁  
銀書上 成田宗左衛門↓成瀬主税・坂井小左衛門・大野織人・大村着次郎
- 一〇 御次納銀并御当銀貸渡状并添状 (弘化4) 7月 切紙 2  
成田宗左衛門↓中山主計
- 一一 ①唐仁屋甚左衛門御次銀上納方 嘉永元年〜2年 袋綴 18丁  
一件 湊屋佐太郎↓宮腰町御奉行所
- 一二 ②御次上納銀算用書 不 切紙
- 一三 御次御貯用銀借用之内唐仁屋甚 嘉永2年11月 長帳 3丁  
左衛門分家財指出入札払返納ニ付上納高等調理帳 町年寄
- 一四 普請会所御用鍛冶共借用之御次 嘉永3年2月 一紙  
金山方年賦銀請取書 宮腰町役所
- 一五 金山方かね借用年賦并他國塩入 (嘉永3) 8月28日 切紙  
津等ニ付申渡書 半田権之丞↓宮腰町年寄中
- 一六 御次貯用銀之内より借用之銀子 (嘉永3) 12月 切紙  
返上猶子願
- 一七 半田権之丞↓大野織人・大村着次郎・山森権太郎  
御次銀上納相済并拝借願埒明之 (嘉永) 12月22日 切紙  
義ニ付書狀 (半田)権之丞↓(中山)主計
- 一八 御次銀上納之義并板屋等拝借願 (嘉永) 18日 切紙  
之義等首尾申達狀 (半田)権之丞↓(中山)主計
- 一九 御次御貯用銀返却之覚 (前欠) 嘉永5年7月 切紙  
別銀貯用銀等取立覚 嘉永6年7月6日 折紙 2
- 二〇 金山方御草稿提出之義ニ付書狀 (嘉永) 6月晦日 切紙  
(池島)宇兵衛↓主計
- 二一 御次拝借銀証文手続等ニ付書狀 (嘉永) 7月18日 切紙  
池嶋宇兵衛↓中山主計
- 二二 武右衛門御次銀拝借願等之儀ニ (嘉永) 10月10日 切紙  
付書狀并添状
- 二三 金山方等借用銀之義ニ付書狀 (嘉永) 11月28日 切紙  
池嶋宇兵衛↓中山主計
- 二四 正月三日より出府覚并御次貸付 (安政・文久) 12月 一紙  
銀父子拝借之者病死之節引受返上願可指出申渡書 本保平太夫↓浅香嘉門・小幡主税
- 二五 中山主計義金山方より借用銀猶 (安政・文久) 7月10日 切紙  
予類之義ニ付申渡書 御算用場↓丹羽織人・小幡主税
- 二六 中山主計義金山方より之貸附銀 (安政・文久) 9月24日 切紙  
取立達 御算用場↓丹羽織人・小幡主税

七 産 業——拝借銀

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

四 金山方無利足年賦銀返納遲滞之(万延元)申9月 切統紙

義御算用場へ品能達方願

中山主計→丹羽織人・小幡主税

四 御役所拝借銀之義ニ付礼状 2月2日 切統紙

(後欠)

瓢五→三松堂

四 金山方御銀覚書 戊2月27日 切紙

番頭与兵衛

五 金山方御銀貸覚 不 切紙

番徒示助

五 御次金山方御貯用銀借用証 戊3月 一紙

肝煎久兵衛→宮腰町御奉行所

五 剃刀屋四郎兵衛等金山方貸付銀 5月12日 切紙

返上可致通知

諸色所→

五 御次銀願并唐仁屋甚左衛門願等 7月20日 切紙

ニ付申達書

五 御次銀取立算用内訳書 戊申7月 一紙

五 故中山三右衛門御次別銀年賦返 丑7月 袋綴 2丁

上之義振替再願書

中山稀一郎後見人広瀬屋武右衛門・広瀬屋歩兵衛→宮腰町御奉

五 御次銀年賦返上之義ニ付願上書 8月2日 切統紙

行所

中山主計

(御役所銀)

五 收納御蔵米書入御役所銀借用証 文政12年11月 一紙

文

後藤彦右衛門・石嶋仙太郎→宮腰町御役所

五 御役所銀之内為役用借用証文 文政12年12月 一紙

後藤彦右衛門→宮腰町御役所

五 家為取統諸役所銀引請貸付方申(天保6)10月 切統紙

渡状

高島右門→中山主計

六 拝借之町役所付銀返済方之義勝(天保8)2月

手向難波ニ付願書

中山主計→神尾主殿

六 ①諸役所銀年賦返納方等留 天保11年 袋綴 68丁

中山主計

六 ②御次金山方御銀等年賦諸上納(天保) 統紙

銀取立定

六 ③御次御貯用銀拝借分上納覚 天保12年7月 ころよ 2丁

湯原平馬→成瀬主税・高田善右衛門・坂井小左衛門・大野織人

六 ④御借上銀当年分上納覚 天保15年11月 一紙

里見亥三郎→御算用場

六 役用之為借用仕銀証文 天保15年5月 一紙

中山主計→勘定方御役所

六 拝借役所銀上納遲滞之者共訳書(弘化4)7月18日 切統紙

調理書取立達書

成田宗左衛門→中山主計

六 中山主計等役所銀貸付ニ付年賦(慶応3)7月12日 切紙

銀可取立一札

岡田雄之進→三浦八郎左衛門・不破亮三郎

六 当分取替銀請取書 子正月22日 切紙

勘定方役所→町年寄主計

六 算用場御仕法銀返弁ニ付申渡書 不 切紙

六

(大聖寺三十人講)

六 借用之大聖寺三十人講銀之義大 (天保11) 2月21日 切統紙  
聖寺領分困窮ニ付三ノ一返納可  
致申渡書  
。御算用場↓湯原平馬、。(湯原)平馬↓宮腰町年寄中・横目肝  
煎中

煎中

六 宮腰町商人共拝借之大聖寺三十 天保11年12月 統紙  
人講銀返上方猶予願  
肝煎源兵衛・久兵衛・宗兵衛・武右衛門・他三郎・伊兵衛↓宮  
腰町御奉行所

腰町御奉行所

六 御勝手方年寄中并御算用場より (天保11) 12月 切統紙2  
大聖寺三十人講借銀返上方嚴重  
申渡書  
。御算用場↓湯原平馬、。奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

。御算用場↓湯原平馬、。奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

七 ①大聖寺銀一卷 天保11~13年 袋綴 77丁  
中山主計

②大聖寺銀年賦返済算用書 一紙

③大聖寺三拾人講御仕法銀返納 天保13年正月 一紙  
方ニ付一札  
宮腰町肝煎源兵衛・同久兵衛・同宗兵衛・同武右衛門・同他三  
郎↓御算用場

宮腰町肝煎源兵衛・同久兵衛・同宗兵衛・同武右衛門・同他三  
郎↓御算用場

④入用銀子割符寬 正月15日 切紙

⑤宮腰町へ借用銀年賦取立上納 天保13年7月 一紙  
書 2  
里見亥三郎↓御算用場

七 宮腰町商人共借用之大聖寺三十 (天保12) 12月 切統紙2  
人講銀五十ヶ年賦返上願之義聞 切紙

中山家文書目錄

届書

三 借用之大聖寺三十人講銀返済方 (天保) 2月10日 切統紙  
年賦年限等ニ付申渡書  
御算用場↓湯原平馬

御算用場↓湯原平馬

三 宮腰町借用之大聖寺三十人講銀 (弘化3) 6月 統紙  
返上年賦繰延願并返上仕法書

肝煎当分兼帯平左衛門・肝煎宗兵衛・肝煎武右衛門・肝煎市郎  
右衛門・肝煎五郎兵衛↓宮腰町御奉行所

三 宮腰町之者借用之大聖寺三十人 (弘化3) 6月 袋綴 4丁  
講銀返上年賦并利足御用捨之義  
願及返上方仕法書

三 宮腰町之者借用之大聖寺三十人 (弘化3) 8月 袋綴 2  
講銀返済致方無御座義御算用場  
へ御達願書

三 宮腰町借用之大聖寺三拾人講返 (弘化3) 10月 切統紙  
上年賦之義願方一件  
。里見亥三郎↓御算用場、。肝煎当分兼帯平左衛門・肝煎宗兵  
衛・同武右衛門・同市郎右衛門・同五郎兵衛↓宮腰町御奉行所  
(奥書) 町年寄中山主計・同中山源四郎

。里見亥三郎↓御算用場、。肝煎当分兼帯平左衛門・肝煎宗兵  
衛・同武右衛門・同市郎右衛門・同五郎兵衛↓宮腰町御奉行所  
(奥書) 町年寄中山主計・同中山源四郎

三 宮腰町借用之大聖寺三拾人講銀 弘化3年12月 一紙  
年賦取立指上書  
成田宗左衛門↓御算用場

三 宮腰町借用之大聖寺三拾人講銀 弘化4年正月26日 一紙  
年賦請取書  
御算用場↓成田宗左衛門

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

ㄉ 大聖寺銀一件 弘化4、嘉永5年 袋綴 60丁

中山主計

ㄊ 宮腰町借用之大聖寺三十人講銀 (弘化・嘉永)12月 一紙 2

返上年賦繰延願之義再応詮義願書(錯簡)

成田(宗左衛門)↓御算用場

ㄊ ①大聖寺銀願一件 嘉永3年7月より 袋綴 31丁

②宮腰町之者商売方として借用之大聖寺三拾人講銀利足返済繰延願書

肝煎宗兵衛・同武右衛門・同市郎右衛門・同五郎兵衛・同長左衛門・同歩兵衛↓宮腰町御奉行所 (奥書) 町年寄中山主計・同中山三右衛門・同見習中山三右衛門

③宮腰町借用之大聖寺三十人講 9月6日 切統 紙切紙 2

銀返上年賦之義再願ニ付難承届旨申渡書

御算用場↓半田権之丞

④宮腰町之者商売方として借用 戊9月 統紙

之大聖寺三拾人講銀利足返済繰延願書

肝煎宗兵衛・同武右衛門・同市郎右衛門・同五郎兵衛・同長左衛門・同歩兵衛↓宮腰町御奉行所 (奥書) 町年寄見習中山甚丞

⑤宮腰町并唐仁屋甚左衛門義大 (嘉永3)11月 切統紙

聖寺三十人講銀返上方之義願出ニ付詮義願書

半田権之丞↓御算用場

⑥宮腰町借用之大聖寺三十人講 (嘉永4)2月 切統紙

銀上納出道無之ニ付役向取扱銀を以半銀振替上納仕ニ付格別御詮義願并返書

半田権之丞↓御算用場

⑦大聖寺三十人講より借入銀返 (嘉永4)2月 切統 紙切紙 2

上方ニ付願書并承届状及添状

⑧宮腰町肝煎代屋源兵衛等借用 (嘉永) 7月8日 切紙

之大聖寺三拾人講銀取立之義諸方御土蔵江上納ニ相成ニ付申渡書

御算用場↓半田権之丞

⑨町肝煎代屋源兵衛等大聖寺三十人講借用銀上納方銀手形ニ而取立被仰付義難義ニ付願書并聞届書及添状 (嘉永4)7月 切統紙 2

半田権之丞↓御算用場

⑩宮腰唐仁屋甚左衛門義大聖寺 (嘉永) 8月6日 切統紙

三十人講借用銀年賦返上願ニ付申渡書

御算用場↓半田権之丞

⑪三十人講并料理屋商売運上方等 (嘉永) 2月12日 切統紙

役務方ニ付一札 (半田) 権之丞

⑫唐仁屋甚左衛門大聖寺講銀返上 (嘉永) 11月6日 切紙

方願承知之義書状 (半田) 権之丞↓(中山) 主計

① 朝敵征伐御触并町方取締触 (慶応4)正月 切続紙

。鷲尾待從殿執事↓。惣年寄↓

② 唐仁屋甚左衛門借用之大聖寺 (嘉永3)11月 続紙

銀返上方八十ヶ年賦ニ可被為

仰付願書

唐仁屋甚左衛門縁家中山三右衛門・木呂屋市郎右衛門・広瀬屋  
歩兵衛・小松屋門右衛門↓宮腰町御奉行所

(裏書) 半田権之丞↓宮腰町年寄中

③ 宮腰町之者商売方として借用 (嘉永3)11月 続紙

之大聖寺三拾人講御仕法銀返  
濟出道無之ニ付利足代猶予願

肝煎宗兵衛・同武右衛門・同市郎右衛門・同五郎兵衛・同長右  
衛門・同歩兵衛↓宮腰町御奉行所

④ 大聖寺三拾人講仕法銀拜借仕 (嘉永3)9月 続紙

返納方無御座ニ付年延引願

⑤ 唐仁屋甚左衛門等為替遲滞金 (嘉永4)正月 切続紙

年賦返上分不納取立方申渡書  
御算用場↓半田権之丞

⑥ 大聖寺三十人講貸附銀返納延 (嘉永3)11月26日 切続紙  
願之義聞届がたくニ付取立上  
紙切紙 2

納方申渡書并添状

。御算用場↓半田権之丞。半田権之丞↓宮腰町年寄中

⑦ 別紙表書之義ニ付添状 (嘉永3)11月10日 切紙

半田権之丞↓宮腰町年寄中

⑧ 中山源四郎等借用之大聖寺三十人講銀返納ニ付借用人書付可指

子4月6日 子よ 4丁

中山家文書目録

出達書等綴

奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎

① 三十人講金上納方申渡之通可指 子5月2日 切紙

申渡書 奉行↓中山主計

② 大聖寺借銀書上覚 寅3月 切続紙

宮腰町大聖寺三十人講御仕法銀

③ 返上方年賦之義延引願書 午10月 袋綴 3丁

肝煎当分兼帯平左衛門・肝煎宗兵衛・武右衛門・市郎右衛門・  
五兵衛↓宮腰町御奉行所

④ 大正寺銀年賦返上算用書 午12月 折紙

⑤ 蔵屋樁八義大聖寺表役所附銀子 未3月 切続紙

借用仕武家方へ貸付等ニ付役義  
指除達書

⑥ 大聖寺銀貸付銀利足取立覚 亥3月 切紙

魚問屋八右衛門

⑦ 宮腰町借用之大聖寺三拾人講銀 12月 子よ 3丁

返上年賦期間繰延願書

⑧ 宮腰町借用之大聖寺三十人講返 子よ 2

濟年賦繰延等願ニ付御聞届方願書  
(宮腰町奉行)↓

⑨ 大聖寺銀元利并年賦上納高等算 不 折紙

⑩ 大聖寺利銀等算用覚 不 切紙

七三三 御貸米

① 御貸米等願書要用留 宝曆ノ文政 袋綴 108丁

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
②	宮腰町年寄中山弥八郎江御貸米貸渡覚 佐藤半五右衛門	(宝曆8)3月	切紙	
③	中山家御座之間大破ニ付加修覆金拝借被為仰付候様願書 中山主計↓恒川七兵衛	(天明8)5月	続紙	
④	拝借金願状之義ニ付書状 石崎承蔵↓中山主計	(天明8)6月14日	切続紙	
⑤	中山家御別殿修理貸渡米仰付書并請書 中山主計↓伊藤権五郎	寛政9年2・3月	切紙 切続紙 2	
⑥	中山主計召状并御貸米被仰付状 脇田善左衛門↓中山主計	文化4年4月	切紙 2	
⑦	返上米切手指出之義ニ付申渡書 脇田善左衛門↓中山主計	(文化4)5月8日	切紙	
二	明和七年御貸米借状帳 宮腰町年寄中山弥八郎↓宮腰町御奉行所	明和7年3月	袋綴 2丁	
三	宮腰返上米願之義不被聞届ニ付申達書 金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中	(明和)12月2日	切続紙	
四	中山弥八郎義明和七年拝借米之義難波ニ付返上御貸延又者半減願 前田平馬↓御算用場	(安永元)12月12日	切続紙	
五	中山弥八郎返上米上納方願ニ付願届之旨達状 前田平馬↓御算用場	(安永元)12月14日	切続紙	
六	明和七年拝借米返上指延願并聞届之義付紙 。宮腰町年寄中山弥八郎↓前田主馬、。前田主馬↓御算用場	(安永2)正月18日	一紙	
七	明和七年拝借米返上御差延被仰付ニ付一作銀返上書 。町年寄中山弥八郎↓前田主馬、。前田主馬↓不破弥左衛門	安永2年5月	一紙 2	
八	中山弥八郎拝借返上米之義銀返上被仰付様願書 宮腰中山弥八郎↓前田平馬	(安永3)4月	一紙	
九	中山弥八郎貸米代銀ニ而返上願聞届ニ付極書 。御算用場↓前田平馬、。前田平馬↓中山弥八郎	(安永3)5月6日	切続紙	
一〇	中山弥八郎御貸米返上高減石願書 。町年寄中山弥八郎↓宮腰町御奉行所、。進士武平↓御算用場	(安永5)11月	続紙	
一一	御貸米返上之義ニ付願書并御聞届被仰渡度旨添状 。中山弥八郎↓宮腰町御奉行所、。野村与三兵衛↓御算用場	(安永5)12月	続紙	
一二	御貸米每年返上高之義ニ付願書 中山弥八郎↓宮腰町御奉行所	(安永6)11月	続紙	
一三	寛政九年御貸米借状帳 中山主計↓伊藤権五郎	寛政9年3月	袋綴 2丁	

- 四 御貸米願承届之旨申来ニ付申達 (文化元)11月27日 切続紙  
 状 岩田伝左衛門↓中山主計
  - 三 御貸米返上米御指延願 (文化3)12月 一紙  
 中山恒治↓脇田善左衛門
  - 二 中山主計貸米米貸借状帳指出達 (文化) 4月20日 折紙  
 并御貸米年限定書 2  
 算用場↓脇田善左衛門、脇田善左衛門↓御算用場
  - 一 天和四年より御貸米拝借分書上 (文政10)正月 切続紙  
 中山主計↓中川外記
  - 六 御貸米等返上残元高書上申帳 天保11年7月 袋綴 13丁  
 (中山)主計扣
  - 元 中山家難渋仕ニ付由緒書上拝借 天保11年9月 袋綴 7丁  
 米願 中山主計↓湯原平馬
  - 三 中山主計御貸米等被仰付候旧例 (天保12)7月 袋綴 2丁  
 調理書上 湯原平馬
  - 三 越中山請負人御貸渡稗等之義ニ (嘉永) 3月9日 切紙  
 付書状 宇兵衛↓(中山)弥八郎
  - 三 宮腰町獵師難渋ニ付拝借米願 文久2年11月 切紙  
 肝煎次右衛門等六人↓宮腰町御奉行所
  - 三 御貸米返上御借延願書 戊5月 切紙  
 宮腰町人中山恒治↓御奉行所
  - 二 中山主計御貸米願ニ付御聞届願 6月 切紙  
 書 児玉孫左衛門↓長甲斐守
  - 三 中山家御貸米等被為仰付候先例 辛丑8月 切紙  
 中山家文書目錄
- 
- 調理書 中山主計
  - 三 宮腰新浜町并冬瓜町獵師共仕入 戊10月 切紙  
 方行届兼ニ付拝借米願書 2丁  
 肝煎市郎右衛門・文藏・喜右衛門↓宮腰町御奉行所
  - 三 御貸米御世話料として差上置田 寅11月 切紙  
 地百姓一統へ御引渡願  
 田頭清兵衛・同五兵衛・善兵衛・同市郎右衛門・与右衛門・善  
 六・同長次郎↓地方肝煎弥三兵衛・同孫四郎・同孫左衛門
  - 六 御貸米高覚 己12月29日 折紙  
 延御払米貸付方書上 辛丑12月 切紙  
 町年寄
  - 元 宮腰町人共御貸米願等之義ニ付 不  
 申渡(中欠) 続紙
  - 七三 講・頼母子・祠堂銀
  - 一 西末寺修復料祠堂銀ニ相直願承 文政13年7月 切紙  
 届書 品川左門・中川八郎右衛門・前田式部↓西末寺看坊中
  - 二 仕法頼母子書上申帳 天保5年8月 袋綴 17丁  
 肝煎喜平
  - 三 ①町役所触通方仕法頼母子帳 天保6年9月 袋綴 3  
 (中山)主計  
 ②宮腰町役所日用融通指支ニ付 (天保6)8月 切紙 2  
 仕法頼母子取立願之義達申書  
 高島右門↓
  - 四 西御坊祠堂銀寺社奉行所御印一 天保9年12月 切紙  
 札書入金子借用証文 続紙  
 粕屋武助↓中山主計 (奥書)批肝煎宗兵衛

七 産 業——講・頼母子・祠堂銀 運輸・交通

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数	備 考	日 付	形 態	墨付 点数
五	惣持寺随喜講取立之義ニ付年寄 中達書 。御算用場↓丹羽織人・小幡主税、 。 (小幡) 主税↓宮腰町年 寄中	(万延元) 7月	こよ り綴	2丁		亥正月・12月	こよ り綴	3丁
六	①金子算用覚 ②文久二年分随喜講懸銀等請取 覚 町会所↓中山主計	不 文久2年11月	切紙		御取立物何程か留置度ニ付御報 願書 中山主計↓竹村彦右衛門	4月18日	切紙	
③	随喜講懸銀算用受取書 町会所番徒清兵衛↓中山主計	(文久3) 4月22日	切紙		蓮福寺取持↓中山恒太郎	5月	切紙	
④	わたれ代金等受取書 不	7月9日	切紙		台所取立物式拾壹番会仕ニ付参 会依頼書 高岡伝大夫内神戸清八郎↓中山主計	6月20日	切紙	
⑤	浅黄晒代金等請取書 酒屋平左衛門↓中山	子10月24日	切紙		取立物八番会繰延案内状 高島右門内棚橋十兵衛・北村五左衛門↓中山主計	6月24日	切紙	
⑥	鉄びん代金等受取書 仏具師惣兵衛↓中山	子正月晦日	切紙		取立物四番会立合致ニ付案内状 閑平(宇野重藏)↓三松堂	6月24日	切紙	
七	秋葉社拝殿建立願ニ付仕法頼母 子取立余銀之義書付指出べく達 書 奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中	3月19日	切紙		取立物会仕ニ付出席依頼状 齊藤□郎↓中山主計	6月29日	切紙	
八	頼母割符御届可被下旨書状 牧山六郎左衛門↓中(山)主計	乙未	袋綴	6丁	取立物会仕ニ付参会依頼状 服部徳三郎↓中山主計	6月	切紙	
九	町役所融通方御仕法頼母子帳 乙未	乙未9月	袋綴	8丁	取立物四拾三番会通知(前欠) 山田鈴太郎↓根布屋長左衛門	7月	切紙	
二	勘定方役所為融通仕法頼母子懸 銀請取手形 町役所貯用銀才許	乙未9月	一枚	2	取立物十一番会案内書状 堀越左源次↓中(山)主計	7月2日	切紙	
三	取扱頼母子仕法帳 長沖屋孫右衛門	未9月	袋綴	4丁	取立物御出銀頼状 山田鈴太郎↓根布屋長左衛門	7月4日	切紙	2

二番会観音町小松屋にて仕ニ付  
出座依頼状  
服部徳三郎↓中山主計  
7月8日 切紙

取立物之義ニ付御難題申上候義  
礼状  
う(宇野)重蔵↓中山主計  
7月10日 切統紙

取立物会懸金之義ニ付書状  
中山友右衛門↓中山主計  
7月12日 切紙

取立物御初懸銀請取書  
齊藤新三郎↓中山主計  
卯7月17日 切統紙

打入会開催廻状  
9月21日 切統紙  
中山弥八郎・鶴屋庄兵衛・唐仁屋六郎兵衛・唐仁屋甚左衛門・  
唐仁屋孫兵衛・蔵屋又四郎・長沖屋宗兵衛・小野木勘七・安宅  
屋弥三右衛門・長沖屋与兵衛・酒屋八兵衛・錢屋次兵衛・広瀬  
屋武右衛門・菓子屋平右衛門・赤土屋庄右衛門・酒屋小右衛門・  
長沖屋甚兵衛・同五郎右衛門・根布屋長左衛門・湊屋佐次兵衛  
・近江屋忠右衛門・山岸屋市右衛門・打木屋孫三郎・赤土屋小  
右衛門・同次郎兵衛・板屋弥兵衛・寺中屋武兵衛・崎浦屋豊右  
衛門・あふら屋長次郎・紺屋吉郎兵衛・黒田屋八郎右衛門・錢  
屋与三兵衛・紺屋市兵衛・あかね屋安右衛門・かす屋又八・長  
沖屋徳右衛門・酒屋孫右衛門・辻屋豊右衛門・同長兵衛・小竹  
屋善右衛門・吉崎屋彦三郎・幸屋宗兵衛・佐嶋屋伝右衛門・長  
沖屋与三兵衛・万田屋久助・崎浦屋藤兵衛

満会御出銀受取書  
未12月 切紙

取立物会取極之義ニ付書状  
岡田雄次郎内嶋木直左衛門↓行山定三郎御役人中  
28日 切紙

初懸金請取之義ニ付書状  
有之↓藍田  
大晦日 切紙  
勃々庵↓三松堂

蓮福寺御堂再建仕法講錢之内長  
瀬七左衛門貸渡分取立方ニ付願書  
蓮福寺↓市政局  
明治3年4月 袋綴 6丁

貸付之御堂再建仕法講銀取立方  
ニ付願書  
蓮福寺↓  
明治3年4月 袋綴 5丁

御堂再建仕法講錢借用証  
長瀬七左衛門↓蓮福寺  
明治3年5月 袋綴 3丁

蓮福寺御堂再建仕法講錢之内長  
瀬七左衛門貸渡分取立方ニ付願書  
蓮福寺  
明治3年10月 袋綴 6丁

相統さいせん控  
金沢相統講納金領収書  
金沢相統講事務取所扱↓石川瀧普正寺村福田九右衛門  
明治31年12月 長帳 4丁  
3月29日 切紙

相統講加入金簿  
一時講仕法書上申帳  
不  
野紙綴5丁  
袋綴 6丁

輸・交通

一 富山御土蔵鉛京都平野屋与次兵衛 (寛永) 7月18日 折紙  
衛江壳渡ニ付分国内通行之義申渡

前田八左衛門・村助左衛門・堀田三郎右衛門・改田小兵衛・近藤市左衛門↓三ヶ国浦方宿々肝煎中

二 富山御蔵鉛大坂平野屋与次兵衛 (寛永) 8月12日 折紙  
江壳渡ニ付分国内通行之義申渡

堀田三郎右衛門・近藤市左衛門・改田小兵衛↓三ヶ国宿々浦々煎肝中

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

三 浦々干物塩物送之儀宿継可致達 万治2年2月17日 切統紙

津田玄播・奥村因幡・前田对馬・今枝民部・武部四郎兵衛・千  
秋彦兵衛

四 風問ヒ之儀御尋ニ付調理絵図 正徳・天保12年 一紙 4

中山主計

五 安永二年十一月十七日越中留山 安永2年 一紙 3丁

御家中より小豆沢御関所堅覚

六 諸御関所通行之義变革ニ付申渡 8月 切統紙2

書

本多播磨守・三浦八郎左衛門

七 南部より材木積登り船糧米渡方 (文政・天保) 正月28日 切統紙

ニ付申渡書

御算用場・高島左門

八 南部材木船へ糧米渡方申渡書 (文政・天保) 2月28日 切紙

高島右門・宮腰町年寄中

九 大坂より相廻候荷物二ノ御丸御 天保9年5月 切紙

広式迄持届人足賃請取書

宮腰人足才許助十郎・二御丸御広式御留書所

一〇 灘屋長右衛門御用宿願承届ニ付 (天保) 6月4日 切統紙

指出銀請書可取立達書

(湯原)平馬・中山主計

二 粟ヶ崎木屋藤右衛門浦法宿法違 嘉永3年 一紙 15丁

大判荷物大野村着岸一件等留

(錯簡)

三 大判荷宿拔之義ニ付書状并返書 (嘉永) 4月22日 切統紙2

半田権之丞・清水文平・高橋直右衛門

三 玉屋勘助行大判荷物之義郡奉行 (嘉永) 5月6日 切紙  
より申来之趣ニ付書状

(半田)権之丞・(中山)主計

四 小松絹荷之義ニ付申越之件一札 (嘉永) 5月15日 切紙

(半田)権之丞・(中山)主計

五 小松福益屋久右衛門大判荷一件 (嘉永) 5月18日 統紙

ニ付内談申度書状

(半田)権之丞・(中山)主計

六 鉄一件ニ付御算用場より申来ニ (嘉永) 5月27日 切紙

付伝馬肝煎召連御出并内談申度書状

(半田)権之丞・(中山)

七 江戸下り人足御雇金并同道中貯 文久2年9月11日 統紙

用銀請取書

人足棟取茶屋直松・和泉屋小右衛門・西屋平右衛門・新屋長蔵  
・段屋孫助・町御会所

八 江戸表通日用人足雇賃銀請取書 文久2年9月 一紙

本町組合頭月番八郎右衛門・同仁右衛門・地子町組合頭月番八  
郎右衛門・彦右衛門・冬瓜町組合頭月番源助・町御会所

九 他国船問屋より船積之品送り状 不 切紙

ニ相違之節致方尋書(後欠)

一〇 会符荷物ヲ個人荷物ニ偽願出一 不 切紙

件ニ付申上書(前後欠)

三 能州塵浜より積廻之菜種入津御 亥4月 統紙

手種高相違之義等申上書

三 入津御手と種高相違之義ニ付御 不 切紙

町年寄中山主計・同八右衛門・宮腰町御奉行所  
断申上書

- 三 金沢今村屋小兵衛大野より梨子 不  
積取通行之義ニ付一札(後欠) 一紙
- 四 竿鉛預り并來春舟積之義断書 辰10月28日 切紙  
菓子屋平右衛門↓町年寄宇兵衛・弥八郎
- 五 竿鉛預り并來春船積之義断書 一紙  
佐嶋屋伝右衛門↓町年寄宇兵衛・弥八郎
- 六 宮腰水戸口より大野村川境迄浜 申3月17日 切紙  
通間敷并老間宛繩之覺 2  
切続紙 22
- 七 河内山判左衛門御宿致度ニ付御 5月15日 切紙  
出方願書状
- 八 源左衛門↓主計・八右衛門
- 九 松前物取扱ニ付備中等之趣覺 不  
切紙
- 十 大坂表問屋より通送荷物書上 不  
切紙  
(後欠)
- 十一 屎石灰越前敦賀より送ニ付代金 不  
切続紙  
之義申入書(後欠)
- 十二 金沢等所々より宮腰差越荷物印 不  
切紙
- 十三 鑑見合ニ付申渡書(後欠)
- 十四 越中戸出村太右衛門船積指紙無 3月4日 切続紙  
之荷物船積一件申渡書
- 十五 中山主計
- 十六 古保川小船通行ニ付縮方申渡書 不  
り綴 3丁
- 十七 (紙背文書)
- 十八 宮腰領船渡場橋図 不
- 十九 冬瓜町舟渡場舟運種々難義有之 辰3月  
り綴 3丁  
(彩色)
- 二十 二付橋懸之義願書 29×167
- 二十一 宮腰大野一郷打込ニ付舟運送并 不  
り綴 2丁
- 二十二 獵業之義ニ付願書
- 二十三 上下等諸品覺 不  
切紙
- 二十四 陸 運
- 二十五 往還通り者之義ニ付御算用場よ 元禄8年6月16日 袋綴 6丁  
り兩通御触写
- 二十六 御算用場↓永原権之丞・長瀬瑞兵衛・大石弥三郎・今井源六・  
古屋六之丞・岡田助七郎・今村市十郎・今井源五兵衛
- 二十七 高島彦大夫↓宮腰問屋中
- 二十八 金沢町より取寄之醬油持賃定書 (元禄9)正月27日 切続紙
- 二十九 高島彦大夫↓宮腰問屋中
- 三十 駅馬方困窮ニ付加役浦改役料等 (寛延元)4月 切続紙  
より合力之定
- 三十一 伊藤甚右衛門↓宮腰町年寄宇兵衛・八右衛門  
寛延2年3月 袋綴 5丁
- 三十二 馬借余荷取立定帳 伊藤甚右衛門↓宮腰町年寄・肝煎  
(明和)12月 切紙
- 三十三 馬借願紙面回答添状 金岩嘉大夫↓宮腰町年寄中  
安永3年2月 続紙
- 三十四 宮腰駅馬方近年着船諸荷物減少 難渋ニ付大野村粟ヶ崎荷宮腰駅  
馬ニて取揚度願書
- 三十五 荷駄方万日記 寛政12年正月吉日 小帳 50丁  
音渡屋甚六
- 三十六 雪ニ而往來指支ニ付除雪之達并 (文政)12月 り綴 3丁  
添状 御横目↓。中川外記↓宮腰町年寄中
- 三十七 二木市郎右衛門義大坂相籠ニ付 (弘化3)正月 切紙  
宿々送状
- 三十八 加州里見亥三郎↓加州松任駅より撰州伏見駅まで問屋役人中

- |    |   |            |          |          |
|----|---|------------|----------|----------|
| 番号 | 標 題   | 年 代        | 形態       | 墨付<br>点数 |
| 二〇 | 大野入津荷川舟ニテ金沢運び之<br>義宮腰馬借共成立方便無之ニ付<br>指留願申達書  | (嘉永5)3月    | こよ<br>り綴 | 3丁       |
|    | 菊池常三  |            |          |          |
| 二  | 諸色高値入津高減少ニ付伝馬賃<br>銀増願書  | 文久2年10月    | こよ<br>り綴 | 3丁       |
|    | 馬借次郎助等二十一人・馬持人太左衛門・同九右衛門・同他三<br>郎→宮腰町御奉行所 (奥書) 伝馬肝煎長左衛門・同孫左衛門   |            |          |          |
| 三  | 入津方減少等ニ付馬駅方取統兼<br>賃錢願書  | 文久3年5月     | 一紙       |          |
|    | 馬借寺中屋次郎助等二十一人→宮腰町御奉行所<br>(奥書) 伝馬肝煎長左衛門・同孫左衛門  |            |          |          |
| 三  | 宮腰駅大判荷等御定書  | 亥3月        | 袋綴       | 2丁       |
| 四  | 宮腰馬借共御用多キ上着船荷物<br>減少いたし困窮仕ニ付御貸米願  | 己3月        | 統紙       |          |
|    | 宮腰馬持三郎兵衛・同次右衛門・同藤兵衛・同善兵衛・同吉右<br>衛門・同兵九郎・同作兵衛・同十兵衛・同与吉・同仁左衛門・<br>同四郎兵衛・同与四右衛門・同五郎助・同伝藏・同市左衛門・<br>同吉兵衛・同三郎右衛門・同甚兵衛・同加十郎→宮腰町御奉行<br>所 |            |          |          |
| 三  | 大野より金沢所々まで米等荷物<br>駄賃之義馬不足ニ付増駄賃書上  | 西5月        | 統紙       |          |
|    | 唐仁屋六郎兵衛・同甚左衛門・安宅屋弥三右衛門・長沖屋宗兵<br>衛・湊屋佐次兵衛・長沖屋甚兵衛・藏屋又四郎・唐仁屋孫兵衛<br>↓町年寄弥八郎・庄兵衛   |            |          |          |
| 六  | 米人足茶荷物等大野より金沢所<br>々付上駄賃書上   | 西5月        | 統紙       |          |
|    |   |            |          |          |
| 七  | 唐仁屋六郎兵衛・唐仁屋甚左衛門・安宅屋弥三右衛門・長沖屋<br>宗兵衛・湊屋佐次兵衛・長沖屋甚兵衛・藏屋又四郎・唐仁屋弥<br>兵衛↓町年寄弥八郎・同庄兵衛  |            |          |          |
| 七  | 宮腰浦衰徴仕馬持共荷物賃錢減<br>少致上納方も差支ニ付御詮義之<br>上宿駅可成立願書  | 戊10月       | 切統紙      |          |
|    | 馬持組合頭四郎兵衛・与四右衛門・作兵衛→宮腰町御奉行所   |            |          |          |
| 八  | 宮腰御藏請塩附揚之義馬借共諸<br>品高直ニ付御定賃錢増方願一件<br>答書  | 不          | 袋綴       | 2丁       |
| 九  | 荷送之義ニ付相弁兼候条々<br>答書  | 不          | 切統紙      |          |
| 三三 | 運   |            |          |          |
| 一  | 前田利家能州浦兵糧米積船ニ付<br>申触状   | 5月3日       | 折紙       | 5        |
|    | 利家→宮腰主計   |            |          |          |
| 二  | 前田利家名護屋詰之船方手問賃<br>申渡書   | 12月3日      | 折紙       | 2        |
|    | 利家→石河河北惣きも入中  |            |          |          |
| 三  | 前田利長なこやへ越米かん米之<br>内受取状  | 慶長2年7月17日  | 切紙       | 2        |
|    | ちくせん→長右衛門   |            |          |          |
| 四  | 今枝内記知行所百姓罷越ニ付便<br>船申付状  | (慶長17)7月4日 | 折紙       | 4        |
|    | (篠原)出羽守一孝・(奥村)河内守栄明・(横山)山城守長知→宮<br>腰主計  |            |          |          |
| 五  | 宮腰小兵衛參人乗舟才舟過所手<br>形   | 寛永元年6月16日  | 豎紙       |          |
|    | 三輪法受・宮崎藏人→三ヶ国浦々   |            |          |          |

六 小松御台所膳着調之為宮腰かも  
たり船安宅へ可遣達書  
辰6月16日 折紙

(横山)山城・(奥村)・河内・(奥村)因幡→岡野彦左衛門・肝煎  
主計・同三右衛門

七 小松廻御荷物三ヶ国諸浦舟頭中 寬永17年7月23日 折紙  
割符致可相届達書

(横山)山城守・(本多)安房守→加賀・能登・越中浦肝煎・舟頭  
中

八 材木并敷石等小松積廻之義達書 (寬永17)8月22日 折紙

(横山)山城守・(奥村)因幡守→宮腰主計・三右衛門

九 小松御荷物舟割符之申渡状 寬永18年2月25日 折紙

(本多)安房守政重・(横山)山城守長知→石川河北浦方肝煎中

一〇 小松廻御荷物ニ付舟割符之義申 (寬永18)3月2日 折紙  
遣状

(本多)安房守・(横山)山城守→石川郡・河北郡浦方肝煎中

二 牢人大野兵右衛上方罷登之便船 寬永18年7月17日 折紙  
ニ付申渡書

(奥村)河内・大膳・(奥村)因幡→宮腰村主計・三右衛門

三 越中中郡新明神村舟割符之義ニ (寬永18)5月8日 折紙  
付申付状

(本多)安房守・(横山)山城守→宮腰村主計・三右衛門

三 御分国浦々舟道諸式目公事場之  
分焼失ニ付宮腰ニ有之写可指出 2月21日 折紙

達 葛(卷)隼人・富(田)下総→宮腰肝煎主計・三右衛門

四 宮腰町便切手發行之義ニ付申渡 承応4年3月21日 折紙  
書

駒井主水→宮腰町主計・三右衛門・町代藤兵衛・与三右衛門・  
八左衛門

一五 貞享四年分中間算用之覽 11月15日 続紙

中山家文書目錄

八郎兵衛→中山甚丞

六 高岡瑞龍寺御用瓦宮腰浦より伏 (明和) 11月18日 切続紙  
木まで積廻運賃書記可被遣申達

小瀧惣左衛門→金岩嘉太夫→宮腰御年寄中

七 大乘寺荷物宮腰より敦賀まで送 寬政元年4月15日 一紙  
依頼状

大乘寺→天徳院役寮中 (裏書) 天徳院役者→恒川七兵衛  
(裏書) 恒川七兵衛→宮腰浦改役人中

六 大豆積渡切手 寬政2年2月22日 切紙

御預所時国村庄屋時国右京祐→加州宮腰御改方御役人衆中

元 宮腰龍源寺より夜具等能州まで 寬政5年7月 続紙  
積廻願并許可状

宮腰龍源寺隣長→宝円寺・天徳院役寮 (裏書) 天徳院役者→  
伊藤権五郎 (奥書) 伊藤権五郎→宮腰潤改中

三 河北郡高松村平七敦賀罷越船手 寬政7年5月 一紙  
形 伊藤権五郎→宮腰浦改役人

三 淡路守様御用船宮腰小竹屋持船 文化6年7月 一紙  
等借上ニ付拝領金等覽 宮腰小竹屋善兵衛他→脇田善右衛門

三 渡海船往來御切手申請候帳 天保5年正月 袋綴 4丁

三 渡海往來御切手申請候帳 天保6年正月 袋綴 3丁  
肝煎喜平

三 渡海船往來御切手申請候帳 天保6年正月 袋綴 2丁  
肝煎久兵衛

三 辻次郎右衛門御城米積船之義ニ (天保14)2月5日 切続紙 2  
付内状 (辻次郎右衛門)→

三 渡海船往來御切手申請候帳 弘化3年正月 袋綴 4丁

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

七三 難 船

- 一 肝煎当分兼帯平左衛門  
鉛百六拾荷運賃并出舟期日上方  
→可指越書状  
閏正月24日 折紙
- 二 堀田掃部・佐々伊左衛門→宮腰主計  
鉛運賃并荷物出之義ニ付申達状  
2月20日 折紙
- 三 堀田掃部・佐々伊左衛門→宮腰主計  
御城米一件余荷金一件落着之義  
申上書等綴(紙背文書)  
3月28日 ころよ綴 12丁
- 四 中山主計→辻次郎右衛門  
荷物越後新潟迄船送之義ニ付書状  
4月23日 切続紙
- 五 天徳院典座→宮腰中山主計  
大判荷調置之義等ニ付申上書  
5月26日 切続紙
- 六 中山主計→上  
船積荷運賃并金子願方之義等ニ付書状  
辰初夏2日 折紙
- 七 前吉祥庵足有僧→中山主計  
相川新村船稼一件  
未7月 袋綴 16丁
- 八 相川新村肝煎彦四郎・組合頭伝兵衛→御郡御奉行所・御改作方  
御郡御奉行所  
子閏8月 切紙
- 九 渡海船役銀等御尋書(断簡)  
大野村肝煎五郎左衛門→洲上村源五郎  
午9月 袋綴 13丁
- 十 笠船積高一件  
赤田屋門右衛門大坂送板銀荷物  
未12月25日 一紙
- 十一 送状  
金沢町肝煎三郎右衛門・宿佐嶋屋伝右衛門→宮腰間改人衆中
- 十二 一加賀弁財船南部領ニ而難船仕ニ  
元禄12年8月29日 続紙  
付浦証文  
南部領大平村庄屋弥右衛門・同安渡庄屋庄兵衛・同老百姓彦右衛門→船頭加賀権右衛門・水主中 (奥書) 南部信濃守領大平船役人西嶋善右衛門・松田次右衛門
- 十三 能州塩積船宮腰浦ニテ破損ニ付  
宝永4年5月18日 続紙  
浦手形願書
- 十四 能州鳳至郡大沢村佐左衛門船頭吉之丞・宮腰長沖屋惣兵衛→宮腰町年寄中山甚八郎・同中山清右衛門・同町肝煎権兵衛・同武兵衛・同源右衛門・同地子町肝煎惣四郎・同弥三右衛門
- 十五 赤神村豊右衛門三国沖ニ而難船  
明和元年閏12月 続紙  
ニ付浦手形願書一件  
能州赤神村豊右衛門・宿唐仁屋甚左衛門→宮腰町肝煎平左衛門・同小右衛門・同弥三兵衛
- 十六 酒井左衛門尉様御城米難船一件  
明和7年12月 ころよ綴 4丁  
御算用→佐藤半五右衛門
- 十七 新靱町吹田屋九左衛門廻船豊前  
安永2年8月24日 続紙  
小倉ニ而難船之節残り荷物一件  
相濟ニ付御吟味指止願  
吹田屋九左衛門・五人組北国屋作兵衛・年寄善次郎・月行司勝助 (奥書) 宮腰浦才田屋仁兵衛・岡田屋四郎兵衛・家主嶋屋権兵衛・五人組宮崎屋八兵衛・同宇和嶋屋徳兵衛・年寄金屋与次兵衛→御奉行様
- 十八 御城米船并諸商船難船有之節心  
文政6年6月 袋綴 4丁  
得方御触写  
御算用場→金谷佐大夫・関屋平馬
- 十九 粟ヶ崎板屋八郎兵衛船宮腰大  
文久3年7月 袋綴 6丁

野論地大野川口ニ而破船仕ニ  
付宮腰ニおいて難船取捌願

肝煎次右衛門・横目肝煎与三八・町年寄中山主計等兩人↓宮腰  
町御奉行所

②粟ヶ崎板屋八郎兵衛船大野川 文久3年7月 袋綴 6丁

水戸口ニテ難船ニ付大野より  
取捌方異論一件願書

肝煎次右衛門・横目肝煎与三八・町年寄中山主計等兩人↓宮腰  
町御奉行所

八 大野村獵師共舟底拾一件ニ付書 8月25日 切続紙

状 洲上村源五郎↓宮腰町年寄宇兵衛・同弥八郎

九 佐州腰細之舟高松沖ニ而破損仕 8月25日 切続紙

舟底拾ニ付渡方之義申達状

宮腰町年寄宣兵衛・弥八郎↓洲上村源五郎

一〇 本吉湊屋与左衛門船難船之節流 酉10月朔日 切紙

寄品請取之義ニ付一札

肝煎<sup>(文)</sup>左衛門↓大野村肝煎次郎左衛門

### 三〇 浦 方

一、①御分国船持中定書等諸留 寛文ノ享保 袋綴 535丁

②中山清右衛門等御目見之節着 宝永8年正月7日 切紙

献上ニ付米被下書

③殿様御法事拜礼之節等旧例之 (文政7)7月 切続紙

如被為仰付様願書

中山主計↓中川外記

④用事有之ニ付召状 12月14日 切紙

甲斐守内菅田権六・河崎湍太夫↓中山主計

⑤船石数等之寛 不 一紙

中山家文書目錄

⑥中山甚丞御扶持田之図 貞享4年 一紙

⑦甚右衛門等請高書上 天和2年10月24日 一紙 2

甚右衛門・五郎右衛門・太郎八↓中山主計

⑧請申島地子証文 延宝5年 一紙

下屋敷丸兵衛↓中山甚祐 閏12月23日

⑨かもうり舟諸役免許状 元和8年卯月13日 一紙

(利常) ↓かもうり舟船頭彦左衛門其外人数拾八人

⑩単価寛 不 折紙

⑪粮米法事小遣等之義ニ付心得 不 切紙

⑫宮腰柁木売直段之義申渡書 (天和・貞享) 2月晦日 切紙 2

津田宇右衛門・山崎半左衛門↓村田弥三郎↓宮腰甚丞・予三右衛門

⑬梶所持之有無調理ニ付申達書 己12月19日 一紙

主計・三右衛門↓与三左衛門他二十四名

⑭中山三右衛門并町代之内久御 (天和・貞享) 5月13日 切続紙

用相勤之者召状

村田弥三郎↓宮腰甚丞・与三右衛門

⑮御領国浦々他国他領米入津差 (貞享元)5月6日 切続紙

留之触 村田弥三郎↓宮腰甚丞・与三右衛門・肝煎中

⑯中山甚丞他殿様年頭御礼并宮 貞享元年5月14日 続紙

腰御出之節罷出之義等書上

宮腰甚丞・与三右衛門↓村田弥三郎

⑰粟ヶ崎御旅屋へ御着持参無用 (天和・貞享) 8月12日

之旨申渡書 村田弥三郎↓宮腰甚丞・与三右衛門

⑱屋敷地所問数図 不 23×33

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

⑱ 左右衛門様御囲番人被仰付ニ  
付請状 貞享元年11月24日 一紙

宮腰仁右衛門↓中山甚丞

⑳ 宮腰御囲屋舖并浜御屋舖等御  
預被下ニ付請状 子11月17日 一紙

⑳ 納戸立具等渡状

上野市兵衛↓中山甚丞

貞享元年11月19日 続紙

㉑ 濡米代舟柏代返上銀請取手形  
并添状 寅12月延日 一切紙 2

越前屋伊右衛門・庄兵衛↓中山甚之佑

㉒ 居屋敷地間数図

貞享4年4月7日 37.5×25

㉓ 宮腰預り切死丹宗門未類族寛  
不 一紙

文ノ延宝期病死人御届寛  
(後欠)

㉔ 屋敷破損修理之義願書 貞享5年3月 一紙

中山甚丞↓高島彦太夫

㉕ 宮腰より椋部通渡舟造作入用 貞享5年7月24日 一紙

目錄之覚

宮腰甚丞・与三右衛門↓高島彦太夫

㉖ 桑酒造り等之義ニ付書状 11日 一切続紙

久野屋平助↓中山而后

㉗ 御伝馬銀上納之義御尋ニ付申 承応3年10月8日 一紙

上書

宮腰村肝煎藤兵衛・同馬肝煎太郎左衛門↓脇田平之丞・中村安

左衛門

㉘ 御用金四ヶ年用捨被成ニ付相 (天保8)2月 一切続紙

励可助合申渡書

㉙ 近年違作続困窮ニ付御用捨米 (天保8)2月 切続紙  
被仰付一統相励世話方等申渡書

二 延宝六年四月椋部通宮腰渡舟卷 延宝6年5月8日 続紙  
艘合申入用之事

三 天和三ノ元禄三年米積船水子数 不 切続紙  
御算用場↓宮腰甚丞・同三右衛門  
等書上(後欠)

四 舟持共銀子取替之義ニ付村田弥 貞享2年正月 切続紙  
三郎宛書付

五 宮腰浦近年着船薄相成ニ付諸懸 (宝曆元)7月朔日 続紙  
り物等相減候趣申渡書

佐藤半五右衛門↓宮腰町年寄中・同町肝煎中

六 船数等御届雛形 文化5年 一綴 2丁

七 ①大野村三郎兵衛船杉材木積入 文化13年8月 袋綴 262丁  
同村江致着岸候ニ付掛合一件

土肥権六郎  
②三十人講御役所御仕法銀拝借 8月・9月 切続紙 2

遺所御貸銀方矢尾屋次助・喜右衛門↓中山主計・中山三右衛門  
之義ニ付書状

③栗崎村藤右衛門義上方より鉄 (享保) 袋綴 4丁  
荷物粟崎へ着け金沢江遺義ニ  
付宮腰馬持共訴訟一件

④大野川入船之義御尋ニ付答書 (文化13)閏8月 切続紙  
肝煎吉左衛門・同市郎右衛門・同新三郎・同喜平・同猪助・同

源二・横目肝煎次郎兵衛↓宮腰町御奉行所

⑤材木之義大織着船指留之申付 5月2日 切続紙  
状 国村惣右衛門・能部喜左衛門↓中山主計

⑥大野へ積廻材木之義宮腰浦へ  
可積廻申渡書 切紙

八 今般旅人荷物取扱禁令之義小宿 文政13年正月 続紙 2

渡世指支ニ付小宿商売被仰付方  
再願書  
桜屋喜兵衛↓肝煎吉左衛門 (奥書) 肝煎吉左衛門↓宮腰町御奉行所

九 小問屋問屋扱荷分担之義申渡書 (天保3)3月22日 切続紙

高島右門↓宮腰町年寄中

一〇 小宿取扱船荷願之義不聞届旨達 (天保3)12月 切続紙

高島右門↓宮腰町年寄中

一一 船手小宿之義縮方并問屋商売ニ  
指障ニ付御指省願 卯10月 こよ 2丁  
り綴

問屋安宅屋弥右衛門・唐仁屋甚左衛門・錢屋喜太郎・酒屋七右衛門・湊屋左太郎・長沖屋与五兵衛・代屋六右衛門・木田屋久兵衛・長沖屋文兵衛・酒屋八兵衛・安宅屋治右衛門・松任屋小左衛門・藏屋又四郎・錢屋与三八・同与右衛門・赤土屋小右衛門・板屋弥平・室屋宗助・角屋庄左衛門・葛籠屋助十郎↓肝煎新三郎・同平左衛門・同源兵衛・同喜平・同久兵衛

一二 御算用場ニて舟数承合之義ニ付 (弘化・嘉永) 切紙  
指図書 8月16日

(成田) 宗左衛門↓中山主計

一三 海岸浅深調理方達書 (嘉永2)10月晦日 切続紙 2

御算用場↓半田権之丞、半田権之丞↓宮腰町年寄中

一四 海岸浅深調理仕法書 (嘉永2) 切紙

一五 大船製造ニ付異国船不紛様達書 (安政3)3月21日 切続紙  
。横山遠江守↓浅香嘉門、齊藤与兵衛・浅香嘉門↓宮腰町年寄中

一六 洋船買入ニ付御船印等之儀申達 (文久3)正月 切紙  
綴(錯簡) 5丁

一七 浦方諸帳面并魚方諸書物類等請 慶応3年正月27日 切紙  
取書  
御算用場↓神尾篤治郎・坂井三郎兵衛  
。(神尾)篤治郎・(坂井)三郎兵衛↓宮腰町年寄中  
町年寄源七郎↓中山主計

一八 船方商人心得方申渡ニ付本町冬 寅6月2日 続紙  
瓜町組合頭請書

本町組合頭孫九郎・同次右衛門・同喜右衛門・同長次郎・同久平・同惣兵衛・同善兵衛・同久三郎・同仁右衛門・同文次郎・同与四右衛門・同甚右衛門・同六右衛門・同五兵衛・同七右衛門・同平九郎・同八郎右衛門・同孫四郎・同長三郎・同又吉・同善六・同太兵衛・同与兵衛・冬瓜町組合頭安右衛門・同与兵衛・同長次郎↓町御役所

一九 船方商人心得方申渡ニ付地子町 寅6月 続紙  
組合頭請書

地子町組合頭藤兵衛・同喜助・同六右衛門・同久右衛門・同伊兵衛・同文右衛門・同久右衛門・同次左衛門・同次兵衛・同佐次兵衛・同与四右衛門・同与助・同市兵衛・同久平・同与兵衛・同太郎兵衛・同茂兵衛・同七郎右衛門・同善兵衛・同茂助・同三郎右衛門・同善兵衛・同八右衛門・同善太郎・同吉右衛門・同善八・同栄八郎・同惣助・同次郎吉・同長右衛門・同八郎右衛門・同清四郎・同善三郎・同九右衛門↓町御役所

二〇 宮腰町着船数等先年と振合違候 不 一紙  
義覚書

二一 安部屋浦船入等之覚 不 切紙

二二 諸浦商船縮方御尋ニ付申上書 不 切続紙

二三 舟宿縮之義ニ付答書付札 不 切紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

二 船積之品潤改之義并船宿名目之 不 切続紙

義等ニ付尋書

三 三國浦森田弥五右衛門等手形有 (寛文・延宝) 10月22日 切紙

之船ニ付間役銀指除之申渡書

(前後欠)

前田对馬・奥村因幡・横山左衛門・長九郎左衛門・本多安房↓

津田宇右衛門・岡嶋五兵衛

三 合船仕者銀子取替之義申上控 不 切続紙

三 船持共出船品々及船頭縮方等尋書不 切紙

三 入 出 津

一 他国より御国入之油役銀上り不 (慶安・万治) 11月27日 切紙

申ニ付吟味申渡書

算用場↓駒井主水

二 油種他国出停止候得共もれ候義 (貞享元) 2月18日 切続紙

有之ニ付縮方申付状

。御算用場↓(村田弥三郎)・村田弥三郎↓宮腰甚丞・与三

右衛門

三 金沢薬種商中屋彦右衛門塵塩焔 (宝曆6) 5月6日 一紙

津出船手形

佐藤半五右衛門↓宮腰町年寄中

四 宝曆十年より宝曆拾三年迄宮腰 (宝曆13) 12月 袋綴 34丁

浦より船積出申鉛書上扣

宮腰浦役人町年寄宇兵衛・中山弥八郎

五 金沢町中屋彦右衛門買請之塩硝 明和5年4月20日 一紙

津出願

佐藤半五右衛門↓宮腰町年寄中

六 金沢町薬師中屋彦右衛門塩焔津 明和5年9月 一紙

出之義申渡書

七 三拾俵輪嶋へ積廻度ニ付津出 明和8年8月2日 続紙

願

佐藤半右衛門↓宮腰町年寄中

宮腰酒屋助右衛門↓宮腰町御奉行所 (奥書) 肝煎平右衛門・

町年寄中山弥八郎・同庄兵衛 (裏書) 佐藤半五右衛門

八 前田平馬様宮腰御奉行之節差出 (明和・安永) 一紙

之出津願返却被遊付控

九 古粉糖津出船手形 (寛政5) 7月12日 一紙

二 鍋屋七右衛門義古粉糖他国出津 (寛政5) 7月26日 一紙

之義許可状

伊藤権五郎↓宮腰浦潤改中

二 衣食住之品々国産奨励及他国産 丑8月 切続紙

物制限之申渡書

御郡奉行↓加苧三郡十村中・同列中・新田才許中・同列中・山

廻中・同列中

三 鍋屋七右衛門古粉糖他国出津許 (寛政6) 6月26日 一紙

可状

(伊藤) 権五郎↓宮腰浦潤改中

三 唐仁屋六郎兵衛等粉糖他国出津 寛政6年7月26日 一紙

之義許可状

(伊藤) 権五郎↓宮腰潤改中

四 代屋六右衛門義古粉糖他国津出 寛政7年3月 一紙

許可状

(伊藤) 権五郎↓宮腰浦潤改中

五 長沖屋甚兵衛焚灰他国津出船手 寛政7年3月 一紙

形

(伊藤) 権五郎↓宮腰浦潤改人中

六 代屋六右衛門義古粉糖他国出津 寛政7年5月8日 一紙  
之義許可状

(伊藤) 権五郎↓宮腰浦澗役人中

七 鍋屋七右衛門古粉糖出津許可状 寛政7年5月16日 一紙

(伊藤) 権五郎↓宮腰浦澗改人中

八 唐仁屋六郎兵衛古粉糖他国出津 寛政7年5月18日 一紙

聞届書

(伊藤) 権五郎↓宮腰町澗役人中

九 撰州大坂等ニ出来之みがき石大 卯2月 切統紙

野浦へ入津着岸許可願

大野浦船宿五宝屋又四郎↓五十嵐孫作・喜多市十郎 (奥書)

大野村肝煎次郎左衛門・五十嵐孫作・喜多市十郎↓御郡所

一〇 五宝屋又四郎より之みがき石入 卯3月20日 切紙

津願聞届通知状

五十嵐孫作・喜多市十郎↓大野村役人

一一 御郡浦々津方之義通帳ニ而出津 卯7月 切統紙

致度願書

五十嵐・喜多・広瀬・瀬尾・村井・五十里

一二 鰯干加出津願之義買人方より願 7月24日 切紙

出事ニ相成ニ付一札

番代吉左衛門↓五十嵐孫作

一三 他国出来品入津御指留ニ付指支 丑9月 切統紙

之品調理仕処蜜之儀御国出来不仕ニ付入津指解願

大野浦肝煎次郎左衛門↓五十嵐孫作・喜多市十郎

一四 他国入込銅縮方主附設置具申書 (天保2)9月 切紙

桜屋喜兵衛

一五 他国入込銅遂義之趣申越可達書 (天保2)10月朔日 切統紙

高島右門↓宮腰町年寄中

一六 ①越中五ヶ山出来塩硝他国出御 天保2(嘉永3)年 袋綴 25丁

定公事場より御尋之答已後取

締之留

中山主計

②越中五ヶ山塩硝煮屋幸右衛門 (天保3)10月2日 切統紙

出津聞届押紙面

高島右門↓宮腰町年寄中

③越中五ヶ山出来塩硝上方売出 (天保3) 6月・10月 切統紙3

之義ニ付縮方取扱方定法申渡

書并添状

。前田式部↓中川平膳、。有賀甚六郎↓高島右門、。高島右門

↓宮腰町年寄中

④五ヶ山出来塩硝他国積出方之 (天保3)11月 切統紙

定法申渡書

高島右門↓宮腰町年寄中

⑤砺波郡五ヶ山出来塩硝他国出 天保2年6月 切統紙2

ニ付送状を以指出義一札并荷

印見合書

林源多郎↓高島右門

⑥錢屋喜太郎等所持蔵塩硝御用 (天保11)10月 一紙 切統紙3

として借請同人塩硝并蔵縮申

付状并請書

。矢野所左衛門↓湯原平馬、。奉行↓宮腰町年寄中・横目肝

煎中、。錢屋喜太郎↓宮腰町御奉行所

⑦五ヶ山出来中煮塩硝他国売出 卯8・9月 切統紙

方留

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点敷

三三 魚・獵業

⑧五ヶ山出来中煮塩硝他国売出 (弘化2) 4月6日 切統紙  
縮方之義ニ付申達書

篠原文次郎・井口孝右衛門↓里見玄三郎

⑨五ヶ山塩硝津出手形ヒナ形 天保15年7月 一紙  
当年不作ニ付食用之品他国出禁 天保4年12月8日 切統紙2  
止之違并添状

御算用場↓高島右近・高島右近↓宮腰町年寄中

指

六 今般他国之品入津御留ニ相成 嘉永6年8月 袋綴 6丁  
候内(当)入津不被仰付而ハ指支

之品調理帳并伺小紙御附札物一件

元 宮腰浦出津入津御縮方等調理御 (文久3) 3月 切統紙  
答ニ付中山家浦改動向先規之如  
可被仰付願書

中山主計↓神尾篤治郎・坂井三郎兵衛

三 積出し品届出書 午5月12日 切紙  
鍋右衛門↓澗改御役所

三 大野浦入津之諸品津切手書替之 子7月20日 切統紙  
儀ニ付申渡書

坂井勘藏・前田弥五作↓田井村吉次郎・上野新村惣太郎

三 大聖寺様御作事所御用并大聖寺 丑8月26日 統紙  
御郡所御用荷物津出許可願

小嶋屋善兵衛↓肝煎他三郎

三 堀川出来菅笠他国出之分指紙之 不 切紙  
義申渡書(後欠)

三 出荷物仕法書(錯簡) 不 切紙  
こよ  
り綴 4

三 諸品出入津裏書原案 不 横綴 4丁

一 三ヶ国浦方江寄鯨在之時分割符 承応2年2月15日 堅紙  
仕様御定之覚

横山右近・奥村河内

二 三ヶ国浦方江寄鯨在之時分割符 承応2年2月19日 一紙  
仕様御定之覚写

横山右近・奥村河内

三 所方捕揚之鯖はまち等脇洩不申 (元禄12) 4月26日 切統紙  
様申渡書

沢野国右衛門↓宮腰裏子屋平右衛門

四 宮腰浦魚獵取捌様申渡書 享保12年4月 統紙  
御算用場↓宮腰裏子屋平右衛門

五 魚改之儀ニ付申渡書并添状 (享保13) 8月28日 統紙  
9月8日 切統紙2  
御算用場↓本保常右衛門

六 天明五年五月煎海鼠等為御用江 天明5年 袋綴 11丁  
戸御役人平井弥惣次様等御越ニ  
付諸事覚帳

七 宮腰魚方仕法書上申帳等 文化10年12月 袋綴 17丁  
中山主計↓児玉孫左衛門

八 魚方御仕法御請書帳 文化11年2月 袋綴 4丁

代屋文右衛門・升屋八左衛門・角屋重右衛門・角屋与三兵衛・  
松屋甚右衛門・くり屋吉右衛門・角屋三右衛門・押野屋伝右衛  
門・輪嶋屋善四郎・宮坂屋伊右衛門・くり屋次郎助・越前屋与  
兵衛・紙屋仁左衛門・浜屋与右衛門・押野屋与左衛門・浜屋藤  
右衛門・角屋長右衛門・菊屋次郎左衛門・孫田屋次兵衛・津幡  
屋長兵衛・専光寺屋嘉兵衛・寺中屋八右衛門

九 文政六年七月干魚一件色々覚書 文政6年 横帳 9丁  
 一〇 御用之刺鯖御用員数相濟ニ付平 (文政・天保) 切紙  
 金沢会所↓高島右門 6月4日

二 家相統助成之為狹業相立願 安政6年2月 袋綴 3丁  
 額彦四郎↓町御奉行所

三 鯨綱之義願方首尾ニ付申達書 (嘉永) 8月22日 切統紙  
 池嶋宇兵衛↓中山主計

三 鯨獵之義申上書 (前後欠) 不 切紙  
 四 鯨史稿 不 袋綴 29丁

五 生鯽等大野領ニて浜揚一件吟味 庚申12月 小よ 5丁  
 願 宮腰魚問屋

六 赤かれ等代金指送ニ付算用願并 3月28日 切統紙  
 取立物会覚等 (紙背文書)

七 干鰯等現銀商之義産物方御尋ニ 不 切統紙  
 付答書 棚橋寛佑↓中山主計

八 魚方一件ニ付御判断願書 不 切紙  
 九 魚方之義ニ付申談有之御算用場 辰4月8日 切紙  
 産物方召状

三 中山主計義申渡有之二付産物方 4月16日 切紙  
 召状 産物方役所↓中山主計

三 中山主計義申談御用ニ付産物方 己3月28日 切紙  
 召状 産物方役所↓中山主計

振 売

一 振売可仕魚極書 寛文3年8月29日 統紙  
 (文化15年正月15日写)

二 振売可仕魚品々等御定写 山崎虎之助↓宮腰主計・三右衛門・菓子屋佐左衛門・肝煎中 寛文3・延宝3年 袋綴 5丁

三 宮腰より金沢ニて雜魚振売之義 (安永元) 12月8日 切統紙 3  
 定申渡書

四 振売辻立売等魚方御尋ニ付拔書 御算用場↓前田平馬、前田平馬↓宮腰魚問屋平右衛門 文政6年8月 袋綴 8丁

五 宮腰魚振売人心得方申渡書 中山主計↓土肥三左衛門 (文政6) 12月5日 小よ 2

六 宮腰より振売仕魚指替願書 中川外記↓宮腰魚問屋 文政7年4月 切統紙

七 雜魚振売并辻立売仕法書上申帳 魚問屋↓中川 文政10年 袋綴 4丁

八 文政十年十一月魚振売札之儀ニ 中山弥八郎 文政10年 袋綴 8丁  
 付御用番江相達候紙面之写

九 振売雜魚之内塩物干物等口銭有 (文政) 8月22日 切紙 2  
 無ニ付内状并調理方達書

一〇 蛸生鳥賊振売ニ被仰付度願書 弥八郎 湯浅北助↓土(肥)三左衛門、土肥三左衛門↓町年寄中山 戊6月 切統紙  
 中山主計↓御算用場

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

高 浜 揚 物 産

- 一 中浦船頭荷出入有之由ニ付船頭  
可召連召状 8月5日 折紙
- 二 外浦より船借受商売仕義ニ付御  
役義申渡書 元和10年3月18日 折紙  
稻(兼)左近ノ宮腰きもいり三右衛門・主計  
浦与右衛門・吉田勘右衛門ノ宮腰村白や伝七郎
- 三 宮腰浦入津之大豆御用大豆とし  
て不召上ニ付売買可致達 2月2日 切紙  
天和ノ貞享)
- 四 浦々商船荷物浜揚売捌手続等御  
尋ニ付答書(後欠) 文政8年11月 切紙  
村田弥三郎ノ宮腰三右衛門・甚丞
- 五 商物舟着州売捌方格合御尋ニ付  
答方様子御知らせ被下願 卯月朔日 切統紙  
小八十太夫(中川)外記
- 六 諸荷物等附揚方舟曳之義願ニ付  
御算用場紙面達 5月21日 切統紙  
(弘化・嘉永)
- 七 ①天保五年笠船積方三件宮腰笠  
商売一件等留 天保2ノ11年 袋綴 126丁  
成田宗左衛門ノ宮腰町年寄中  
(中山)主計  
②湊屋左太郎等菅笠運送方株商  
売仕処町会所より指省ニ付運 切統紙  
送方支配之義詮義願  
。湊屋左太郎ノ宮腰町御奉行所。高島右門ノ御算用場

- ③湊屋左太郎菅笠積出方之義詮  
義願ニ付担当違之旨返書 天保5ノ9月24日 切統紙  
御算用場ノ高島右門
- ④湊屋左太郎菅笠積出方詮義願  
一件ニ付詮義申達書 天保5ノ10月 切統紙  
中川平膳ノ高島右門
- ⑤算用場より申来之義ニ付添状  
高島右門ノ中山主計 天保・天保 2月・12月 切紙 2  
切統紙 2
- ⑥宮腰出来菅笠他国出分員教書  
未3月 折紙
- ⑦木屋次平義菅笠西国筋積廻之  
商売仕度ニ付大野浦より出津  
許可願 天保11年9月 一紙 2  
栗崎村肝煎安兵衛ノ田辺次郎吉(奥書)田辺次郎吉ノ御郡所
- 八 大野村へ荷物着岸之義御用番へ  
御達之紙面ニ付書状(後欠) 切紙  
(半田)権之丞
- 九 宮腰浦着岸之諸荷物并金沢等附  
揚方御定浦格等取調理書上 慶応元年10月 袋綴 10丁  
肝煎次右衛門・横目肝煎与三八・町年寄中山主計ノ御奉行所
- 一〇 他所より入津浜揚之義願聞届状  
中荷物御地ニ而商売仕義ニ付書 卯7月18日 切紙  
久保徳兵衛ノ庄山勘之丞 切紙  
[次]月21日 折紙
- 三 他国より宮腰浦江着船材木大豆  
其外諸色買入代金銀引替等之趣 袋綴 9丁  
不 覚

古二 米

- 一 御城米積申水子共天爵靈社起請 寛文7年 続紙  
文前書
- 二 貞享三年松任屋より旅人ニ米売之義覚 (貞享3) 切紙
- 三 越前敦賀ニて買入之米之内払米 (宝曆6)12月 一紙  
代金取立上納覚  
宮腰唐仁屋弥兵衛・同所赤土屋三郎兵衛↓佐藤半右衛門
- 四 御收納米堂形入被仰渡ニ付宮腰 (天明5)10月 切続紙2  
御蔵入願并聞届仕度旨宮腰町奉行添状  
本町肝煎平左衛門・平兵衛↓宮腰町御奉行所野村次郎兵衛↓御算用場
- 五 赤土屋小右衛門持船難船仕津軽より買積之ぬれ米売払度願書 文化7年午8月 切続紙  
中山主計↓宮腰町御奉行所
- 六 大聖寺米之義聞届ニ付縮方申付 (文化12)8月2日 切続紙  
土肥権六郎↓宮腰浦改人中
- 七 役所貯用米他国払之義等證義延引之通知 (文政・天保) 7月2日 切続紙  
高島右門↓中山主計
- 八 金沢用米取扱賃銭ニ付申上書 (天保6)8月 ころり綴 6丁  
高島(右門)↓御算用場
- 九 卯年積御城米御雇船之儀ニ付申渡書 (天保13)10月26日 切続紙  
里見亥三郎↓中山主計
- 一〇 米屋茂助へ延引之渡り米可相渡申渡書 (弘化・嘉永) 3月晦日 切続紙

中山家文書目録

- 一 成田宗左衛門↓中山主計 米屋茂助請取書落手ニ付一札 (弘化・嘉永) 4月朔日 切紙
- 二 (成田)宗左衛門↓(中山)主計 御城米方余荷金之札并前年残金 3月11日 切続紙  
支払願書状  
舟宿五軒惣代綿屋少兵衛・木屋市兵衛代太兵衛↓中山主計
- 三 御城米御積船御用之義ニ付書状 5月27日 切続紙  
辻次郎右衛門↓中山主計
- 四 奥羽辺より之米買入紛糾一件詮 辛酉9月 袋綴 4丁  
義願書
- 五 越後出雲崎古米新米売払断書 酉10月 続紙
- 六 唐仁屋甚左衛門 御用米之節船雇方并船宿御用勤之義ニ付願状(前後欠) 不 切続紙
- 七 地米堂形米払算用覚 不 ころり綴 2丁

- 一 中納言様松前へ米被遣ニ付舟之義申渡書 (登米・廻米) 未6月13日 折紙 2
- 二 (奥村)因幡(易英)・(横山)大膳(康文)↓宮腰浦主計・三右衛門 犬千代様御米大坂為登之旨申達書写 寅3月晦日 折紙 2
- 三 御算用場↓宮腰主計 小松様犬千代様大坂為登米ニ付申達状 寅3月晦日 折紙
- 四 御算用場↓宮腰主計・三右衛門 小松様大坂登米舟之義ニ付申渡書 寅3月晦日 折紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

三 大坂登米やとい舟余荷錢之義ニ (寛文) 2月20日 折紙

付申上書  
辻平丞↓金森長右(衛門)・小川八郎右(衛門)

三 犬千代様御分為御登米御雇舟運 (寛文) 2月20日 折紙  
質等ニ付書状

三 越中より御城米大坂積登之御国 (寛文)卯2月22日 折紙  
舟余荷割符之義申触

辻平丞・伊藤内膳↓近藤新左(衛門)・金森長右(衛門)  
。中山主計・中山三右衛門↓賀州大野村喜兵衛・他大崎村・木津村・高松村肝煎中

三 大坂御登米才許之義等御尋ニ付 天和2年10月 一紙  
切紙 2

与兵衛・与三右衛門・岡兵衛・助左衛門・八右衛門・庄右衛門  
↓村田弥三郎

三 大坂御登り米裁許方御尋ニ付申 天和2年11月3日 続紙  
上書

宮腰舟持与兵衛・同与三右衛門・同甚兵衛・同助左衛門・同八右衛門・同庄右衛門↓村田弥三郎

三 天和四年(元禄三年)廻米覚 (天和4)元禄3) 一紙

三 貞享元年大坂為登米船積并出船 貞享2年正月12日 続紙  
場所日時書上

宮腰庄右衛門・八右衛門・三右衛門・与兵衛・甚丞・与三右衛門↓村田弥三郎

三 越前屋喜右衛門裁許大坂御登米 貞享2年正月 続紙  
之義ニ付書上

宮腰舟持八右衛門・同三右衛門・同武兵衛・同与兵衛・同庄右衛門・同六兵衛・同甚兵衛・同源左衛門・同与三右衛門・同甚

三 大坂為御登米才許之義船頭共願 (貞享・元禄)12月 切紙  
ニ付申達書

高島彦大夫↓中山甚佑・中山清右衛門

三 舟持共大坂為登米之義難義仕ニ 元禄2年12月16日 切続紙  
付口上書

宮腰中山甚丞・中山清左衛門↓高島長大夫

三 大坂御登米才許人不勝手ニ付御 元禄2年 続紙  
支配替願書

宮腰甚兵衛他十三名↓高島彦大夫

三 大坂為登米積請所并間入先後ニ 元禄3年正月13日 続紙  
付越前屋喜右衛門取斗方不審ニ付口上書

宮腰藤屋甚兵衛↓中山甚之佑・中山清右衛門

三 大坂為御登米積舟越前屋喜右衛 元禄3年正月16日 続紙  
門裁許ニ付諸船頭難義歎書

中山甚之丞・中山清右衛門↓高山彦大夫

三 舟才許之義先規之通御奉行御支 元禄3年10月28日 続紙  
配可被為仰付船頭方迷惑之義書  
上願書(前欠)

宮こし中山甚丞・中山清右衛門↓高島彦大夫

三 松平加賀守様大坂為御登米積船 元禄5年7月 続紙  
本吉ニ而難船ニ付口上書

豊後鶴崎船頭作兵衛↓町肝煎権兵衛・同七左衛門・同五郎兵衛  
・同四郎兵衛・同武兵衛

三 津田玄蕃様等魚津より積廻米能 宝永4年7月20日 一紙  
州赤住浦ニテ難舟致ニ付殘米宮腰入津願

宮腰宿長沖屋宗兵衛↓馬淵友進

三 津幡森下両蔵詰米宮腰迄瀉下シ (明和8)12月14日 切統紙  
請負申渡状  
。御算用場↓金岩嘉太夫、。金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中山弥八郎・鶴屋庄兵衛

三 宮腰浦より新米大坂表へ登米之 (安永2)正月 切紙  
義取捌方申渡書

四 大坂為御登米履船縮方主付并勤 (安永2)2月朔日 切統紙  
方申付状  
前田平馬↓町年寄中山弥八郎・舟肝煎平左衛門

四 宮腰より大坂表為登米ニ付取捌 (安永2)2月朔日 切統紙  
方申渡書

四 前田平馬↓町年寄中山弥八郎・同鶴屋庄兵衛  
御廻米町会所御引米等附届方小 天保8年2月 切紙  
舟使用願書

四 馬借次兵衛他十八人・馬持人太郎兵衛・善六↓宮腰町御奉行所  
大坂為御登米御用之義寛書 天保10年8月8日 袋綴 2丁  
御城米送之義ニ付堀田掃部等書 3月晦日 折紙

四 堀田掃部・佐々伊左衛門↓中山主計  
堀田掃部等書状 (上部欠) 閏正月12日 折紙  
堀田掃部・佐々伊左衛門↓宮腰主計

四 越中筋御米為御登之義ニ付小竹 2月 袋綴 7丁  
屋善兵衛具申一件留

四 宮腰浦着船之能越米犀川浅野川 午8月 切紙  
筋船運ニ而金沢へ附揚方之義願書

四 当年大坂御廻米等無御座当所船 不  
持共難儀仕ニ付前々之振合を以  
御米御積渡方被仰渡度願書

四 為御登米被仰渡ニ付船之義等ニ 6月26日 切統紙  
付書状 (後欠・紙背文書)  
酒屋六左衛門↓紙屋善右衛門他

四 能越より之廻米舟宿申付之義錢 不  
屋与三八不容易之願書指出ニ付  
詮義申渡書

四 能州塵浜渡御用米相廻之義ニ付 不  
書状 (後欠)

四 大坂為御登米兵庫浦ニテ荷上中 不  
不足仕一件等申上書

四 為大坂登米出船判形之義申渡書 不 (封書貞享2年) 一紙  
(後欠)  
窪岡右衛門↓甚丞

四 大坂為登米才許之義等ニ付加州 不  
能州舟持へ公事場奉行口上之覚  
↓舟持共

四 大坂為御登米裁許之義御奉行様 不  
御支配ニ被為成様願書

四 (入出津)  
近年作毛不宜領国米不足ニ付他 (宝曆8)2月18日 統紙  
国米津入願

四 宮腰町人中山弥八郎↓佐藤半五右衛門  
近年作毛不宜領国米不足ニ付他 (宝曆8) 一紙  
国米津入願

四 近年作毛不宜領国米不足ニ付 寅2月28日 統紙  
他国米津入願  
宮腰町人中山弥八郎↓佐藤半五右衛門

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

亮 宮腰御藏米津出願書 卯8月10日 続紙 2

唐仁屋弥兵衛↓宮腰町御奉行所 (奥書) 町年寄中山弥八郎・同庄兵衛 (裏書) 佐藤半五右衛門

〇 中山家格別之趣有之家柄ニ付相 (明和6)12月 続紙

続之為津出米之内半分米主被仰渡様願書

中山弥八郎↓佐藤半五右衛門

〇 宮腰御藏御抔米他国津出許可願 明和8年8月 続紙

輪嶋久保屋喜兵衛↓高沢平次右衛門・篠嶋庄兵衛 (奥書) 御用番高沢平次右衛門↓御算用場

〇 中山家相続之為他国津出米毎年 (天明8)2月 続紙 2

千石宛可被仰付願書

宮腰町年寄中山主計↓高島五郎兵衛

〇 米船送手形 寛政6年4月3日 一紙

放生津潤改人伝四郎・同仁左衛門↓宮腰中山主計

〇 米船送手形 寛政6年4月5日 一紙

放生津潤改人伝四郎・同仁左衛門↓宮腰中山主計

〇 錢屋五兵衛義所口御藏米他国積 文政元年6月2日 続紙

廻商売仕度願ニ付津出御印願

米中買竹橋屋作兵衛↓香林坊兵助・宮竹屋純藏・本吉屋宗右衛門・笠間屋六郎右衛門 (奥書) 香林坊兵助他同上↓御算用場

〇 宮腰湊屋佐太郎義堂形御藏米他 天保5年9月16日 続紙

国積廻度願ニ付津出御印願

米中買能登屋久兵衛↓香林坊兵助・龜田純藏・多々良宗右衛門・笠間屋六郎右衛門・香林坊兵助他同上↓御算用場

〇 堂形御藏米他国積廻仕度ニ付津 天保5年9月26日 続紙

出御印願

。米中買能登屋久兵衛↓香林坊兵助・多々良宗右衛門・笠間屋六郎右衛門。香林坊兵助・多々良宗右衛門・笠間屋六郎右衛門↓御算用場

〇 宮腰入之廻り米減少ニ付他国米 酉2月 続紙

津入許可願

唐仁屋六郎兵衛・唐仁屋甚左衛門・長沖屋宗兵衛・安宅屋弥三右衛門・藏屋又四郎・唐仁屋孫兵衛↓宮腰町御奉行所

(奥書) 肝煎平左衛門・同小右衛門・同武右衛門・町年寄中山弥八郎・庄兵衛

〇 能登越中廻米近年宮腰入減少ニ 酉2月 続紙

付他国米津入願

唐仁屋六郎兵衛・唐仁屋甚左衛門・長沖屋宗兵衛・安宅屋弥三右衛門・藏屋又四郎・唐仁屋孫兵衛↓宮腰町御奉行所

(奥書) 肝煎平左衛門・同小右衛門・同武右衛門・町年寄中山弥八郎・同庄兵衛

〇 魚津米津入分書上 (紙背文書) 子4月 一紙

長沖屋宗兵衛↓宮腰町御奉行所

〇 貯用米之内より他国出津之義等 午7月2日 切紙

聞届願書

中山主計↓御奉行所

七 塩

一 寛永拾四年分能州より宮腰着塩 寛永15年8月18日 豎紙 3

請払之事

前田利常↓宮腰主計・三右衛門

二 塩盗人捕之義并取締ニ付申渡書 (寛永17)9月13日 豎紙

安房守・山城寺↓宮腰主計・三右衛門

三 塩盗人御小人小頭等請取ニ罷出 (寛永17)9月15日 折紙

ニ付申渡書

北川久兵衛↓宮腰肝煎主計・三右衛門

四 森田三郎左衛門忬喜右衛門義御 寛永20年3月5日 続紙

塩御払下代として被召置ニ付血判天爵起請文

森田三郎左衛門・森田三弥・同小平太↓中山主計・甚丞

五 寛永拾七年分於宮腰割符之塩請 寛永20年8月8日 続紙

弘算用之事

前田利次↓宮腰主計・三右衛門

六 寛永拾六年より同十八年迄宮腰 寛永21年6月21日 堅紙

着塩算用皆済状

前田利常↓宮腰主計・三右衛門

七 能州塩奥郡寛永拾七年宮腰為登 寛永21年7月18日 堅紙

候塩割符当月分之事

前田利治↓宮腰主計・三右衛門

八 中納言様江筑前様より御返弁之 辰11月28日 折紙

新塩御払直段之義ニ付書状

越前屋孫兵衛・らうそくや彦四郎・かみや八左衛門・かねや九郎兵衛・平野や半助↓宮腰主計・三右衛門

九 能州塩主計蔵入之義ニ付稻葉左 (元和・寛永) 折紙

近書状

稻葉左近↓主計・甚丞・三右衛門

一〇 能州塩他国売停止之申渡書 子6月4日 折紙

駒井主水↓宮腰主計・三右衛門・町代藤兵衛・与三右衛門・八左衛門・浜町与右衛門・武兵衛

二 他国塩入津指留申付状 6月18日 折紙

御算用場↓駒井主水、駒井主水↓宮腰主計・三右衛門・町

代藤兵衛・与三右衛門・八左衛門・浜町与右衛門・武兵衛

三 土方領分塩之義申渡ニ付召状 6月20日 切紙

駒井主水↓宮腰甚丞・同肝煎八左衛門

三 宮腰入塩之義他国塩并能州土方 万治3年6月20日 切続紙

領塩共入津停止ニ付申渡書

駒主水↓宮こし主計・三右衛門・町代藤兵衛・与三右衛門・八左衛門・浜町与右衛門・武兵衛

四 宮腰御蔵古塩御払方之義ニ付申 卯10月23日 折紙

状

和田八右衛門・嶋田勘右衛門・小森又兵衛・山下吉兵衛・越前

や孫兵衛・平野や半助・金や九郎兵衛・らうそくや彦四郎・か

みや八左衛門↓宮腰主計・三右衛門

五 中山甚丞御公儀罷出并炭塩請払 宝永3年8月14日 続紙

之義等ニ付申上書

みやのこし甚丞↓御公儀様

六 加州越中所々御廻塩并商人荷物 享保2年12月9日 袋綴

宮腰ニ而懸り物書上申覚

鳳至郡輪嶋村・輪嶋海士・輪嶋村・名舟村・里村・小田屋村舟

持肝煎与合頭共五拾五人連判↓山森多宮・沢田重郎兵衛

(奥書) 十村稻舟村新助

七 ①御塩御用留帳 宝曆14年正月吉日 袋綴 14丁

②馬駅積送之節御蔵ニ而御塩并 酉6月 切続紙

御大豆等取扱之義申渡書

③御塩小売人代銀請合縮り方之 不 一紙

事

④宮腰御塩問屋より御塩小売人 不 一紙

相立等之義ニ付申上書

御蔵請負方一卷ニ付御塩才許衆 (明和) 11月15日 切紙

等と示談之旨申達書

金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中

八 天明六年出来同年廻宮腰御蔵御 天明7年3月10日 袋綴 2丁

番号 標 題 年 代 形態 墨付点数

詰塩之内未正月買請代銀指上申

帳扣

宮腰御塩問屋中山主計・同錢屋市郎右衛門↓小泉万兵衛

三 宮腰御蔵塩払代銀取立上納書并 天明7年3月 一紙

受取書

・小泉万之助↓山辺左盛・河地右兵衛、山辺左盛・河地右兵衛

衛↓小泉万之助

二 ①西国塩買入一件等写 天保4年 袋綴 10丁

②西国塩俵入書 (天保4) 切紙

③西国塩積舟俵数覚 9月9日 切紙

④錢屋喜太郎義思召を以出牢申 安政4年12月 切統紙

付状

富田織人・本多求馬・石野右近・品川左門↓浅香嘉門・小幡主

税。浅香嘉門・小幡主税↓宮腰町年寄中

三 御塩売捌人交名書上申覚 文久元年8月 袋綴 3丁

肝煎次右衛門・同平右衛門・同長左衛門↓宮腰町御奉行所

(奥書) 町年寄中山主計

三 御塩運方指支ニ付願書 文久2年10月16日 袋綴 8丁

御塩売捌人太右衛門・同室屋伊右衛門・同森下屋甚七郎↓町御奉行所

奉行所

二 御塩運賃錢増願書 文久3年5月 りこよ 3丁

馬借次郎助等二十一人↓宮腰町御奉行所

三 堂形御蔵所附越塩附揚方ニ付願書 丑4月 切統紙

書

宮腰伝馬肝煎

二 浦方御塩御縮方之義請書 己8月25日 一紙

町年寄加役浦改中山主計・孫兵衛↓村松藤左衛門

三 御塩駄賃錢書上申帳 酉8月 袋綴 7丁

宮腰馬借越前屋次右衛門・同道泉屋甚兵衛・同越前屋安吉・同寺中屋次郎助・同達摩屋重兵衛・同越前屋安左衛門・同同安兵衛・同同安太郎・同寺中屋与兵衛・同同与吉・同長沖屋市兵衛・同達摩屋重右衛門・同中屋作兵衛・同寺中屋八郎右衛門・同釜村屋伝蔵・同刺刀屋市左衛門・同同伊助・同同市郎平・同畝田屋次兵衛・同越前屋善兵衛・同倉部屋長次郎・馬指人太左衛門・同九右衛門・同見習他三郎↓宮腰町御奉行所 (奥書) 伝馬肝煎長左衛門・同孫左衛門

六 奥郡塩等売極書 卯9月15日 切紙

千田伊三郎↓中山有吉

元 御収蔵御塩蔵御詰米蔵等請負人 不 切紙

名書

小野木勘七・楽屋長兵衛

七 木 材

一 宮腰川引材木才許一件ニ付口上 元禄2年8月10日 袋綴 7丁

書

二 宮腰より金沢所々江持届申御材 元禄7・14年 袋綴 10丁

木歩付定帳

三 御材木歩付御定 元禄7・14年 袋綴 7丁

御算用場↓高島彦太夫

四 向粟ヶ崎真木はい木商売積舟之 元禄8・9年 切統紙

義ニ付申渡

御算用場↓高島彦太夫

五 宮腰より御材木方へ運搬日用賃 (元禄9) 3月9日 切統紙

銀増願ニ付御算用場返答書并添

状

御算用場↓。高島彦太夫↓中山甚八郎・中山清右衛門・肝煎中

六 金岩嘉太夫在役中宮腰木屋共願 (明和) 2月7日 切紙  
書之義ニ付申達書

七 材木買上御用ニ付見囚人召状 (明和) 11月24日 切続紙  
御作事所↓金岩嘉太夫↓宮腰町年寄中

八 能登物材木船着岸之節并火之元 (天明7) 2月10日 切続紙  
盜賊之義要心心得方申渡書

九 材木売立銀より御田地方引足停 (寛政元) 5月19日 切続紙  
止之申渡并湊屋佐次兵衛問屋商  
野村次郎兵衛↓宮腰町年寄中・横目役中・肝煎中

壳願聞届状  
恒川七兵衛↓宮腰町年寄中

一〇 文化十年大野浦材木船宮腰着并 文化13年8月 袋綴 25丁  
大野浦着且宮腰着之材木大野村  
商人共買入来り申分書上申帳

二 文化十〇十三年粟ヶ崎村材木船 文化13年8月 袋綴 10丁  
宮腰着并大野入津ニ而相廻被申  
上候商人共宮腰より買入申分書  
上申帳  
大野村肝煎五郎左衛門↓洲上村源五郎

三 若狭屋三郎兵衛船杉材木積入着 文化13年 袋綴 194丁  
岸一件  
粟ヶ崎村肝煎安兵衛↓洲上村源五郎

三 文化十年大野浦材木船宮腰着并大野浦着且宮腰着之材木大野村商人  
共買入来り申分書上申帳 文化十三年大野村

三 御作事所御用御材木高書上申帳 天保12年9月 長帳 3丁  
御材木肝煎宗兵衛↓

三 錢屋喜太郎義材木問屋指除申渡 (嘉永4) 4月22日 切紙

二 錢屋喜太郎義材木問屋指除ニ付 (嘉永4) 5月15日 切続紙  
客船宿指図之義無之旨申渡書  
奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

二 錢屋喜太郎南部等より材木取引 亥12月 切続紙  
之義ニ付詮義申渡書  
奉行↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

二 御勝手方年寄衆より材木入津方 子12月 切続紙  
之義被仰渡ニ付問屋錢屋喜太郎  
等之義申上書  
宮腰町奉行↓

二 ①木材外より指留之処買受配当 (嘉永5) 5月 袋綴 10丁  
相極之義理不尽ニ付御糺願等  
留  
産物方御用田中屋弥三郎↓産物方御役所

二 ②田中屋七兵衛積回材木買上之 (嘉永) 5月21日 切紙 2  
義ニ付応返状  
菊池常三↓坂井忠左衛門

二 ③田中屋七兵衛船南部材木積請 (嘉永) 5月20日 切紙  
入津ニ付産物方役所買上指  
支様申渡書  
御算用場↓菊池常三

二 田中屋七兵衛船南部より積上材 (嘉永5) 6月 袋綴 10丁  
木買請配当方一件留

二 田中屋七兵衛船南部より積廻材 (嘉永5) 9月26日 切紙 2丁  
木内証ニ而配当方相極之義詮義  
之上可被申聞申渡書  
御算用場↓菊池常三

二 南部材木御買上之儀ニ付申上書 嘉永5年11月 切紙 3丁  
肝煎宇兵衛↓宮腰町御奉行所

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
三	南部等材木着船無数直段引立ニ 付積廻之義申渡書 (坂井)三郎兵衛・(長尾)八内↓宮腰町年寄中	(元治元)正月4日	切続紙	
三	三百石積以上船々材木買積申達 之義不履行仕候得共過怠金用捨 願 輪島屋与三兵衛↓御奉行所(奥書)肝煎平左衛門	元治元年12月	続紙	
三	宮腰入津材木仕法書上申帳	元治2年2月	袋綴	8丁
三	御材木御定書	亥ノ甲戌	袋綴	2
三	材木御用向留	不	袋綴	10丁
三	材木株商売仕法書 材木屋孫三郎・辻屋義右衛門・金屋彦兵衛	酉2月	袋綴	5丁
三	御材木浜出し手間覚	不	切紙	
三	材木類高直ニ付直下之義申渡書	子5月24日	切続紙	
三	宮腰浦浜揚之旨材木取扱方願書 肝煎宗兵衛・同武右衛門・同市郎右衛門・横目肝煎与三八・同 平左衛門↓町御奉行所	午11月	こよ り綴	5丁
三	御城方御普請御用材木代切手書 上之単位極指図書	不	切紙	
三	平木屋長次郎積入材木一件ニ付 荷主直売不相成旨申達書(後欠)	5月24日	切続紙	
三	田中屋七兵衛積上り南部材木配 当方ニ付申上書	不	こよ り綴	
<b>五〇 金石運輸会社(近代)</b>				
一	金石運輸会社運送簿	(明治)	罫紙綴	3丁
二	金石運輸会社会計簿	不	罫紙綴	9丁
三	金石運輸会社給金簿	不	罫紙綴	15丁
四	操替金渡書 内国通運会所津幡駅継立所↓金石運輸	明治11年3月22日	切紙	
五	手形預返証 運輸会社↓阿部幸	明治13年5月19日	切紙	
六	預ケ金受取書 岡田太四郎↓運輸社室井宗一郎	明治13年5月24日	切紙	
七	酒代金受取書 湊佐太郎↓運輸会社	(明治) 13年11月7日	切紙	
八	木附子荷物塩水かかりニ付弁金 受取書 磯部宗右衛門↓湊谷佐太郎	明治14年6月4日	切紙	
九	振為換(替)受取証 金沢菅清会社↓運輸会社	明治14年7月5日	切紙	
一〇	氣船之分弁金受取書 今村次助↓金石運輸会社	(明治) 14年7月14日	切紙	
二	金員受取証 水登次三郎↓湊佐太郎	(明治) 14年10月28日	切紙 (罫紙)	
三	通貨受取書 岡田吉四郎↓運輸会社	明治15年4月13日	切紙	
三	運輸弁金之義ニ付証文一札 大坂西道頓堀西村忠五郎他↓金石港湊佐太郎	明治15年5月17日	切紙	
四	蔵敷料受取書 野崎与三兵衛↓運輸会社	明治15年5月30日	切紙	
五	新瀉行為替金請求書 守岡助三郎↓運輸会社清水保次郎	(明治) 15年6月12日	切紙	



番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

四 運送料指引算用書 4月12日 切続紙

野里与三衛→運輸社中山

五 荷物しらべ方依頼書状 6月24日 切紙

金石運輸会社湊佐太郎→金沢上伝馬町田中重之

六 中勘金受取書 8月6日 切紙

金沢荷主会所海運講→運輸会社

七 金員受取書 8月6日 切紙 2

金沢海運講→運輸社

八 水野様へ渡金受取書 8月19日 切続紙

音田仙治→金石運輸会社

九 金子送付礼并取引之義等ニ付書状 8月22日 切続紙

正□→金石運輸会社

十 明樽代請取書 9月6日 切紙

広瀬→運輸会社

十一 印代請取証 10月11日 切紙

金沢印判所白開堂→運輸会社

十二 手形金渡覚 10月28日 切続紙

金石本町八百物所蛸源→運輸会社

十三 金員請取書 11月5日 切紙 2

野村佐平→運輸会社

十四 船荷物損分受取書 12月7日 切紙

酒屋喜助→金石運送会社

十五 なし等送数量書 12月 切紙

蛸源→運輸会社

十六 繩運送代書 不 切紙

十七 金毘羅丸等積荷運賃算用書 不 切続紙

十八 熊木丸等代金覚 不 切紙

十九 千福丸戻金覚 不 切紙

二十 金石郵便局(近代) 明治19年3月2日 罫紙綴5丁

一 中山一衛履歷書 中山一衛→金沢郵便電信局長木槻幸吉

二 中山一衛財産調書 中山一衛→金沢郵便電信局長木槻幸吉

三 中山一衛賞罰調書 中山一衛→金沢郵便電信局長木槻幸吉

四 地所所有之義ニ付契約書 中山一衛・保証人小竹道四郎・同清水与三八→本保令儀

五 中山一衛金石郵便電信局長任命 中山一衛 罫紙綴2丁

六 金石郵便電信局明治二十九年度 為替貯金計算書 金沢郵便電信局長木槻幸吉→中山一衛

七 金石郵便電信局為替貯金出納官 明治29年4月16日 一枚 (用紙)

八 金石郵便電信局為替貯金出納官吏幸村淳三→會計検査院長渡辺 更変更ニ付出納簿等検定書

九 金石郵便電信局長中山一衛・金石郵便電信局元為替貯金 検査員金石郵便電信局長中山一衛・

十 金石郵便電信局書類物品引継書 出納官吏幸村淳三

十一 金石郵便局長幸村淳三→金石郵電局長中山一衛 明治29年4月16日 罫紙綴2

十二 元金石郵便局長幸村淳三 明治29年4月16日 罫紙綴2

十三 為替及貯金事務請継書 金石郵便電信局中山一衛・引受人赤土亮・前任幸村淳三・引受人桜井作太郎→通信大臣白根專一

十四 明治29年4月16日 用紙綴2

一〇	金石郵便電信局書類物品引継追加書 元金石局長幸村淳三↓金石郵便電信局長中山一衛	明治29年4月20日	罫紙	四	金石郵便局修繕工用一件	明治39年9月24日	袋綴 (罫紙)	14丁
二	引継書類 郵便課↓金石郵便電信局	明治29年4月24日	罫紙	三	金石郵便局街路板垣設置願綴 中山一衛↓金石警察署	明治39年9月25日	罫紙綴	4丁
三	金石郵便電信局身元保証金ニ関スル各文書及保証人并ニ財産調書 郵便課↓金石郵便電信局	明治31年より	罫紙綴	三	金石郵便局沿革書	明治39年9月	袋綴 (罫紙)	6丁
三	金石通送人延配犯罪等ニ付訓告書等綴 学理課長石倉能利他	明治31~42年	罫紙綴	三	金石郵便局沿革書并送状 高橋濟↓中山金石局長	明治39年	罫紙	2
四	金石金沢間電話架設之義ニ付書状 金石郵便局中山一衛	明治37年1月2日	罫紙	三	金石郵便局落成式々次第	(明治39年)	一紙	
五	電話加入交渉者名簿(錯簡)	不	罫紙綴	三	金石郵便局落成式招待人名簿	(明治39年)	罫紙綴	9丁
六	電話申込者氏名ニ付書状 □↓中山一衛	不	切紙	三	金石郵便局落成式費用書上	(明治39年)	罫紙	
七	電話通話回数料金等書上簿	不	罫紙	三	金石郵便局落成式費用仕切書綴 松葉楼他↓中山	明治39年12月	こよ り綴	5丁
八	電話料等書上	不	切紙	三	名刺(金石郵便局落成式参会者)	不	名刺	16
九	電信料之義ニ付書状 金沢局稲垣↓金石郵便局長	不	切続紙	三	金石郵便局落成式祝辞	明治39年12月9日	一紙	
三〇	松任特設電話架設費総計決算書	不	一枚 (印刷)	三	金石郵便局落成式祝状 通信事務員野崎与吉	明治39年12月	切紙 罫紙	14
三二	為替次金電報請求報告書 局長↓金沢郵便局長宇都宮友枝	明治38年12月18日	罫紙	三	金石郵便局落成式祝状 上金石小学校長小原恒貞他↓中山一衛	明治39年12月	葉書	11
三三	為替貯金未払高電報請求報告書 局長↓	明治39年1月4日	罫紙	三	金石郵便局落成式答辞 松任局長田中与之右衛門他↓中山一衛	明治39年12月9日	一紙	
三三	金石郵便局工用物品購揚帳	明治39年9月24日	袋綴 (罫紙)	三	金石郵便局内線工事見積書并領収書 金石郵便局長中山一衛	明治44年	用紙	2
			4丁	四	電燈一件ニ付書状 金沢電気瓦斯株式会社↓金石郵便局	不	一紙	2

七 産 業——普請・建築 川除・波除仕法

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

七〇 普請・建築

- 一 御蔵修覆請負之義ニ付一札 (明和) 12月24日 切紙
- 仁岸八郎右衛門・木村勝蔵↓中山弥八郎・鶴屋庄兵衛
- 二 往還地盛普請方仕法帳 天保10年正月 袋綴 3丁
- 三 才川浅野川兩橋流失之節舟渡場 嘉永4年9月6日 切続紙
- 所之義ニ付申渡書
- 長大隅守
- 四 宮腰町冬瓜町渡場上ニ橋掛申仕 嘉永6年3月 ころり綴 4丁
- 様書上
- 福久屋仁左衛門・網屋五兵衛・中屋安右衛門↓宮腰町御奉行所
- 五 往還道普請之義ニ付書状 (嘉永) 3月2日 切続紙
- 池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計
- 六 粟生川仮舟橋御用品々書上等留 3月 長帳 4丁
- 御算用場↓児玉孫左衛門
- 七 御休息之間御台子飾書上 5月18日 切続紙
- 八 橋之義ニ付御算用場より之紙面 (嘉永) 6月5日 切続紙
- 渡ニ付御考可被指出書状
- 池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計
- 九 能劬所々御蔵等修覆御用材木積 6月27日 切続紙
- 船入札之義ニ付一札
- 船肝煎吉左衛門↓船肝煎久次郎・弥左衛門
- 二〇 橋渡り初人大工等被下方ニ付申 卯6月 切紙
- 状
- 町年寄庄右衛門↓宮腰町御奉行所
- 二 御絵堂御屋称作料等入用図り書 寅7月26日 切続紙
- 玉鉾屋喜兵衛↓中山

三 御絵堂作料并木材書上綴

寅8月10日 ころり綴 19丁

三 御用ニ付召状

丑8月16日 切紙

作事所↓小竹屋善兵衛

四 舟橋等之紙面之義ニ付一札

9月10日 切続紙

中山主計↓御奉行所

五 犀川浅野川出水橋流出之節仮舟

戌11月 袋綴 4丁

橋御用船之義ニ付申上書

船肝煎平左衛門↓宮腰町御奉行所

六 入用木材書上

不

七 建物指図

不

八 御広間書之写

不

九 書院間取火灯窓図

不

一〇 間取図

不

一一 諸棚榜

不

一二 人足人数書上

不

金沢西島幸兵衛

七二 川除・波除仕法

一 宮腰町砂除方仕法銀運用方申上 寛政12年10月

一紙

書

町会所↓玉井主馬

二 犀川々尻宮腰領川除絵図

文政7年4月

三 犀川為砂除苗松植所等境筋分間

天保14年10月

絵図

四 宮腰往還筋北縁江新川堀場所図

弘化3年2月

28×476 (彩色)

40×83 (彩色)

五 上新浜町等浜高波ニ而崩込場所 (弘化3) 11月12日 切続紙  
御普請方入金取扱仕法願聞届ニ付縮方申渡書

六 武右衛門等上新浜町等御救方并御普請方仕法講主附申付状 (弘化3) 11月21日 切続紙  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中

七 上新浜町等浜高波ニ而崩込場所 (弘化3) 12月2日 切続紙  
御普請方等御手当取扱仕法講聞届ニ付加入方世話申渡書  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

八 波除御普請方并仕法講方役改ニ付申渡書 (弘化3) 12月27日 切続紙  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

九 浅屋与三八等上新浜町等御救方并仕法講役申渡状 (弘化3) 12月27日 切続紙  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

一〇 広瀬屋武兵衛等上新浜町等御救方并御普請方仕法講棟取算用方指省申渡状 (弘化3) 12月27日 切続紙  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

二 波除御普請方并仕法講役人之義達方ニ付申渡書 (弘化3) 12月27日 切続紙  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 七郎右衛門等仕法講棟取算用方申付状 (弘化3) 12月27日 切続紙  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

三 武右衛門等御救方并御普請方仕法講主付指除申渡書 (弘化3) 12月27日 切続紙  
成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中

四 波崩御普請方并御救方当座入用銀願聞届ニ付申渡書 (弘化3) 12月28日 切紙  
成田宗左衛門↓中山主計・中山源四郎

五 宮腰上新浜町波崩ニ付普請銀御貸渡願書 (弘化3) 12月 袋綴 4丁  
波除仕法講主附肝煎武右衛門・同市郎右衛門・同五郎兵衛・同孫左衛門↓宮腰町御奉行所

六 波除仕法講之義ニ付御用番播磨守殿御口達之覚 (弘化4) 7月 切続紙  
成田宗左衛門↓仕法講惣主付与三八・同助役定助・同主付弥平・同主付市郎右衛門・同主付孫左衛門

七 波除御普請方取扱仕法講之義御尋ニ付答書覚 (弘化4) 8月 袋綴 8丁

八 宮腰領犀川尻普請(所)并新浜町砂山等波崩ケ所御普請箇(所)書上申帳等一件綴 (弘化3年・嘉永2年・3・5年) 袋綴 26丁

九 宮腰波除普請之為切取扱仕法講加入之義ニ付申渡書 (弘化4) 9月 切続紙  
本多播磨守↓宮腰町奉行

一〇 宮腰波崩ケ所普請箇 (弘化4) 嘉永2年 28×120 (彩色) 3

一一 江筋一件之義取斗方整ニ付通知 (弘化・嘉永) 3月3日 切続紙  
(成田)宗左衛門↓(中山)主計

一二 波除御普請方上納銀之内借用分上納方願聞届書 (弘化・嘉永) 3月18日 切紙  
池嶋宇兵衛↓中山主計

一三 川方御普請願之義ニ付申渡書 (弘化・嘉永) 9月14日 切続紙 2  
(成田)宗左衛門↓中山主計

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点數
二	横目肝煎与三八等上新浜町御普請方并御救方役付申渡書 成田宗左衛門↓宮腰町年寄中・横目肝煎中	(弘化・嘉永) 12月27日	切統紙	
三	江筋一件達書状之義ニ付頼状 (中山)主計↓(成田)宗左衛門	(弘化・嘉永) 18日	切紙	
六	蔵屋又次郎等波除法銀之内貸付銀返上之義願ニ付申渡書 ↓宮腰町年寄	(嘉永元) 12月28日	切統紙	
七	桑苗人足賃渡書	不	切紙	
八	中山主計願ニ付波除法頼母子除銀之内より貸渡之趣書状并添状 池(嶋)宇兵衛↓(中山)主計	(嘉永2) 8月28日	切統紙 <sup>2</sup>	
九	浜砂引賃銀請取通 肝煎武右衛門・平右衛門↓町年寄中山主計・八右衛門	(嘉永3) 2月23日	折紙	
一〇	桑苗植付申人足賃請取返通 肝煎平右衛門↓町年寄中山主計・八右衛門	(嘉永3) 2月	折紙	
一一	砂引人足賃銀請取通 本町肝煎平左衛門・同平兵衛・同市郎右衛門↓町年寄主計・八右衛門	(嘉永3) 2月	長帳	1丁
一二	砂引入用金書上 長右衛門・喜助・九兵衛・加兵衛	(嘉永3) 3月	切統紙	
一三	冬瓜川砂引人足賃等書上綴	(嘉永3) 3月	こよ り綴	4丁
一四	上新浜町等波崩ニ付普請銀御貸付之義願書 町年寄↓	(嘉永3) 4月	切統紙	
一五	波除之義御勝手方へ御尋仕候義等ニ付書状 池(嶋)宇兵衛↓主計	(嘉永) 6月27日	切統紙	
一六	波崩ヶ所出役見分之義ニ付書状 池嶋宇兵衛↓中山主計	(嘉永) 8月5日	切統紙	
一七	川方御普請入用銀願聞届難旨紙面可相返申渡書 池嶋宇兵衛↓中山主計	(嘉永) 11月2日	切紙	
一八	砂除金請取方等之義ニ付書状 宇兵衛↓主計	(嘉永) 10月晦日	切紙	
一九	宮腰領新川筋等見取図	慶応元年 5月	53×125 (彩色)	
二〇	波除見分之義等申談ニ付一札	10月4日	切統紙	
二一	横目肝煎与三八等上新浜町波除御普請方主附役申付状(後欠)	不	切紙	
二二	波除御普請并御救方仕法講惣主附等書上(後欠)	不	切紙	
二三	冬瓜町浜普請所絵図	不	79×78	2
二四	浜普請場絵図	不	66×86	
二五	宮腰町才川々筋御田地川崩并砂込ニ付川向替之義願書 本町肝煎平左衛門・同小左衛門・同次兵衛・町年寄中山弥八郎・同庄兵衛↓宮腰町御奉行所	辰 4月	こよ り綴	2丁
二六	宮腰領新川筋願場所之図	不	40×55 (彩色)	
二七	新川切替場所図	不	24×36	
二八	新川切替図り図	不	24.5×34	
二九	新河附替図	不	24.5×36	2

宮腰川除普請入用松木可伐渡達 (安永・天明) 9月12日 統紙

木梨助三郎・奥村左太夫↓鶴来村平右衛門・小柳村間兵衛・平江村市郎兵衛・相川村四兵衛・日御子村甚八・吉野村市右衛門

・吉野村長兵衛・森村藤右衛門

五 宮腰川普請ニ付鶴屋庄兵衛覚書 9月 切紙

五 宮腰領川除御普請方願書 9月 切紙

肝煎宗兵衛

五 宮腰川除御普請ヶ所高波ニ而破 不 切紙

損金届 (後欠)

五 二枚橋統新川堀立方御入用決算 不 袋綴 8丁

書上申帳

五 古川步数等覚 不 折紙

### 八学問

### 八学芸

一 大魁四書集註 孟子 (卷六) 寛永20年重開板 半紙本 69丁

朱熹集註・散人如竹書

二 大魁四書集註 孟子 (卷一) 不 半紙本 39丁

三 孟子 (卷二) 不 半紙本 64丁

朱熹註

四 孟子 寛政7年孟秋 小本 132丁

朱熹集註 江戸須原屋茂兵衛・大阪秋田屋市兵衛

五 孝経新註 寛文5年5月 半紙本 84丁

長尾平兵衛刊

六 新版合類節用集 延宝8年仲秋吉日 中本 6

(一、四、八卷)

七 諸儒箋解 古文真宝 (後集卷一、五) 元禄7年仲夏 半紙本 2

堀川通八尾平兵衛刊

八 諸儒註解 古文真宝 (前集上) 不 半紙本 107丁

九 古文後集俚諺鈔 (一、四、二十卷) 宝永4年 中本 15丁

村上又三郎等梓

一〇 魁本大字諸儒箋解 元文5年11月 半紙本 2

古文真宝 (後集上、下)

二 魁本大字諸儒箋解 古文真宝 不 中本 69丁

京都河南四郎右衛門・長村半兵衛

三 日本积名 (上、中、下卷) 元禄庚辰之歳 (13年) 中本 3

具原篤信編 京道上嶋瀬平・長尾平兵衛梓

三 風俗文 (一、十卷) 宝永3年9月 半紙本 9

五老井許六選

四 利家公夜話 (上、下) 宝永4年8月朔日 袋綴 2

享保三年二月馬淵友之進高定 佐那武大宮神庫奉納

五 利家公夜話 (中卷) 不 袋綴 30丁

利家公夜話

六 大和俗訓 (卷之六) 不 横帳 98丁

貝原益軒著

六 末森記 享保3年2月3日 袋綴 25丁

岡本慶雲著 馬淵友之進高定

元 十体千字文絵抄 元文2年5月 中本 63丁

元禄五年九月中村甚丞序 心斎橋筋吉文字屋市兵衛刊

三 駿台雑話 寛延3年序 袋綴 49丁

室鳩巢著

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数	備 考
二	伊達秘録	宝曆6年8月写	袋綴	112丁	宋衷采編 華亭陳繼儒訂 柏原屋清右衛門等版
三	蟲諫 梢館主人	宝曆9年	袋綴	57丁	安田棟隆著 毘耶窟藏 心齋橋通唐物町森本太助等刊
三	唐詩選 江戸小林新兵衛梓	宝曆11年5月	半紙本 150丁		嘉慶8年5月・序 (享和3)
四	唐詩選国字解(一〜七卷) 江戸小林新兵衛梓	寛政3年6月再版	中本 4		吳趨朱翠峯・錫山華安愚同輯
五	晚唐詩選 龜田興撰 出雲寺文次郎他刊	文化丙寅冬(3年)	特小本 182丁		朱翠峯・華安愚同輯 養賢堂校刊
六	新編増補和漢名数(上、下) 貝原篤信著平安書肆版	明和2年猛春再刻	中本 2		乾齊先生校訂 江戸松本平助発行
七	古今和漢 万宝全書(一〜十三卷) 大阪柏原屋清右衛門他梓	明7年正月再版	横本 13		高昶(浅野高藏)著 京都額田正三郎他発行
六	六書通(一〜四卷) 東武小川彦九郎他刊	安永4年5月	半紙本 4		須原屋茂兵衛他刊
元	新刻蒙求国字弁(卷四〜六) 東都宇成之著 皇都書林植村藤右衛門他刊	安永6年11月	中本 3		赤羽郡治郎著 芝万屋忠藏梓
三	字林大全 浪速吉文字屋市兵衛他梓	天明4年11月	小本 306丁		道春・關齊点 江戸須原屋茂兵衛刻
三	鍊公聚分韻略 風月堂他	天明6年夏	特小本 200丁		太宰純著 亀田白亀写
三	改正音訓 礼記(貞) 後藤点 五条橋通高倉東入町平安書肆北村四郎兵衛刊	天明7年正月元旦	半紙本 79丁		孝友堂藏板 西坂衷天錫題
三	礼記(元、亨、利) 後藤点	不	半紙本 3		三松堂
三	掌中熟字箋 平安山蕙坡子輯	寛政2年秋	折本 (木版)		妹背山婦女庭訓(初編上、下) 柳水亭種清作 猛齋芳虎画
三	世範(上、中、下)	寛政5年7月	半紙本 3		紀伝道 中山十四世嗣昌写
三	増補繪鈔 和字功過自知録 全	寛政12年9月再刻	中本 44丁		
三	韻府一隅	嘉慶8年5月・序 (享和3)	折本 (銅版)		
三	韻府一隅(上、下)	文化11年	小本 2		
三	韻府一隅	不	小本 237丁		
三	和漢年契	文化2年2月補正	半紙本 56丁		
三	改撰四書字引大成	文政3年11月補刻	特小本 51丁		
三	増補四書字引大成	安政4年3月序	横本 104丁		
三	新撰五經字引	文政2年仲秋再刻	特小本 65丁		
三	弁道書	文政11年春写	袋綴 18丁		
三	蒙養書(内篇、外篇)	天保甲辰(15年)	半紙本 2		
三	花さくり	安政5年弥生	一枚		
三	妹背山婦女庭訓(初編上、下)	安政6年3月綴	小本 22丁		
三	紀伝道	文久元年初夏	横帳 7丁		

兎	大学	朱熹著 後藤芝山点 師岡校訂	不	(半紙本 22丁)	兎	中山実録(上、中、下)	不	袋綴	39丁
吾	春秋	後藤点	不	(半紙本)	六	源義経遺書	不	統紙	
三	孔門十哲普竹林賢人等覚書		不	(切統紙)	六	源義経↓源右兵衛佐(文治五年閏四月二十八日とあり)	不	横帳	2丁
三	三重韻		不	(横本 170丁)	七	国郡書上	不	切統紙	
三	袖珍略韻(下、表紙欠)		不	(小本 177丁)	七	新板書物之義縮申渡書	6月	切統紙	
五	徳建流水		不	(一枚)	三	太政官日誌出版ニ付披見方触	不	切統紙	
五	増補改正六用集		不	(半紙本 85丁)	三	↓定番頭			
五	日用集		不	(半紙本 50丁)	三	近世名家 小品文鈔(上、中、下)	明治10年8月	(木版)	3
五	日用新書(前後欠)		不	(木版)	三	東京土屋榮編 川田魏江閩	醉番書屋蔵版	(木版)	2
五	本朝名乗字引		不	(特小本 53丁)	三	十八史略校本(一、二)	明治11年序	(木版)	2
五	圭邑名林(天、地、人)		不	(横本)	五	曾失之編 雨森精翁校		(木版)	2
六	増訂掌中以呂波韻大成		不	(折本)	五	新撰紀事文	明治14年5月	(木版)	71丁
六	用心たとへくさ(上・下附)	仙台寂照軒頼宮咲月書	不	(木版)	五	福井翔著 林斧介出版	明治15年9月	(木版)	6
六	三壺聞書(七、十二、十六、十九卷追加)	不二庵芳充写	不	(半紙本 4)	五	標纂十八史略校本(三、七、附録)	明治15年9月	(木版)	6
六	三壺聞書抄		不	(袋綴 13丁)	五	出雲雨森精翁編 福井佐々木慶助出版	明治19年10月27日	一枚	
六	武家昆目集説聞歌前・後	(九十七、九十八卷)	不	(袋綴 2)	六	借用書籍返納書	明治19年10月27日	一枚	
六	北陸三国志(卷六下)	馬淵友之進写	不	(袋綴 13丁)	七	仙石町十八番地前田家用弁方内編輯方出張所横山政和↓中山有吉・中山弥咲・湊佐太郎	明治40年9月25日	(31版)	117丁
六	鳥語虫声之文		不	(切紙)	七	柴田武修著	明治40年9月25日	(31版)	117丁
					七	鳩翁道話	明治40年9月25日	(31版)	117丁
					六	四声音訓 広益会玉篇(上、下)	明治41年11月10日	(15版)	極小本 2
					六	大塚宇三郎編發行	明治44年4月5日	(印刷)	2
					六	校刻日本外史 字典附	大正3年10月5日	(印刷)	2
					六	頼襄子成著 高橋喜八郎著	大正3年10月5日	(印刷)	58丁
					六	帰隠三十韻	永野弥平發行	(印刷)	28丁
					六	金沢佐々木魁心(秀三郎)著	大正6年12月5日	(印刷)	28丁
					六	三州史料 冊外		(印刷)	28丁

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
三	加越能史談会発行 孝経講義	大正15年1月17日 (31版)	書冊 (印刷)	119丁
三	渡辺求著 東京文章堂発行 忠経講義	大正15年2月3日	書冊 (印刷)	143丁
四	渡辺求著 東京文章院発行 加賀藩勤王始末	昭和4年2月20日	書冊 (印刷)	17丁
五	横地永太郎発行兼編輯 志士敬賛会発行 白山嵐	昭和7年10月15日	書冊 (印刷)	79丁
六	副田平治編 石川県図書館協会発行 錢屋五兵衛 銅像建設記念発刊	昭和8年11月15日	書冊 (印刷)	11丁
七	示村龍著 錢屋五兵衛銅像建設期成会 春酒介寿集	昭和9年10月20日	書冊 (印刷)	63丁
八	黒本植著 稼堂先生著書刊行会 雋先生追悼会见積概略等覚	不	不	不
九	号名案	不	不	不
十	憲法書記	不	不	不
十一	異体字対照書	不	不	不
十二	ナヤミノ漢字	不	不	不
十三	大阪カナモジカイ	不	不	不
<b>110 教 育</b>				
一	小学句読(一~六卷) 元、亨、和、貞、寛政7年 陣選句読 浪速大野木市兵衛等板	半紙本4 (木版)	袋綴	25丁
二	御学改御修補被仰付候一卷并明 天保10年7月 倫堂経武館稽古割	袋綴	25丁	
三	詩韻碎金幼学便覧 出羽伊藤麟撰	慶応元年7月再刻	横本 (木版)	69丁
四	明倫堂講釈昇堂書上 学政策一上等上士頭	5年22日	切続紙	
五	手習制詞壁書等	不	袋綴	39丁
六	幾何初学(一~四) 関口開訳 石川県学校用出版会社蔵版	明治7年3月	横本 (木版)	2
七	小学読本(首、一~五卷) 石川県学校用益智館翻刻	明治8年1月	中本 (木版)	6
八	改正増補 洋算階梯(巻下) 石川県広田亥一郎編 深城伊三郎出版 坂田万助刻	明治9年	横本 (木版)	106丁
九	洋算階梯(上、下) 大聖寺広田亥一郎編能登安平出版	明治10年4月	横本 (木版)	2
十	育英文範(一、二) 亀谷行編 光風社発行	明治10年9月	半紙本2 (木版)	
十一	小学書牘文例(一~四) 石川県第一師範学校編 石川県学校用益智館蔵梓	明治12年5月	中本 (木版)	4
十二	改正新撰数学解式 岩田順三著 関口開訳 中吉忠平出版	明治12年11月	横本 (木版)	119丁
十三	THE ELEMENTARY SPELLING-BOOK 東京六合館発兌 東京丸屋善七他翻刻	明治13年7月15日	書冊 (印刷)	85丁
十四	加賀国小学校金子請取書 加賀国小学校→金石散銭	明治14年3月23日	切紙	
十五	寄附金受納書 加賀国小学校→中山弥咲	明治14年3月23日	切紙	
十六	新刻改正 小学(乾、坤) 後藤点 福岡県林斧介翻刻	明治16年4月	中本2 (木版)	

- 七 小学作文全集(十四上) 明治16年7月 書冊(印刷) 35丁
- 六 修身歌百首 文学社編・出版 明治20年如月 袋綴 12丁
- 五 第四中学寮創立費寄附金受領書 落合直文撰 中山かずゐ写 明治29年4月24日 用紙
- 四 中山弥咲加賀中学世話方任命書 大谷派別院内加賀学場↓中山一衛 明治34年10月15日 一紙
- 三 上金石学校新築紀念式案内状 加賀中学↓中山弥咲 明治38年6月26日 切続紙
- 三 小原恒貞先生逸話 上金石字校長小原恒貞↓金石郵便局長中山一衛 明治43年4月 書冊(印刷) 3丁
- 三 家庭修身絵話(和氣清磨) 上金石高等小学同窓彰徳会 不 一枚(木版) 2
- 八〇 宗教
  - 一 貞享〜元文年次帳 貞享〜元文 横帳 5丁
  - 二 本朝四箇度宗論記 觀阿居士集記 藤田八兵衛梓 元禄7年6月吉日 横本(木版) 25丁
  - 三 聖蹟図説 道春著 梅村弥右衛門版 元禄11年孟春 半紙本55丁(木版)
  - 四 六字之名号积書 宝暦元年2月(大正4年写) 切続紙
  - 五 二代目酒屋八右衛門百五拾回忌之書上 源空 明和7年正月23日 一紙
  - 六 今枝内記等日光代拝相济宿坊ニ而食事之有増 酒屋八兵衛 寛政12年4月21日 袋綴 5丁
  - 七 大藏経請ずる之記 享和元年 袋綴 3丁
- 九 越前御講師問答三十二ヶ条之抜書 加州金沢慶覚寺現住遊心界主 文化14年8月 切続紙
- 八 永常上申書 七宝山内永常 文政6年12月 袋綴 16丁
- 七 永平高祖発菩提心普勤坐禅儀 印施主鈴木利兵衛 文政8年8月 折本(木版)
- 六 新鷲上人御内証ノ文等十三世毫誉覚書 中山十三世毫誉 文政10年 横帳 16丁
- 五 後々相続教示王法守護教示 香樹院・浄満寺述 文政11年3月写 袋綴 18丁
- 四 黒津船社神具等修履願書并御聞届方御書立等之写 天保6年 袋綴 7丁
- 三 江戸擬講開華院法話 社中刻 安政3年正月4日 中本(木版) 7丁
- 二 敵如上人御直命書 安政4年 一紙
- 一 本願寺御直命拝聴書并異国船風聞書 安政 ころり綴 21丁
- 七 浄土文類聚鈔往還廻向文類 親鸞著(康元元年十一月二十九日) 万延2年 小本(木版) 40丁
- 六 高祖聖人年譜 中山主計 慶応3年11月 横帳 2丁
- 五 御参詣之旨ニ付書状 5月24日 切紙
- 四 白山社塔御造営ニ付口上之覚 7月3日 一紙
- 三 範宴偈頌 僧都範宴↓宝幢院内学徒中(建仁元年二月十日とあり) 一枚(木版) 2
- 二 六字之名号探言 源空(建暦元年二月とあり) 不 ころり綴(木版) 4丁

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数	著 者	備 考	年 代	形 態
三	蓮如上人道西房へ御物話 (文明三年とあり)	不	袋綴	18丁	寂順	積尊御遺形奉迎事務総理兼日本大菩提会会長 妙法院門跡村田	明治35年2月	袋綴
三	八世上人仰之写 不煩	明治己巳(2年) 初冬4日写	豎紙		湊守三著		明治38・42・44年	書冊 (印刷)
三	本願寺現如宿旨告文 本願寺法嗣現如	明治6年正月30日	こよ り綴	2丁	京都法蔵館			折本 (木版)
三	御安心問答記 本願寺	明治11年11日	袋綴 (罫紙)	13丁	聖人御制禁十七ヶ条		初春20日	切続紙
三	①金沢別院御影堂御柱之部木寄 等留 棟梁伊藤平左衛門 金石本町木場事務所	明治13・14年	袋綴	36丁	実如↓宮腰仰西寺宝門僧都			一紙
三	②本堂并御影堂指図	不	一紙	2	惠景師七ヶ条演説			袋綴
三	③京都本山再建局電報 京都本山再建局↓本願寺キアケバ	(明治12)8月18日	一枚		越前国御講師深冷師御当流安心 問答之事			袋綴
三	再建工事報告(第一号) 両堂再建事務局	明治16年7月	こよ り綴 (印刷)	9丁	葉山集(十二)			袋綴
三	大谷之礎 京都真宗大谷派兼学科樹心会	明治22年4月28日	こよ り綴 (印刷)	8丁	越後国香樹院徳龍法語			切紙
三	法話(21年九号・25年九号) 法話編輯所	明治22・25年	書冊 (印刷)	2	悟道偈			切紙
三	内外宗教対話 小泉了諦述 松田甚左衛門編発行	明治32年3月15日	書冊 (印刷)	10丁	弘法大師教歌			切続紙
三	大聖釈迦牟尼如来 北陸仏教青年会 発行兼編輯人近田太三郎	明治30年4月7日	書冊 (印刷)	8丁	磯長廟内石碑頌			一枚
三	政教小議(第1、2編) 石川舜台著 京都法蔵館発行	明治32年6月・7月	書冊 (印刷)	2	悟道偈之写			切紙
三	日本大菩提会趣意書	明治33年6月11日	一枚 (印刷)		永福寺解帖 董太夫書			袋綴
三					法話記			一紙
三					ホコリタタキ(後欠)			こよ
三					白隠禪師			り綴
三					龍樹菩薩等経文			こよ
三					三部図経(上、下)			り綴
三					「蓮福寺蔵本」の書込有			半紙本2 (木版)

三	美作守様御安心趣書	不		切紙		一枚
四	新門様法義相統之義御直命書	不		切統紙		一枚
五	新門様病状ニ付御進伝衆より之 聽書	不		袋綴	4丁	一枚
六	本院御所崩御之義等ニ付書状 山分孫八郎・今村権七		11月25日	切統紙		一枚
七	代僧を以寺社役所罷出之義等ニ 付書状 祇林僧・中山主計		正月23日	切統紙		一枚
八	新任職御初入御演説有之ニ付御 参坊促状 城端御坊列座・中山主計		7月	切紙		一枚
九	御正忌勤行書	不		一枚		
一〇	御正忌勤行帳	不		横帳	39丁	
一一	金石妙覚寺隱居所月次五日経紙 中山弥咲	不		切紙	5	
一二	御法事執行ニ付参詣方通知 東本願寺金沢末寺役所・中山主計・中山三右衛門		11月	折紙		一枚
一三	葬儀案内状 車屋伊兵衛・中山主計		3月11日	切紙		一枚
一四	法名御尋ニ付返書 岩松・中山		11月31日	葉書		一枚
一五	祖師聖人御杖竹 御旧跡藪竹	不		竹枝		
一六	三ヶ国寺帳 中山主計写	不		袋綴	52丁	
一七	真宗寺院系図	不		袋綴	18丁	
一八	仏事用語異体字正字对照書	不		一紙		
一九	信州善光寺甚妙坊信徒之証	不		一枚 (印刷)	3	
二〇	井波別院太子講員章 中山弥咲	不				一枚
二一	真宗大谷派相統講員之章 慶覚寺門徒中山有吉・中山至良	不				一枚
二二	真宗大谷派亦成講社員之章 中山有吉・中山ヒラ・中山弥咲	不				一枚
二三	法名書					一枚
二四	靈牌安置之証状 信州善光寺々務職甚妙坊・中山一平		明治31年1月27日 大正2年6月8日			一枚
二五	金沢別院立柱式次第 大谷派本願寺金沢別院再建事務局		大正11年4月			一枚
二六	東本願寺パンフレット13 生死を超える道 大谷出版協会		昭和12年10月15日			書冊 (印刷)
二七	一人丸山船形之梅之記 暹露軒写 赤石人丸山別当月照寺		享保18年2月			一枚 (木版)
二八	養老寺略縁起并境内図 濃州本巢郡瀧寿山元正院養老寺		寛延2年孟秋			こよ り綴
二九	大和国長谷寺縁起 長谷寺開山坊本願院八十二世実阿誌 本願院藏		(文化14年11月)			中本 (木版)
三〇	江州馬洲住蓮御房安楽御房御墓 略縁起 竜谷山末流千僧供村易行寺王連誌		文政8年改板			こよ り綴 (木版)
三一	加州金沢卯辰龍国禪寺鎮守宮三 尊稻荷大明神三十三年開張之略		天保15年春			一枚 (木版)
三二	縁記 加州金沢卯辰龍国寺					

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数	備 考	備 考
六	金沢永久寺開帳略縁起 金沢永久寺	天保15年8月	続紙 (木版)		元 山城州葛野郡北山鹿苑寺之略記 不	(木版) 一枚
七	養老両霊水略縁起 老子会 徳永章安著	明治31年12月15日	書冊 (印刷)	5丁	三 山城州葛野郡北山鹿苑禅寺之略記 不 三 天満宮御自作御神像并霊宝略御 伝記 北野天満宮社人中(文亀三年二月二十五日)	こよ り綴 (木版) 一枚
八	越後国中頸城郡春日村愛宕国府 小丸山親鸞聖人御旧跡略縁起	明治45年5月	一枚 (印刷)		三 黒谷紫雲石略縁起 不 紫雲石西雲院	(木版) 一枚
九	東大寺大仏殿由緒概略 奈良東大寺	大正	一枚 (印刷)	3	三 石山寺由来略縁記 不	(木版) 一枚
一〇	善光寺御絵詞伝 善光寺大本願発行	昭和5年3月1日	一枚 (銅版)		三 竹生嶋略縁起并絵図 不	(木版) 一枚
二	筑波山神社小誌 筑波山神社社務所	昭和10年5月30日	書冊 (印刷)	23丁	三 三井寺鐘由来 不 矢守板	(木版) 一枚
三	金沢持明院妙蓮略縁由 金沢木新保六番町持明院	不	一枚 (木版)		六 円光大師足曳御影縁起 不 小倉山二尊院	(木版) 一枚
三	嫁威肉附面略縁記 吉崎連山願慶寺	不	こよ り綴 (木版)	5丁	七 いつくしま由来 不 (伊都岐島神社略記)	こよ り綴 (木版) 一枚
四	五智如来略縁記 越後五智国分寺	不	一枚 (石版)	2	六 播州高砂尾上相生古松之由来 不	(木版) 一枚
五	親鸞聖人真像略縁起 越後国五智天台宗国分寺境内竹ノ内草庵	不	一枚 (石版)		元 高砂社相生松略記 不	(木版) 一枚
六	信濃国善光寺国宝釈迦如来涅槃 尊像御縁起 世尊院寂淳記	不	一枚 (石版)		三 尾上のかね由来 不	(木版) 一枚
七	京都西嵯峨厭離庵縁起 厭離庵	不	一枚 (木版)		三 播宰国生石社石宝殿略記 不	(木版) 一枚
八	本ト大谷略縁記 京都東山崇泰院	不	一枚 (木版)		三 九州筑前国太宰府近隣百姓松右 衛門江天満宮御夢想之記 不	(木版) 一枚

八三 寺社 図

- 一 蓮如上人御廟所図  
金石梅原本龍寺  
不  
(木版) 35×50
- 二 加弐二俣本泉寺境内之図  
指北画  
不  
(木版) 42×31
- 三 能州諸嶽山惣持禅寺図  
東都翻蝶国丸画 田貴彫 能州寺口豊田康忠蔵板  
不  
(木版) 77×87
- 四 越中国立山禅定名所附図別当岩  
吟寺  
不  
(木版) 61×42
- 五 越前永平寺図  
不  
25×33
- 六 曹洞宗大本山永平寺全図  
福井市大正印刷株式会社  
不  
(銅版) 48×64
- 七 越後国国分寺五智境内之図  
東京大照門郎(国分寺十七世) 発行  
明治34・35年  
(銅版) 27×39  
2
- 八 信州善光寺本堂之図  
田中弥右衛門発行  
明治26年11月20日  
(石板) 38×52
- 九 信濃国善光寺略絵図等  
明治33年4月10日  
(石板) 31×39  
(彩色)
- 一〇 信州善光寺名所真景  
前田駒吉編発行  
明治41年4月18日  
(印刷) 40×55
- 一一 善光寺御みやげ善光寺図  
前田駒吉画作発行  
明治43年3月15日  
(石板) 40×54  
(彩色)
- 一二 信州善光寺如来三國伝来記図絵  
前田駒吉編発行  
明治44年6月10日  
(銅版) 40×55
- 一三 善光寺如来像三國伝来之図  
(2枚組)  
不  
(木版) 40×30  
2

中山家文書目録

- 一四 信濃国善光寺略絵図  
長谷屋久左衛門板  
不  
(木版) 42×62
  - 一五 信濃国善光寺略絵図  
板元寺嶋治五右衛門 画工川中島臨江斎 彫工百彩堂  
不  
(木版) 40×59
  - 一六 信濃国善光寺略絵図  
江都英泉画 蔦屋伴五郎板  
不  
(木版) 42×61  
(彩色)
  - 一七 北山鹿苑寺金閣之図  
谷華明  
不  
(木版) 37×49
  - 一八 八坂神社表門前の景  
池田直治郎編・彫 古島竹次郎発行  
明治28年4月15日  
(石板) 26×19  
(彩色)
  - 一九 東大寺塔図絵  
再建発起人三宅正陽  
不  
(木版) 24×17
  - 二〇 濃州養老山養老寺絵図  
不  
(木版) 41×55
  - 二一 高野山惣絵図  
山本平六版  
不  
(木版) 65×35  
4
- 八三 祭礼・詠歌
- 一 法恩講并法栄百五十回忌等之覚  
文政8年10月3日  
切紙
  - 二 方広寺大仏殿御内仏御開帳御宝  
天保3年3月  
こよ  
り綴  
(木版) 12丁
  - 三 宝円寺開山式百五十回忌喜捨記  
広福王府蔵版  
弘化4年8月  
袋綴 7丁
  - 四 宝円寺開山式百五十回忌法会勸  
簿  
宝円寺執事  
弘化4年8月  
袋綴 7丁
  - 五 名越祭礼之義ニ付書状  
宝円寺役者  
成田宗左衛門・中山主計  
(弘化・嘉永)  
6月16日  
切続紙

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
六	名越祭礼ニ付縮方申渡書		6月12日	切紙		
七	金沢西御坊御遷仏縁儀略図		嘉永元年5月23日	51×35 (木版 彩色)		
八	北野天満宮御遠忌万燈図		嘉永5年2月 朔日より	36×48 (木版)		
九	金沢御坊一切経入藏式略図	京都野田藤八等	元治元年4月8日	36×50 (木版)		
一〇	高祖聖人六百回御忌御法会等一件綴		慶応元年 閏5月6日	こよ り綴	5丁	
一一	大祖聖人六百回広大会庭儀図	御寺内書林丁子屋九郎右衛門版	不	こよ り綴 (木版)	12丁	
一二	宮腰秋葉社祭礼日限指替願	寺中神主河崎大和守・河崎幡磨守一寺社御奉行所	8月5日	一紙		
一三	御弘骨奉迎御真影	京都仏骨奉迎写真発行所本部等	明治33年	写真		
一四	金沢本願寺別院法会式略図	近広堂版	明治11年4月	一枚 (木版 彩色)		
一五	西本願寺廿一世法主明如上人御葬式之図	京都絵画館工部作図 京都浅井末吉発行	明治36年2月6日	40×55 (印刷)		
一六	宗祖大師六百五十年御遠忌庭儀式図	井上平一郎著発行	明治44年1月17日	36×78 (印刷)		
一七	宗祖大師六百五十年大遠忌記念 矜哀乃跡	大谷派本願寺伝道部	明治44年4月10日	書冊 (印刷)	10丁	
一八	大谷派本願寺宗祖六百五十御遠忌御式能楽之図		不	41×55 (石版)		
一九	東京浅草青木石印 信州善光寺大本願宝物陳列館出品目録		明治44年5月	20×53 (印刷)		
二〇	伊勢大々御神楽之図	三重県山下宗兵衛著発行	明治44年8月10日	33×49 (石版)		
二一	日光宝物館陳列目録	日光宝物館	大正7年12月20日	書冊 (印刷)	67丁	
二二	永平寺大遠忌参拝図案内書	福井商工会議所	不	一枚 (印刷)		
二三	敵島船管絃祭絵図	宮島船津屋源吉	不	32×45 (木版)		
二四	法恩講料理覚(後欠)		11月3日	切紙		
二五	西京安楽寺天満宮御自作御神像宝物録		不	一枚 (木版)		
二六	撰州須磨寺靈宝附	上野山福祥寺(「寿永三年二月」とあり)	不	一枚 (木版)		
二七	善光寺別当大勧進宝物陳列館出品目録	附境内略図	不	一枚 (印刷)		
二八	仏教美術法宝物展覽会目録	大乗寺外にて	昭和5年5月 1日より	一枚 (印刷)		
二九	伊勢神宮式年遷宮につきて	石川県神職会	不	一枚 (印刷)		
三〇	白隠和尚施行歌		文政5年仲秋 嘉永7年仲夏写	袋綴 (木版)	7丁	
三一	加笏二俣本泉寺境内蓮如上人詠歌石		不	一枚 (木版)		
三二	蓮如上人御詠歌	石川郡四十万村全性寺	不	一紙		

三	蓮如上人御詠歌	不	(一紙版)	石川郡四十万村善性寺
四	法然上人御詠	不	短冊	方已書
五	善光寺如来御歌等	不	長帳	善光寺如来御歌等
六	磐船惠明院殿御筆善光寺如来歌等	不	こよ	磐船惠明院殿御筆善光寺如来歌等
七	西行法師讚岐院御廟ニテノ歌	不	折紙	西行法師讚岐院御廟ニテノ歌
八	いろは和讃	不	折紙	いろは和讃
九	開山尊像狂歌贅写	不	切紙	開山尊像狂歌贅写
一〇	三時業落草因果経和讃	不	小本	撰陽具北道郷施印
一一	三時業落草因果経和讃	不	(木版)	撰陽具北道郷施印
一二	信仰賛歌	不	切紙	撰陽具北道郷施印
一三	詩歌草稿	不	切紙	撰陽具北道郷施印
一四	金			
一	上京之節金上納ニ付御印書	嘉永5年	折紙	川那部図書・横田主水↓中山主計
二	上京之節金上納ニ付御印状	安政2年11月	折紙	横田主水他↓中山主計
三	上京之節志金上納ニ付御印書	安政5年3月19日	折紙	川那部図書・下間大蔵卿↓中山主計
四	祠堂志受納書	慶応4年6月10日	一紙	蓮福寺↓中山而後
五	祠堂銀受納書	明治2年4月	切紙	蓮福寺↓中山而後
六	志金上納披露状	明治14年11月23日	切紙	蓮福寺↓中山而後
七	寄附金領収書	明治15年6月14日	用紙	金沢別院志納方↓中山弥作
八	瓦手伝志上納披露状	明治15年12月5日	切紙	真宗大谷派加賀教校↓中山一衛
九	本堂再建志受納書	(明治)17年3月	切紙	金沢別院志納方↓中山一衛
一〇	再建志金受納書	明治18年3月25日	切紙	端泉寺志納場↓中山弥咲
一一	御経志金受納書	明治20年4月14日	切紙	本山再建志納場↓中山一衛
一二	大師堂上棟志上納受納書	明治20年6月1日	切紙	本山再建志納場↓中山一衛
一三	相統講金上納ニ付五等賞授与状	明治21年3月17日	一紙	再建志納場↓中山弥咲
一四	御遷仏御遷座志金受納書	明治21年4月9日	切紙	大谷派本山寺務所↓中山弥咲
一五	相統講金上納ニ付五等賞授与状	明治21年7月5日	一紙	再建志納場↓中山一衛
一六	相統講金上納ニ付五等賞授与状	明治21年7月5日	一紙	大谷派本山寺務所↓中山一衛
一七	大師堂上棟志金受納書	明治22年6月21日	切紙	大谷派本山寺務所↓中山有吉
一八	大師堂上棟志金受納書	明治22年6月21日	切紙	本山再建志納場↓中山有吉母
一九	兩門様御見舞金受納書	明治22年12月5日	切紙	本山再建志納場↓中山有吉
二〇	柱立志金受納書	明治23年5月19日	切紙	本山再建志納場↓中山有吉

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
二	再建志金受納書 本山再建志納場→中山弥咲	明治23~25年	切紙	8
三	再建志上納受領書 本山再建志納場→中山有吉	明治24~26年	切紙	9
三	善光寺法然堂再建資寄附領収書 信州善光寺正信坊執事→中山有吉	明治25年4月11日	切紙	
四	上納金仮受納書 金沢相統講事務取扱所→中山弥咲	明治25年6月12日	切紙	
三	御法会志金上納披露状 金沢別院志納方→中山弥咲	明治25年6月21日	切紙	
六	金上納ニ付五環紋黒色肩衣等授 与状 本山寺務所→中山有吉	明治27年2月8日	切紙	
三	御香典上納受納書 本山志納場→中山有吉母	明治27年3月21日	切紙	
六	御香典受納書 本山志納場→中山弥咲	明治27年3月21日	切紙	
元	寄附金受納書 信州善光寺正信坊→中山	明治27年4月12日	切紙	
三	志金受納書 本山志納場→中山一衛	明治29年9月16日	切紙	
三	惠燈大師四百回忌御法会御香典 寄附帳(第一号) 御本山所持講中	明治31年4月	長帳	9丁
三	新御法主殿御下向ニ付為伺御機 嫌御冥加志帳 上金石町同行中	明治31年9月	長帳	4丁
三	上納金披露状 本分会計課→中山弥咲	明治31年11月30日	切紙	
三	新門様へ金上納披露状 本分会計局→中山一衛	明治32年2月14日	切紙	
三	新門様へ上納金仮受納書 大谷派金沢別院本山志納方→中山弥咲	明治32・37年	切紙	2
三	本山所持節尽力ニ付念珠遣状 寺務所→中山弥咲	明治34年1月23日	切紙	
三	新門様へ之上納金披露状 本分会計部→中山弥咲	明治35年2月27日	切紙	
三	上納金披露状 本分会計部→中山弥咲	明治35年2月27日	切紙	
元	上納金披露状 本分会計部→中山弥咲	明治35年8月12日	切紙	
三	上納金披露状 本分会計部→中山弥咲	明治35年11月22日	切紙	
四	当門様へ上納金仮受納書 本谷派金沢別院本山志納方→中山弥咲	明治36年2月7日	切紙	
三	大法主殿香資金預書 本派金沢別院志納所→中山弥咲	明治36年2月22日	切紙	
三	新法主台下へ之上納金披露状 本分会計部→中山弥咲	明治36年3月24日	切紙	
三	上納金披露状 本分会計部→中山弥咲	明治36年3月24日	切紙	
三	前往上人御香儀金上納受納書 本山受納所→中山弥咲	明治36年7月13日	切紙	
三	大門様へ上納金受納所 本谷派金沢別院本山志納方→中山弥咲	明治37年2月2日	切紙	

四	上納金披露状	本山出納部→中山一衛	明治37年3月1日	切紙	四	御香典金上納ニ付御印書	下間治部卿・下間式部卿→中山而後・主計	丑12月3日	折紙
四	金拾円寄附ニ付八等紀功章等許与状	本山寺務所→中山一衛	明治37年3月1日	切紙	三	前任様御法事志金受納書	本山志納場→中山弥咲	巳4月2日	切紙
四	本山所持尽力ニ付白檀遣状	相統講事務局→中山弥咲遺族	明治37年4月10日	切紙	三	兩御法主様へ上納金に付披露状	本山度支課→中山弥咲	巳12月3日	切紙
五	当門様へ上納金披露状	本山出納部→中山弥咲	明治37年4月20日	切紙	三	兩御法主様御見舞金受納書	本山志納場→中山弥咲	未9月4日	切紙
五	新門様へ上納金披露状	本山出納部→中山弥咲	明治37年4月20日	切紙	三	柱立志金上納受納書	本山再建納場→中山弥咲	申2月6日	切紙
五	御供米料奉納領収証	信州善光寺甚妙坊→中山かすへ	大正2年6月9日	切紙	三	再建志金上納受納書	再建志納場→中山弥咲	申2月16日	切紙
五	靈牌安置之証状并納骨堂建設費寄附金領収書	信州善光寺々務職→中山うめ	昭和7年6月19日	一枚 (木版)	三	再建志金上納受納書	再建志納場→中山弥咲	申4月17日	切紙
五	志金上納御印状等綴	宇野相馬等→中山	不	袋綴	三	惠燈大師謚号志受納書	本山志納場→中山弥咲	申4月17日	切紙
五	拜礼志受納書	本山鍵役補→加賀木揚場同行	4月17日	切紙	三	御法主様へ志上上納御印書	→中山弥咲	申4月19日	切紙
五	御斎料受納書	御坊役所→中山主計	丑5月12日	切紙	三	御法嗣様へ上納金披露状	本山度支課→中山弥咲	申4月21日	切紙
五	収骨志受納書	本山大谷→中山主計	12月5日	切紙	三	志金上納ニ付礼書	本山度支課→加州金石町中山弥作	申4月21日	切紙
五	御門跡様へ呼節同志金上納ニ付御印書	→中山而後	午9月2日	切紙	三	御派出志受納書	本山志納場→中山弥咲	戌7月13日	切紙
五	御類焼御伺金上納ニ付御印書	栗津大進・下間宮内卿→中山而後・主計	9月21日	折紙	三	御派出志上納披露状	本山會計部→中山有吉	子12月24日	切紙
					三	柱立志金上納受納書	本山再建納場→中山有吉	申4月17日	切紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

四 御法会御冥加志受納書 申5月 切紙

御坊役所→中山一衛

五 御派出受納書 子12月24日 切紙

本山志納場→中山一衛

八五 佐那武明神社

一 前田利家官腰村佐那武明神社田 天正14年正月22日 折紙 3

地寄進状写

利家→佐那武明神社主

二 佐那武神社宛利家様御書之写 慶長9年8月6日 一紙 2

前田利家→

三 前田利常官腰村佐那武明神社領 寛永15年11月11日 一紙

安堵状写

利常→佐那武明神兩神主

四 佐那武大官略縁起 享保11年5月 5丁

神主河崎和泉守

五 寺中神主中授領等之節町中寄附 文化2年 袋綴 12丁

銀割符帳扣、河崎越後官位昇進 天保15年 長帳 (合綴)

并護摩伝授仕候勸化帳

中山主計、河崎越後

六 河崎相模守官位昇進勸化之為御 弘化2年正月 一紙

役所銀借用証文

河崎相模守→町年寄衆御役所

七 河崎相模守官位昇進勸化之為撫 弘化3年正月 一紙

育御仕法銀借用証文

河崎相模守→町年寄衆御役所

八 水器御渡口上願 5月6日 切紙

兩神主→主計

九 在京留守中御世話方礼并官位入 5月18日 切統紙

用銀等之義ニ付書状

河崎越後→中(山)主計

一〇 御所参内之義遲滞ニ付祭礼方取 5月23日 切統紙

斗願書状

河崎越後→中山主計

一一 大和守証文等遣方頼書状 6月1日 切統紙

寺中→三本松

一二 河崎相模守官位昇進等ニ付上京 (弘化4) 7月・12月 切統紙

入用銀之義中山主計役用として

借用方返上方願并承届書

。中山主計→成田宗左衛門、成田宗左衛門→町年寄・中山主計

一三 寺中佐那武明神祭礼能興行日指 (嘉永) 9月22日 折紙

替願ニ付聞届状

富田治部左衛門・不破彦三→寺中神社和泉・出羽

一四 寺中社領知之内河崎出羽守收納 戊戌2月 切統紙

分取願申渡書

三田村内匠・横山又五郎・中川八郎右衛門→寺中神主河崎撰津守

一五 寺中神主御一伝之義治定之趣ニ 3月5日 切統紙

付書状

ナカ松兵衛→源左衛門

一六 寺中一件ニ付書状 4月26日 切統紙

弁作次郎→源左衛門

一七 寺中大官護摩道具并神具書上 不 切統紙 2

一八 延喜式内大野湊神社千二百年祭 明治34年7月23日 一紙 40×55 (石版) 彩色

行列之図

元 大野湊神社殿造管記念誌并行 昭和10年  
列書奉納余興番組式日程記念メ  
ダル等

大野湊神社

二 大野湊神社本殿修築拜殿改築工 不  
事報告書寄附者名簿収支決算報  
告書

書冊 (印刷) 24丁

六六 天徳院

一 天徳院勸化僧宮腰出向之義ニ付 (天保10)8月  
申達

篠原織部他一名

こよ 3丁

二 天徳院開山式百回忌百日結制諸 (天保10)8月  
法式并勸化ニ付申渡書

奉行一宮腰町年寄中・横目肝煎中

切続紙

三 味噌蔵丁組等天徳院勸化銀差出 (天保11)4月  
覚

こよ 6丁

四 天徳院開山式百回忌ニ付勸化御 (天保11)8月24日  
寄附頼書

天徳院役寮一中山主計

切続紙

五 天徳院開山式百回忌百日結制勸 天保11年  
化簿

こよ 2丁

金沢天徳院役寮一在町御役人衆中

六 米買入之義ニ付依頼書状  
天徳院納所一中山主計

4月26日

切紙

七 式日決定之義ニ付書状  
天徳院内美張僧一中山主計

6月24日

切続紙

八 香炉二つ見当り不申ニ付調理頼

6月29日

切紙

中山家文書目録

状

天徳院内祖順一中山主計

九 普動坐禅蔵并御尋之義ニ付書状  
天徳院内笠又僧一中山主計

9月24日

切続紙

一〇 宮腰勸化相調之義礼及渡方願書  
天徳院役者一中山主計

10月6日

切続紙

二 天徳院勸化記帳之義ニ付書状  
(天徳院)笠又僧一中山

10月12日

切続紙

三 天徳院勸化之義ニ付協力依頼状  
天徳院侍者一中山主計

極月18日

切続紙

三 天徳院開山式百回忌ニ付百日結  
制諸法式并勸化之義申達書

切続紙

四 天徳院開山二百回忌法会大結制  
諸法式順次書  
天徳院役者

一紙 (木版)

五 天徳院保存会寄附金募集認可証 明治34年  
曹洞宗管長森田悟由 石川県知事野村政明 出願者天徳院住職  
押野太寿他

一枚 (印刷)

六七 伊勢松木神社

一朝廷江之捧物莫太ニ付御寄附名 文化11年6月  
簿 從三位松木神主範彦

こよ 2丁 (木版)

二 參詣次第 文化4年2月11日  
三 松木神社遷宮ニ付助力銀取集方 卯月22日  
願書状 有滝文右衛門一中山主計

切続紙

四 松木神社兩皇大神宮式年正遷宮 嘉永2年3月3日  
ニ付寄附依頼状

折紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

五 寄附銀願状 松木神主茂彦→中山主計

(嘉永2) 閏4月2日 切続紙

六 松木神社伊勢正遷宮寄附帳

嘉永2年閏4月

七 松木神社正遷宮御寄附銀受納書

(嘉永2)9月

八 去寅年大地震修覆作事之為御寄附名前帳

安政2年12月

九 正遷宮御寄附金ニ付礼状

11月5日

一〇 松木神社正遷宮御寄附御名前帳

不

二 寄附金名前書

不

八〇 洋々殿

(由来書・守護方)

一 高德公尊容書

文政12年11月29日

二 中山主計高德院様御稟像拝領之由来

(天保12)7月

三 高德公尊容拝領由来

弘化4年2月

四 高德公尊容拝領由来

嘉永2年5月

五 高德公尊容拝領由来

安政3年12月

六 御両尊崇敬方等草稿

三松堂

七 高德院様御尊像拝領由来書

中山主計

八 高德院様御尊像拝領時分之趣意書上

中山主計

九 高德公尊容拝領由来

中山而後・中山主計

一〇 高德公尊容拝領由来

二 高德公尊容拝領由来

三 高御公尊容拝領由来

三 利家公御尊像守護之義等内事留

四 洋々殿等差定書

五 御像前法華経御備之義ニ付書状

二御丸御広式留書所→中山主計

六 御像ニ法華経御備之義ニ付申上書

中山甚丞→御丸御広式御留書所

七 御鎮座所守護之義等ニ付書状

而後→主計

八 高德公御真筆尊容之義海防を始御領内鎮護之感応顕然之旨口達書

九 管内神社仏閣什器宝物など取調ニ付中山家高德公尊容等届書

中山一衛→石川郡書伊勢貞良

安政5年より

辛丑8月

巳丑8月26日

癸亥正月

慶応3年

8月9日

8月9日

8月9日

正月19日

明治12年

横帳

続紙

切続紙

切続紙

切紙

(御 忌)

寛政10年 袋綴 13丁

①御尊像御修覆仕候并二百回御忌被為御相当候ニ付御法支相勤候扣

十二代中山主計

②高德院様式百回御忌ニ付表具 (寛政10) 3月 一紙

入用銀書上

中山主計↓伊藤権五郎

③高德院様二百回御忌料理献立 (寛政10年) 切続紙

書

三 御内陳御張付布代仕切書 (弘化3) 切紙

一丸甚六↓中山

閏5月24日

三 三方膳直段等書上 (弘化3) 閏5月 一紙 4

塗師喜右衛門↓中山

三 打敷等自積注文窺書 (弘化3) 6月5日 切続紙

雁金屋半兵衛↓湊屋勘六

三 御誂品之義ニ付傍屋弥右衛門書 (弘化3) 6月18日 切続紙 2

状并大とふるふ等図り書覚

傍屋弥右衛門↓中山

三 台燈籠作之義ニ付問合せ等書状 (弘化3) 8月11日 切続紙

傍屋弥右衛門↓中山

三 焼炉代金覚 9月28日 切紙

小森谷屋又五郎↓中山

三 御誂布上下納品書 12月26日 切続紙

吉岡屋市兵衛↓中山

三 御尊像二百五十回御忌ニ付參詣 (弘化4) 正月25日 切続紙

案内回状

中山主計↓本町組合頭根布屋久兵衛・赤土屋物兵衛・唐仁屋

久三郎・橋屋仁右衛門・勝嶋屋文次郎・柏屋五兵衛・鍋屋七左

衛門・鈴木屋平九郎・菓子屋八郎右衛門・南屋孫四郎・松木屋

長四郎・安宅屋又吉・菓子屋太兵衛・錢屋与兵衛・古酒屋市兵

衛・平木屋長三郎・平木屋六三郎・平木屋長次郎・蓮池屋六右

衛門・輪嶋屋与三郎・菓子屋太四郎・金屋小右衛門・赤土屋与

四右衛門・赤土屋喜助・長沖屋安右衛門・網屋与兵衛・針屋長

次郎

元 中山主計御茶献上之義ニ付内答 (弘化4) 正月28日 切続紙 2

書并添書

三 御初穂代等御伝願并ふるしき返 (弘化4) 正月28日 切紙 2

却願 菊井↓かとやおいよ

三 真龍院様御備物之渡書一覽仕ニ (弘化4) 正月29日 切紙 2

付指越之旨等申達書

成田宗左衛門↓中山主計

三 御尊像二百五十回御忌ニ付參詣 (弘化4) 正月 切続紙

有案内下書 (紙背文書)

中山主計↓根布屋久兵衛

三 御元祖様二百五十回御神忌一件 (弘化4) 7月より 袋綴 12丁

留 十四世主計

三 御遠忌ニ付中山主計拜領之御像 (弘化4) 8月5日 切続紙

へ寄附状

成田宗左衛門↓波除御普請方物主附等

三 来成申年式百五十回御忌御法会 (弘化4) 10月より 袋綴 7丁

調理方帳 紙背文書「元拔仕法帳」

十四世主計

三 高德院様尊像御遠忌ニ付入用銀 (弘化4) 12月 切続紙 2

借用願聞届書并添状

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

三 香燭奉納目錄 不 年 代 形態 堅紙

仁右衛門  
三 梅鉢形落雁等直段図り書 正月15日 切続紙

かみや庄右衛門↓中山  
三 御遠忌御備物渡ニ付可罷越申達 (嘉永元)正月21日 切紙

成田宗左衛門↓中山主計  
三 高徳院様二百五十回忌ニ付中山 (弘化・嘉永) 正月21日 切紙

主計方ニ有之御像ニ真龍院様御  
備銀可渡申達  
三 御遠忌ニ付尊像奉献茶之義ニ付 正月22日 切続紙

田辺左兵衛↓成田宗左衛門  
書状  
三 御尊像二百五十拾回御忌ニ付参詣 正月25日 切続紙

杉坂安次郎↓中(山)主計  
三 御尊像二百五十拾回御忌ニ付参詣 正月25日 切続紙

案内回状  
三 御尊像二百五十拾回御忌ニ付参詣 正月25日 切続紙

中山主計↓地子町肝煎崎浦屋藤兵衛・玉鉾屋喜助・粕屋六右衛  
門・倉部屋久右衛門・崎浦屋文右衛門・赤土屋次左衛門・若松  
屋与四右衛門・小間物屋与助・油屋市兵衛・辻屋久平・紺屋与  
兵衛・小浜屋太郎兵衛・米屋茂助・越前屋七郎右衛門・小竹屋  
善兵衛・桶屋茂兵衛・天満屋三郎右衛門・錢屋善兵衛・鍋屋榮  
八郎・室屋宗助・米屋次郎吉・尾山屋長右衛門・黒田屋八郎右  
衛門・金屋彦三郎・油屋九右衛門・鳥屋八左衛門・安宅屋久右  
衛門・孫田屋次兵衛・角屋三右衛門・板屋又六・油屋九兵衛

三 高徳院様御遠忌ニ付中山家尊像 (嘉永元)正月27日 切紙

ニ米操院様御備物有之相渡ニ付  
召状  
成田宗左衛門↓中山主計

四 御尊像御茶湯奉献備物ニ之御丸 (嘉永) 正月29日 切続紙2  
へ献上願聞届書并添状

田辺左兵衛↓成田宗左衛門、成田宗左衛門↓中山主計

四 高徳院様二百五十回忌ニ付真龍 (弘化5)正月 切紙  
院様栄操院形中山家ニ被下置御  
尊像ニ御備金下被下書并添状  
切続紙 4

今村清左衛門↓成田宗左衛門、田辺左兵衛↓成田宗左衛門

四 御尊像二百五十回御忌御法事奉 弘化5年 袋綴 101丁  
執行候一卷  
十四世中山嗣昌

四 高徳院殿二百五十回忌法会法語 弘化5年孟春 続紙

大徳洞門  
四 御年忌ニ付中山方高徳院様御絵 (嘉永元)2月朔日 切続紙

像読経頼越ニ付罷越之義達方願  
書  
天徳院役者↓寺社御奉行所

四 御尊像御法事之節御饗応之礼状 (嘉永元)如月7日 切続紙

車屋伊兵衛↓中山主計  
四 御遠忌御茶湯在之御菓子恵贈ニ (嘉永元)2月12日 切紙

付礼状  
慶寛寺↓中山主計

四 御遠忌ニ付御尊像御茶湯被献之 (嘉永元)2月12日 切紙

節御菓子尅重意ニ懸られたく書  
状  
神尾主殿内小林武兵衛↓中山主計

三 御遠忌尊像備之御菓子頂戴ニ付 (嘉永元)2月12日 切紙  
礼状

岡田喜隆↓中山主計

三 御遠忌ニ付御尊像御下御菓子頂戴之礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

七瀬善左衛門↓中山主計

四 御尊像御備御菓子頂戴之礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

竹村茂助↓中山主計

五 御備御下被遣ニ付挨拶状 (嘉永元) 2月12日 切紙

今村五郎兵衛内大杉友右衛門↓中山主計

六 御遠忌ニ付御尊像献上之御菓子頂戴之礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

中川平膳内林吉之丞↓中山主計

七 御遠忌ニ付御尊像御茶湯献上被成御菓子被遣之礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

石黒与左衛門↓中山主計

八 御遠忌ニ付御尊像御茶湯献上被成御菓子被遣之礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

徳 今村清左衛門内森村要左衛門↓中山主計

九 高岩公御遠忌ニ付御尊像御茶湯被成御献上御重之内頂戴ニ付礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

沢田与三右衛門内藤井長成↓中山主計

十 御遠忌之節御尊像御茶湯献上ニ付御重之内被遣之礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

高島右門内棚橋寛佑↓中山主計

十一 高徳公御尊像御遠忌ニ付御菓子被遣之礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

藤井↓中山

十二 御神像御備物頂戴ニ付礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

木村平六↓中山主計

十三 御遠忌ニ付御菓子進上被致之礼状 (嘉永元) 2月12日 切紙

瀬川久右衛門内小武文蔵↓中山主計

十四 御尊像御備御菓子頂戴之礼状 (嘉永元) 2月13日 切紙

以成堂↓三松堂

十五 御元祖様御遠忌ニ付御尊像御備物頂戴之礼状 (嘉永元) 2月13日 切紙

宝幢寺↓中山主計

十六 高徳院様御遠忌ニ付御尊像御備之御菓子頂戴之礼状 (嘉永元) 2月13日 切紙

大田適陸内佐藤文右衛門↓中山主計

十七 御尊像御茶湯献上之節御菓子被遣ニ付礼状 (嘉永元) 2月13日 切紙

国村惣門↓中山主計

十八 御尊像献上之御菓子頂戴ニ付礼状 (嘉永元) 2月13日 切紙

向愚浅↓三松堂

十九 真龍院様御尊像江御拝為在候御持参ノ御香御炷壳 (不)

二十 御尊像御茶湯御献上之節御菓子頂戴之礼状 (嘉永元) 2月22日 切紙

大浦佐太夫↓中山主計

二十一 御遠忌ニ付御尊像御備物として金子贈進状 (嘉永元) 2月26日 切紙

土肥朝可内小竹吉左衛門↓中山主計

二十二 御尊像御法会御備下菓子頂戴之礼状 (嘉永元) 2月28日 切紙

栴木林左衛門↓中山主計

二十三 御法事之節重ノ内御送被下ニ付礼状 (嘉永元) 2月晦日 切紙

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
四	神尾主殿内森田安右衛門・野村森右衛門内小柳武兵衛↓中山主計	高徳院様御尊像御遠忌之節献立	(嘉永元)	3月2日	切統紙	
五	岡部平八郎他二名↓中山主計	御国祖様御遠忌ニ付金子進上書		3月2日	切統紙	
六	書状 □右衛門↓(中山)主計	御法会之節御菓子頂戴之義等札		4月21日	切統紙	
七	御誂布上下代売上書 吉岡屋市兵衛↓中山	御誂布上下代売上書	(嘉永元)	5月15日	切紙	
八	高徳院殿御二百五十回法事差定	御尊像二百五十回御遠忌御茶湯	(嘉永元)		切統紙	
九	奉献之節入用品々代金寛 (紙背文書町役人名書)	御遠忌ニ付御遠忌御茶湯	(嘉永元)		切紙	3丁
一〇	元祖式百五十回忌祝状 成田宗左衛門↓中山主計	元祖式百五十回忌祝状	(嘉永5)	8月11日	切統紙	
一一	高島右門内北村五左衛門↓中山主計	元祖式百五十回忌ニ付挨拶状	(嘉永5)	8月5日	切紙	
一二	主計↓金岩様他	元祖式百五十回忌ニ付菓子送状	(嘉永5)		切統紙	
一三	御遠忌ニ付挨拶状 永井廉之助	御遠忌ニ付挨拶状	(嘉永5)	8月8日	切紙	
一四	湯浅弥左衛門↓中山主計	御忌ニ付挨拶状	(嘉永5)	8月5日	切紙	
一五	竹村茂助↓中山主計	頂戴物ニ付挨拶状	(嘉永5)	8月5日	切紙	
一六		御元祖御年忌ニ付挨拶状	(嘉永5)	8月5日	切紙	
一七	竹村茂助↓中山主計	御元祖五十回忌挨拶状	(嘉永5)	8月5日	切紙	
一八	成田宗左衛門内米村太兵衛↓中山主計	御元祖様二百五十回忌挨拶状	(嘉永5)	8月4日	切紙	
一九	稲葉専左衛門↓中山主計	御元祖二百五十回忌ニ付重之内	(嘉永5)		切紙	
二〇	衛上孝左衛門↓中山主計	被送之義挨拶状			切紙	
二一	栄操院様ヨリ来物等名札	尊像真ノ御祥当ニ付御備物等御 神祭一件留	安政7年 閏3月3日		切紙	2
二二	十四世而後・十五世主計	御菓子拝納礼等書状	閏3月7日		切紙	2
二三	修復・資金	御座之間加修復ニ付御貸米願書	(文化12)	9月	袋綴	2丁
二四	中山主計↓土肥権八郎	御別殿御座之間修復入用ニ付御 貸米願	(文政元)	12月	切統紙	
二五	中山主計↓土肥権六郎	御別殿御座之間御修復ニ付御貸 米願	(文化11)	6月	統紙	
二六	中山主計↓児玉孫左衛門	明和七年御別殿再建拜借米近年 難渋ニ付当年返上米減石願	戊9月		統紙	
二七	町人中山恒治↓宮腰町御奉行所	①御別殿再建等願一件諸事留	文政12、弘化4年		袋綴	127丁
二八		天保六年被下出津石高書上申帳・貞享三年浦御用等勤方之扣、弘				

化四年諸上納銀調理方等  
十四代中山主計

②中山主計義難波仕ニ付町年寄 文化3年3月6日  
掃役之旨詮義願

脇田善左衛門↓長甲斐守・奥村左兵衛・前田織江

③拝領之御尊像保管之義ニ付尋 4月5日  
書

高島右門↓中山主計

六 高徳院様御尊像安置所修覆ニ付 天保9年

拝借金願(錯簡)

中山主計↓湯原平馬

九 高徳院様御尊容安置所修覆ニ付 (天保14)11月

拝借金願書(錯簡)

中山主計↓里見亥三郎

一〇 別殿修覆入用ニ付御次御鎮守銀 (天保14)11月

拝借願書

中山主計↓里見亥三郎

一一 中山主計義御別殿修覆之ため出 辛丑2月

津千石宛拝領願指出ニ付詮義之上宜御沙汰願書

御(宮腰町奉行)↓

一二 中山家吸尊像安置所修覆方ニ付 (天保12)7月

伺書

湯原平馬↓

一三 御別殿御再建願書等扣并貞享三 辛丑8月

年浦方御用等勤方之扣

中山主計

一四 御尊像安置御別殿修覆銀貸付被 弘化元年12月28日

一紙

下ニ付一札

中山主計↓里見亥三郎

一五 御元祖様尊像安置所大破修覆之 弘化元年12月28日 一紙  
義拝借金被仰付ニ付請書

中山主計↓里見亥三郎

一六 御元祖様御尊像安置御別殿修理 弘化元年12月28日 続紙  
金御貸渡被下ニ付請状

中山主計↓里見亥三郎

一七 御元祖様尊像安置所修覆拝借金 弘化元年12月27日 切紙  
願聞届状并添書

成瀬主税↓中山主計

一八 御座所廻等修理之為三千石分他 弘化2年10月 袋綴  
国出津一作拝借願書

中山主計

一九 御座所廻等修理之為千五百石分 弘化3年2月 ころ綴  
他国出津一作拝借願書

中山主計↓里見亥三郎

二〇 御別殿柱立手伝帳 弘化3年8月12日 長帳  
弘化4年6月 13日

中山主計↓里見亥三郎

二一 中山家御尊像安置所修覆永続方 弘化4年6月 切続紙2  
として波除御普請銀之内より助成申渡書

成申渡書

二二 中山家被下置之尊像御鎮座所洋 (弘化4)6月 切続紙  
々殿修覆之為拝借銀被仰付様願書

御普請方惣主附等役人中、成田宗左衛門↓中山主計

二三 中山家安置高徳院様御像鎮座所 (弘化4)10月9日 ころ綴  
修覆ニ付拝借金願聞届度申上書

成田宗左衛門↓成瀬主税・有賀寛兵衛・大野織人・大村着次郎

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

(錯簡)

成田宗左衛門↓有賀寛兵衛・大野織右衛門・大村有次郎

二四御神忌ニ付安置所修理のため貸  
渡銀仰付書 10月 切紙

↓中山主計

二五洋々殿御修覆等ニ付御助力銀願 弘化4〜嘉永6年 ころ綴 16丁

紙面写

主計

二六御座所等建修理仕過分借財ニ付 (嘉永2)5月 袋綴 3丁

御役用御次御銀借用願書

中山主計↓半田権之丞

二七洋々殿修覆等拝借銀相かさむニ (嘉永2)7月 切続紙

付御次銀之内より銀子貸渡状

半田権之丞↓中山主計

二八洋々殿修覆之為銀子借用証 嘉永2年7月 一紙

中山主計↓半田権之丞 相見人中山三右衛門・湊屋佐太郎

二九洋々殿修覆方并吉例御宿永続仕 嘉永2年 ころ綴 8丁

法書上扣

十四世主計↓半田権之丞

三〇中山主計御別殿建修理莫大借財 (嘉永3)9月 切続紙

ニ付御貸附銀願

半田権之丞↓大野織人・大村有次郎・山森権太郎

三一中山主計御尊像御鎮座所守護ニ (嘉永3)12月 切続紙

付銀子貸渡状

半田権之丞↓中山主計

三三嘉永三年御元祖様安置所修覆拜 不 長帳 2丁

借金一件留

二三洋々殿守護并吉例御宿永続仕法 嘉永4年より 袋綴 10丁  
取扱方一件

十四世中山主計

三四洋々殿修覆等借用銀利足返納之 (嘉永6)2月 切続紙

義申渡状

菊池常三↓中山主計

三五洋々殿修覆銀返納整等申渡書 (嘉永5)8月 切続紙

菊池常三↓中山主計

三六寛政九年御別殿御座之間修覆料 子11月 続紙

借用候処近年難渋ニ付残高返上

年賦米減額願

中山主計↓宮腰町御奉行所

三七御別殿御座之間修覆料並拝借米 子12月 続紙

返上等ニ付御貸米願

中山主計↓宮腰町御奉行所

三八中山主計義御座所修理入用貸附 安政2年2月 一紙

銀残銀取立ニ付一札

齊藤与兵衛・浅香嘉門↓桐山景之助・和角三郎・青山信左衛門  
・帰山義三郎

三九御元祖様尊像奉獻之為御鎮守銀 慶応元年2月 切紙

貸渡書

↓中山而後

四〇洋々殿守護之為仕法立ニ付貸付 慶応元年4月 切続紙

金願

中山而後↓

四一中山主計方御別殿見分御用ニ 寅2月27日 切紙 5

付達書并添状

御歩横目村田儀大夫↓宮腰町肝煎方他

四二中山主計家御尊像御鎮座所大破 寅12月 切続紙

二三 御別殿御座之間等修覆仕度諸入用銀拜借願  
 午3月 続紙  
 一四 御別殿建修理材木図り  
 天保13年 一紙

二三 中山主計難波打統今度御尊像御殿修覆入用方等ニ付御次銀御貸付願  
 丙申5月 切続紙  
 一四 ① 洋々殿御道具一件  
 弘化3年閏5月 袋綴 10丁

二三 高徳院様御直筆之御尊安置御別殿大破ニ付御再建仰付被下被様願書  
 不 切続紙  
 ② 松之御殿より金子之義等可申  
 閏5月10日 切紙

二三 御尊像仮御別殿等修像理之為浦改役料より入用金可指遣被仰渡最  
 不 切続紙  
 ③ 寒氣御見舞状  
 12月8日 切紙

二三 中山主計義御別殿修覆料として他国出津千石宛拜領被仰付度願ニ付宮腰町奉行聞届度旨申達書  
 不 袋綴 4丁  
 ④ 御神忌執行之義ニ付返書  
 (弘化3)閏5月 切続紙

二三 御座所等修理仕度奉存候処借用銀利足可差上被仰付ニ付御貸付銀願(後欠)  
 不 切続紙 1  
 一四 洋々殿建修理図  
 不 55×100

繪図・資材  
 明和6年 3230×8372 2  
 一四 洋々殿建修理図  
 一四世主計  
 不 44×108 2

御別殿御絵図  
 中山弥八郎  
 明和7年5月 袋綴 13丁  
 一五 御靈堂起図  
 不 29×21

御別殿修覆入用木材書上  
 (明和7)5月 切紙 2  
 一五 御靈堂材木図帳  
 土木作蔵  
 不 長帳 5丁

洋々殿御建修理買物牒  
 天保13年7月より 長帳 4丁  
 一五 御靈堂木寄帳  
 長帳 5丁

中山主計  
 中山  
 庚寅9月 切続紙  
 一五 御尊像御次江奉指上近例荒増書  
 上 切紙

御尊像借用挨拶状送付ニ付添状(明治)6月  
 前田家用弁方前田普↓中山一衛  
 切紙

- | 番号 | 標 題   | 年 代               | 形 態 | 墨付<br>点数 |
|----|---|-------------------|-----|----------|
| 一五 | 利家公御真影借用之義面談仕度<br>用弁方迄出頭依頼状<br>前田利嗣内前田普↓中山一衛  | (明治) 9月27日        | 切統紙 |          |
| 一五 | 利家公御影像模写ニ付借用依頼<br>前田普↓中山一衛  | (明治) 11月4日        | 切統紙 |          |
| 一五 | 借用之御尊像年頭御崇祠之為返<br>還ニ付書状<br>前田普↓中山一衛   | (明治) 15年12月27日    | 切統紙 |          |
| 一五 | 借用之御尊像御返戻之義ニ付書<br>状<br>前田普↓中山一衛   | (明治15)12月29日      | 切統紙 |          |
| 一五 | 御尊像長々借用ニ付贈金送附書<br>状<br>前田普↓中山一衛   | 明治16年2月10日        | 切紙  |          |
| 一五 | 中山家宝物借用ニ付礼品贈状<br>麓□↓中山一衛  | (明治20年代)<br>9月19日 | 切統紙 |          |
| 一六 | 高德公御帷子拝見之礼状<br>前田家金沢用弁方前田普↓中山有吉   | 明治24年1月12日        | 切紙  |          |
| 一六 | 利家公御帷子等借用証<br>石川県勸業博物館↓中山有吉   | 明治24年11月12日       | 罫紙  |          |
| 一六 | 高德公画像模写之上大学ニ保存<br>之為県庁迄持参願<br>東京帝国大学文科大學史料編纂委員田中義成↓中山一衛                             | (明治) 30年10月11日    | 切統紙 |          |
| 一六 | 高德公肖像出品ニ付取扱之義書<br>状<br>石川県庁野村英政↓中山一衛  | (明治) 31年<br>6月17日 | 罫紙  |          |
| 一六 | 高德公肖像并御親筆受領証<br>石川県属野村英政↓中山一衛   | (明治) 31年<br>6月23日 | 罫紙  |          |
| 一五 | 前田利家肖像並書翰返戻状<br>東京帝国大学総長菊池大麓↓中山一衛   | 明治31年9月21日        | 罫紙  | 2        |
| 一六 | 利家公肖像帝国大学史料として<br>写取済ニ付返却通知<br>石川県内務部第三課↓中山一衛                                       | 明治31年11月18日       | ハガキ |          |
| 一七 | 前田利家公肖像東京帝国大学所<br>蔵模写本より転写之義承諾願状<br>東京陸軍地方幼年学校長関谷銘次郎↓中山一衛                           | 明治32年4月4日         | 罫紙  |          |
| 一六 | 前田利家肖像史学雑誌掲載之許<br>可伺状<br>東京帝国大学文科大學史料編纂掛内史学会書記多田賢意↓中山一衛                             | 明治33年12月          | 罫紙  |          |
| 一六 | 前田利家画像第二高等学校にて<br>教材用ニ複写したく願書<br>東京帝国大学史料編纂掛部長田中義成↓中山一衛                             | (明治) 36年<br>9月18日 | 切紙  |          |
| 一七 | 高德公画像第三高等学校にて複<br>之義許可依頼状<br>東京帝国大学史料編纂掛田中義成↓中山一衛                                   | (明治) 37年<br>2月3日  | 切紙  |          |
| 一七 | 借用史料県庁到着之有無ニ付連<br>絡状<br>東京帝国大学田中義成↓中山一衛   | (明治) 6月29日        | ハガキ |          |
| 一七 | 前田利家肖像模写許可依頼状<br>神宮皇学館長桑原芳樹↓中山一衛  | 明治38年1月14日        | 罫紙  |          |
| 一七 | 前田利家公肖像東京帝国大学架<br>蔵之模写本神宮皇学館にて転写<br>並絵葉書として発行之義承諾願状<br>東京帝国大学文科大學史料編纂掛事務主任三上参次↓中山一衛 | (明治) 38年6月        | 罫紙  | 2        |
| 一七 | 前田利家公肖像掲載許可願状<br>ハガキ  | 明治39年5月           | ハガキ |          |

吉川弘文館→中山一衛

一五 前田利家公像模之為貸与依頼状 昭和4年3月23日 罫紙

東京帝室博物館→中山一衛

一六 前田利家公画像模写許可依頼状 昭和4年4月4日 罫紙

并帝室博物館鑑査官補高橋勇名

刺 名刺 2

帝室博物館総長大島義脩→中山一衛

一七 前田利家公肖像返還書 昭和4年7月11日 罫紙

東京帝室博物館→中山一衛

一八 東京上野博物館宛軸箱送付通知 昭和4年7月13日 罫紙

東京川長運送株式会社→中山一衛

### 八〇 絵図・地誌

(絵 図)

一 元禄年中宮腰町絵図 元禄(9・10年) (彩色) 82×119

二 宮腰町図 不 (彩色) 58×120

三 宮腰町下図(一部欠) 不 (彩色) 53×70

四 宮腰周辺下図(一部欠) 不 (彩色) 52×48

五 宮腰町棟割図 不 (彩色) 25×36  
8

六 宮腰御蔵所通等図 不 (彩色) 29×40

七 宮腰下越前町通田場等絵図 不 (彩色) 24×32

八 宮腰往還図 不 (彩色) 55×120

九 宮腰往還図 不 (彩色) 28×120

一〇 宮腰大野之図 不 (彩色) 41×140

二 大野村周辺図 嘉永2年 (彩色) 28×40

三 海禪寺周辺地割図 不 28×41

三 魚津町会所絵図 不 40×56

四 金府秘図 不 (彩色) 85×120

五 改正撰津大坂図 天保8年9月 (木版) 44×68

浪華書林播磨屋九兵衛梓

六 新板増補 京絵図 不 (木版) 66×95

七 懷宝京絵図 不 (木版) 33×46

八 嘉永校正 京都細見図 不 (木版) 58×51

九 防長略図 不 (木版) 48×68

(地図 近代)

一〇 改正大日本全図并朝鮮全図 明治9年5月8日 (銅版) 29×72

滋賀県石川県土族平田繁編 山中鐵造刊 届

一一 改正横浜明細地圖 明治10年9月28日 (木版) 36×51

野毛町尾崎富五郎

一二 福井市街明細全図 明治27年2月15日 (銅版) 37×50

福井中村六三郎著・印刷 岡崎左喜助売捌

一三 旭川市街明細案内図 明治34年12月25日 (印刷) 77×108

小樽田尻与吉出版

一四 最新詳密 長野市地圖 大正2年4月25日 (銅版) 40×54

長野市河原三平編

一五 早日東京市全図 大正5年4月23日 (印刷) 34×79

馬場勝治郎著・印刷 龍王堂発行

一六 最新東京市全図 大正10年7月1日 (印刷) 55×79

鳥居政豊著 雄文館発行

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
一	最近横須賀地図并三浦半島地図 渡辺英一郎編・印刷 起明堂書店発行	昭和2年1月24日	40×55 (印刷)	
二	町名早見 東京市全図 中尾次一著・印刷 文光堂発行	昭和3年6月28日	54×79 (印刷)	
三	金沢市街図 (産業と観光の大博覧会記念) 大阪毎日新聞社	昭和7年4月12日	39×54 (印刷)	
四	最新世界大地図(キング附録) 大日本雄弁会講談社発行	昭和8年1月1日	78×109 (印刷)	
五	最新朝鮮地図(京城日報附録) 京城日報社編	昭和8年4月27日	54×78 (印刷)	
六	万国早分図并昭和9年大阪毎日 新聞スクラップ	不	35×48 (木版) 2 (彩色)	
七	大大阪市街地図 日下伊兵衛編 和楽路屋発行	昭和12年1月15日	79×55 (印刷)	
八	京都市街地図	不	38×53 (印刷)	
九	大横須賀市全図	不	49×70 (印刷)	
一〇	諸国順覽懷宝道中図鑑 江戸須原屋茂兵衛蔵版	文政9年孟春再刻	折本 (木版・彩色)	
一一	金沢江戸間道中図	不	折本 (木版)	
一二	いせ大和まいり名所絵図道のり よしのなべや平治郎	不	43×55 (木版)	
一三	大和道法記 辻屋五郎兵衛編	不	半紙本 (木版)	
一四	金沢市交通略図及名所案内	不	26×39 (印刷)	
一五	福井市周辺交通図 福井観光欲待会 福井観光協会	不	27×37 (印刷)	
一六	東京市内電車案内図 紅梅館 加藤写真製版印刷所	不	23×32 (印刷)	
一七	大阪交通図 大阪大淵善吉編 駈々堂旅行案内内部発行	不	28×40 (印刷)	
一八	大阪市内電車案内図 大阪道頓堀虎屋旅館	不	27×40 (印刷)	
一九	大阪市内電車線略図	不	12×13 (印刷)	
二〇	全国鉄道地図(大正十六年毎日年 鑑附録) 大阪毎日新聞社編	大正15年10月1日	27×114 (印刷)	
二一	日本交通分県地図 其36 東京府・山梨県 大阪毎日新聞	昭和4年7月5日	54×78 (印刷)	
二二	日本交通分県地図 其37 福井県 大阪毎日新聞	昭和4年10月5日	54×78 (印刷)	
二三	日本交通分県地図 其38 鹿児島・沖縄 大阪毎日新聞	昭和5年5月5日	54×78 (印刷)	
二四	日本交通分県地図 其39 神奈川県 大阪毎日新聞社	昭和5年7月5日	54×78 (印刷)	

六	日本京通分県地図 其40 栃木県・群馬県 大阪毎日新聞社	昭和5年9月5日	54×78 (印刷)	七	京都名所案内図会(乾・坤) 遠藤茂平・山口米二郎編 京都福井源次郎発行	明治14年3月	横帳 (印刷)	2
七	日本交通分県地図 其41 新潟県 大阪毎日新聞	昭和5年10月5日	54×78 (印刷)	八	堺名所案内 大阪田村与三平発行中井恒次郎編	明治27年8月25日	書冊 (印刷)	23丁
八	最新大日本鉄道地図(大阪毎日新聞附録) 鉄道省編	昭和11年1月1日	79×109 (印刷)	九	名古屋案内 名古屋開府三百年記念会編	明治43年3月13日	書冊 (印刷)	85丁
九	日満露支交通国境大地図 大阪毎日新聞社編	昭和10年1月1日	78×110 (印刷)	一〇	京都名所遊覧案内 河合泰三編 京都名所遊覧案内社発行	昭和3年9月15日	書冊 (印刷)	87丁
一〇	朝鮮里程全図并京城市街図 大阪十字屋出版	昭和10年5月20日	54×103 (印刷)	一一	二月瀬梅だより 伊賀電気鉄道運輸課発行	昭和4年2月25日	一枚 (印刷)	
八三	名所記・名所図 (名所記)			一二	三月ヶ瀬梅溪御案内 月ヶ瀬海保勝会発行	昭和5年2月7日	一枚 (印刷)	
一	長崎夜話草 崎陽西川正昌先生著 茨城多左衛門梓	享保5年孟春	中本 (木版)	一三	新撰お伊勢まゐり大和めぐり 近畿観光会発行	昭和5年11月25日	書冊 (印刷)	204丁
二	大和国名所記 和州井筒屋庄八版	明和6年正月	小本 (木版)	一四	箱根観光案内 箱根登山鉄道株式会社	昭和8年	一枚 (印刷)	
三	文化改正新版 鎌倉名所記 鎌倉大坂屋孫兵衛板	(文化)	6丁	一五	水府探勝 川崎貞次郎著 東北公論雑誌社発行	昭和11年2月23日	書冊 (印刷)	35丁
四	越中五ヶ山人形山乃麓湯出嶋温 泉案内書 湯元取次茶屋并御宿 城端蔵屋半三郎・若杉屋源佐	文久3年	一枚 (木版)	一六	吉野山名所記ひとりあんない 撰州須磨浦一ノ谷真景細見 升屋九兵衛	不(藩政期)	一枚 (木版)	
五	須磨浦古跡記	文久4年2月再版	こよ り綴 (木版)	一七	大和巡り 大阪石川屋和助版	不	一鋪 (木版)	
六	東福寺伽藍并名所巡覽略記	不	折紙 (木版)	一八	加賀山中温泉案内 聴泉閣	不	一枚 (印刷)	
			2	一九	浅野川電車沿線御案内 浅野川電気鉄道株式会社	不	一枚 (印刷)	
			5丁	二〇	福井駅より遊覧御案内	不	一枚 (印刷)	2

番号	標題	年	代	形態	墨付 点数
三	越前電気鉄道三国芦原電鉄案内	不		(印刷) 一枚	2
三	長野市案内概要	不		(印刷) 一枚	
四	神奈川横浜交易場遊里揚屋図説	不		(木版) 一枚	
五	屋島ノ沿革	不		(印刷) 一枚	
六	大阪鉄道局五月の遊覧ごよみ (名所 図)		5月	(印刷) 一枚	
七	有馬山絵図 梶木喜六板		宝永7年4月吉日	(木版) 47.5×61	
六	善光寺如来開帳記念長野名勝図 長野市荻原磯右衛門発行		明治45年4月4日	(印刷) 47×63.5	
元	新舞鶴図絵 坂根栄正堂発行		大正13年	(印刷) 19×99	
三	大阪城之旧図 冬陣東西両軍配備概況記入 大阪浦上正三著・発行		昭和4年4月14日	(印刷) 78×73	
三	曹洞宗大本山永平寺を中心とし たる中部日本鳥瞰図指定旅館案 内 市野信次郎編著 石川県山中北斗舎印刷所		昭和5年4月15日	(書冊) (印刷)	
三	全日本最新名勝名物地図 大阪毎日新聞社		昭和7年9月5日	(印刷) 26×107	
三	祇園新地末吉町図	不		15.5×29.5	
四	京都祇園会十七日山鉾之図	不		(木版) 15.5×65	
三	摂州須磨浦細見図 前田松琴亭蔵板	不		(木版) 36×48	
五	大和名所ひとり案内略図	不		(彩色) 34.5×48	
三	近江八景之図 江忍志賀郡勢田橋西大和屋和板	不		(木版) 16×56	
六	武蔵第一名所 角田河絵図并故 跡附	不		(木版) 35×70.5	
元	比西湖金沢八勝景略図 大観亭蔵版 金沢住多喜斎画工	不		(木版) 33.5×48.5	
四	金沢公園記念標大祭図	不		(木版) 24×34	
四	京都府下東山鈴木重幸記念標縮 図	不		(銅版) 24×36	
三	日光案内之図	不		(印刷) 18×79	
八三	道中記・紀行				
一	金沢ノ京都名所旧跡覚		寛政7年3月4日	長帳 42丁	
二	諸国はんくへの地道の里案内番 付	不		(木版) 一枚	
三	諸国湊道の里附番付	不		(木版) 一枚	
四	東街道五十三次等紙帙	不		一枚 5	
五	道中独案内	不		折本 (木版)	
六	湯治先へ之消息書状 而後ノ文車・煤窓		弥生7日	切続紙	

七	京紀行音信狀	而後↓梨窓・文車	彌生21日	切統紙	講元大阪河内屋庄右衛門	大正元年10月	（木版） 罫紙綴5丁
八	山科參詣并子供達之義ニ付書狀	而後↓煤窓・文車	彌生24日	切統紙	三 伏見桃山明治天皇陵參拜記	大正5年3月	罫紙綴4丁
九	京都旅先より音信書狀	而後↓煤窓・文車	彌生26日	切統紙	八 天文・易		
一〇	京大坂より見物并商方等ニ付書狀	而後↓煤窓	彌生念9日	切紙 切統紙 2	一 古易精義 新井白蟻著 江戸山崎金兵衛・大坂淺野弥兵衛版	宝曆7年3月吉辰	小本 （木版） 64丁
一一	京大坂旅行先より之音信狀	三橋隠居↓文車・煤窓	卯月7日	切統紙	二 改正音訓 易經（乾・坤） 其山後藤点 男師周・孫師邵同校	文化9年9月序	半紙本 2 （木版）
一二	京より帰国日限ニ付書狀	而後↓煤窓	4月8日	切統紙	三 古周易經	不	袋綴 20丁
一三	京都より帰途予定等ニ付書狀	而後不煩↓煤窓・文車	卯月14日	切統紙 2	四 陰陽道之儀ニ付御算用場廻狀并 取締方旧記拔書 丹羽織人・小幡主稅	文久元年4月	袋綴 69丁
一四	宮腰より京阪道程名所記	不	長帳	14丁	五 月之異名	元治元年仲秋	横帳 5丁
一五	真誠講道中休泊所帳	講元佐々木莊助 愛知中野屋大助刊	明治12年5月6日	横本 （木版） 6丁	六 天学名目鈔	不	袋綴 19丁
一六	真誠講道中休泊所帳	講元佐々木莊助 愛知山内六助刊	（明治）	横本 （木版） 26丁	七 下馬落之節等呪文口伝	不	折本 （手写） 一枚
一七	金石より東京間紀行	中山弥咲	明治12年	横帳 （野紙） 8丁	八 測刻盤	不	一枚
一八	金沢ヨリ東京迄東海道金石迄道中記	不	横帳	7丁	九 曆・年表		
一九	本願寺等參詣道中入費扣	中山弥咲	明治17年4月14日 5月7日	長帳	一 天保改正 年数早見表 （天保）		一紙 （木版）
二〇	上京道中入費扣	中山弥咲	明治17年4月	長帳	二 懷中曆   嘉永四年略曆   （嘉永3）		一枚 （木版）
二一	東京周施方三都講道中休泊所帳	不	横本	12丁	三 嘉永再刻 早見年代記 嘉永		一枚 （木版）
					四 安政五歳々玉 不		こよ り綴 （木版） 14丁
					五 新曆献上并曆道調進一件 安政6年		袋綴 23丁



- 二 中山君御氣運年卦 嘉永3年 折紙
- 三 中山甚之丞年卦 嘉永5年 切統紙
- 四 中山甚之丞年卦 嘉永6年 切統紙
- 五 卦之書(損之大畜舟一件) 嘉永6年 切統紙
- 六 中山甚之丞年卦 嘉永7年 切統紙
- 七 卦見立書狀 壬子11月24日 切統紙<sup>2</sup>
- 八 役義御断一条等卦書 丑9月朔日 切紙
- 九 卦之書 甲寅3月19日 切統紙
- 一〇 卦書 漁之巽等 亥正月25日 切統紙
- 一一 卦書 小畜之家人 小春3日 切紙
- 一二 卦書 訟之漁 2月13日 切紙
- 一三 家祿等之義卦書 6月朔日 切統紙
- 一四 卦書添狀 6月24日 切統紙
- 一五 津一件二付占書狀 7月5日 切紙
- 一六 卦書 觀之漁 8月10日 切紙
- 一七 実名字等卦書 9月吉日 切統紙
- 一八 白林先生宛悟下書 不 切統紙
- 一九 宮腰留書足輕宮腰役所罷越之義 不 切統紙
- 二〇 山田保左衛門等湊屋御調理之為 不 切統紙

中山家文書目錄

帳面引上商売方差支之義二付卦書

- 一 中山恒太郎等卦相 不 切紙
- 二 二十六才男子卦書 不 切統紙
- 三 運氣年卦書 不 切統紙
- 四 卦書 離之豊 不 切紙
- 五 卦書 頤之復等 不 切統紙
- 六 卦書 訟之否 不 切紙
- 七 昭和六年運勢便覽 昭和5年5月15日 書冊 18丁

金 医 薬

- 一 日本諸家秘方 全 不 袋綴 19丁
- 二 暴瀉病療治方触之義申渡書 (文化三年 中山盛庵所持) (安政・文久) 9月3日 切統紙
- 三 乳の出る滋養剂広告 御算用場下丹羽織人・小幡主税 昭和5年4月 (印刷) 一枚
- 四 会席之覚并部屋方等薬之覚 福井県田口松栄堂 八十嶋東庵他 戊11月朔日他 長帳 3丁
- 五 免之隋病氣療治書 不 切紙
- 六 益寿糖効用書(御薬菓子) 京都藤井播磨守 取次所石浦町松任屋武平 不 (一枚) (木版)
- 七 外療道具広告 京都藤龍軒源安秀 不 (折紙) (木版)
- 八 心脉安楽丸(生活信条書) 金沢曹林塩屋与三兵衛 不 (一枚) (木版)

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点数

八〇〇 名簿・名鑑

- 一 和漢名公法帖 明和8年5月吉日 (木版) 3
- 江戸上村兵吉彫 江戸前川六左衛門他発行
- 二 雲上明覧大全(上、下巻) 天保14年 (木版) 2
- 三 新板改正 嘉永武鑑(卷一~四) 嘉永元年 小本 4
- 袖玉武鑑 安政5年 (横本) 82丁
- 東都須原屋茂兵衛版
- 五 現故漢書名家集鑿 慶応2年霜月後一日写 一枚
- 摩儉舎処士書 (文久2年閏8月刊)
- 六 本朝武家大系図 不 (木版) 100丁
- 七 前田候爵等歡迎会會員交名録 大正2・4・6年 (木版) 3
- 八 前田候爵閣下歡迎会出席人名 大正8年9月19日 (印刷) 19丁
- 金沢市公会堂にて
- 九 新年祝賀會員名簿 大正8~1012・1214年 (書冊) 10
- 金沢市役所発行等
- 一〇 加賀能登 故工芸作家名鑑 大正12年6月10日 (書冊) 49丁
- 石川県商工陳列所
- 一一 明和四年日本諸国大名知行高一覧表 昭和6年 (印刷) 2
- 笠間製本所
- 一二 名書 不 切紙

八〇〇 博覧会・展覧会

一 博覧会品物目録(1~5号)

明治5年3月10日 一枚 5

(本願知恩建仁之三寺にて)

京都神戸源右衛門・伊東久兵衛

より (木版)

- 二 金沢展覧会品目(天、地、人) 明治5年9月 (木版) 3
- 龍野山人撰 香雲若林效書
- 三 金沢博覧会出品図 明治7年6月 (木版) 5
- 金沢博覧会執事局
- 四 石川県金沢博覧場列品之図 不 (木版) 3
- 三枚組
- 五 金沢公園勸業博物館之図 明治24年2月23日 (銅版) 一枚
- 金沢梅本町飯山他家治版 華亭画 坂方・今初彫
- 六 金沢美術展覧会出品目録 明治27年8月6日 袋綴 36丁
- 石川県内務部第二課編杏山画
- 七 奠都祭博覧会遊覧乃朶 明治28年4月22日 (書冊) 79丁
- 大阪瀧山瑠著 大坂国文社発行
- 八 都名所及博覧会大極殿新図 明治28年5月13日 (銅版) 一枚
- 京都石田有年著・印刷・発行
- 九 日本新古美術展覧会出品目録 大正2年9月18日 (小本) 23丁
- 金沢商工会々報第壹号
- 一〇 戦後発展全国工業博覧会参考館 大正10年7月5日 (一冊) 16丁
- 宝物目録 金沢商工協会
- 一一 加賀藩時代遺物展覧会出品目録 大正12年6月13日 (一枚) 1
- 戦後発展全国工業博覧会発行
- 加越能史談会主催 旧議事堂ニテ
- 一二 第五回余技作品展覧会出品目録 大正14年1月15日 (一枚) 1
- より
- 一三 時代正月風俗展覧会出品目録 大正14年1月18日 (一枚) 1
- より
- 宮市大丸ニテ

- 四 第九回余技作品展覧会出陳目錄 昭和4年1月15日より (印刷) 一枚
- 石川県商品陳列所
- 五 大西社中絵画展覧会出品目錄 昭和4年10月19日より (印刷) 一枚
- 商品陳列所ニテ
- 石浦町福田香林堂
- 六 浮世絵版画展覧会開催案内 昭和5年4月5日 (印刷) 一枚
- 相川松瑞
- 七 加賀藩風俗資料展覧会目錄 昭和6年6月14日より (印刷) 書冊 8丁
- 三越金沢支店ニテ
- 加越能史談会発行
- 八 神戸海港博覧会記念館出品目錄 昭和6年6月20日 (印刷) 書冊 77丁
- 神戸博覧会協会
- 九 加賀藩風俗資料展覧会出品概目 昭和6年6月 (印刷) 一枚
- 三越金沢支店
- 一〇 肖像画特別展覧会陳列目錄 昭和6年11月5日 (印刷) 書冊 15丁
- 帝室博物館
- 一一 百万国文化展覧会出品目錄 不 (印刷) 一枚
- 石川県商品陳列所にて
- 一二 産業と観光の大博覧会 昭和7年4月12日より (印刷) 一枚
- 美術工芸館出品目錄并恩賜品目錄
- 金沢市主催
- 一三 金沢市主催産業と観光の大博覧会記念 幕末商傑銭屋五兵衛遺品展覧会出品目錄 昭和7年4月12日より (印刷) 一枚
- 金石齋々園にて
- 一四 金沢博覧会会場案内図 (昭和7) (印刷) 一枚
- 一五 金沢博覧会台湾館喫茶部案内 (昭和7) (印刷) 一枚
- 一六 金沢博覧会日支事変館案内 (昭和7) (印刷) 一枚
- 一七 金沢産業と観光大博覧会満蒙参考館案内 (昭和7) 4月12日、6月5日 (印刷) 一枚
- 一八 千代尼遺品展覧会出品目錄并千代尼略年譜 昭和7年4月20日より (印刷) 一枚
- 松任町聖興寺ニテ
- 千代尼百五十年祭記念協賛会
- 一九 加賀藩藩末勤王家遺墨品展覧目錄 五色家楼上ニテ 昭和7年9月8日 (印刷) 書冊 8丁
- 今井弥一郎主催
- 二〇 第三回聲啞者優秀作品展覧会出品目錄 日本聲啞協会石川部会 昭和7年11月11日より (印刷) 書冊 6丁
- 二一 第二回新古書画傑作展観即売会目錄 金沢美術倶楽部ニテ 昭和8年9月13・14日 (印刷) 一枚
- 東京鑑墨社主催
- 二二 三州維新勤王家資料展覧会目錄 昭和8年11月6日より (印刷) 一枚
- 三越金沢支店にて
- 二三 能楽展覧会出品目錄 昭和9年4月18日より (印刷) 一枚
- 金沢文化協会等主催
- 二四 酒に関する趣味展出品目錄 昭和9年5月16日より (印刷) 一枚
- 石川県商品陳列所主催
- 宮市大丸ニテ
- 二五 郷土名家書道展覧会目錄并出品依頼状 昭和9年6月14日より (印刷) 書冊 2
- 金沢市酒造組合主催
- 二六 松田青風画伯個人展覧会案内 昭和9年9月 (印刷) 一枚
- 三越金沢支店

番号	標 題	年 代	形 態	墨付 点数
三〇	郷土講座「郷土の絵画」要項 金沢市立図書館	昭和10年2・3月	一枚 (印刷)	2
三二	郷土画人展覧会目録 金沢文化協会	昭和10年6月13日 より	書冊 (印刷)	32頁
三三	米僊追慕遺作展覧会若筵会記 金沢美術倶楽部にて	昭和10年8月 25・26日	折紙 (印刷)	2
三四	軍戦記展覧会陳列目録 石川県立図書館・同図書館協会主催	昭和10年11月8日 より	一枚 (印刷)	
三五	袖珍本展覧会目録 金沢市立図書館ニテ 金沢文化協会	昭和11年7月3日 より	書冊 (印刷)	32頁
三六	第一回北国素人美術展覧会出品 目録 石川県商品館ニテ 北国新聞社主催	昭和11年8月21日 より	一枚 (印刷)	
三七	石川県県勢展覧会案内 不		書冊 (印刷)	4丁
三八	古版展覧会目録 石川県立図書館・同図書館協会主催	11月9日より	一枚 (印刷)	
三九	加賀能登を中心とする日本海文 化展覧会陳列目録 石川県立図書館・同図書館協会主催	10月23日より	一枚 (印刷)	2
四〇	育児大展覧会妊産婦の心得 三越金沢支店	6月1日より	一枚 (印刷)	
四一	金城画壇作品展覧会陳列目録 石川県商品陳列所にて	6月8日より	一枚 (印刷)	
四二	歌舞伎踊の衣裳展覧会 三越金沢支店	不	一枚 (印刷)	
四三	郷土文化展覧会出品目録 (No.1, 2) 不		一枚 (印刷)	2
四四	第25回全国図書館大会実行委員会 乃木將軍一代記人形二十五場面 御案内 金沢産業振興会主催	不	一枚 (印刷)	
四五	花山作陶展図録 金沢花山窯納賀花山堂	不	書冊 (印刷)	10丁
四六	平和記念東京博覧会会場平面案 内図 東京交光堂吉田印刷所発行	不	一枚 (印刷)	
四七	東京平和博覧会会場図(上部欠) 時事新報社	不	一枚 (印刷)	
四八	観艦式記念海港博覧会々々報 神戸博覧会協会(第一号)	不	書冊 (印刷)	6丁
四九	観艦式記念海港博覧会案内 神戸博覧会協会主催	9月20日より	一枚 (印刷)	
五〇	日光大博覧会案内 不		一枚 (印刷)	
五一	新聞・雑誌			
一	朝日新聞(第一〇八二号)	明治15年9月27日	新聞	
二	開真雑誌(第一号) 京都煥文社	明治15年12月	小本 (木版)	12丁
三	朝野新聞(二八一四号) (三二六九号)	明治16年3月9日 明治17年5月13日	新聞	2
四	古新廻遊奇(五七八号) 堆銀社刊	明治22年5月 8月	書冊 (印刷)	4
五	古新廻遊奇(第九号) 金沢堆銀社刊	明治22年9月10日	書冊 (印刷)	16丁

六	古新廻遊奇 (第九号附録)	(明治22)	一枚	4丁	元	北国新聞	明治35年7月3日	新聞	56
	金沢堆銀社発行兼編輯						大正12年9月30日		
七	古新廻遊奇 (第一〇号)	明治22年9月25日	書冊	18丁	二	石川新聞	明治42年9月23日	新聞	7
	金沢市横安江町堆銀社						明治42年9月30日		
八	絵入有毀替新誌 (第一二号)	明治22年12月1日	一枚		三	二美人立姿図 (大阪新報附録)	明治43年1月1日	一枚	
	(古新廻遊奇改題)					新聞スクラップ	明治43年3月26日他	一枚	3
	金沢市博労町経業堂発行				三	井上侯爵金沢来遊の節石川新聞記事抜写	明治45年5月	罫紙綴	47
						三松堂			
九	文則 (第一四号)	明治24年11月22日	書冊	61丁	四	大阪朝日新聞	明治45年7月21日	新聞	80
	東京文章専修会編輯						昭和2年2月9日		
一〇	北陸新報 (第五二七七号)	明治27年7月29日	新聞	2	五	北国新聞掲載浅野屋秋台の記事スクラップ并写	大正3年	切統紙	
	(第五六六六号)	9月12日							
	金沢市南町北溟社				六	御大礼画報 (大阪毎日新聞)	大正4年12月1日	一枚	2
一一	東京日日新聞	明治29年7月19日	新聞		七	石川教育 (第一九七号)	大正9年9月5日	書冊	23丁
						石川県教育会			
一二	皇太子殿下御真影等	明治30年1月1日	一枚	2	八	菘翁書前赤壁賦并新聞スクラップ	大正11年他	袋綴	3
	(東京日日新聞附録)								
一三	森田柿園遙拝殯宮謹慎 敬悼之卑歌 (北国新聞附録)	明治30年2月8日	一枚		九	新聞、葉書スクラップ帖	大正、昭和初年	書冊	36丁
						葉書六八通他			
一四	仁徳天皇高望之図 (舞水写)	明治32年1月1日	一枚		一〇	大阪朝日新聞 北陸号外	昭和2年2月7日	新聞	
	(新北陸附録)						中華民國16年7月23・25日 (1927)	新聞	2
	新北陸社				一一	申報	昭和2年2月8日	新聞	2
一五	加越能名妓投票大番附等	明治32年1月1日	一枚	19	一二	上海申報社	昭和2年2月8日	新聞	2
	(北国新聞附録)						昭和5年9月18日	書冊	10丁
一六	大内山の春光等	明治32年1月1日	一枚	9	一三	大阪朝日石川富山版	昭和2年2月8日	新聞	2
	(大阪毎日新聞附録)						昭和5年9月18日	書冊	10丁
一七	釈迦出山図及皇太子写真	明治33年5月8日	一枚	2	一四	わんやタイムス (第九一号)	昭和9年9月1日	一枚	
	(政教新聞第一号附録)					わんや書店			
	謹做殿如上人筆、薫沐写				一五	朝鮮中央日報 (第二三三五号)	昭和9年9月1日	一枚	
一八	史学雑誌 (第二〇編第一号)	明治34年1月10日	書冊	79丁		京城府朝鮮中央日報社			
	中山家所蔵「前田利家画像」并解説掲載アリ								
	史学会								

中山家文書目録

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

三 大阪毎日新聞(第一八九二八号)  
昭和11年1月1日 新聞 1  
三 演劇雜誌(第五号)  
明治13年4月16日 こよ 6  
り綴 丁

大阪演劇雜誌社

三 昇旭図等(石川新聞附録)  
昭和36・43年 一枚 2  
1月1日 (木版印刷)

三 愚峰書(石川新聞附録)  
昭和43年2月11日 一枚 13  
丁

三 聖人流罪赦免御帰洛之図  
一枚 横帳

四 骨相秘伝(新聞スクラップ)  
一枚 横帳

四 悟道寸銃(十、十二)  
一枚 横帳

(新聞スクラップ)

四 人物写真スクラップ  
一枚 17

四 貝原益軒(新聞スクラップ)  
一枚 印刷

四 清満呂書  
一枚 石版

(北国新聞第一六六一号附録)

四 四部備要様本并発刊パンフレット  
一枚 印刷

中華書局印行

四 新訳仏教聖典パンフレット  
一枚 印刷

九文 芸

九九 文 芸

一 鉄槌(一、二卷上、下)  
寛文12年卯月

洛下西沢太兵衛板

半紙本 4  
(木版)

二 源氏引歌 元禄7年9月 横本 30  
(木版)

京都梅村弥与門・尾崎七左衛門・江戸松葉清四郎連版

三 通俗漢楚軍談(二、七、八、十二、元禄8年 半紙本 19  
上下、十三、十五卷) (木版)

夢梅軒章峯・称好軒徹庵著

四 参州井戸郡長寿者百姓万平之記(天保)7月 切続紙

(天保二年時二二九才)

五 嘉永二年利義朝臣参勤旅立之記(嘉永2) 切続紙

并寿正院御詠歌

六 白菊物語(一、二編合本) 嘉永4年孟陽 小本 22  
(木版)

緑享川柳記 一猛齋芳虎画

七 湊屋所蔵けんそう文等屏風之覚 2月11日 切紙

李□↓三松堂

八 けんそう文屏風読解之義ニ付書 5月14日 切続紙

李□↓三松堂

九 通俗西遊記(後編卷一) (天明4) 半紙本 19  
(木版)

石磨呂山人訳(貸本所博勞町足前屋吉之助印有)

一〇 向坂於菊古井怪語(上、下合本) 小本 21  
(木版)

東京辻岡屋文助版

一一 仮名手本忠臣蔵 半紙本 41  
(木版)

大坂天満屋玉水源次郎新版

一二 松前屋政談(一、四号合本) 小本 48  
(木版) 2

本所宮田伊助版

一三 佐野鹿蔵義勇伝(上、下卷合本) 小本 25  
(木版)

大西庄之助編發行

一四 大和にしき 袋綴 36  
丁

一五 三家妙絶 中本 57  
(木版) 丁

(市河)寛齋先生輯詩聖堂板

六	瓢と筆の記	不	切紙	三	神視集	寛政7年跋	中本	2
七	梅堂逸人著書序文并添削願書 □村↓而後	不	切統紙	四	はさくら集(下) 得閑齋著 京都吉田新兵衛板	(寛政12年)	中本	38丁
八	蕉門俳諧書目録	不	こよ り綴 (木版)	五	頭書古今和歌集遠鏡(一〇八) 本居鈴廼屋翁著 山崎美成頭書 江戸書林文溪堂丁子屋平兵衛梓	天保14年初秋	小本	8
九	京菊舎太兵衛蔵 歌舞伎十八番之内勸進帳	明治12年3月6日 御届	小本 (木版)	六	今古和歌初学(卷一〇八) 鈴木重胤著 東都名山閣蔵板	弘化3年8月10日	小本	8
一〇	刈萱心筑紫驛(上・下合本) 林吉蔵編・出版	明治13年1月	小本 (木版)	七	類題和歌鴨川集(上) 長沢伴雄編 絳石軒社中蔵	嘉永元年卯月序	小本 (木版)	71丁
一一	於染久松 染模様妹背門松 (上・下合本) 柳下亭種清作 東京丸屋小林鉄次郎板	明治13年	小本 (木版)	八	雛かた百人一首 芝明神前和泉屋市兵衛板	不	極小本 (木版)	58丁
一二	柳水亭種清作 生田芳春画 東京丸屋・小林鉄次郎板	明治20年11月	書冊 (印刷)	九	百人一首	不	極小本 (木版)	53丁
一三	小説両中花 末広鉄腸・二宮孤松同訳東京文学社刊	明治38年	一枚 (印刷)	一〇	金剛石等歌集	不	小帳	14丁
一四	希仙閣蔵書目録 金沢殿町細野屋↓中山一衛	不	切統紙	一一	蜀山百首 大田蜀山著	不	こよ り綴 (野紙)	8丁
一五	金石社会則	昭和5年	書冊 (印刷)	一二	歌稿綴□柳他	不	こよ り綴	34丁
一六	雲煙過眼 小竹瞭吉著	昭和10年6月11日	書冊 (印刷)	一三	巖如上人等歌并白川染翁花詠	不	袋綴	5丁
一七	朝鮮役と加藤清正 小田省吾著 京城日報社発行	昭和10年6月11日	書冊 (印刷)	一四	狂歌集 俳諧歌次郎万首かへりあ るじ之巻 四方歌垣真顔撰	不	中本 (木版)	56丁
一八	書籍袋	不	袋	一五	狂歌月並草	不	中本 (木版)	14丁
一九	兼好法師家集	寛文4年	袋綴	一六	たつみ様等詠歌并雪袋等句帳	不	野紙綴	16丁
二〇	吉田兼好著 弘文学院林学士享	正徳5年仲春	一枚 (木版)	一七	新年御題歌集	明治20~32年	袋綴	29丁
二一	播州曾禰社御奉納和歌 中院通躬・正仁親王他	正徳5年仲春	一枚 (木版)	一八	花守集続花守集 黒本植著 稼堂先生著書刊行会発行	明治11年7月20日	書冊 (印刷)	2

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数	着舞	
元	駒井朝温和歌短冊	駒井左京朝温(海岸巡見使御目付)	安政5年		短冊		深草元政和歌短冊	短冊
二	堅光和歌短冊	堅光	不		短冊	2	中山洋美和歌短冊	短冊
三	利家卿和歌短冊	利家	不		短冊 (印刷)		政風和歌短冊	短冊
三	西庵和歌短冊	西庵	不		短冊	5	大秀和歌短冊	短冊
三	秀枝和歌短冊	秀枝	不		短冊	3	柳原隆光卿和歌短冊	短冊
四	透得和歌短冊	透得	不		短冊		万里小路正房卿和歌短冊	短冊
五	亀井之道和歌短冊	亀井之道	不		短冊		高松公裕卿和歌短冊	短冊
六	死灰和歌短冊	死灰	不		短冊	2	高松李実卿和歌短冊	短冊
七	靱子和歌短冊	靱子	不		短冊		信礼和歌短冊	短冊
六	蜀山人詠歌写	(大田南畝)	不		短冊		光晴和歌短冊	短冊
元	かつ女和歌短冊	かつ女	不		短冊		朝香和歌短冊	短冊
三	不煩庵和歌短冊	不煩庵	不		短冊	4	綾小路有長和歌短冊	短冊
三	和歌短冊	作者不明	不		短冊	5	大綱和歌短冊	短冊
三	着舞和歌短冊		不		短冊		蓮如和歌短冊	短冊
							大谷廟所刊	(印刷)

四	雞馬和歌短冊	不	短冊	良重和歌短冊	有慶	不	短冊	2
四	正彰和歌短冊	不	短冊	尚之	尚之	不	短冊	7
四	定文和歌短冊	不	短冊	智康和歌短冊	智康	不	短冊	3
吾	三升和歌短冊	不	短冊	成美和短冊	成美	不	短冊	11
三	美寥和歌短冊	不	短冊	勝安和歌短冊	勝安	不	短冊	4
三	久米滿和歌短冊	不	短冊	為清和歌短冊	為清	不	短冊	
三	孝之和歌短冊	不	短冊	成矩和歌短冊并稿	成矩	不	短冊	2
吾	篤好和歌短冊	不	短冊	貫一和歌短冊	貫一	不	短冊	3
三	加世嘉和歌短冊	不	短冊	黃朔和歌短冊	黃朔	不	短冊	3
三	嚴徳和歌短冊	不	短冊	秀枝和歌短冊	秀枝	不	短冊	3
三	宣長和歌短冊	不	短冊	西南和歌短冊	西南	不	短冊	
三	家木青三郎和歌短冊	不	短冊	三千代和歌短冊	三千代	不	短冊	9月9日
三	慶哉和歌短冊	不	短冊	かすめ和歌短冊	かすめ	不	短冊	
三	以義和歌短冊	不	短冊					
三	有慶和歌短冊	不	短冊					

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
六	和歌短冊		不		短冊	9
七	正翁和歌短冊	岐阜県正慶寺住職脇阪三応	不		短冊	2
七	音琴狂歌短冊	勃々庵音琴	不		短冊	
八	音琴狂歌短冊	勃々庵音琴	不		短冊	2
八	勃々庵子之年暮等ニ詠める狂歌	勃々庵音琴	不		切紙	
八	狂歌	勃々庵音琴	不		切紙	
八	狂歌子之暮丑之春	勃々庵音琴	不		切紙	
八	音轆君へ返し歌	西陣会今居一音報	不		切紙	
八	歌稿	梅奴他	不		折紙 切紙	3
八	冷光院殿百十日忌之節大石良雄 等和歌		不		切紙	
八	蜀山人作歌	大田南畝	不		切紙	
八	文政十三年金龍院殿七周忌ニ詠める歌		(文政13)		切紙	
八	真龍院様越路之旅立歌	十二代齐広正室	8月4日		切続紙	
八	歌迂雲きれに	(成田) 蒼虬評	不		切続紙	

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
九	和歌四首		不		切紙	
九	雅声和歌一首	雅声	不		切紙	
九	大綱和尚詠草	大綱和尚	不		切紙	2
九	賀茂直兄詠早梅	賀茂直之	不		堅紙	
九	菅家之旧歌准歌		不		切紙	
九	高倉様四条様御歌		不		切紙	
九	和歌二首		不		切紙	
九	御作拝領之和歌		不		切紙	
九	短歌施頭歌等解説書		不		切紙	
九	春秋兩詠	九起他	不		一枚 (拓本)	
一〇	松本董亭先生歌	松本董亭	不		一枚	
一一	音琴酒宴之歌	勃々庵音琴	不		一枚	
一二	勃々山人歌	勃々山人	不		一枚 (木版)	2
一三	明治二十四年五十初度賀自并短歌	赤井景瑞	明治24年		一紙	

九〇二 俳諧

一	諸国独吟集	寛文12年臘月	横本 (木版)	49丁
二	加賀染	久津見一平編 金沢駄屋五郎兵衛梓	天和元年12月吉日	小本 (木版)

三	物見車 (一、四)	京都本屋半兵衛板	元禄3年序	中本	4	七	三草紙 黒そうし	享和元年	中本	20丁
四	柞原集 (上、下)	桑門句空編 京都井筒屋庄兵衛板	元禄5年	中本	2	八	古人五百題	天明7年仲夏	小本	100丁
五	芭蕉翁終焉記	晋子書	元禄7年10月12日	中本	9丁	九	江戸上総屋利兵衛梓	(寛政5)	中本	20丁
六	芭蕉翁終焉記	晋子書	元禄7年10月12日	横帳	6丁	一〇	白佗のしおり	享和元年弥生日序	極小本	21丁
七	俳諧をたまき綱目 (下)	溝口竹享著 洛下書林新井弥兵衛版	元禄10年孟春	小本	108丁	一一	加陽鳥翠台北枝著	享和元年	中本	11丁
八	俳諧七部集	京都書林志村孫七他	元禄11年	小本	207丁	一二	ことしまた	享和元年	中本	11丁
九	俳諧十五ヶ条	東花坊	正徳4年	袋綴	31丁	一三	眉山編 京都菊舎太兵衛板	文化4年	中本	16丁
一〇	俳諧古今抄 (日之一、二、月之四)	蓮二坊編	享保15年3月跋	中本	4	一四	鳥丸勝田善助刊	文化5年後6月	中本	33丁
一一	千代尼書状	素園→御すへ	(宝曆・明和) やよい7日	切続紙		一五	如泥編 京都菊舎太兵衛刊	文化5年11月再刻	小本	100丁
一二	千代尼書状	尼素園→御すへ	(宝曆・明和) やよひ16日	切続紙		一六	芭蕉著 野田治兵衛他刊	(文政3) 仲秋	袋綴	41丁
一三	千代尼書状	素園→御すへ	(宝曆・明和) 水無月7日	切続紙		一七	玉函集 (二編)	文政8年序文	小本	25丁
一四	ちとり塚	漁光編 京都橋屋次兵衛	明和5年跋	中本	15丁	一八	金龍北元撰	文政9年序	袋綴	17丁
一五	三草紙 赤さらし	(服部之芳)	(安永5)	中本	29丁	一九	初懷紙百韻	文政9年写	袋綴	17丁
一六	三草紙 白冊子		安永5年序	中本	16丁	二〇	俳諧あきのいとま	天保2年菊月	小帳	11丁
						二一	①日々覗之	天保4年下夏	袋綴	122丁
						二二	雪斗舎三項			
						二三	②神明宮狂歌奉額写并和歌十題			
						二四	覚			
						二五	③黄年評季題覚			
						二六	④朝千鳥題書			

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
三	其如月	鉤玄堂	弘化5年		こよ 綴り (木版)	2
三	掌中千代尼発句集	宝曆十三年蘭更序文	嘉永(2)秋		特小本 (木版)	46丁
三	葛麻拾遺	葛麻庵角大加葉著 梅原本龍寺藏板	嘉永(4)秋		中本 (木版)	24丁
三	歌仙椿之卷	菊叟他	安政6年陸月念5		折本	
三	紀行之中	槐庵大夢	(文久2)		切綴紙	
三	俳諧之連歌		元治元年		袋綴	4丁
三	幻住庵之記	芭蕉著	慶応3年		袋綴	20丁
三	芭蕉忌俳諧		明治2年		横帳	26丁
三	吟詠集		明治2年		小本 (木版)	26丁
三	葛わか葉	有海編	明治4年8月		中本 (木版)	10丁
三	芭蕉忌脇起俳諧之連歌表六句	梅奴・雪袋	明治4年10月12日		折紙	
三	句箋・猫之恋	雪袋	(明治5)		一枚 (木版)	2
三	うたつ文庫 附麴釣草集出版案内書	句空庵雪袋編	明治14年		中本 (木版)	27丁
三	長曾川	双平編 金沢書籍摺仕立所若林長平	明治15年秋		中本 (木版)	30丁
三	かやつり草		明治15年秋		袋綴	28丁
四	花奴器水両吟歌仙	句空庵蔵 金沢書籍摺仕立所若林長平	(明治)32年2月		こよ 綴り (野紙)	3丁
四	時雨の集 時雨庵枳庭(酒井平二郎)遺稿集	酒井猶次郎編	明治24年3月		書冊 (印刷)	38丁
四	柳江追善句	上金石連	(明治)25年冬日		一枚 (木版)	
四	手丈	金沢横山隆平編発行	明治28年仲春		中本 (木版)	32丁
四	居中遺稿(横山隆興)	鳳双編	大正6年4月		書冊 (印刷)	4
四	一茶日記抄附一茶翁終焉記	小池直太郎編	大正15年3月10日		書冊 (印刷)	131P
四	俳人雅号等ニ付書状	札幌檜堂→中山一衛	(明治)5年 7月2日		葉書	
四	ふくべの記	胡慮	不		切紙	
四	乞食袋	和泉	辛卯9月		袋綴	3丁
四	俳諧五百題(一)	田喜菴護編 江戸萬笈堂英屋平吉板	不		小本 (木版)	109丁
四	俳諧古今抄再撰貞享式(卷之三)	蓮二坊(支考)編	不		中本 (木版)	44丁
四	きた日和	金石編(雪)衣袋編	辛未(明治)4		中本 (木版)	20丁
四	続濃原(天)	素堂等判 一柳軒不卜等撰	不		中本 (木版)	29丁

兵	誹林良材集 (双雀庵水壺編)	(安政)	中本 (木版)	32丁	三	半歌仙 雲晴て…	不	切続紙
弄	誹諧故人五百題(上) 松露庵主人(鳥明)編	(天明7)	小本 (木版)	88丁	四	歌仙未稿	不	こよ り綴
〇	新版改正をたまき大成 (溝口)竹亭	不	小本 (木版)	97丁	五	若紫色鏡之卷 十棋園撰	不	袋綴
一	花の夜	不	中本 (木版)	16丁	七	世吉 邑端にの巻	不	切続紙
三	名所付合(後欠)	不	折本		六	梅奴句稿	不	こよ り綴
三	発句袋 塩屋平助版	不	横本 (木版)	81丁	六	梅奴句稿綴 梅奴	不	こよ り綴
三	歌仙(頼白鳴の巻) 十棋園評	不	切続紙		六	梅奴雪二句 梅奴	みつへのうま11月	用箋
三	歌仙 下枝に… 棋園評	不	切続紙		二	梅奴句稿	不	折紙
三	歌仙 棋園	不	横帳	5丁	三	梅奴等両吟	不	折紙
三	歌仙 北野庵	不	横帳	4丁	三	句評依頼句稿 梅奴↓雪袋	不	折本
六	運座歌仙三卷 北野庵	不	横帳	10丁	三	句評依頼句稿 梅奴↓雪袋	不	罫紙綴
六	歌仙(波をとこの巻) 黄年評	不	切続紙		四	句留草稿 梅奴	不	小帳 (野紙)
七	梅奴荷涼如水九歌仙 俳聖堂評	不	袋綴	28丁	五	梅奴雪袋連歌 梅奴	不	小帳 (野紙)
七	歌仙二卷 雪袋等	不	こよ り綴 (野紙)	5丁	六	芭蕉忌脇起俳諧 梅奴・雪袋	不	短冊
三	歌仙 翁忌や…	不	こよ り綴	3丁	六	歌仙一折 梅奴他	不	罫紙
					六	梅奴等連句	不	罫紙

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数	略こよみ	冬三句	戊辰冬	二〇八
六〇	梅奴句稿綴	梅奴	不		こよ 綴	19丁	一四 撰句帳	枯野	不	横帳 3丁
六〇	梅奴句稿綴	梅奴	不		こよ 綴	41丁	一五 松の葉もり	槐庵大常評	不	横帳 6丁
六二	十棹園撰句集		不		切統紙		一六 水無月	槐庵大常評(越前屋次郎兵衛)	不	袋綴 37丁
六三	選句集 余寒の巻	十棹園評	不		袋綴	26丁	一七 蝶重丸被書(上)		不	袋綴 18丁
六四	かみ花	十梅園評	不		横帳	13丁	一八 両評毛ころも		不	袋綴 19丁
六五	雪袋句稿	雪袋	不		一紙	3	一九 黄年評百題	雪斗舎式頂	不	袋綴 10丁
六六	雪袋等句稿	雪袋	不		こよ 綴	6丁	二〇 俳諧集	徳元等撰	不	横帳 28丁
六七	雪袋雪の句	雪袋	不		切紙		二一 四季の句		不	小帳 9丁
六八	雪袋選句等綴	雪袋	不		こよ 綴	4丁	二二 蒼虬評(成田時二 後庄助)		不	切紙
六九	雪袋梅奴連歌未完稿	雪袋・梅奴	不		こよ 綴	1丁	二三 舜統俳句 佐那武大神御旅所にて		不	切紙
七〇	句箋 猫の恋	雪袋	不		一枚 (木版)		二四 送別之句	永寿斎	不	一枚 (木版)
七一	夏七句	倚水画 雪袋他	庚午夏		一枚 (木版)		二五 今朝の春	春湖他	不	一枚 (木版)
七二	冬六句	雪袋他	庚午冬		一枚 (木版)		二六 松の葉もり	七寿軒	不	一枚 (木版)
							二七 俳句箋	燕亭評	不	一枚 (木版)
								半窓庵	不	一枚 (木版)

杖

二八 暮遅き	句空庵評	不	袋綴	17丁	二三 夏五句	斗山	不	切続紙
二九 初夏八句	如水他	不	一枚 (木版)		一四 句空日記写	柳壺	不	
三〇 三節之句	槐庵大夢	丁巳春	一枚 (木版)		一五 筍圃他句稿		不	罽紙
三一 枳庭追善句	泊船庵君風	(明治)24年3月	一枚 (木版)		一六 撰句帳 はいかい夏の友		不	切続紙
三二 道歳成刻花の賀集句寄案内	句寄所金沢趙翠台江波他	不	一枚 (木版)		一七 万歳集	三松堂	不	袋綴
三三 花見三句	有村	不	一枚		一八 梅友二十句		不	袋綴
三四 几瑠等句稿	九瑠	不	りこよ綴	5丁	一九 連歌撰句集(前欠)	梅友	不	切続紙
三五 花曙	不意軒	不	袋綴	16丁	二〇 荷涼等連句	黄年評	不	一紙
三六 仏事の句	(菅)雨	不	切紙	2	二一 春三題句	荷涼他	不	折紙
三七 秋風	中山而後添削	不	小帳	4丁	二二 桃賀等句稿	桂壺堂評	不	一紙
三八 選句帳	園亭評	不	袋綴	14丁	二三 桃賀(与三八)・梅奴他		不	一紙
三九 桜二十六句	従容他	未の桜月	袋綴	14丁	二四 楓春館興行連句	之芳他	不	一紙
四〇 撰句帳	田ぬし	不	切紙 (木版)		二五 器水秋の句	器水	不	切紙
四一 勝亭等撰句帳	玉陽亭評	不	小帳	6丁	二六 句稿		不	切紙
四二 斗山俳句一首	勝亭他	不	袋綴	3丁	二七 連句 鷺も		不	切紙
		不	切紙		二八 春の句稿		不	罽紙
		不	袋綴	3丁	二九 句稿断簡		不	切紙
		不	切紙		三〇 連句 押合ふて		不	一紙
		不	袋綴	2丁	三一 句帳		不	横帳

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数	内容	備考	月日	紙種	枚数
一五	ほととぎすの句		不		切紙					切紙	8丁
一三	句稿		不		一紙	2				袋綴 (木版)	2
一三	閑古鳥三句		不		切紙					袋綴 (木版)	38丁
一四	四季花鳥		不		袋綴	48丁					
一五	句集		不		横帳 (野紙)	13丁					
一五	俳諧集		不		小帳 (野紙)	21丁					
一七	句稿等綴		不		こよ り綴	18丁					
一八	俳諧百韻		不		横帳	9丁					
一九	句稿		不		切続紙						
二〇	俳諧稿		不		こよ り綴	5丁					
二一	①雁風呂集		不		小帳 (野紙)	16丁					
	②歌仙未稿		不		野紙綴	3丁					
二二	題詠等句控		不		小帳 (野紙)	14丁					
二三	粽笹	宮腰連	不		横帳	5丁					
二四	俳諧手控		不		小帳	11丁					
二五	巴調		不		袋綴 (野紙)	5丁					
二六	芭蕉翁年忌覚		不		一紙 (野紙)						
二七	正気大意		不		こよ り綴	6丁					
二八	辞世の句等留		不		野紙綴	10丁					
二九	句 菊神楽		甲子		一枚						
二七	旅立之記		不								
二七	左比志保里		不								
二七	槐庵大素宗匠評点用紙		不								
二七	諸国翁墳記	会林金沢区尾張町入口三星堂梅雅他	不								
二七	金石之俳人ニ付尋書	江州粟津義仲寺蔵板	不								
二七	両座二卷等御届之義ニ付書状	中山↓蔵	不								
二七	小すり代金請求書	雪帛↓淇竹・梅奴	不								
二七	両座二卷御送之義ニ付雪帛書状	句空庵(雪帛)↓梅奴・荷涼	不								
二七	社中上京旁貴地一見参ニ付短尺	雪帛↓梅奴	不								
	調筆願状	雪帛↓梅裡	不								
	(短冊)		不								
	千代尼俳句短冊	千代尼	不								
	確亭俳句短冊	確亭	不								
	舞杖俳句短冊	舞杖	不								
	雪袋俳句短冊	雪袋	不								
	其光俳句短冊	其光	不								

一四	方已俳句短冊	方已	不	短冊	12	一六	角丈俳句短冊	角丈	不	短冊
一五	夢余俳句短冊	夢余	不	短冊	8	一七	涼瓜俳句短冊	涼瓜	不	短冊
一六	三丈俳句短冊	平丈	不	短冊	2	一八	葛雨俳句短冊	葛雨	不	短冊
一七	梅堂俳句短冊	梅堂	不	短冊	18	一九	而後俳句短冊	而後	不	短冊
一八	句・詩稿短冊	楳堂他	不	切紙	29	二〇	西亥齊俳句短冊	西亥齊	不	短冊
一九	不煩俳句短冊	不煩	不	短冊	10	二一	一浦句短冊	一浦	不	短冊
二〇	不煩梅堂俳句短冊	不煩・梅堂	不	短冊		二二	藍田俳句短冊	藍田	不	短冊
二一	死灰俳句短冊	死灰	不	短冊	18	二三	春路俳句短冊	春路	不	短冊
二二	松陰俳句短冊	松陰	不	短冊	8	二四	坊鬼俳句短冊	坊鬼	不	短冊
二三	松亭俳句短冊	松亭	不	短冊		二五	何有俳句短冊	何有	不	短冊
二四	金羅俳句短冊	金羅	不	短冊		二六	九瑠俳句短冊	九瑠	不	短冊
二五	金波俳句短冊	金波	不	短冊	9	二七	雪翠俳句短冊	雪翠	不	短冊
二六	荷涼俳句短冊	荷涼	不	短冊	5	二八	酒冬俳句短冊	酒冬	不	短冊
二七	公鳩俳句短冊	公鳩	不	短冊	2	二九	園齊俳句短冊	園齊	不	短冊

番号 標 題

三二 寧億無俳句短冊

寧億無

三三 帷草庵俳句短冊

帷草

三四 淇竹俳句短冊

淇竹

三五 梅窓俳句短冊

梅窓

三六 担嵯俳句短冊

担嵯

三七 夢円俳句短冊

夢円

三八 たみの俳句短冊

たみの

三九 立峨俳句短冊

立峨

四〇 鷗外俳句短冊

鷗外(湊幸吉)

三一 芳山俳句短冊

青森西津豊治郎

三二 梅奴俳句短冊

梅奴

三三 湘塘俳句短冊

湘塘

三四 海酒俳句短冊

海酒

三五 其桃俳句短冊

年 代

形態 墨付  
点数

不 短冊 3

不 短冊

不 短冊

不 短冊

不 短冊 2

不 短冊

不 短冊

不 短冊

不 短冊

不 短冊 17

不 短冊

不 短冊 11

不 短冊

不 短冊

不 短冊

其桃

三六 白兔俳句短冊

白兔

三七 雪汀俳句短冊

雪汀

三八 希因俳句短冊

希因

三九 如水俳句短冊

如水

四〇 見風俳句短冊

見風

三一 介我俳句短冊

介我

三二 又人俳句短冊

又人

三三 竹桂俳句短冊

竹桂

三四 橘園俳句短冊

橘園

三五 具仏坊俳句短冊

具仏

三六 孤山俳句短冊

上井丙三郎

三七 笠作俳句短冊

笠作

三八 水石俳句短冊

水石

三九 北子俳句短冊

北子

不 短冊



番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数	歳旦	内容	年	形態
二六	歳旦	雪袋他	不		短冊 木版		二六	勃々庵	不	一枚 木版
二九	歳旦	雪袋桃守等	辛未		一枚 木版		二九	伝佳節 舜水画 金石有声会 金沢有伝堂版	壬寅	一枚 木版
三〇	歳短	雪袋他	未春		一枚 木版		三〇	一房山撰并書	不	一枚 木版
三一	歳旦	桃舟 桃舟 春こま	午		一枚 木版・彩色		三一	履端 南立他 金沢博勞町有文堂版	(明治)己春	一枚 木版
三二	歳旦	花の香	巳		一枚 木版	3	三二	鷗外他	壬春	一枚 木版
三三	歳旦	桃舟画 上金石連金沢有文堂版	壬寅		一枚 木版		三三	宮浦連	子	一枚 木版
三四	歳旦	舜水画、金石有声会	午		一枚 木版		三四	不奢社	とら	一枚 木版
三五	歳旦	亀敲他	亥の春		一枚 木版		三五	大夢他	癸亥春	一枚 木版
三六	歳旦	亀敲編	亥の春		一枚 木版		三六	吸時醉人	不	一枚 木版
三七	歳旦	(千賀女) 梅通他	戊		一枚 木版		三七	文真画 催主雪滴	卯の春	一枚 木版
三七	歳旦	梅通他	酉年		一枚 木版	2	三七	菜香他	亥	一枚 木版
三八	歳旦	枳庭他	戌の春		切紙 木版		三八	古来他 白嶽画	申	一枚 木版
三九	歳旦	霧山地	戌		一枚 木版		三九	水音社 青霞画	午	一枚 木版
四〇	歳旦	孤五他	己		一枚 木版		四〇	清叢画	不	切紙 木版
四一	歳旦	釣月他	午		一枚 木版		四一		不	切紙 木版



番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数	冊	紙	丁
三〇	担滄漢詩短冊		不		短冊	2			
三〇	栗公詩短冊		不		短冊				
三一	默黃漢詩短冊		不		短冊				
三二	紫山詩短冊		不		短冊				
三三	詩句歳旦	友月社	不		一枚 (木版)				
三四	詩句歳旦	友月社	不		一枚 (木版)				
三五	詩稿綴	春楼聞笛他	不		紙綴	9			
三六	詩稿	余春他	不		紙綴	11			
三七	詩稿	春草	不		紙綴				
三八	石黒雋添削梅道詩	梅道	不	丙子12月	紙綴	3			
三九	梅道詩稿	緑陰深処他	不		紙綴	3			
四〇	梅道詩稿	木(梅道)作(中山梅道)	不		紙綴	3			
四一	漢詩稿	正宇・梅道	不		紙綴	4			
四二	漢詩稿	正宇・梅道	不		紙綴	10			
四三	漢詩稿	正宇・梅道	不		紙綴	6			
四四	戲文・風刺歌	一世情風刺文句并文政二年江戸町	不		紙綴				
四五	漢詩稿	正宇・梅道	不		紙綴	27			
四六	愛山	楫堂評詩稿	不		紙綴				
四七	詩稿	探春他	不		紙綴				
四八	詩稿	江辺垂柳	不		紙綴				
四九	稼堂添削三松堂詩	荷涼	不		紙綴	4			
五〇	詩稿		不		紙綴	9			
五一	漢詩稿		不		紙綴	3			
五二	漢詩稿		不		紙綴				
五三	詩稿	淡月臘	不		紙綴				
五四	詩稿	(藏医院用箋)	不		紙綴				
五五	漢詩	秋月臘に	不		紙綴				
五六	添削漢詩		不		紙綴	12			
五七	詩稿	時庵名城	不	壬申晚夏11日	紙綴				
五八	詩稿	断続皺波	不	2月7日	紙綴				
五九	鴻爪詩話スクラップ帖	志賀矧川著	不		袋綴	12			
六〇	戊辰歳首		不		紙綴				
六一	戲文・風刺歌	一世情風刺文句并文政二年江戸町	不		紙綴				

家人数飯米調理高

二 苗うりない尽し 天保13年

三 前門拒虎後門進狼などことわざ

書(後欠)

四 風刺鯨の神(黒羽織党風刺歌)

五 風説伊呂波たとへ

六 もんもふなもんつくし

七 新板ちよほくれふし(後欠)

八 一つとせいぶし(上)

九 一つとせいぶし(下)

一〇 くだき文句 箱根山蹇の仇討

探花房(近八)

二 くだき文句 先代萩

探花房作 千賀八刊

三 凶年五節句風刺歌

三 政情風刺歌

四 幕末各藩風刺戯文

五 西洋くだき歌

六 当世めいて者の角力取組表

七 当時もちいる物・当時をあいた

な物番付

八 開化新調 おどけ百人一首

東京盛弘社

明治24年6月26日

切紙

切紙

切紙

一紙

切紙

切紙

切紙

小本

小本

小本

切紙

切紙

切紙

こよ

こよ

一枚

一枚

こよ

綴

210 書 画

一 即之書跡

寛文7年下春 嘉定九年楊寮道人書 室町小嶋弥三左衛門梓

半紙本59丁 (木版)

二 新撰和漢書画一覽

浪華宣英書林

天明7年3月刻成

横本61丁 (木版)

三 写真花鳥図会(二編上、中、下)

文政10年孟春

中本3 (彩色・木版)

四 贈着御染筆料請取之義等ニ付書

状 在京知足院↓加州三宅与右衛門

(弘化元)12月25日 続紙

五 御即位庭之図

上

弘化4年9月23日

一枚 (木版)

六 皇都開業 名家対画集

嘉永4年仲秋

一枚 (木版)

七 略画立齋百図(初編)

広重筆 吉源梓

嘉永4年序

小本23丁 (彩色・木版)

八 諸田図鋪

松淡齋理琢家蔵

安政6年2月

半紙本33丁 (木版)

九 三松堂雜本留

三松堂

元治元年6月

横帳6丁

一〇 西新地之図

(石川)児遊画

慶応3年

一枚 (木版・彩色)

二 東新地西新地之図

(一枚貼り合せ)

慶応3年他

一枚 (木版・彩色)

三 華山翁蘭竹画譜(乾坤)

東新地之図庫敬筆 近広堂刊

東新地之図心需児遊写

明治13年4月序 半紙本2 (木版)

三 唐宗八家手翰(巻下)

渡辺草山著 梅堂青木可笑撰

青煙閣蔵梓 文永堂發行

明治11年9月3日 小本33丁 (木版)

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数	番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
四	墨竹発蒙(一~四卷)	乾々斎云鳳著	明治13年6月27日		半紙本4 (木版)		六	東都两国大花火(三枚組)	国周画 藤慶粹	不		(木版・彩色)	3
五	千代家洗心庵家藏器壳立目錄	金沢美術倶楽部ニテ	大正13年11月27日		一枚 (印刷)		七	浪速天満祭(三枚組一枚欠)	貞秀画 藤慶版 影兼彫	不		(木版・彩色)	2
六	勝海舟海軍振興の歌詩屏風につきて	市元谷庄他	昭和5年10月		一枚 (印刷)		八	川中島合戦之図(三枚組一枚欠)	春亭画	不		(木版・彩色)	2
七	芝居絵 民谷伊右衛門	一陽斎豊国画 山田屋板	不		一枚 (彩色・木版)		九	新吉原江戸町式町目久喜万字屋	内雲井姿絵	不		(木版・彩色)	一枚
八	美人画	一陽斎豊国画	不		一枚 (彩色・木版)		一〇	役者絵 市川八百藏		不		(木版・彩色)	一枚
九	美人画	豊国画 两国大平板	不		一枚 (彩色・木版)		一一	芝居絵(五条之橋)	吉尾印刷	不		(彩色)	一枚
一〇	江口旅館海辺眺望図(三枚組)	豊国画 馬式森活版 駒吉彫	不		一枚 (木版・彩色)		一二	芝居絵(松浦作用姫)	吉尾印刷	不		(彩色)	一枚
一一	若君宮参之図(三枚組)	豊国画 两国加々や版	不		一枚 (木版・彩色)		一三	芝居絵(江戸紫)	吉尾印刷	不		(彩色)	一枚
一二	げんじ雲鞍馬がたけ	香蝶楼豊国画 上金板	不		一枚 (木版・彩色)		一四	芝居絵(太功記)	吉尾印刷	不		(彩色)	一枚
一三	忠臣蔵四段目門外之図(三枚組)	香蝶楼豊国画 两国大平板	不		一枚 (木版・彩色)		一五	芝居絵(五条橋牛若弁慶)	吉尾印刷	不		(彩色)	一枚
一四	源頼朝公御帰城恐悦之図	(三枚組)	不		一枚 (木版・彩色)		一六	芝居絵(安達原三段目)		不		(彩色)	一枚
一五	源義経平知盛靈ニ逢図(三枚組)	一英斎芳艶画、 一寿斎芳員画 伊勢兼版	不		一枚 (木版・彩色)		一七	芝居絵(妹背山)		不		(彩色)	一枚
							一八	芝居絵(梶尾源太箴の梅)		不		(彩色)	一枚
							一九	杏園絵短冊	木村李園(木村雨山の兄)	(大正11)夏日他		(彩色)	短冊 2
							二〇	湘塘画短冊		不		(彩色)	短冊

四	画短冊	東京柴田吉庵	大正2年10月19日	短冊(彩色)	龍淵寺→中山而後	4月朔日	切統紙
三	吟雪道人等画帖	不	不	画帖 14丁	揮毫延引之義ニ付書狀 高阿三治春→中山主計	4月朔日	切統紙
三	竹田画譜(前、後)	不	不	小本 2 (木版)	揮筆物遲滯ニ付書狀 加納→中山	4月20日	切紙
四	庭前裕山四季会品之図	不	不	一枚 (木版)	依頼之揮筆物遲滯之義ニ付書狀 千家殿家加納逸計→宮腰中山主計	5月8日	切統紙
四	柄杓図	不	不	切紙 2	揮筆物遲滯之義ニ付書狀 加納逸計→中山主計	6月6日	切統紙
四	画帳豆本	(大正12年)	不	極小本10丁	贈金子礼并揮筆物遲滯之義ニ付書狀 加納逸計→中山主計	7月9日	切統紙
四	雲烟飛動帖	(大西)金陽六十八叟	大正(4年)	画帖 15丁	加納逸計→中山主計	7月9日	切統紙
四	画帖(未使用)	尾山題 熊谷鳩居堂製	不	画帖 2	揮筆物遲滯之義ニ付書狀 加納逸計→中山主計	9月8日	切統紙
四	草書字体覚	不	不	切統紙	揮筆物遲滯ニ付延引願書狀 加納逸計→中山主計	10月朔日	切統紙
五	唐宋八家手翰(卷上)	不	不	小本 31丁 (木版)	三松祝章揮筆之義ニ付書狀 大乘寺副寺→中山	霜月15日	切統紙
五	載笠先生書	不	不	折本	浅野屋秋叩書道指導之書狀 彦六→恒治	12月13日	切統紙
三	兼葭楊柳宝潤筆例	不	不	一紙 (木版)	御染筆願ニ付語并大キサ覚		切紙
三	法帖	吉堂預定	不	折本 5	揮毫被成下ニ付礼狀 →米庵市河老先生		切統紙
三	御願有之色紙短尺并献上物等之義ニ付書狀	錦霞堂模刻他	3月16日	折紙	市川半庵等画幅之覚		切紙
三	大天書代金受取書	千家殿家加納逸記孝之→中山主計	3月29日	切紙	書画帖作成ニ付揮毫依頼書 金衣玉液堂主人		一枚 (木版)
三	極筆之義遅延等ニ付書狀	鳩居堂→湊屋佐太郎・中山主計	卯月12日	切統紙	金額極度義ニ付書狀(前欠) 小嶋為宣→中山	(明治) 10月7日	切紙
三					三松堂書額下書		切統紙

番号 標 題 年 代 形態 墨付  
点數

嗣昌

三 天満宮御真筆等書画書上 不

三 文化元年越後柏崎ニ而入手之後 不

伏見院筆軸等書上

函 軸装書物書 不

三 燕台細野氏愛蔵品売立

十二月12日より  
市元乾益次郎他

三 中山家蔵画幅目錄 不

三 中山家蔵書画軸物目錄 不

三 中山家蔵書画軸物目錄 不

三 法性坊御絵像等書画目錄 不

(紙背文書)

### 二〇 歌舞伎

(郷 土)

#### 一 役者見立綴

。金沢劇場俳優評聞見立 明治14年正月

金沢区新堅町勝川助太郎編出版

。三都大芝居浜芝居子供芝居惣 嘉永7年正月

役者大見立

京須原屋藤助板

。三都大芝居浜芝居子供芝居惣 文久2年正月

役者大見立

京吉野屋勘兵衛板

。三都大芝居浜芝居子供芝居惣 明治3年正月  
役者大見立

京吉野屋勘兵衛板 算耕并撰夢遊軒稲田露友

。三府総櫓俳優見立 明治12年正月

大阪前田喜兵衛出版

。三府総櫓俳優見立 明治15年正月

大阪前田喜兵衛出版

#### 二 宮腰浜芝居番付

。伊賀越道中双六他 安政6年5月27日?

座本木場松五郎

。仮名手本忠臣蔵 安政6年6月18日?

座本木場松五郎

。愛樹の松手習鑑 安政7年3月

座本吉田元五郎

。敵討敵流嶋他 安政7年

頭取市紅

。ひらかな盛衰記他 文久元年3月15日?

頭取治三郎・音羽

。傾城いな妻草紙 文久元年4月5日?

頭取寿三郎・音羽

。新薄雪物語他 文久元年5月19日?

頭取寿三郎・音羽

。伊達鏡忠義の礎他 安政7年6月17日?

頭取市栄

#### 三 金沢芝居番付

。長柄長者黄鳥墳他 安政7年正月23日?

頭取あへ清

こよ  
り綴  
(木版) 6丁

(一枚)  
(木版) 15

(一枚)  
(木版) 2

。荻萱桑門築紫幘

万治六年閏3月6日？

頭取市紅・雀平

四 かし町八幡宮社内芝居番付

(文久元)3月16日

(一枚)

五社興行世話人月文・三ノ弥

由良湊千軒長者他

五 五郎嶋社内芝居番付

(文久元)4月26日

(一枚)

頭喜六

踊狂言式三番双他

六 金石相生町芝居番付

。桐柴桔梗旗揚他

明治2年4月11日？

(一枚)

座本尾上玉寿

。狛小紋流行新形他

明治2年5月4日？

2

座本尾上玉寿

。伽羅先代萩他

明治2年5月14日？

七 西新地芝居番付

。萩□川□巴他

明治2年8月

(一枚)

座本中村芝加十郎

。傾城曾我物語他

明治2年12月5日？

八 西新地芝居番付

。けいせい染分繪

明治3年2月28日？

(一枚)

座本中村芝加蔵

。敵討崇禪寺馬場他

明治3年5月

九 西御影町芝居番付

。妹背山婦女庭訓他

明治3年5月25日？

(一枚)

座本中村鶴之助

。姫鏡双葉絵草紙

明治3年8月4日？

座本中村鶴之助

二 金沢川上南芝居番付

(一枚)

敵討龜山漸

明治4年7月

座本嵐璃之助

二 浅野川番場芝居番付

(一枚)

。契情花大樹他

明治4年6月24日？

座本中村芝加十郎

。箱根靈驗覽仇討他

明治4年7月24日？

座本中村芝加十郎

。濃□葉小倉色紙他

明治7年8月

座本中村芝加十郎

。五大力恋緘他

明治8年8月

座本中村芝加十郎

。義経千本桜他

明治8年10月

座本中村芝加十郎

。けいせい児雷也譚話他

明治9年5月

座本中村芝加十郎

。忠臣いろは文章他

明治9年6月

座本中村芳加十郎

。加々見山廓写本他

明治10年6月15日？

座本中村芝加十郎

三 見かげ町芝居番付

明治8年8月2日

座村中村鶴之助

(一枚)

仮名手本忠臣蔵他

三 川上末吉芝居番付

(一枚)

。敵討天下茶屋村

明治8年2月

座本嵐璃之助

3

番号	標題	年	代	形態	墨付 点数
四	。伽羅先代萩 座本風璃之助	明治10年5月			
	。傾城筑紫夜桜 座本風璃之助	申2月1日			
二五	。玉櫛笥箱崎文庫他 座園中村芝加十郎	明治13年5月			2
	。五大力恋緘他 座本中村芝加十郎	明治13年6月			
二五	。義士銘々伝他 座本中村芝加十郎	明治13年11月28日			
	。卑月雲井時鳥(島田一郎等銘々伝記)他 座本中村芝加十郎	明治14年7月24日			
二五	。敵討稚物語他 座本中村芝加十郎	明治15年3月14日			3
	。忠孝浪花噂他 座本中村芝加十郎	明治15年4月			
二五	。義経千本桜他 座本中村芝加十郎	明治15年6月			
	。浅間嶽面影草紙他 座本中村芝加十郎	明治15年9月			
二五	。柳生□伊賀他 座本中村芝加十郎	明治15年11月			
	。東山桜狂子他 座本中村芝加十郎	明治16年9月7日			
二五	。仮名手本忠臣蔵他 座本中村芝加十郎	明治16年10月14日			
	。伽羅先代萩他 座本中村芝加十郎	明治17年6月			
二五	。伽羅先代萩他 座本中村芝加十郎	明治21年3月			
	。出世太功記他 座本中村芝加十郎	明治21年5月5日			
二五	。伊賀越乘掛合羽他 座本中村芝加十郎	明治21年9月			
	。妹背山婦女庭訓他 座本中村芝加十郎	明治21年9月			
二五	。敵討宗禅寺馬場他 座本中村芝加十郎	明治21年10月			
	。五人男客氣白浪他 座本中村芝加十郎	明治22年3月			
二五	。時三榊桔梗旗上他 座本中村芝加十郎	明治22年9月			
	。筑紫文庫白縫譚他 座本中村芝加十郎	明治22年10月			
二五	。塩原多助経済録 座本中村芝加十郎	明治23年4月15日			
	。花京都浮名銀杏 座本中村芝加十郎	明治23年6月			
二五	。犀川々上末吉芝居番付 座本風璃之助	明治14年9月4日			一枚 (木版)

こよ  
り綴  
印刷  
4丁

一枚  
(木版)  
25

一七 大江山酒吞童子他  
金石湊町芝居番付  
座本尾上寿三郎  
明治17年正月  
(一枚)

一八 大江山酒吞童子他  
西御影町大國座芝居番付  
大夫宅金波楼  
明治17年6月29日  
(一枚)

一九 浅野川校馬場戎座芝居番付  
細川邸逢口実録  
明治25年6月  
(一枚)

。佐賀奥妖猫奇談  
。有職録倉山  
。伊賀越道中双六他  
座本風璃之助  
明治24年3月  
明治26年10月

。一の谷嫩軍記他  
座本風璃之助  
明治27年5月8日  
2

二〇 卯辰末吉座芝居番付  
誠忠義臣元祿歌舞伎  
明治25年9月  
(一枚)

二一 上金石芝居番付  
尾上重三郎  
加賀見山花行列他  
明治26年5月15日  
(一枚)

二三 香林坊福助座芝居番付  
菅原伝授手習鑑他  
座本中村雀芝  
明治25年9月  
(一枚)

。敵討亀山嘶他  
座本中村雀芝  
。忠臣義士銘々伝  
座本中村雀芝  
明治26年9月13日  
2

。傾城石川染他  
座本中村雀芝  
明治26年11月2日  
明治27年3月6日  
7

中山家文書目録

。木下蔭狭間合戦他  
座本中村雀芝  
。本朝廿四孝他  
座本中村雀芝  
明治27年4月21日  
明治28年5月10日

三三 上金石寿座芝居番付  
加賀見山旧錦絵他  
。奥岳安達原他  
。赤穂義士四十七士伝  
世話人嵐珊瑚郎  
明治40年4月17日  
明治41年12月  
明治43年5月15日  
明治41年10月21日  
(一枚)

三四 香林坊第一福助座芝居番付  
東京歌舞伎  
。日本晴伊賀杏  
座主梅若  
明治45年4月3日  
大正元年10月6日  
大正2年3月31日  
大正4年4月30日  
大正4年5月19日

三五 繪本太功記他  
座長中村歌右衛門  
。盲長屋梅加賀齋  
。奥陸の玉川他  
尾上菊五郎  
。菅原伝授手習鑑他  
市川左団次  
(裏面) 東京大歌舞伎高嶋屋一座公演チラシ付  
大正5年5月2日  
大正6年7月1日  
大正12年卯月  
午4月22日  
(一枚)

三六 東山芝居番付  
如春筆  
明治27年正月  
明治26年9月  
明治26年11月2日  
明治27年3月6日  
(一枚)

三七 東山芝居番付  
如春筆  
明治27年正月  
明治26年9月  
明治26年11月2日  
明治27年3月6日  
(一枚)

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点数
六	座本中村芝加之助	卯辰山芝居番付 時今知桔梗旗上他	午8月28日?		一枚 (木版)	3
	座本中村芝加十郎	伊賀越乘掛合羽	午10月			
	座本中村芝加十郎	仮名手本忠臣蔵	巳10月8日?			
	座本中村芝加十郎	彦山権現他	酉2月20日?		一枚 (木版)	
元	川上芝居番付	敵討天下茶屋	戌4月2日?		一枚 (木版)	
	頭取福寿					
三	宮腰浜芝居番付	木下蔭狭間合戦	戌4月2日?		一枚 (木版)	
	頭取加賀屋					
三	宮腰浜芝居番付	木下蔭間合戦				
	頭取加賀屋					
三	たのしみ草紙(番付帳)	鹿橋の東木主舎水州道人			小本 (木版)	69丁
	座本中村芝加十郎	伊達の大水戸	未2月			
	座本中村芝加十郎	加々見山他	未3月			
	座本中村芝加十郎	隅田春伎女客性他(あたこ下)				
	座本中村芝加十郎					
	座本中村芝加十郎	平加奈盛衰記他(あたこ下)				
	座本中村芝加十郎	伊達鏡忠義の礎他(宮こし)	申6月17日?			
	座本中村寿雀	拳禪廓大通他(かし八幡)	申7月23日?			
	座本沢村半十郎	源天日坊東海道五十三次(大野)	申閏3月27日?			
	座本中村既八	怪談桜草紙(才川馬場)	申3月28日?			
	座本沢村半十郎	恋女房染分手綱(才川馬場)	申5月朔日?			
	座本沢村半十郎	敵討敵流鳴(宮こし)	申5月4日?			
	座本中村既八	敵討十手の助太刀他(川上)	申5月8日?			
	座本中村芝加之助	夏祭浪花鏡他(十一屋)	申6月6日?			
	座本中村芝加之助	敵討御堂前他(あたこ下)	未3月			
	座本中村芝加十郎	伽羅先代萩(五郎嶋)	未4月			
	座本中村既八	釜ヶ淵二ツ巴他(宮腰浜)	未5月6日			
	座本木場松五郎	一の谷嫩軍記他(十一屋)	未5月			
	座本中村芝加十郎	伊賀越道中双六他(十一屋)	未5月			
	座本中村芝加十郎					

- 敵討敵流嶋他 (十一屋) 座本中村芝加之助 未6月11日?
- 伊賀越道中双六他 (宮腰浜) 座本木場松五郎 未5月27日?
- 仮名手本忠臣蔵 (宮腰浜) 座本木場松五郎 未6月18日?
- 箱根靈驗覽仇討他 (あたこ下) 座本木場松五郎 未8月
- 義経干本桜他 (宮腰浜) 座本中村芝加之助 未9月朔日?
- 東海道四ッ谷怪談 (あたこ下) 座本尾上寿三郎 未10月
- 増補天竺徳兵衛他 (才川馬場) 座本中村芝加之助 未6月9日?
- 敵討天下茶屋他 (五郎嶋) 座本沢村半十郎 申8月9日
- 神靈矢口渡他 (かし八幡) 座本中村高雀 申8月22日?
- 仮名手本忠臣蔵 (あたこ下) 座本沢村半十郎 未11月
- 木下蔭狭間合戦他 (川上) 座本中村芝加之助 未12月
- 長柄長者黄鳥墳 (才川川上) 座本中村芝加之助 申正月23日?
- 敵討安栄録 (川上) 座本中村芝加之助 申2月24日?
- 本朝廿四孝他 (川上) 座本中村芝加之助 申3月23日?

- 金門五三桐他 (才川馬場) 座本沢村半十郎 閏3月6日?
- 刈萱桑門筑紫轅 (大の) 座本中村既八 閏3月6日?
- 神靈矢口渡他 (かし八幡) 座本沢村半十郎 申8月22日?
- 仮名手忠臣蔵 (あたこ下) 座本中村芝加之助 未11月
- 木下蔭狭間合戦他 (川上) 座本中村芝加之助 未12月
- 長柄長者黄鳥墳 (才川川上) 座本中村芝加之助 申正月23日
- 敵討安栄録 (川上) 座本中村芝加之助 申2月24日?
- 本朝廿四孝他 (川上) 座本中村芝加之助 申3月23日?
- 金門五三桐 (才川馬場) 座本沢村半十郎 閏3月6日?
- 刈萱桑門筑紫轅他 (大の) 座本中村既八 (万延元) 閏3月6日?
- 伽羅先代萩他 (あたこ下) 座本中村芝加之助 (万延元) 閏3月12日?
- 忠臣蔵裏表廿四幕 (五郎嶋) 座本中村高雀 申9月3日?
- 仮名手本忠臣蔵裏表義士書添 (十一屋) 座本中村芝加之助 申9月4日?
- 絵本大功記他 (十一屋) 座本中村芝加之助 申9月4日?

番号	標	題	年	代	形態	墨付 点數
。	敵討浦の朝霧	(あたご町)	申9月12日	?	座本嵐福之助	酉3月18日
。	座本中村芝加之助				座本中村伎八	酉3月28日
。	義経千本桜他	(かし八幡)	申9月13日	?	座本中村芝加之助	酉4月5日
。	座本沢村半十郎				座本吉田元五郎	酉4月8日
。	姫競二葉絵舦紙	(川上)	申9月29日	?	座本中村芝加之助	酉4月13日
。	座本嵐福十郎				座本嵐福之助	酉4月15日
。	蘆屋道満大内かかみ(あたご下)		申10月20日	?	座本中村芝加之助	酉4月26日
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	酉5月4日
。	伊賀越道中双六	(川上)	申10月24日	?	座本嵐福之助	酉5月14日
。	座本嵐冠十郎				座本中村芝加之助	酉5月19日
。	花和讃新羅源氏他	(川上)	申11月22日	?	座本嵐福之助	酉5月23日
。	座本嵐冠十郎				座本中村芝加之助	酉6月4日
。	御堂前八ツの太鼓他(松任新町)		申11月22日	?	座本中村芝加之助	酉9月17日
。	座本市川団若				座本中村芝加之助	
。	豊年万作東郭少女手踊番組	(あたご下)	酉正月15日	?	座本嵐福之助	
。	祇園祭礼信仰記他(才川馬場)		酉2月8日	?	座本嵐福之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	敵討天下茶屋	(川上)	酉2月20日	?	座本嵐福之助	
。	座本嵐福之助				座本中村芝加之助	
。	赤根の色さし他(才川馬場)		酉2月晦日	?	座本嵐福之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	愛樹の松手習鑑	(宮こし)	申3月11日	?	座本嵐福之助	
。	座本吉田元五郎				座本中村芝加之助	
。	ひらかな盛衰記他(宮こし)		申3月15日	?	座本嵐福之助	
。	座本吉田元五郎				座本中村芝加之助	
。	鬼一法眼三略巻	(川上)	酉3月16日	?	座本嵐福之助	
。	由良湊千軒長者他(かし八幡)				座本嵐福之助	
。	座本中村伎八				座本中村芝加之助	
。	妹背山庭訓他(才川馬場)				座本中村芝加之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	傾城いな妻舦紙(宮こし)				座本中村芝加之助	
。	座本吉田元五郎				座本中村芝加之助	
。	花相蝶々紋日他(愛宕町)				座本中村芝加之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	傾城朝顔日記他(川上)				座本嵐福之助	
。	座本嵐福之助				座本中村芝加之助	
。	伊賀越乘掛合羽他(かし八幡)				座本中村芝加之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	三拾石夜船始他(五郎嶋)				座本中村芝加之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	仮名手本忠臣蔵他(かし八幡)				座本中村芝加之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	碁太平記白石嘶他(川上)				座本嵐福之助	
。	座本嵐福之助				座本中村芝加之助	
。	新薄雪物語他(みやのこしはま)				座本嵐福之助	
。	座本吉田元五郎				座本中村芝加之助	
。	伽羅先代萩他(かし八幡)				座本中村芝加之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	糸桜本朝養他(五郎嶋)				座本中村芝加之助	
。	座本中村芝加之助				座本中村芝加之助	
。	山下藤平等追善金湊若連芝居番				座本中村芝加之助	
。	付 金石松葉社内において				座本中村芝加之助	
。	後見尾上寿三郎				座本中村芝加之助	
。	本朝廿四孝他				座本中村芝加之助	

一枚  
(木版)

三 上金石御船座芝居番付

5月16日?

尾上松之助他

(一枚) (木版)

立昇桔梗の旗上他

三 並木町稻荷芝居番付

4月15日?

銭屋五兵衛他

(一枚) (印刷)

三 福助座嵐冠十郎隠退興行番付

4月14日?

嵐冠十郎他

(一枚) (印刷)

梅曆時春水他

三 香林坊福助座芝居番付

6月1日?

義経千本桜他

(一枚) (印刷)

三 金沢香林坊立花座大入袋

不

袋

三 尾山座松竹合名社専属東京歌舞

大正12年10月23日?

伎開演案内

(一枚) (印刷)

ひらかな盛衰記他

三 尾山俱樂部関西大歌舞伎公演案内

昭和7年5月

松竹巡業部

(書冊) (印刷)

。時今也桔梗旗拳他

。春日局他

昭和9年11月11日?

。一条大藏卿他

昭和15年4月

三 東京大歌舞伎尾上菊五郎一座公演案内

昭和9年2月28日

松竹巡業部

(書冊) (印刷)

一条大藏譚他

三 東京大歌舞伎中村吉右衛門一座公演案内

昭和13年8月27日

東京富士興業会社巡業部

(書冊) (印刷)

清正誠忠録他

中山家文書目録

三 大阪歌舞伎俳優一座開演案内

不

大阪山森興業部

(書冊) (印刷)

6丁

源平布引瀧他

三 芝居興業口上書

不

実川延三郎・嵐冠十郎他

(一枚) (木版)

三 芝居番付

午8月4日?

座本中村芝加十郎

(一枚) (木版)

鏡山旧写絵他

三 芝居番付

明治11年

八陣守護城他

(一枚) (木版)

中村芝翫他

。花魁苔八総他

不

座本片岡政次郎

三 東京大歌舞伎芝居興業案内

大正10年

尾上梅幸・松本幸四郎他

(書冊) (印刷)

16丁

伊賀越道中双六他

(郷土外)

三 四条北側大芝居番付

嘉永5年2月

。箱根権現覽仇討

(一枚) (木版)

名代早雲長太夫他

。妹背山婦女庭訓

明治4年霜月

名代早雲長太夫他

。箱根権現覽仇討

不

名代早雲長太夫他

三 富山清水定舞台芝居番付

万延2年2月28日?

座本木場松五郎

(一枚) (木版)

春面艸紙他

番号	標題	年	代	形態	墨付 点数	備考	年	代	形態	墨付 点数
五	越中高岡大仏芝居番付 座元市川紫口 裏表忠臣蔵		11月下旬	(木版)一枚	8		明治30年4月21日		(木版)一枚	4
五	道頓堀中の芝居番付 菅原伝授手習鑑他 座本市川てる世	安政6年3月		(木版)一枚	2					
	四海平清盛		子正月							
	座本市川駒之助									
	義経千本桜他		未5月							
	座本実川延吉									
	敵討見第標他		申4月							
	座本尾上友助									
	敵討優登華龜山		酉3月				明治11年3月		(木版)一枚	2
	座本嵐吉万寿									
	けいせい雪月花他		酉4月				明治13年10月		(木版)一枚	4
	座本中村友二									
	做花雪菊水他		酉8月							
	座本嵐吉万寿									
五	道頓堀中の芝居番付 中村芝翫他		辰9月	(木版)一枚						
	菅原伝授手習鑑									
	座本市川てる世									
五	中ノ芝居番組絵本 座本市川てる世	不		こよ り綴 (木版)	4丁					
	菅原伝授手習鑑									
五	道頓堀角芝居番組 太夫元和田清七	明治14年1月		(木版)一枚						
	春鬼聊小栗外伝									
五	道頓堀角劇場芝居番組 大阪玉置出版合資会社 塩原太助経済鑑						明治30年4月21日		(木版)一枚	4
	道頓堀角の芝居番付									
	天満宮菜種御供他		3月	(木版)一枚						
	座本中村付丸									
	天満宮花梅桜松他		6月							
	座本市川助蔵									
	色競九重錦他		8月							
	座本市川てる世									
五	角之芝居番組絵本 座本中村付丸	不		こよ り綴 (木版)	4丁					
	天満宮菜種御供									
五	道頓堀戎産芝居番付 蝶千鳥曾我実録 太夫元三栄		明治11年3月	(木版)一枚	2					
	泉水月写倂									
	太夫元三栄									
五	筑後芝居番組絵本 座本尾上友助		4月	こよ り綴 (木版)	4丁					
	伽羅先代萩									
五	道頓堀筑後芝居番組 けいせい玉手箱 座本実川小若		正月	(木版)一枚	3					
	伽羅先代萩他									
	座本尾上友助		4月							
五	筑後芝居番組絵本 座本片岡放次郎			こよ り綴 (木版)	3丁					

花魁蒼八総他

三 新富座芝居番付帳

守田かん弥

赤松満祐梅□□他

三 神戸八幡町居番付

座本大谷友藏

伽羅先代萩他

三 松嶋芝居番付

文案座(人形浄瑠璃)

。大江山酒吞童子他

大夫竹本春太夫

。義経千本桜

大夫竹本春太夫

。伽羅先代萩

大夫竹本春太夫

。三代記他

大夫竹本春太夫

三 歌舞伎座番組

沓手鳥孤城落月他

三 三座合同大歌舞伎開演案内

沓手町歌舞伎座

沓手鳥孤城落月他

三 東京大歌舞伎開演案内

東京帝国座

。真如他

守田勘弥他

。伽羅先代萩他

坂東秀調他

。碓知盛他

明治12年2月28日

こよ  
綴り版  
7丁

申4月

一枚  
木版

一枚  
木版

3月

2月

4月

6月12日

大正14年6月

一枚  
印刷

大正14年6月1日

書冊  
印刷  
48頁

書冊  
印刷  
6

昭和3年8月18日

昭和6年8月28日

昭和7年9月16日

沢村宗十郎他

。富士三舛扇曾我

片岡我童他、金沢御国座

。元禄忠臣蔵他

大阪歌舞伎座他

。一条大蔵譚他

松本幸四郎他

六 大阪歌舞伎座新築一周年記念興

行 東西合同歌舞伎開演案内

。仮名手本忠臣蔵他

。同観覧券

充 芝居番付

。怪談桜草紙他

七 楽屋通

正月堂誌

昭和9年5月12日

昭和10年3月

昭和10年9月14日

書冊  
印刷  
3

一枚  
木版

小本  
木版  
21丁

九 能・謡

一 一年々寺中御能番組

二 御松雛子次第

三 謡本

四 謡本

五 御能拝見被為仰付候ニ付人数名

書役付等書上申帳并同番組

文化8年正月

袋綴  
切統紙  
2

東都日本橋戸倉喜兵衛・須原屋茂兵衛版

安永5年

安永5年

元禄2(嘉永5年) 横帳 109丁

安永元年正月 長帳 2丁

安永5年 中本 63丁

安永5年 中本 48丁

町年寄中山主計・同定助・同並又吉・肝煎吉左衛門・同市郎右衛門・同伝兵衛・同新三郎・同源助・同平六(官腰町御奉行所)

番号	標題	年代	形態	墨付 点数	備考	備考	備考
六	御造宮御成就等御祝之御能拝見 之節作法之覚	文化8年2月	折紙		云 風刺能番組	3月9日	切統紙
七	能演目集	天保6年6月改	小帳	29丁	云 謡本	不	横帳
八	將軍宣下御太礼御能番組 <small>(12代家徳)</small>	天保8年9月4日	切統紙		云 謡曲拾穂鈔(上)	不	小本
九	相公様大病本腹御祝能番組	弘化2年2月11日 より	切統紙		云 故清水桃賀氏追悼会之記	明治26年4月10日	切統紙
一〇	所方出火ニ付留置候仙助流能興 行開催願小紙取紛之義ニ付申達 書并添状	(弘化・嘉永) 6月3日	切統紙2		云 追悼素謡番組(手向卿) 右晝画 藤野舎徒	明治26年7月1日	(木版)
一一	池嶋宇兵衛→中山主計				云 介寿集	明治31年8月5日	書冊
一二	寺中御能番組留	嘉永5~昭和9年	こよ り綴	41丁	云 東京野村龍太郎編発行 金沢能楽会第百十六回能番組	明治44年4月16日	(印刷)
一三	中納言様御昇進御帰国祝能番組	安政3年5月	袋綴	12丁	云 御遠忌能番組 京都檜常之助著発行	明治44年4月22日	(印刷)
一四	寺中御能等番組	文久3年他	切統紙7		云 安江神社能舞台保存会能番組	大正2年9月14日	(印刷)
一五	寺中社舞台再建等ニ付宮腰町奉 行より之被下帳	12月	袋綴	7丁	云 安江神社能舞台保存会 安江神社ニテ		
一六	中將様御前様御招之御能番付	5月21日	切統紙		云 故横山隆興君追善会誌	大正7年8月15日	書冊
一七	木遣り狂言被仰付候趣意書		切統紙		云 能楽道成寺解説 日置謙著	(大正8年)	書冊
一八	五月十六日御能御番組		切統紙		云 金沢能楽会能番組	大正11年4・8月	(印刷)
一九	四月十五日御能番組		切統紙		云 金沢能楽会 佐野舞台にて		(印刷)
二〇	能番組		切統紙		云 全国酒造大会余興能楽番組	大正11年5月19日	(印刷)
二一	御能番組		切統紙		云 尾山神社神事能番組 金沢佐野舞台にて	大正13・昭和6年	(印刷)
二二	霜月三日能番組		切統紙		云 尾山神社昇格記念祭能楽番組	大正15・昭和7年	(印刷)
二三	四月七日能番組		切統紙				
二四	御能番組		切統紙				

完	能と謡(第二号) 金沢能楽会	昭和3年4月10日	(印刷)	13丁
四〇	能楽番組并解説 佐野舞台にて 金沢能楽会	昭和4年11月20日	(印刷)	2
四一	金沢能楽会第三百三十一回能番組等 佐野舞台にて 金沢能楽会	昭和4・5年	(印刷)	2
四二	関西巽会能楽大会番組 佐野舞台にて 関西巽会	昭和5年5月25日	(印刷)	一枚
四三	故村上敬三翁追悼会案内并追悼会能楽番組 佐野舞台にて	昭和5年10月	(印刷)	一枚 3
四四	昭宝会素謡会番組 昭宝会 金沢美術倶楽部にて	昭和5年12月 6年2・4・5月	(葉書印刷)	4
四五	葛友会演奏番組 石黒フーマシー舞台にて 葛友会	昭和5年2・4 6・9 昭和6年3・5 昭和7年11・12 昭和7年1月7日	(印刷)	20
四六	金沢能楽堂舞台開能 佐野吉之助	昭和7年6月	(印刷)	一枚
四七	金沢能楽会臨時能会番組 金沢能楽堂にて	昭和7年6月	(印刷)	一枚
四八	金沢能楽会月並能番組 金沢能楽会	昭和7年4・6・11 8年3・5 8・12月 11年5月	(印刷)	10
四九	故佐野吉之助追善能会番組并案内書 金沢能楽堂にて	昭和8年4月3日	(印刷)	2
五〇	故佐野吉之助追善能会	昭和9年10月 10年11月	(印刷)	3
五一	金沢能楽会別会能番組 金沢能楽堂にて	昭和9年10月 10年11月	(印刷)	3
五二	金沢能楽会月並能予定番組 金沢能楽会	昭和9年	(印刷)	9丁
五三	飯島佐之六古稀祝賀能会案内并能番組 金沢能楽堂にて	昭和10年2月	(印刷)	2
五四	石黒伝六他二十八名 金沢五雲会 金沢能楽堂にて	昭和10年5月	(印刷)	一枚
五五	二葉能楽会第一回演能会番組 金沢能楽堂にて	昭和10年9月	(印刷)	一枚
五六	金沢能楽会創立三十五周年記念大会能番組 金沢能楽堂にて	昭和11年4月3日	(印刷)	一枚
五七	金沢能楽会創立三十五周年記念大会能番組 金沢能楽堂にて	昭和11年4月5日	(印刷)	一枚
五八	金沢五雲会第三回演能会番組 金沢五雲会	昭和11年5月9日	(印刷)	一枚
五九	佐野同門会秋季大会番組 金沢能楽堂にて	昭和11年10月25日	(印刷)	一枚
六〇	金沢五雲会第四回演能番組 金沢能楽堂にて	昭和11年11月7日	(印刷)	一枚

- | 番号                    | 標 題   | 年 代                      | 形 態            | 墨付<br>点数 |
|-----------------------|---|--------------------------|----------------|----------|
| 〇                     | 松風会演能番組 金沢能楽堂にて<br>松風会  | 昭和12年5月22日               | 一枚 (印刷)        | 8丁       |
| 一                     | 宝生紫雲追善記念能楽展覧会目録并ニ解説<br>宝生紫雲追善会等主催<br>丸越ホールにて                      | 昭和12年6月                  | 書冊 (印刷)        | 8丁       |
| 二                     | 金沢能楽会規約<br>金沢能楽会  | 不                        | 書冊 (印刷)        | 4丁       |
| 三                     | 住駒政次芸道修行後援趣意書<br>發起人佐野吉之助・大野与三郎・島村平次・佐野友吉                         | 不                        | 一枚 (印刷)        |          |
| 四                     | 住駒会秋季大会案内<br>住駒△○会<br>佐野舞台にて                                      | 10月                      | 一枚 (印刷)        |          |
| 五                     | 納涼舞囃子会番組<br>金石寿々園にて   | 8月23日                    | 一枚 (印刷)        |          |
| 六                     | 三ヶ屋辻於野村興行能番組  | 3月朔日                     | 切紙 (木版)        |          |
| <b>九〇〇 浄 瑠 璃 (近代)</b> |   |                          |                |          |
| 一                     | 儀大夫番組<br>金石本町連中   | 明治13年5月                  | 一枚 (木版・彩色)     |          |
| 二                     | 親鸞上人法然上人廿四輩御縁記<br>大阪玉置清七板 大夫本大吉 細工人松本喜三郎<br>6月吉日より                | 明治15年                    | 一枚 (木版)        |          |
| 三                     | 懐中義太夫 (勢州阿漕浦鈴鹿合戦)<br>山梨県内藤加我編出版                                   | 明治18年3月18日               | 書冊 (印刷)        | 19丁      |
| 四                     | 義太夫番組<br>金石下寺町道入寺にて   | 明治21年5月15日               | 一枚 (木版・彩色)     |          |
| 五                     | 懐中義太夫<br>(菅原伝授寺小屋の段)  | 明治22年7月2日                | 書冊 (印刷)        | 8丁       |
| 六                     | 懐中義太夫 (奥羽安達原) (後欠)<br>東京三浦伊七発行                                    | 明治22年7月2日                | 書冊 (印刷)        | 8丁       |
| 七                     | 懐中義太夫 (太閤記尼ヶ崎の段)<br>日本橋金桜堂発行                                      | 不                        | 書冊 (印刷)        | 8丁       |
| 八                     | 義太夫文粹 (上、下巻)<br>巖気楼主人選 野口竹次郎編発行 博文館発行                             | 明治26年4月22日<br>明治29年6月12日 | 書冊 (印刷)        | 2        |
| 九                     | 竹本輪佐等追善儀太夫番組<br>發起人豊竹越重太夫<br>金石東座にて                               | 明治34年3月上旬                | 一枚 (木版)        |          |
| 一〇                    | 浄瑠璃丸本全書 嬭山姥<br>大阪中川清次郎発行  | 明治43年10月5日               | 書冊 (印刷)        | 64丁      |
| 一一                    | 東京大坂合併女義太夫開演案内<br>上金石町寿座にて  | 大正2年                     | 一枚 (印刷)        | 3        |
| 一二                    | 大阪文楽座浄瑠璃開演案内<br>金石寿座にて  | 大正4年8月27日                | 一枚 (印刷)        |          |
| 一三                    | 儀大夫番組<br>上金石寿座  | 宮腰にて<br>4月16日            | 一枚 (木版)        |          |
| 一四                    | 浄瑠璃番組   | 不                        | 一枚 (木版)        |          |
| 一五                    | 儀大夫開演案内   | 不                        | 一枚 (木版)        |          |
| 一六                    | 浄るりよせ本 (千本校道行恋中車<br>初音の旅) 他<br>「越後吉浦常盤津文字太夫」の書込み有<br>江戸人形町通上州屋重蔵板 | 不                        | 極小本34丁<br>(木版) |          |

- 一七 淨瑠璃本  
(蝶花形名歌島台八段目)  
不  
中本 17丁
- 一八 淨瑠璃番組 富山清水定舞台にて  
3月吉日より  
一枚  
(木版)
- 一九 香林坊福助座義太夫番組  
8月1日より  
一枚  
(木版)
- 二〇 金沢香林坊福助座 仙石町日進堂印刷
- 九〇 歌謡・舞踊(近代)
- 一 故越沢永吉追悼法会舞囃子番組  
大正3年3月15日  
一枚  
(印刷)
- 二 西廓子供会長唄素囃子番組  
大正13年11月  
一枚  
(印刷)
- 三 花菱会長唄会番組  
昭和6年4月26日  
一枚  
(印刷)
- 四 長唄花菱会演奏唄本  
昭和6年4月26日  
書冊 17丁  
花菱会 蛤坂望月にて
- 五 長唄まつね会演奏会番組  
昭和6年4月26日  
書冊 2  
仙石町教育会館にて  
長唄まつね会
- 六 まつね会長唄演奏会歌詞  
昭和6年4月26日  
書冊 14丁  
仙石町教育会館にて  
長唄まつね会
- 七 端歌稽古本大一座飛流調  
不  
小本 42丁  
翰玉堂・探花房合梓
- 八 十二月 てまり歌  
不  
袋綴 7丁
- 九 清楽詞譜  
不  
袋綴 33丁
- 一〇 若葉会本多久枝師謝恩箏曲演奏  
昭和7年10月9日  
一枚  
(印刷)

- 二 俗謡書 若葉会  
不  
折本
- 三 新曲四季の金沢舞踊番組 演芸館  
昭和7年  
書冊 3丁  
作歌土岐善磨 作曲町田嘉童
- 三 東新地舞踊温習会番組  
昭和10・11年  
書冊 2  
尾山俱樂部にて
- 四 大切浪花踊開演案内  
不  
一枚  
(印刷)
- 六 大阪玉置出版合資会社
- 九〇 茶 道
- 一 千利休居士奥判茶書写  
天正9年9月吉日  
袋綴 39丁
- 二 利休自筆井物語織部物語聞書写  
盆月10日  
袋綴 62丁  
利休↓長谷川藤五郎
- 三 小堀遠州茶事文 附極札  
12月25日  
一紙  
(軸装)
- 四 茶器価録、続茶器価録  
安永9・天明2年  
横本 2  
浪速柏原屋清右衛門・小川屋六蔵
- 五 茶湯夜はなしの式  
寛政12年4月朔日  
折紙  
寄石写
- 六 利休百会(利休居士会席之寛)  
享和3年閏正月  
袋綴 51丁  
逢源齋写 元文四年如心写 宝曆十三年畢月写 寛政十二年写 享和三年写「寛政十二年九月石川定切於京都写之由所望シテ享和三年 閏正月写之」  
脇田美武写(官腰御詰米奉行)
- 七 茶の湯のしほり  
弘化2年2月  
袋綴 27丁  
(朱筆家本加筆写)
- 八 千家茶炭手前寄  
安政6年3月  
袋綴 18丁

九文 芸—茶道 花・香道 趣味・風俗

番号	標題	年	代	形態	墨付 点数
九	茶湯記 (紙背文書) 松淡齋理塚家蔵	文久元・2年		横帳	23丁
二〇	宗和流奥儀伝受之義ニ付内密書 三松堂 大嶋作左衛門→中山主計	10月12日		切続紙	
二	田安二位殿茶会記	明治3年6月27日		切続紙	
三	石川県勸業博物館創立十年紀臨 時開館点茶記	明治16年5月1日 より		書冊 (印刷)	37頁
三	真味庵茶会記	大正7年11月20日 より		折紙 (印刷)	
四	故大西金陽先生追悼法会次第并 茶度会記 金陽会 宝門寺にて	昭和10年10月27日		一枚 (印刷)	3
五	於勃々庵夜咄稽古ノ茶記	10月23日		切続紙	
六	茶湯の道 宗甫居士著	不		一紙	
七	茶碗等拝借願状 瓢五→襟尽	8月3日		切紙	
六	枝折抄 (上、下)	不		袋綴 2	
元	亭鋸付	不		切続紙	
二〇	心外庵茶会記	仲夏上旬		切続紙	
二	茶会記			切続紙 3	
三	長谷川久蔵宅茶席器物書上	4月29日		切続紙	
九〇	花・香道				
一	古流生花再撰百瓶図 松盛齋法眼理遊著 松淡齋理塚所持	天保11年6月		半紙本 37丁 (木版)	
二	古流生花のしづく 松盛齋法橋理恩誌 松淡齋理塚所持	嘉永6年孟春		半紙本 38丁 (木版)	
三	生花意稿 松淡齋一旧著	不		袋綴	86丁
四	遠州流生華奥秘巻簿 一松齋松享→中山梅道	明治13年4月		横帳	10丁
五	六国列香之弁口伝書	不		卷子	
六	香道習学簡条伝	不		卷子	
九〇	趣味・風俗				
一	一丈和立徹囲碁棋譜	文化12年正月27日		袋綴 (印刷)	2
二	籠細工興行案内目録 細工人一田正七郎 四天王寺西門にて	文政2年2月15日 より		一枚 (木版)	
三	盆正月作り物細工物職織并ニ提 灯行燈聞合見立位附	文政13年6月朔日 2日		一枚 (木版)	
四	盆正月作り物尽	弘化2年2月16日 18日		一枚 (木版)	
五	盆正月造物細工物等東西見立	慶応2年初秋		一枚 (木版)	
六	籠細工興業案内 籠細工人一田庄七 大坂板元播磨屋五郎兵衛	不		一枚 (木版)	
七	籠細工絵本 大坂和泉屋宇作 播磨屋五郎兵衛板	不		こよ り綴 (木版)	3丁
八	加賀藩役職すごろく	不		一枚 (木版・彩色)	
九	竹田ぜんまいからくり興行案内 細工人大野弁言門人ゆ	6月朔日より		一枚 (木版)	2
二〇	高岡誓願寺境内軽業興行案内 芳信画	正月上旬より			

二 宝船 大正12年元旦

清光

(一枚木版)

三 宝船

不 (一枚木版) 2

三 宝船

不 (一枚木版)

四 誠莽影印押紙

誠莽

甲辰冬日 切紙

(相 撲)

五 重言見立大相撲等番付帳

天保11年・12年

(折本木版)

大坂塩屋喜兵衛

・大日本物識天狗七編。大日本神社仏閣名所産物玉尺初編。同式編。大日本物識天狗八編。浪花近辺名木名花見立。懐中重宝花見車。大日本物識天狗九編。三ヶ之津太夫。三味線人形見鏡附。大日本物識天狗拾編。浪花素人浄瑠璃座鋪角力見立

・本朝諸宗祖師名僧年記。大日本物識天狗拾一編。色里いろは歌前編。同後編。大日本物識天狗十二編。人皇始神武元年以来古今貞女美女鑑。諸國地藏尊。大日本物識天狗十三編。大阪持丸長者集。十十二支図

神田金沢町三河屋治右衛門板

嘉永7・安政3・4・慶応2・明治13・14・23年 (一枚木版) 9

六 本所回向院境内大相撲番付

浅野川河原相撲興業番付

七

上伝馬町江戸屋宗兵衛板

八 才川々原相撲興行番付

川上屋宗五郎他版

九 港川四郎兵衛等追悼相撲興行案

内 已8月15・16日 (一枚木版)

金石港相撲世話人

三 尾崎神社東京西京合同大相撲番付 明治24年8月下旬 (一枚木版)

付 金沢近広堂板

三 力士名披露状 明治24年

大藏改名石浪若右衛門

(一枚彩色・木版)

三 (武術・刀剣)

三 解紛記(巻中) 元和4年6月23日

関三郎兵衛慰成安

袋綴 19丁

三 無拍子流目録 文化13年

脇指拵付覚

折本

三 額影細工職人之義ニ付書状 文政

大田萱斎↓中山主計

切紙

三 刀拵入用銀書上 きさらき27日

白銀屋天左衛門↓中山主計

切紙

三 刀拵入用銀書上 11月

白銀屋天左衛門↓中山

統紙

三 武術相伝書 不

水鏡 不

折本

(献立書)

三 献立書 4月

三 献立書 5月

切統紙 4

番号	標題	年	代	形態	墨付 点数	三	10月27日	切統紙
三	彦竹書狀					彦竹—半介・三郎兵衛	10月27日	切統紙
三	水保氏詮義之義等書狀					〔久〕而後	12月4日	切紙
四	明翫屋吉次郎返濟銀之義二付書狀					明翫屋吉次郎—錢屋如休	□月18日	切統紙

(補遺分)

一	官腰御用材木改方等留	寛文・延宝期	袋綴	13丁	一五	鳥羽伏見之戰等二付報書	(明治元)正月	切統紙
二	小松町年寄武部祐太郎等町会所 出頭廻狀	4月15日	切紙		一六	前田利家永代扶持宛行狀写 前田利家—中山主計	不	折紙
三	会所銀之義御詮義方請書	8月2日	切紙		一七	前田利常扶持宛行狀 前田利常—宮腰村主計	寛永16年3月20日	折紙
四	西尾隼人返書狀	12月21日	折紙		一八	前田綱紀扶持宛行狀 印文(滿)—宮腰村主計	寛文7年3月6日	堅紙
五	辻立人等割金書上	12月21日	折紙		一九	前田綱紀扶持宛行狀 印文(滿)—中山甚丞	延宝2年8月28日	堅紙
六	季冬書狀	1月19日	切紙		二〇	前田吉徳扶持宛行狀 吉徳印—中山嘉兵衛	享保11年8月13日	堅紙
七	徳文環書狀	2月14日	切統紙		二一	前田吉徳扶持宛行狀 吉徳印—中山甚丞	寛保元年12月25日	堅紙
八	霜吟書狀	2月14日	切統紙		二二	前田重熙扶持宛行狀 印文(尚古堂)—中山弥八郎	延享4年7月11日	堅紙
九	要給書狀	弥生7日	切統紙		二三	前田齊泰扶持宛行狀 印文(寄)—中山弥八郎	文政12年7月11日	堅紙
一〇	要給書狀	弥生9日	切統紙		二四	前田齊泰扶持宛行狀 印文(寄)—中山弥八郎	文政12年7月11日	堅紙
一一	有之書狀	9日	切統紙		二五	前田齊泰扶持宛行狀 印文(寄)—中山弥八郎	文政12年7月11日	堅紙
一二	有之書狀	5月22日	切統紙		二六	前田齊泰扶持宛行狀 印文(符)—中山甚丞	安政元年10月6日	堅紙

## 中山家文書の概要

「中山家文書」は、本図書館が新館建設（昭和54年）以来続けてきた市域所在文書の調査・収集の成果のひとつとして、昭和58年度に金沢市教育委員会より刊行された『旧十村役亀田家調査報告書』に続いて目録刊行されるものである。

本史料は中山家の御好意により、長期の借用によって目録化とマイクロフィルム化が可能となり、ここに広く公開されることとなった。今回の中山家文書調査においては、藩初より現在に至る同家の歴史と、それに伴う史料群の特質から、年代的・内容的な撰択をせず、悉皆調査をその基本とした。

しかしながらここに収録された七、一七七点はその全てではなく、道具類および美術関係などの資料は省いてあり、藩政期の特権町人たる中山家を考察する上で、周辺資料をも含めた総合的な調査も今後必要となってくるであろう。

総数七、一七七点のうち、七割強が近世史料で残りの三割弱は近・現代史料となっており、これらの分類については、昭和56年3月に刊行された『加越能文庫解説目録』の分類に準拠するという条件の中にあつて、一方は藩主前田家とその治政の修史編纂を目的として収集された藩政史料であり、一方は一町方役人家に伝存する史料という性格的相違があり、さらに一方は近世史料であり、一方は近世より近・現代に及ぶ史料であるという相違点の克服がなされないまま、同一基準によって分類したことにより、同家の史料群の性格は必ずしも生かされぬものとなつたのではないかと思われる。

中山家文書は前田利家が北陸に進駐した天正期よりみられ、利家の金沢入部と共に近世における中山家の歴史も始まる。現在する史料群もこれを如実に物語るものであり、この間に意識的な廃棄も行われ

ず、同家のその歴史に対する誇りと、史料に対する認識とから貴重な史料が伝存されてきた。

(1、藩主)の項は、前田家に関わる冠婚葬祭に関するものをはじめ、安永期以降を中心とする藩主一族の宮腰方面等への「出行」関係史料から、その手続き、内容が詳細に知れ、「献上」関係史新からは加賀藩はもとより、大聖寺・富山藩等と中山家との関わり、さらには城中奥向との関わりなどが知れる。

(2、藩政)では、宮腰町奉行に関する史料を含み、出先の奉行および奉行所における史料は稀少でもあり、町役史料と共に町方研究に貴重なものとなる。また、ここには町役人に対する扶持・出座に関する史料があり、藩制の中における町役人の処遇・位置付けなどを見ることが出来る。

(6、藩治)は、数量的・内容的に中山家文書の中心をなすものであり、この中には宮腰町に関するもの、町役人に関するものもあり、藩都金沢の近郊に位置し、また藩の主要港としての宮腰町を解明していく上で不可欠の部分である。また、ここには町年寄役中山家に関する史料が近・現代に至る時期まで含まれ、町年寄役家としての近世よりの家制・経営の状態をみる事が出来る。さらに二百五十点程ある御用留類は慶長〜貞享、文化〜慶応にかけての宮腰町の変遷、各種事項を伝えてくれる最良の史料となるであろう。

(7、産業)は、中山家に関するものを中心として、宮腰町の特質ともいえる海運関係・漁業関係等が含まれるが、初期の段階を除いては、潤改役等を勤めた中山家としては必ずしも十分な内容を伝えているとはいえない。

(8、学問)の中では、「洋々殿」関係が中山家独自のもので、中山

宝曆	明和	安永	天明	寛政	享和	文化	文政	天保	弘化	嘉永	安政	万延	文久	元治	慶応	不	計	明治	大正	昭和	不	計	合計
	1										1				1	13	17	2				2	19
	1															4	8						8
	1															91	489						489
		13	3	1		13	18	161	16	130	24	2	1		2	4	13						13
		1					1	2		1						1	16						16
			1	1				1		6	5					10	29	1				1	30
0	3	14	4	2	0	13	19	164	17	138	32	2	7	0	3	41	93	1	0	0	0	1	94
																164	665	4	0	0	0	4	669
	1					1		1	2	3	1	2	1	1	2	17	29	8				8	37
			1	1			1	4	2	2	1	2	9	2	10	36	74	6	1		4	11	85
								2		2	4	5	13		2	3	21						21
								2		2	5					12	36						36
		12	3	3	1	1	2	5	16	72	11	1	2	1	1	40	175	2		9	2	13	13
		3	2	1	2	9	5	7	10	20	14	3	6	3	2	61	226	4				4	175
		3	2	2	2	3	1	11	10	3	5	6	6	3	2	20	75	1				1	230
1	18	5	5	6	4	13	10	32	28	102	41	6	37	7	17	189	636	21	1	9	6	37	673
	1		1		2	1		8	2	2	3		2		1	11	46	1				1	47
							1	2	9	7	1					13	40	2				2	42
								1		1						8	14						14
	4	6	3	2	6	3	6	15	4	24	3	9	11	1	1	65	186						186
						8	66	71	10	24	6	1	13	1	2	92	348						348
						58	1	1		1	1					4	14						14
			4	1	17	2	15	12	7	21	11	4	4	1	32	171	368	172	60	143	229	604	972
								5	23	17	3				1	9	22	1	2	1		4	26
	3	1	2	2	3	1	13	22	23	17	1	1	1	8	34	173	7					8	181
	1	15	3	2	2	2	7	6	2	26	24	2	3	1	45	150	4					6	156
9	22	13	10	28	5	102	115	158	34	124	51	17	34	4	46	452	1,361	187	63	144	231	625	1,986
	2	5	2	2	1	1	7	10	6	2	2	2	2		1	28	66	36		3		39	105
	5	11	4	4		14	10	54	19	55	7	2	4			134	330	15				21	351
	4	4	3	5		5	4	11	2	8	4	5	5			45	112						112
	3	4	1	9		12	20	20	2	4	2	2	2		1	50	150						150
	4	6	3	3		5	6	16	3	10	1	3	3			62	175						175
																		15				61	61
																		60				24	84
																		1				1	83
	9	25	21	10	24	1	26	40	113	49	100	12	2	16	3	36	82	127	0	3	76	206	1,121
	3	15	7	4	10	4	3	2			3		1			37	135	18	4	4	5	31	166
																2	8	29			2	31	39
	1	1		1	1	5	7	10	6	8	6	1		1	3	55	118	41	8	13	158	220	338
		5		3		3	3	8	43	55	4				3	61	188	25		4		29	217
		1		1		1	1	1		1	2		1	1	45	55	14	7	24	33	78	133	
															34	51	13	5	6	6	24	75	
		3								6	4				1	12		11	6	1	1	18	30
																		17	5	32	20	74	74
																		149	7	12	24	192	192
	5	25	7	4	19	2	14	25	49	74	16	1	3	2	11	235	567	306	47	101	243	697	1,264
	3	1	2	3	4	3	6	4	14	10	25	4	2	1	3	638	768	45	7	3	97	152	920
																74	87	8	6	1	1	16	103
																		83	5	12	48	148	174
																13	26	7	10	61	83	113	
																		10	4	9	8	22	22
																		11	2	2	5	16	16
																		19	1	3	1	7	26
																		5	1	3	1	1	6
																		30	5	1	4	10	58
	3	1	7	4	5	4	9	10	17	17	37	28	1	12	2	769	983	161	36	89	169	455	1,438
							1				1					15	25	1				1	26
27	94	67	37	84	16	177	209	509	194	575	181	29	109	18	89	2,179	5,152	807	147	346	725	2,025	7,177

(例) ここに記した数字は目録上の件数ではなく実点数である。天文期の二点は写本。

中山家文書年代分類別構成表

分類	年代																								
	天文	弘治	永祿	元龜	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承応	明暦	万治	寛文	延宝	天和	貞享	元禄	宝永	正徳	享保	元文	寛保	延享
100 藩 110 参出 120 吉病 130 逝 140 逝 150 去・廟 160 計	主動行事氣所上																								
200 藩 210 支巡 220 海軍 230 防事 240 御 250~2 宮腰町奉 260~2 御扶 270~2 拜礼	土情見交役所持座																								
600 町 610 宮 620 町 630~3 町 640 御 650 町 660~8 人中 670 戸 680~1 租 690~3 治	定方所人留緒家口土地安																								
700~5 商・産 710~3 融・貸 720~3 金・運 730~3 浦・揚 740~3 浜・物 750 金・石 760 運・輸 770~1 普・請	業借通方産社局築																								
800 学 810 教 820~7 宗 830 洋 840~3 絵・図 850~3 天・文 860 名・簿 870 博・會 880 新・聞	芸育教殿誌 藝教殿誌 藝教殿誌 藝教殿誌 藝教殿誌 藝教殿誌 藝教殿誌 藝教殿誌																								
900~4 文 910 書 920 歌 930 能 940 浄 950 歌 960 茶 970 花 980 趣	芸画伎謡瑠璃踏道俗																								
補	遺																								
合	計																								

中山家文書の概要

家と前田利家との関係から、同家では洋々殿というものをつくり、ここに利家を祭祀していた。ここでの史料は半数以上を明治以降のものが占めており、町年寄役中山家とは直接かかわらない史料となっている。

## 中山家の概要

中山家は前田家の加賀入部入前の文明年中より当地において、「上は今江(能美郡)辺より下は高松(羽咋郡)迄、都て潤役取立潤沢に仕候」(史料六五〇—四)という位置にあり、天正八年(一八五〇)能登に入った前田利家は、加賀の海を制する豪族中山家を味方とした。当家に伝存する帷子は同九年(一八五二)に、また現在県文化財となっている利家尊像は同十一年(一八五三)に拝領したものといわれる(六六〇—五一)。以来、中山家が利家の加賀での宿をつとめるなどの関わりが続いた。やがて天正十一年(一五八三)には、本能寺の変後、台頭する豊臣秀吉勢と老臣柴田勝家らの対立が深まり、加賀の佐久間、能登の前田は柴田軍に従がい、賤ヶ岳に戦端を開くこととなる。これに対し秀吉は本願寺と連携して、軍事的に空白となった加賀において一揆を企て、柴田軍を背後から衝かせることを計った(「石川県史」)。この事態に対し、中山家は加賀における一揆の動静を前田利家に注進し、これにより同家は一揆側の圧迫を受け、一時利家の所領である能登に退くが、利家と秀吉の和睦と利家の金沢入封により、その功を認められ、二十石の扶持を与えられると共に、宮腰町における同家の位置も安堵されることとなった。

その後も、新政権下における在地支配の先兵としての役割を果たすことにより同家の位置と存続とを計っていった。朝鮮の役の際の兵糧米運搬をはじめ、能州塩の請払い、大坂為御登米、御材木積船の船割符

(9、文芸)には歌舞伎・能・俳諧等に貴重な史料が含まれ、宮腰は金沢に並ぶほど、あるいはそれ以上の俳諧の興隆がみられ、また当地には佐那武神社の神事能があり、また浜芝居等も盛んに行われた地であり、当家には宮腰ばかりではなく各地の関係史料が残されている。

方など浦方における御用を勤めた。

その後も宮腰町の町年寄役として、藩(町奉行所)と町方役人との仲継ぎおよび町方役人の勤向監視を行ない、具体的には肝煎への御用受け継ぎ、宗門改、関所切手、船往来、便船切手発行のチェック、諸願、公事の取次、年貢の上納・取立、組合頭の選任、諸役人の欠員補充、町算用の監査、通船監視、難船取扱、さらには不届者の詮議を行い浦改役も兼帯した(六三二—七)。

宮腰町の町年寄役は天正以来世襲的に中山家が勤めてきたものであるが、この他にも中山家の別家である中山清右衛門家が慶長期に、鶴屋与三右衛門家が天和・元禄期に、また中山家七代甚八郎が宮腰・栗崎争論により失脚したあと、鶴屋庄兵衛家と柴田勝家の家臣毛受左馬蔵の後裔といわれる(六五〇—五)湊屋佐次兵衛家が享保期に、さらには湊屋佐次兵衛家が変わって豊臣秀吉の室北の政所の兄弟である杉原伯耆守の後裔を称する(前同)酒屋八右衛門が元文中中に町年寄役を勤めている。

中山家は宮腰の本町に居住し、五五〇坪程の邸地を有していた。慶応三年(一八六七)金沢移住を命ぜられ、十間町に住したが、中山家の願いにより明治四年(一八七二)金石帰居が許され、現在に至っている。

中山一衛先祖由緒帳 (六六〇—六四)

(表紙)

〔〕緒帳

中山一衛

本國相知不申金沢出生五十二歳

年中 一、四人半御扶持

中山一衛

御元祖様々金石御田地を以永代式拾石奉頂戴候処、慶応三年四月御扶持方ニ御直引、八人御扶持被下之候処、今般御改革ニ付四人半御扶持被仰付候、浦改之義ハ御尊像崇敬方為相続、永代家祿之以御趣意如先規被仰付候段、正三位様被仰出候処、於御算用場浦改御差除、然上ハ一、五百文

御尊像為御守護料年々御渡之義ニ被仰渡候

私義実者金沢市長額彦四郎四番目弟ニ御座候処、天保十四年四月養父而後娘ハ舞養子奉願候処、願之通御聞届甚丞与相名乗、同年五月十一日町年寄見習被仰付、弘化元年正月十六日材木仲買才許被仰付、同三年十二月廿一日以来年頭御目見を始御慶事恐悦等ニ罷出候儀、如先規都而養父而後同様可被仰付旨御用番將之佐殿被仰渡、嘉永二年十二月廿三日町年寄本役同様相動可申旨被仰候ニ付、兼役相勤候而ハ本役疎略之義出来も難斗御断申上、材木仲買才許仍願御免除、同五年九月廿九日魚問屋当分兼帯被仰付置候処、同六年十一月九日町年寄見習魚問屋共御指除、安政元年十月六日養父主計隠居被仰付、私江為跡目御扶持高無相違被下之、同三年八月十日町年寄被仰付、同四年二月十九日魚問屋兼帯被仰付、同五年十一月廿五日二御丸丹羽織人殿を以、正三位御一行頂戴被仰付、同年十二月主計与改名之儀御用番河内守殿御聞届、万延元年十二月晦日浦改如先規被仰付候処、御同所様被仰出候、

中山一衛先祖由緒帳

然上者御尊像崇敬方等之儀、弥大切ニ相繕候心得可為肝要旨御次被仰渡、難有仕合冥加至極奉存候、且又被為置御腰候節、父同様御品物白銀等度々拝領仕候、然処慶応二年五月十三日町年寄并魚問屋御免許、浦改之義家祿ニ付相勤罷在候処、十二月四日於御算用場右浦改御差除之上為御守護料年々錢五百貫文宛御渡之旨被仰渡、同三年正月十三日金沢居住被仰付候ニ付、御貸屋ニ而も被仰付候様奉願出候御聞届、同四月六日御扶持高之処御扶持方ニ御直引、年中八人御扶持被下之候旨被仰渡、同日散算用聞被仰付候処、明治二年四月右役一統被廢肝煎上列町年寄支配、同七月百官相称居候者改名可致旨被仰渡一衛与改名、同三年八月御貸屋返上仕候、今般御改革ニ付前条之通四人半御扶持方ニ御改被仰付候

一、十五世之祖父

中山故主計

文明年中より元宮腰ニ居住仕、加州浦々潤役取立家祿ニ仕連綿相論仕罷在候処、高德院様從信長公能州一國就御拝領、天正九年御入国始而主計宅へ被為懸御腰、夫御上下毎ニ御宿被為仰付、柴田修理亮殿御滅亡之砌御軍用方御内意奉蒙仰、從秀吉公河北・石川御兩郡御拝領、天正十一年御入国被為遊候ニ付、御先へ御人足等被為成御差下候処、其節一揆発起右御人夫へ相障及騒動候ニ付、主計ハ潛ニ人ヲ為動一・二ニ御注進申上候得者、彼惡党共聞付候而主計親子打殺可申旨、在々之人ヲ廻大勢取巻主計并甚丞覚悟仕罷在候処、夜討ニ可仕風説承候ニ付、家財打捨家内不殘退居仕候ハ致方無御座、乍併陸通者不罷成、船ニ而能州御領分へ罷越危難逢申候処、御同所様御当国へ被為成御下向、主計明家ニ被為入主計ヲ被為遊御尋、右之仕合被為聞召上、能州ハ被為召即刻帰村仕候処、甚御憤被為在近郷へ嚴重之御触を以、主計方へ及狼籍不法を相働、同人所持之武器・雜具ニ至迄盜隠候者早速訴出可

二四一

申旨被為仰出候処、夜之内右品々市中ニ打捨有之ニ付、取抹仕暨作事  
 与早速被為仰付、其節数十日主計家ニ被為成御座、私家万代不易御懇  
 命を以、庭前へ三松御手自被為植尔今祭茂仕候、一揆大将石崎八太夫  
 与申者召捕方主計父子被為仰付、御同所様一文字御刀拜領仕、浜之手  
 へ廻出シ手捕ニ仕、主計居宅ニおひて御目通へ引出候得者、御手自御  
 杖を以御擲被為遊、其外手下之者御成敗被為仰付、御入部御血祭与甚  
 御満悦被為思召、直様金沢へ御入城被為在、主計今度之忠節悉御賞美  
 被為在、御同所様御鎗被為殘拜領仕、其節金沢へ御召連之段被仰出候  
 得共、住馴候地故御断奉申上候処結構之奉蒙上意、右御在留御記念  
 旁、御真筆御尊像暨宮腰御田地之内を以貳拾石之処、永代御扶持高拜領  
 被為仰付、実ニ御生前御吉例之尊真故、元祖主計以来大切至極ニ奉尊  
 敬候、宝円寺ニ御鎮座被為成候御尊像ハ私方ハ御写被為仰付候旨先年  
 ハ伝承仕候、且御同所様被為在候御帷子者私宅ニおひて奉拜領候、浦  
 改御用等奉蒙仰、其後何時御上洛被為成候而も御吉例与御意被為成、  
 私宅へ被為懸御腰御上下之御宿仕来申候、主計儀歳被寄隠居被為仰  
 付、剃髮仕候而も年頭御目見与被仰付、御内用暨家祿之浦改御用与一  
 生相勤、御紋服等数多奉拜領名法泉与相改、慶長八年八月二日九拾七  
 歳ニ而病死仕候

一、十四之祖父

中山故主計

実者末家中山惣助嫡子ニ而甥之統柄ニ御座候、元祖主計実子無御座養  
 子奉願候処、御聞届甚丞与申候而、父主計同様諸御用奉蒙仰、同人隠  
 居被仰付候砌為跡目御扶持高無相違被下之、町年寄并浦改御用与奉蒙  
 仰、主計与改名仕候様被仰渡候、瑞龍院様御小袖御書御添慶長十五年  
 正月十二日年頭為御礼越中へ罷出候節拜領、御同所様御慰斗目同年十  
 二月十九日歳末為御祝詞越中へ罷出候節拜領、御同所様御小袖御書御  
 添同十七年正月十四日年頭御礼ニ越中へ罷出候節拜領、微妙院様御小  
 袖慶長十三年正月拜領、元和年中福嶋左衛門大輔殿御身代果申刻、御  
 国之商人船敦賀・若狭へ御留被為遊、此船奉行森田四郎衛門・中山主

計ニ被仰付候、其砌主計儀微妙院様為伺御機嫌京都へ罷越、直ニ若狭  
 相詰御内用被仰付相勤候処、奥村因幡殿・中村刑部殿・坂井寿庵老ハ  
 被仰渡候者、主計上方ニ罷在候へ、せがれも召寄親子共相詰候様ニと  
 申事故、早速甚丞馳登リ京都并敦賀・若狭ニ父同様相詰罷在候、其御  
 相詰申候船頭・水主ニ御扶持方被下置、商人船ニハ御印行等被下候ニ  
 付、甚丞ニも京都ニ而御扶持高可被下置之旨被仰出候得共、此度之御  
 奉公与奉存御断申上御扶持高頂戴不仕候、せがれ甚丞へ御馬・御馬具  
 共拜領被仰付候、浦改御用之儀町下代岡野彦左衛門与主計兩人被仰付  
 相勤罷在候処、元和八年八月十八日七十七歳ニ而病死仕候、役儀等被  
 仰付候年号伝承不申、中山惣助由来相知不申候

一、十三世之祖父

中山故主計

実者官腰唐仁屋七右衛門三男ニ御座候処、二代主計実子無御座候ニ付、  
 甥之統柄を以養子奉願御聞届之上甚丞与申候、父存生之内ハ浦改与諸  
 御用被仰付、元和八年為跡目御扶持高無相違被下之、同年町年寄并浦  
 改御用等改而被仰付主計与改名仕、且又微妙院様御肩衣正保三年正月  
 拜領、高德院様被下置候永代御宛行之御判物、元祖主計取失申候ニ  
 付、二代主計ハ奉願置候ニ付重而奉願候処、寛永十六年三月廿日奥村  
 因幡殿・坂井寿庵老以御取次、微妙院様御書替之御一行頂戴被仰付、  
 且又浦改下代彦左衛門病死後下代御差止、正保元年浦改御用永代主計  
 家祿ニ御寄合所ハ被仰付候処、菊地大学殿御申渡御座候、松雲院様正  
 保二年御世御統被為遊候節御上下奉拜領、承応二年十一月廿一日六十  
 七歳ニ而病死仕候

一、十二世之祖父

中山故主計

三代主計弟ニ而甚丞与申候処、養子奉願御聞届之上同人存生之内ハ父  
 同様諸御用被仰付、承応三年為跡目御扶持方無相違被下之、町年寄并  
 家祿浦改等御用如先規被仰付相勤申候、寛文七年閏二月十三日瑞龍院  
 様御建立被仰付候洋々殿并御殿先御門・水道等御修覆被為仰出、御作  
 事御奉行岸茂左衛門殿・川口八郎兵衛殿御大工兩人ニ被為仰付候、然

処洋々殿暨御座所等宝永年中不殘類燒仕候、寛文七年隱居被仰付候而  
も年頭御目見等被仰付、浦方御内御用等如最前相勤名了法与相改申候、  
同八年三月十一日六十六歳ニ而病死仕候

一、十一世之祖父

中山故主計

四代主計嫡子ニ而甚丞与申候而、父同様諸御用被仰付候処、寛文七年  
三月六日同人隱居被仰付、為跡目御扶持高無相違被下之、既日於御城  
松雲院様御一行頂戴被仰付、町年寄并浦改等諸御用如先規被仰付、主  
計与改名仕相勤申候、延宝元年十月三日四拾三歳ニ而病死仕候

一、十世之祖父

中山故甚丞

実者金沢平野屋半助次男御座候処、五代主計娘へ舞養子兩願通御聞  
届、同人為跡目延宝二年八月廿八日御扶持高被下之、同年十月廿七日  
長屋平左衛門殿与一集ニ御城へ被為召、松雲院様御一行頂戴被仰付、  
町年寄并浦改等諸御用如先規被仰付相勤申候、元禄五年九月七日四拾  
式才ニ而病死仕候

一、九世之祖父

中山故甚八郎

実者五代主計嫡子ニ御座候処、幼少ニ付準養子願之通被仰付、六代甚  
丞為跡目御扶持方無相違元禄六年二月廿二日被下之、同三月六日町年  
寄并浦改等諸御用如先規被仰付相勤申候、享保三年御郡方与官腰争論  
之刻官腰之者共禁牢被仰付、甚八郎儀も閉戸被仰付候處、享保五年四  
月十四日官腰之者共出牢之砌甚八郎閉戸茂御赦免、先代へ被下置候御  
扶持高并役儀被召放候主付被下置候、所付且又先祖頂戴仕置候御一行  
三通、同年四月廿八日ニ御取上被遊候、同七月十四日四拾九才ニ而病  
死仕候

一、八世之祖父

中山故小八郎

七代甚八郎二男ニ御座候処、同人役儀勤方不宜候ニ付一旦御扶持高被  
召放候得共、先祖へ出格由緒も有之者ニ付、先規之通御扶持高可被下  
置候護国院様被仰出、享保十年九月四日無相違被下之、浦改御用被仰  
付、其上先祖へ被下置候御一行三通、父甚八郎代ニ御取上被遊置候処

同十日御返下、享保十一年五月九日式十三歳ニ而病死仕候

中山故嘉兵衛

一、七世之祖父  
実者末家中山伊左衛門次男ニ御座候処、八代小八郎末期養子願之通被  
仰付、同人為跡目享保十一年八月十三日御扶持高無相違被下之、浦改  
御用被仰付、同十二年六月廿四日前田近江守殿等へ護国院様御一行頂  
戴被仰付、寛保元年九月十三日五十四歳ニ而病死仕候

一、六世之祖父

中山故甚丞

九代嘉兵衛実子ニ御座候処、同人為跡目寛保元年十二月廿五日御扶持  
高無相違被下之、浦改御用被仰付、護国院様御一行頂戴被仰付被成下  
候年月日相知不申候、同三年十月十九日式拾三歳ニ而病死仕候

中山故弥八郎

一、高祖父

実者官腰長沖屋宗兵衛次男、遠処從弟之以統柄六代甚丞末期養子奉願  
置候処、拾五歳未滿ニ而相統被仰付候御例無御座候得共、家ニ拘り候  
儀ニ而人柄無御貪着、代々被為下置候趣等達御聽被為、格前之家筋御  
詮儀之上故甚丞為跡目拾三歳ニ而延享四年七月十一日御扶持高無相違  
被下之、同年同月廿七日謙徳院様御一行頂戴被仰付、宝曆九年九月二  
日町年寄浦改被仰付、其後御塩問屋兼帯被仰付相勤罷在候、且又御行  
步御出之節御宿被仰付、泰雲院様數十度被為懸御腰、於私宅每度御目  
見被仰付、御懇之趣御座候而御品物白銀等度々拝領仕、安永七年四月  
廿七日四十四歳ニ而病死仕候

一、曾祖父

中山故主計

十一代弥八郎嫡子ニ而恒治与申候、安永八年十二月廿五日拾三歳ニ而  
同人為跡目御扶持高無相違被下之、天明元年正月主計与改名之儀御用  
番奥村主水殿御聞届、同年十一月廿二日町年寄見習并御塩問屋被仰  
付、同六年十二月材木仲買才許兼帯被仰付、尤御塩問屋是迄之通相勤  
可申旨被仰渡、同七年五月十三日町年寄并浦改御用被仰付、寛政元年  
恒川七兵衛殿御役中、洋々殿御座所等及大破候旨被聞召御貸米等被仰  
付、其上旧記書上可申旨ニ付、先例等相調理奉願置、夫々御達被下候

処、無間茂御転役被成、文化元年松原安左衛門殿御役中町年寄被成御指除候、泰雲院様・太梁院様御行步御出之節、御宿被仰付白銀等度々、拝領仕候、同三年六月十六日四拾才ニ而病死仕候

一、祖父

中山故主計

実者十一代弥八郎末子左太郎与申候而十二代主計弟ニ御座候処、同人嫡子恒治儀幼少ニ付故主計為跡目文化三年十二月十六日御扶持高無相違被下之、同四年正月十二日町年寄并浦改御用被仰付、同年二月主計与改名之儀御用番奥村左京殿御聞届、同九年魚問屋兼帯被仰付、同十二年町年寄浦改御免除せかれ恒治江被仰付候、且金龍院様御治世同十三年十二月廿二日二御丸於波御間、人見吉左衛門殿を以御尊像等年久全奉守護候儀、御□ニ御満悦被為思召候段奉蒙御懇之上意御紋附御上下拝領仕候、文政八年持病難儀仕候ニ付、魚問屋梓弥八郎へ被仰付候様奉願候処願之通被仰付、同九年病身ニ而次第髪薄相成元結も懸兼候族ニ付、相残候髮剃落申度奉願候処、同九月御用番前田彈蕃殿御聞届之旨被仰渡候、且又御行步御出之節如御吉例被為懸御腰白銀等度々、拝領仕候、文政十二年正月六日五十三歳ニ而病死仕候

一、父

中山而後

実者十二代主計嫡子ニ而、十三代主計甥ニ而恒治与申候処、幼少ニ付準養子願通被仰付、文化九年浦改見習被仰付、同十一年右役御指省、同十二年二月朔日十三代主計代町年寄并浦改被仰付、弥八郎与改名仕候、文政八<sup>年</sup>十二月十三日養父代魚問屋兼帯被仰付、同十二年七月十一日故主計為跡目御扶持高無相違被下之、同年八月主計与改名之儀御用番奥村内膳殿御聞届、同年大千代様御誕生ニ付二御丸へ罷出恐悦奉申上、天保二年二月廿八日於二御丸高島右門殿を以、正三位様御一行頂戴被仰付、其節十二代主計御一行、十三代主計御一行兩人分共頂戴被仰付、且又如先規以來御帰城之節二御丸へ為伺御機嫌罷出候儀、天保五年本多播磨守殿被仰渡、同六年洋々殿等御修覆一作七百石ニ当ル出津被下之、従来勝手難渋仕候ニ付、天保之度御次銀を始諸役所銀貸附主付被仰付、右利足以出目借財方等方等相補可申旨被仰渡、同八年七月十三日本役兼役共御指除指扣被仰付候処、同九年八月廿六日御差

宥、同十年二月六日浦改掃役被仰付、其後洋々殿御建修理為入用銀子被下之、將御次御鎮守銀等度々御貸渡被仰付候内、弘化元年十二月御書取を以此後右御修覆方等不敬之儀無之、且御吉例之御宿茂不差支様連綿永統之儀者、御奉行所御役先ニおひて幾重共仕法を以宜御執斗之儀成瀬主税殿被仰渡候ニ付、右仕法追而被仰付候迄之当座御取扱方種々被仰付候、然処往古私家ニ永代被仰付置候浦改之儀、享保度永代与申儀無謂中絶仕時々被仰渡、中古とても歴代右役被仰付候ニ付、右潤沢を以難有家取統罷在候処、嘉永五年十一月廿三日右役余浦ニ茂無之御詮儀を以御指除之旨、御算用場御来難渋至極仕候、同六年九月疝邪等難儀仕候ニ付、町年寄御断申上候処、十一月九日願通御免除、其節拝借罷在候役所銀貳拾貫目不及返納旨御申渡、同七年十月六日隠居被仰付候得共、如御吉例方々様被為懸御腰候刻御迎等ニ罷出、白銀御品物等度々拝領仕候、安政五年十二月而後与改名御聞届、年頭御目見御帰城御機嫌等ニ罷出候儀も都而如先例被仰付候段、御用番河内守殿被仰渡候、且又文久三年髪薄元結も懸兼候ニ付、殘髮剃申度段奉願候処、十一月御聞届之旨被仰渡、元治元年御尊像へ常日香奉献度ニ付御鎮守銀拝借奉願置候処、慶応元年十二月三貫目御貸渡被仰付

一、嫡子

中山恒太郎

私実子ニ而文久三年十三才ニ罷成候ニ付、年頭御目見を始御帰城伺御機嫌等、御吉例都而隠居而後、私同様罷出候儀、御用番奥村内膳殿被仰渡、且同年十二月晦日町年寄見習被仰付、慶応二年五月十三日浦改并魚問屋当分兼帯、同三年正月浦改御免許魚問屋迄兼帯、同三年正月十三日町年寄見習并魚問屋御免許、同五月十日於金沢散算用聞並被仰付候処、明治元年八月十八日病死仕候

一、養子

中山恒次郎

実者金石湊屋佐太郎次男ニ而、一衛三番目娘へ準養子ニ罷成、当春御如御吉例年頭御目見等都而私同様被仰付候段、藤懸家令殿被仰渡候一、宗旨者浄土真宗、百姓町慶寛寺且那ニ御座候  
右私由緒書上申候、以上

明治三年閏七月

中山一衛

# 中山家歴代一覽

代	名	法名	幼名	等	生年	没年	相統年	備考	妻
1	主計 成勝	了泉法	恒太郎		永正10	天正11・7・13		中山藤右衛門嫡男	菊
2	主計 成之	道惠	恒治、甚丞		天文15	慶長8・8・2(91)		末家中山惣助嫡子	中(寺中神主将監)
3	主計 成嗣	法泉	甚丞		天正15	元和8		唐仁屋七右衛門三男	岩(松谷喜右衛門)
4	主計 政次	了法	甚丞		慶長8	承応2・12・21(67)	承応3	唐仁屋七右衛門七男	蝶(三代成嗣娘)
5	主計 成政	法榮	甚丞		寛永8	寛文7・3・6		四代政次嫡子	(金沢飾屋左近娘)
6	甚丞 政重	法円			慶安4	延宝2・8・28		金沢平野屋半助五男	千代(五代成政娘)
7	甚八郎 政之	法順			寛文13	元禄6・2・22		五代成政末子	(医師山脇永順娘)
8	小八郎 嗣定	法寿			宝永2	享保10・9・4		七代政之次男	
9	嘉兵衛 政氏	法泉			元禄5	享保11・8・13		末家中山伊左衛門次男	久米(長沖屋五代宗兵衛妹)
10	甚丞 成安	法雲			享保7	寛保元・12・15		九代政氏嫡子	
11	弥八郎 成真	法潤	弥八郎、号奇洞		享保20	寛保元・9・13(50)		長沖屋五代宗兵衛息	円(金沢角屋猪右衛門妹)
12	主計 勝安	現瑞	恒治、号白居		明和4	安永8・12・15		十一代成真嫡子	亀(金沢町年寄森下屋八左衛門妹)
13	主計 成美	毫誉	規矩藏、左太郎、号其光、染川、奇石	弥五郎、字人之不流、	安永6	文化3・12・16		十一代成真四男	〃
14	主計 嗣昌	法喜	恒治、字佳胤、而後	弥八郎、号藍田	享和2・2・18	明治4・4・26(70)		十二代勝安嫡子	綱(河北郡十村渡辺兵右衛門娘)
15	甚丞 成矩(一衛)	了流	如三郎、字思齊、坦滄	字子恭、号確亭	文政2・9・25	明治16・10・4(64)		金沢額屋彦四郎四男	宛(十四代嗣昌娘)
16	恒太郎 嗣久(弥咲)	法確			嘉永4・11・10	明治37・3・23(52)			ひら
17	一衛	慧羣			明治6・10・8	昭和12・9・23(53)			梅
18	一俊	一果院			明治33・8・14	昭和58・3・25(82)			ヨシ子

(註) 660—57他より作成

宮腰町奉行一覽

奉行名	石高	就任年	前職	離任年	後職
山崎種善坊長政	二〇〇石	文祿		慶長四	
横山久二		慶長八			
上田六左衛門		慶長四			
岩田勘右衛門		慶長三			
三輪志摩長好	三〇〇	元和元			
松崎庄左衛門	二〇〇	元和二			
細井弥左衛門		元和五			
瀧与右衛門	一四〇	元和七・八			
山田八郎右衛門		寛永初			
福嶋治兵衛		寛永元			
内藤清兵衛		寛永四			
菊池大学直辰	二〇〇	寛永九			
原田又右衛門長幸	五〇〇	正保三			
小川八郎右衛門	五〇〇	正保三			
駒井主水守重	二〇〇	慶安			
松崎庄左衛門政武	二〇〇	寛文三			
村瀬平右衛門	二〇〇	万治三			
寺西新七直氏	二〇〇	寛文元			
山崎作左衛門	二〇〇	寛文二			
宮崎太左衛門重澄	二〇〇	寛文四			
長屋平左衛門矩忠	八〇〇	寛文五			
茨木伝右衛門長重	二〇〇	寛文五			
村田弥三郎景慶	七〇〇	天和二			
高島彦太郎定安	八〇〇	貞享四・三・三			
沢野団右衛門佐弘	六〇〇	元禄〇			

奉行名	石高	就任年	前職	離任年	後職
馬淵友之進高定	五〇〇石	宝永二・六			御免
高島五郎兵衛定恒	七〇〇	享保三・二			御免
本保常右衛門敬正	一八〇	享保三			定番御番頭
伊藤基右衛門勝興	八〇〇	寛保四・正・五			死
佐藤半五右衛門直之	五〇〇	寛延三・七			定番御馬廻番頭
前田平馬直質	二〇〇	明和九・正			死
野村与三兵衛誠教	二七〇	安永五・三・五			天明四・六・元堺関守
野村次郎兵衛永惇	二〇〇	天明四・九・五			天明七・七・七定番御番頭
高島五郎兵衛厚定	七〇〇	天明七・八・七			天明八・二・六御作奉行
恒川七兵衛寿年	五〇〇	天明八・四・四	御大小将		寛政二・三・二御郡奉行
成田十郎左衛門並寛	二〇〇	寛政二・五・八			寛政二・八・四死
伊藤権五郎勝近	二〇〇	寛政二・五	御馬廻		寛政二・五定番御番頭
玉井主馬貞臣	二〇〇	寛政二・六・四			享和二・八・四御差除
松原安左衛門一得	五〇〇	享和二・九	御大小将		文化元・二・五大小将御番頭
脇田善左衛門祐忠	五〇〇	文化元	御馬廻		文化九・四組外御番頭
兒玉求馬	五〇〇	文化九・四・三	大小将		文化二・九・六指除差扣
土肥権六郎庸平	五〇〇	文化二・〇・六	御馬廻		文政二・〇・四定番御番頭
土肥三左衛門	六〇〇	文政五・〇・七	御馬廻		文政六・二・六御差除
中川外記敦栄	二〇〇	文政六・二・六	御馬廻		文政二・二・二御細工奉行
高島右門安定	七〇〇	文政二・二・八	大小将		天保七・五・六大小将横目
神尾主殿	一七〇	天保七・六・八	御馬廻		天保九・七・三御免
湯原平馬信厚	六〇〇	天保九・七・三	大小将		天保三・四・三大小将御番頭
里見亥三郎	六〇〇	天保三・五・五	大小将		弘化三・〇・三表小将横目
成田宗左衛門	五〇〇	弘化三・二・八	大小将		嘉永二・三・二大小将御番頭
坂井豊右衛門		嘉永元・九・三	二・三・五、		嘉永二・三・六、

(註) 氏名・役職は「諸頭系譜」、任期は「宮腰町奉行名列」(中山家文書二一五〇—二二を中心に作成した。

奉行名	石高	就任年	前職	離任年	後職
山崎小右衛門	石	嘉永元・九・三〇?二・二五	嘉永二・三・二六?	当分兼帯	
半田権之丞	〇	嘉永二・閏四・三	御馬廻	嘉永四・二・二御免	
菊池常三	〇	嘉永四・二・二	大小将	嘉永六・三・二六依願御免	
前田弥五作	〇	加州御郡奉行御馬廻御使役	嘉永五・二・三?	六・正・六	当分兼帯
坂井勘蔵	〇	〃	〃	〃	〃
齊藤与兵衛	〇	嘉永六・二・二六	大小将	安政三・三・三三御馬廻御番頭	
浅香嘉門	〇	安政三・三・三	御馬廻	安政五・六・三御普請奉行	
小幡主税	〇	安政三・二・八	御馬廻	文久元・五・三御免	
丹羽織人	〇	安政五・六・三	大小将	文久元・五・三御免	
園田一兵衛	〇	〃	〃	文久元・五・三?	当分兼帯
矢部順平	〇	文久元・六・三	大小将	文久三・七・二四御免	
神尾篤次郎	〇	文久三・七・二四	大小将	慶応二・九・二五御膳奉行	
坂井三郎兵衛	〇	文久三・七・二四	大小将	元治元・〇・八御馬廻御番頭	
長屋八内	〇	文久三・七・二四	御馬廻	慶応二・〇・六能州御郡奉行	
神田吉郎左衛門	〇	元治元・〇・元	御馬廻	慶応三・七・二四御免	
岡田雄之進	〇	慶応二・九・三	頭並	慶応三・七・二四御免	
三浦八郎左衛門	〇	慶応二・六・三	御馬廻頭	慶応三・七・二四御免	
不破亮三郎	〇	慶応二・〇・三	新兵頭	慶応三・七・二四御免	
奥村善右衛門	〇	慶応三・七・元	御歩頭	慶応三・七・元御免	
津田香太郎	〇	慶応三・八・八	大小将	〃	

宮腰町々役名一覧

役名	定数	役名	定数	役名	定数	役名	定数
町年寄	2名	本町組合頭	(11町) 24	浦改	2	油方主附	
本町肝煎	3	地子町組合頭	(16町) 29	伝馬肝煎		散小物成銀取立役	1
地子町肝煎	2	冬瓜町組合頭	5	肝煎見習	2	七木極印主附	
冬瓜町肝煎	1	手船才許		批肝煎	2	勘定方書算役	
横目肝煎	2	材木中買		地方肝煎	1	馬指人	
材木中買肝煎	1	大坂為登米		古手肝煎		町年寄並	不定
御材木肝煎	1	瀧下為請負人		内瀧船才許	1	諸算用聞上役	5
御材木売上才許		川方普請立		岡持才許	1	銀仲棟取	2
浜(浦方)横目	1	取		他国出口銭并浦御		肝煎並	
本町走り		馬持組合頭		口・銭取立方主付		御材木直段見囚人	1
地子町走り		町年寄見習	不定	物書役		津方主附	1
冬瓜町走り		魚問屋	1	御塩問屋	2	寺中御能方主附	不定
御田地引足銀并		貯用銀才許棟取	5	馬駅方横目	1	組合頭並	
馬借余内取立人		舟肝煎	1	横目役			

(註) 役名は安永6年(1777)、員数は文化元年(1804)のものを使用。

中山家文書分類・マイクロフィルム対照表

分類	フィルム番号								
100	1	610	13・14	692	52	742	61	851	94・95
110	1	620	14	693	52	743	61・62	852	95
120	1～3	630	14	700	53	750	62	853	95
130	4	631	15	701	53	760	62・63	860	95～98
140	4	632	15・16	702	53	770	63	870	98・99
150	4	633	16	703	54	771	63	880	99～101
160	4	640	16～21	704	54	800	64～83	900	102～104
200	5・6	650	21	705	54	810	83～85	901	104～108
210	6・7	660	21～26	710	54・55	820	86・87	902	108～116
220	7	661	26～38	711	55・56	821	88	903	116～122
230	7・8	662	38・39	712	56	822	88	904	122
240	8	663	39	713	56・57	823	88	910	122・123
250	8	664	40・41	720	57	824	88	920	124
251	8	665	41・42	721	57	825	89	930	125・126
252	8	666	42～47	722	57	826	89	940	126・127
260	9	667	47・48	723	57	827	89	950	128
261	10	668	48	730	58・59	830	89～91	960	128・129
262	10・11	670	48・49	731	59	840	91	970	129・130
270	11	680	49・50	732	60	841	91	980	130
271	11	681	50	733	60	842	92・93		
272	11	690	51・52	740	60	843	93・94		
600	12・13	691	52	741	60・61	850	94		

中山家文書分類・マイクロフィルム対照表

( 668—53、840—24～35、841—7～20、880—22～46 )  
 ( 900—25～27、910—80～151、撮影除 )

## あとがき

金石町の中山家は、前田利家の金沢入城第一歩からかわりを持ち、前田氏の加越能三カ国経営を支える強力な力の一つとして、金沢の日本海へ開く門戸宮腰ミヤノコシに、町年寄役などをつとめ、連綿として藩末に至り、現在におよぶ旧家である。

同家に、天正以来三百年の加賀藩全期にわたる多量の文書記録が遺されていることは、早くから注目されていた。しかし未整理で一般に公開されておらず、かつて金沢大学に籍を置かれた水上一久先生や、現在金沢経済大学教授で城下町金沢の研究で知られた田中喜男先生など、僅かの研究者によってその一部が紹介されているにすぎない。

金沢市立図書館は創立以来、加越能文庫などの特殊文庫に象徴される近世郷土資料の充実を重要課題として来た。中山家文書についても、早くから計画する所もあったが、具体的に手を染めたのは昭和五十五年秋である。

当主中山一俊氏を金石のお宅に、中村豊館長と吉本、宇佐美の三人が訪ね、同家の比類無い貴重な資料群をマイクロフィルムに撮影して、広く研究者の利用に供することをお許し願った。

先祖代々家宝として前田利家画像や帷子と共に秘蔵して来た文書類を、別の形の価値保存策とはいえ、持ち出し、且つ公開することについて種々想い悩まれるようであったが、ヨシ子夫人や長男の周比古氏チカヒコ、二男の穆氏ムツシの方々とご相談のうえ、一切を中村館長の方針におまかせ戴くことになった。

昭和五十六年五月を初回に、前後五回にわたって図書館へ搬入した文書は、鋭意作業を進め、昭和五十七年十月に整理を終え、目録原稿が出来てマイクロフィルム撮影を業者に委託し、それも終了して、あとは目録印刷発行を残すのみとなった昭和五十八年三月二十五日、惜しみて余りある一俊氏の計を聞いたのであった。

海軍大佐として軍務を終えられた後、仕事の傍ら兵士等の軍人恩給受給のお世話をしておられると聞いた一俊氏は、何時お会いしても老耄を感じさせぬ武士的風貌の方であった。誰がこの悲報を想像したであろうか。目録の出版後、文書の利用についてもいろいろご相談したい所であり残念というほかない。

目録の発行にあたり改めて文書の撮影とフィルムの公開をお許し下さったご好意を感謝し、ご冥福をお祈りしたい。なお、中山家文書の整理と目録編成は、吉本澄与治と宇佐美孝が担当した。

中山家文書マイクロ写真一覧表

撮影除 668-53、840-24~35、841-7~20

880-22-46、900-25-27、910-80-151

フィルム	分類	番号	巻数												
1	100	1		34	661	26		67	800	9	7	100	880	10	1
2	120	33	1	35		31		68		10	1	101		19	
3		131		36		38		69		13	1	102	900	1	1
4	130	1		37		47		70		19		103		3	10
5	200	1		38		56		71		24	3	104		14	
6		36		39	662	26	1	72		27	4	105	901	5	2
7	210	31		40	664	2		73		28	1	106		6	3
8	230	21		41		42	1	74		30		107		8	
9	260	1		42	665	20		75		32		108		55	
10	261	1		43	666	13	1	76		36		109	902	8	
11	262	10	1	44		17		77		38	2	110		18	
12	600	1		45		43	1	78		40		111		30	1
13		13	1	46		48		79		52		112		49	3
14	610	11		47		82		80		58		113		60	
15	631	1		48	667	10	1	81		62	2	114		90	
16	632	38		49	670	24	1	82		72	2	115		155	
17	640	2	1	50	680	88		83	800	75	6	116		246	
18		5	1	51	690	1		84	810	7	2	117	903	2	2
19		6	2	52		71		85		11	1	118		4	2
20		9	1	53	700	1		86	820	1		119		6	6
21		11	9	54	703	1		87		35		120		6	13
22	660	4	1	55	710	101		88	821	1		121		10	1
23		23	1	56	711	79		89	825	1	1	122		47	
24		42		57	713	10		90	830	46		123	910	14	4
25		68		58	730	1	1	91		136		124	920	1	
26		73		59		1	2	92	842	1		125	930	1	
27	661	6	2	60	732	1		93		13		126		27	
28		11		61	741	56		94	843	21		127	940	8	1
29		16		62	743	13		95	851	21	1	128	950	1	
30		18		63	760	27		96	860	3		129	960	6	
31		21		64	800	1		97		4		130	970	3	
32		23		65		6	1	98		9	6				
33		25		66		8		99	870	8					

旧宮腰町々年寄役

中山家文書目録

発行日 昭和六十年三月二十日

編集・発行 金沢市立図書館

〒920 金沢市玉川町二番二十号

電話〇七六一(三二)一九六〇

印刷所 北国書籍印刷株式会社

〒920 金沢市泉本町二丁目一五五

電話〇七六一(四二)三三五四